平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

平成２６年　６月

発　注　者：七ヶ浜町

設　　計：（株）　松本純一郎設計事務所

図面リスト

D ： 意　匠		S ： 構　造		E ： 電気設備		M ： 機械設備	
図面番号	図　名	図面番号	図　名	図面番号	図　名	図面番号	図　名
Ｄ－１０１	図面リスト	Ｓ－２０１	構造概要書	Ｅ－３０１	電気設備工事特記仕様書　凡例	Ｍ－４０１	機械設備工事特記仕様書
Ｄ－１０２	特記仕様書－１	Ｓ－２０２	特記仕様書－１	Ｅ－３０２	盤リスト・照明器具姿図	Ｍ－４０２	空調設備　機器表
Ｄ－１０３	特記仕様書－２	Ｓ－２０３	特記仕様書－２	Ｅ－３０３	電灯設備平面図	Ｍ－４０３	空調設備　平面図
Ｄ－１０４	特記仕様書－３	Ｓ－２０４	基礎伏図	Ｅ－３０４	防災照明設備平面図	Ｍ－４０４	衛生設備　平面図
Ｄ－１０５	特記仕様書－４	Ｓ－２０５	基礎リスト・詳細図	Ｅ－３０５	コンセント設備平面図	Ｍ－４０５	衛生設備　器具表・詳細図
Ｄ－１０６	工事区分表	Ｓ－２０６	床伏図	Ｅ－３０６	表示設備機器姿図		
Ｄ－１０７	付近見取図・敷地概要	Ｓ－２０７	小屋伏図・木材リスト	Ｅ－３０７	弱電設備平面図		
Ｄ－１０８	配置図	Ｓ－２０８	軸組図－１	Ｅ－３０８	駐車場照明設備平面図		
Ｄ－１０９	求積図・面積表－１	Ｓ－２０９	軸組図－２				
Ｄ－１１０	求積図・面積表－２						
Ｄ－１１１	外部・内部仕上表						
Ｄ－１１２	平面図						
Ｄ－１１３	屋根伏図						
Ｄ－１１４	立面図						
Ｄ－１１５	断面図						
Ｄ－１１６	矩計図－１						
Ｄ－１１７	矩計図－２						
Ｄ－１１８	平面詳細図						
Ｄ－１１９	展開図－１						
Ｄ－１２０	展開図－２						
Ｄ－１２１	展開図－３						
Ｄ－１２２	展開図－４						
Ｄ－１２３	展開図－５						
Ｄ－１２４	天井伏図						
Ｄ－１２５	建具符号図・法規ﾁｪｯｸ						
Ｄ－１２６	建具表－１						
Ｄ－１２７	建具表－２						
Ｄ－１２８	建具表－３						
Ｄ－１２９	雑詳細図－１						
Ｄ－１３０	雑詳細図－２						
Ｄ－１３１	雑詳細図－３						
Ｄ－１３２	雑詳細図－４						
Ｄ－１３３	サイン図						
Ｄ－１３４	外構図－１						
Ｄ－１３５	外構図－２						
Ｄ－１３６	外構詳細図						
Ｄ－１３７	仮設計画図						

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

１０１　図面リスト

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR

SCALE　A1：－　A2：－

DATE

DRAWN BY

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

１　工　事　名　称　　平成26年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

２　工　事　場　所　　地名地番：宮城県宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字立花１８－１の一部
３　用途地域等　　都市計画区域（⊙ 内 ・ 外）　　市街化調整区域
用途地域（指定なし）
防火地域等（・ 防火 ・ 準防火 ⊙ 指定なし ⊙ ２２条 ）
その他の地域・地区（特別名勝松島地域　　）
４　主　要　用　途　　０８９９０　その他　集会所
５　敷　地　面　積　　８６２．５６　㎡
６　工　事　種　目　　新　築
⊙ 建築工事　⊙ 電気設備工事　⊙ 機械設備工事
・ 昇降機設備工事　⊙ 外構工事　・ 造成工事
７　構　造・規　模　　木造、平家建
８　面　　積　　延床面積　288.46㎡
建築面積　299.91㎡
容 積 率　33.44%
建ぺい率　34.77%
９　工　事　範　囲　　図示の新築工事及びこれに係わる諸手続き
図示のなくとも当然必要と思われる工事は、請負額の範囲にて実施のこと。
10　特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印ものて構成する。
⊙ 構造特記仕様書　・ 外構工事特記仕様書　・ 植栽工事特記仕様書
・ 解体工事特記仕様書　⊙ 電気設備工事特記仕様書　⊙ 機械設備工事特記仕様書
11　図書の優先順位　１）現場説明書
２）特記仕様書（構造に関しては構造特記仕様書を優先する。）
３）各設計図面
４）共通仕様書
５）公共規格及びこれに準ずる規格

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

１．共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(平成25年版)［平成26年3月改定］」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築木造工事標準仕様書（平成25年版）」（以下、「木造標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（平成25年版）［平成26年3月改定］」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。
２．特記仕様
１）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
２）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
３）特記事項に記載の（ ）、＜ ＞及び［ ］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①．一般事項	⊙ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⊙ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※ 図示
	②．適用基準等	⊙ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成25年9月1日施行） ⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成22年版） ⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定 平成12年版）及び工事写真の撮り方<建築編> 第２編 工事写真の撮り方（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・ 建築構造設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成25年版）
	３．概成工期	工事工期より　　日前　(1.2.1)
	④．工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　(1.1.4) 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
	⑤．発生材の処理等	発生材の処理　(1.3.8) ⊙引渡しを要するもの（　　） ・特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名・所在地(km) ⊙再生資源化を図るもの

種　類	受入施設名	所在地（Km）	備　考
⊙ セメントコンクリート塊	NIPPOｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ多賀城	5.5ｋｍ	
⊙ アスファルトコンクリート塊	NIPPOｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ多賀城	5.5ｋｍ	
⊙ 建設発生木材	昭和羽前建設工業	7.5ｋｍ	
⊙ 建設汚泥	ホソマプラント	7.0ｋｍ	

・現場において再利用を図るもの（　　）
・その他の廃棄物（安定型)（　　）
受入れ施設名・所在地(km)
・その他の廃棄物（管理型)（　　）
受入れ施設名・所在地(km)
上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。

	⑥．電気保安技術者	・ 適用する　※ 適用しない　(1.3.3)
1 一般共通事項	⑦．事故報告	(1.3.10) 工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑧．建築材料等	(1.4.2) 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。 環境への配慮　(1.4.1) 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合の該当する建築材料 １）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品 ２）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ３）次の表示のあるＪＡＳ適合品 ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ．接着剤等不使用 ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
	⑨．室内の空気中の化学物質濃度の測定	※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　(1.5.9) 測試料採取及び測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか，拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質　※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3 ・ 0.08ppm） ※ ｽﾁﾚﾝ（濃度指針値　220μg/m3 ・ 0.05ppm） ※ ﾄﾙｴﾝ（濃度指針値　260μg/m3 ・ 0.07ppm） ※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値 3,800μg/m3 ・ 0.88ppm） ※ ｷｼﾚﾝ（濃度指針値　870μg/m3 ・ 0.20ppm） 測定する室等：（ 集会室、和室、調理室　計３室 ） 採取方法：吸引方式又は拡散方式とし，拡散方式では８時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を２部提出する。 ａ測定結果 ｂ試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数） ｃ試料採取方法，測定方法，使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は，引渡は受けない。 ・ 総揮発性有機化合物の測定 測定方法，測定物質及び測定か所等については，この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。 ※ 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については，施設管理者に依頼する。
	⑩．特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
	⑪．建築基準法に基づく材料の指定	(8.4.3)(8.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11～13.2)(16.14.5)

適　用　工　事	建　築　基　準　法　の　指　定
・ 長尺金属板葺　・ 折板葺	風速(V0)　※３０　・
・ 粘土瓦葺　・ アルミニウム笠木	地表面粗度区分　・Ⅱ　・Ⅲ
・ ガラスブロック・ ＡＬＣ外壁パネル	多雪地域の指定　・有　・無
・ 押出成形セメント板外壁パネル	
・ 重量シャッター・ 軽量シャッター	
・ オーバーヘッドドア	

	⑫．設計G.L.	※ 図　示　・ 現状平均地盤高
	⑬．技　能　士	(1.5.2) ・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。 ・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工　事　種　目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	・とび（とび作業）
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工（型枠工事作業） ・コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	・鉄工（構造物鉄工作業） ・とび（とび作業）
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業）
	・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
防水工事	・防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業　）
石工事	・石材施工（石張り作業）
タイル工事	・タイル張り（タイル張り作業）

1 一般共通事項	⑭．完成図等	営繕工事完成引渡要領（平成13年4月1日宮城県土木部営繕課・設備室策定）により作成する。 ※ 竣工図原本　１部 ※ 竣工図白焼き製本（A3版見開き）　１部 ※ 完成図面（データ：PDF版、DXF又はDWG版）　１部 ※ 工事に係る承認・協議などの書類一式　１部 ※ その他監督員の指示するもの
	⑮．完成写真	※ 作成する　・ 作成しない 宮城県建築工事写真撮影要領により，完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原版（ネガ又は電子媒体）とともに監督職員に提出する。 なお，原版を電子媒体とする場合は，CD等で提出すること。

分　類	サイズ	撮影箇所数	部　数	提出様式
※カラー ・白黒	※Ｌ ・２Ｌ ・六切り	※宮城県写真 撮影要領の 完成写真程度 ・　箇所　枚	※１部 ・　部	※工事用アルバムA4版 ポケット式程度 ⊙フリーアルバム （台紙寸法323×270程度） ⊙データー式

	⑯．設備工事との取合い	施工範囲　各工事の区分表による。 施 工 図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。
	⑰．火災保険等	工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。 保険の種類　※ 火災保険　※ 建設工事保険 保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで
	18．住宅瑕疵担保責任	住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け ・あり（新築住宅の場合）　・なし（新築住宅以外の場合）
2 仮設工事	①．仮囲い	※ 設ける　・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ・シートゲート（H=　，W=　）×　箇所
	②．危害防止	※ シート張り　・ 金網養生
	③．交通誘導員	⊙ 配置する（ 60日 × 1 人 ＝ 60 人日）　※ 配置しない
	④．監督職員事務所	※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する） ・ 設ける（規模　㎡程度 請負者事務所と同様 ・可 ・否） 備品（　）
	⑤．工事表示板	※ 設置する（設置枚数 １枚）　・ 設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。
	⑥．事業コスト表示板	・ 設置する（設置枚数 ※ １枚 ・ 枚）　※ 設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。
	⑦．工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる（※有償 ・無償）　※ 利用できない
	⑧．工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる（※有償 ・無償）　※ 利用できない
	⑨．工事用通路	※ 指定しない　⊙ 指定する（図示）
	⑩．足場等	(2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
	11．その他の仮設	・
3 土工事	①．埋戻し及び盛土の種別	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(3.2.3)(表3.2.1) Ｃ種の場合　建設発生土受入数量　㎥ 発生場所 ⊙ 現場掘削土を場内に仮置きする。
	②．建設発生土の処理	・ 構外に搬出し適切に処理する。　(3.2.5) ⊙ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地（km）（町内指定場所　距離2km未満） ・ 構内指示の場所に敷きならす。
	３．山　留　め	・ 存置する　・存置しない　(3.3.1)(3.3.3)
4 地業工事	１．既製コンクリート杭・鋼杭事業	杭の種類　(4.3.2)(4.4.2) ・ プレストレストコンクリート杭（JIS表示承認製品） ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 ・

(4.3.2)

	記号	杭径（mm）	長さ(m)及び種別	設計支持力	セット数	備　考
試験杭	⊗					
本　杭	○					

継　手　※　アーク溶接継手又は建築基準法の規定に基づき認定された無溶接継手　(4.3.6)(4.4.5)
・
先端部形状　・閉塞平坦型　・開放型　(4.3.2)(4.4.2)(表4.4.2)(図4.4.1)
杭の施工法
・ 掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ　(4.3.3)(4.4.3)
杭先端予定レベルの上方　mのレベルまで
オーガー径　杭径－５０mm程度
・ セメントミルク工法　(4.3.4)(4.4.3)
・ 特定埋込杭工法　(4.3.5)(4.4.4)
（旧建築基準法第３８条の規定に基づき認定された工法）
杭打機の種類
ハンマーの種別　※ 油圧パイルハンマー　・ ドロップハンマー
パイルドライバー　※ 三点支持式クローラークレーン
騒音・振動の測定　・ 行う　※ 行わない

	２．場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別　・Ａ種　・Ｂ種　(4.5.3)(表4.5.1) 掘削工法　・アースドリル工法　※ 安定液使用　(4.5.4) ・リバース工法 ・オールケーシング工法 孔内の水張り　※ 行う　・ 行わない
	３．地盤改良	工　法（・　）
	④．床下防湿層	(4.6.5) ※ 設ける　地中梁がある場合は、250mmのみ込みとする。 ・ 設けない
	⑤．土間スラブ（土間コン）下断熱材	※ 設ける　Ａ種ポリスチレンフォーム３種b　厚30mm＋砂30mm敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図（図7-01-1）による。 ・ 設けない
	⑥．砂利地業	※ 再生クラッシャラン　・ （　）(4.6.2～3)
5 鉄筋工事	①．鉄筋の種別	(5.2.1)(表5.2.1)

規　格　名　称	種　類　の　記　号	径　(mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※　ＳＤ２９５Ａ	※　Ｄ１６以下
	※　ＳＤ３４５	※　Ｄ１９以上

	２．溶接金網	※ JIS G 3551のJIS表示認証製品　(5.2.2) 線径(mm) 6.0 × 網目(mm) 100 使用箇所（　）
	③．鉄筋の継手	(5.3.4)

接　合　方　法	径(mm)	施　工　箇　所
※　重ね継手	Ｄ１６以下	
※　ガス圧接	Ｄ１９以上	はり　柱の主筋

	４．耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ	(5.3.5)

施　工　箇　所　等	表5.3.5の値に加える寸法(mm)

	⑤．各部配筋	各部の配筋は，図示による。図示がなければ，標準仕様書 末尾資料の「各部配筋　参考図」による。　(5.3.7)
	６．柱の帯筋	※ Ｈ形　・ Ｗ－１形　・ＳＰ形　(参考図 図2.2)
	７．耐震壁を除く壁の開口部補強	・ Ａ形　※ Ｂ形　(参考図 表4.3～4.4)
	⑧．はり貫通孔の補強	補強形式　※Ｈ３形以上　・Ｍ型　・ＭＨ型　(参考図 表7.1～7.3)
	⑨．圧接完了後の抜取試験	試験方法　※ 超音波探傷試験　・ 引張り試験　(5.4.9)
6 コンクリート工事	①．レディーミクスコンクリート	種　別　※ Ⅰ類　・ Ⅱ類　(6.2.1)(表6.2.1) ・コンクリート用骨材の品質試験を実施する。（構造体コンクリートのみ） （アルカリシリカ反応試験（化学法）、密度試験、吸水率試験） ・コンクリート単位水量測定を実施する。
	②．設計基準強度	普通コンクリート（JIS A5308のJIS表示認証製品）　(6.2.2)

Ｆｃ（N/mm2）	適　用　箇　所
・ ２４	
※ ２１	基礎・土間コンクリート
⊙ １８	捨コンクリート

	③．スランプ	基礎，基礎梁，土間スラブ　※ １５cm　・ １８cm (6.2.4)(表6.2.2) 柱，梁，スラブ，壁　※ １８cm
	④．打放し仕上げの種類	(6.2.5)(表6.2.4)

種　別	施　工　箇　所
・ Ａ 種	
※ Ｂ 種	
・ Ｃ 種	

	⑤．セメントの種類	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　(6.3.1)

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事
特記仕様書－１
１０２
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR
SCALE　A1：－　A2：－
DATE
DRAWN BY

6 コンクリート工事

⑥. 型枠 (6.9.3)

せき板の種類	板厚(mm)	適用箇所	備考
※ 合板	※１２・		・宮城県グリーン製品
・ 床型枠用鋼製デッキプレート			
・ 断熱材兼用型枠			

ＭＣＲ工法用シート　※　適用しない　・　適用する

⊙ ひび割れ誘発目地 (6.9.2)
目地寸法　※　図示
位置　※　図示

7．軽量コンクリート (6.11.1)(表6.11.1)

種別	適用箇所	所要気乾単位容積質量（t／m3）

8．寒中コンクリート (6.12.2～4)
適用期間　コンクリート圧縮強度が５Ｎ/ｍｍ２に達するまで行うこと。

9．無筋コンクリート (6.14.1)
適用箇所は(6.14.1)による他、下記による。

適用範囲

10．流動化コンクリート (6.16.1)(6.16.3)

種別	ベースコンクリートのスランプ(cm)	流動化コンクリートのスランプ(cm)	使用箇所
普通コンクリート	・１０・１２・１５	・１８・２１	

7 鉄骨工事

1．鉄骨の製作工場 (7.1.3)
※　指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場
・Ｓ・Ｈ・Ｍ・Ｒ・Ｊ
・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場

2．施工管理技術者 (7.1.3)
※　適用する　・　適用しない

3．鋼材の種別 (7.2.1)(表7.2.1)

材質	規格
・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400	JIS表示認証製品
・SN400B,C ・SN490B,C ・SM400 ・SM490	

4．高力ボルト (7.2.2)
※　トルシア形高力ボルト　セットの種類　※　２種(S10T)　・
・　ＪＩＳ形高力ボルト　セットの種類　※　２種(F10T)　・
・　溶融亜鉛めっき高力ボルト　セットの種類　※１種(F8T相当)　・

5．溶接部の試験 (7.6.11)
完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。

溶接の区分	A0QL(%)	検査水準	備考
工場溶接	・2.5　※4.0	※６・	
現場溶接			

6．錆止め塗装 (7.8.3)(7.8.4)(表18.3.2)(表18.3.3)
※　適用する（標準仕様書18章3節による）
・　適用しない

7．耐火被覆 (7.9.2)(7.9.4～7)

種別	材料及び工法製造所	備考
・ラス張モルタル	標準仕様書15章2節による	
・耐火材吹付け	建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの	※半乾式　・湿式
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

⑧. アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)

種別	適用箇所
・　Ａ　種	
※　Ｂ　種	土間・基礎
・　Ｃ　種	

9．柱底均しモルタル (7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

種別	適用箇所	柱底均しモルタル
※　Ａ　種		※無収縮モルタル
・　Ｂ　種		※無収縮モルタル

10．溶融亜鉛めっき (7.12.3)(14.2.3)

亜鉛めっき	適用箇所
※　Ａ　種	

8 押出成型セメント板工事（コンクリートブロック・ＡＬＣパネル）

1．補強コンクリートブロック造 (8.2.2)
ブロックの種類
※　空洞ブロック　１６　・

2．コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)(表8.3.1)
ブロックの種類
※　空洞ブロック　１６（ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック　０８とすることができる）

3．ＡＬＣパネル (8.4.2)(8.4.3～5)

工法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・Ａ種　・Ｂ種 ・Ｃ種		
・間仕切壁パネル工法				・Ｂ種　・Ｃ種 ・Ｄ種　・Ｅ種		
・屋根及び床パネル工法				※Ｆ種		

4．押出成形セメント板 (8.5.2～4)(表8.5.1)(表8.5.2)

工法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・Ａ種　・Ｂ種		
・間仕切壁パネル工法				・Ｂ種　・Ｃ種		

9 防水工事

1．アスファルト防水・改質アスファルトシート防水 (9.2.2)(9.2.3)(9.3.2)(表9.2.3～8)(表9.3.1)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・Ａ－１		・ＡＩ－１	
・Ｂ－２		・ＢＩ－２	
・Ｄ－１		・ＡＳ－２	
・Ｅ－１	室内(便所・浴室)		
・ＡＳ－１			

アスファルトの種類　JIS K2207のJIS表示認証製品　※　３種

押さえ金物　（※アルミ製Ｌ－30×15×2.0　・　）
・ 断熱材　※　Ａ種押出法ポリスチレンフォーム３種ｂスキン層付き
厚さ(mm)　・25　※30　・50
・ 脱気装置(材質　・　数量・　)
・ 溶接金網（規格　）
適用防水種別（・　）
・ 伸縮調整目地(※成形伸縮目地　・　)
製造所（　）

2．合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)

種別	厚さ(mm)	施工箇所	保護塗料(露出)
・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・		
・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｍ３	※1.2　・		

ルーフィングシートの種類　JIS A6008のJIS表示認証製品
・ 脱気装置　(材質：　数量：　)
・ 絶縁シート　(発泡ポリエチレンシート　)
・ その他の材料（　）

3．塗膜防水 (9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

	種別	施工箇所	保護塗料(露出)
・ウレタン系	・Ｘ－１ ・Ｘ－２	バルコニー ひさし	※カラー　・シルバー ※カラー　・シルバー
・ゴムアスファルト系	・Ｙ－１ ・Ｙ－２	地下外壁 室内（便所・浴室）	

・ 脱気装置（材質：ステンレス製又はアルミ製　・　）
（設置数量：　箇所）

④. シーリング (9.6.2)
※　被着体との組み合わせは（表9.6.1）による。

5．防水保証
アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より１０年間とし施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水については，メーカー・防水業者が通常定めている期間とし，作成し提出する。

10 石工事

1．石材 (10.2.1)(表10.1.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

石材の種類	品質	施工箇所	工法	産地・名称	仕上の種類

2．汚れ防止 (10.1.5)
床のワックスかけ　・　行う　・行わない

11 タイル工事

①. タイル
タイルの種類 (11.2.1)

施工箇所	形状寸法(mm)	き じ 磁器	き じ せっ器	き じ 陶器	うわ薬 無	うわ薬 施釉	役物 なし	役物 あり	色 標準	色 注文
玄関ポーチ	150×150　Ⅰ類	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・

タイルの見本焼き　※　行わない　・　行う

2．タイル下地コンクリート (11.3.3)
後張りタイル下地コンクリート素地面の処理
・ 行う（下記のいずれかとする）　・　行わない

素地表面処理の工法	下地モルタル	適用箇所
ＭＣＲ工法	(15.2.5(C))による	
ＭＣＲ工法	ポリマーセメントモルタル	
目荒し工法（高圧水洗）	(15.2.5(C))による	
目荒し工法（高圧水洗）	ポリマーセメントモルタル	

ＭＣＲ工法はせき板面にＭＣＲ工法用シート張りとし（6.9.3(e)）による。
目荒し工法の高圧水洗は（15.2.4(C)）による。
ポリマーセメントモルタルの調合は（15.2.3(b)）による。

接着力試験の引張接着強度 (11.1.4)(表11.1.2)

適用	引張り接着強度（単位:N/mm²）
陶磁器質タイル張りの場合	0.4以上
陶磁器質タイル型枠先付けの場合	0.6以上

3．陶磁器質タイル張り (11.3.3)(表11.3.2)
内装タイルの工法
※　改良積上げ張り　施工箇所（　）
※　接着剤張り　施工箇所（　）

外装タイルの工法
※　密着張り　施工箇所（　）
・　改良圧着張り　施工箇所（　）

ユニットタイルの後張り工法 (11.3.3)(表11.3.2)
※　マスク張り

12 木工事

①　木材 (12.1.4)(表12.1.1)
表面仕上げの程度　・　Ａ種　※　Ｂ種　・　Ｃ種

含水率　構造材　※　Ａ種　・　Ｂ種 (12.2.1)(表12.2.1)
下地材　※　Ａ種　・　Ｂ種
造作材　※　Ａ種　・　Ｂ種

造作材の材面の品質　※　Ａ種　・　Ｂ種 (12.2.1)(表12.2.2)

代用樹種を使用しない箇所 (12.2.1)(表12.2.3)
※　なし　・　あり（　）

②. 集成材 (12.2.2)
造作用集成材12.2.2.(2)による

等級	見掛かり	その他
	※　１等　・　２等	※　１等　・　２等
単材の樹種		
単材の厚さ(mm)	１０～１５	１０～１５

③. 床張り用合板 (12.2.3)
床下貼り用合板
※　JASの構造用合板　特類　２級　Ｃ－Ｄ
・　（　）

④　接着剤 (12.2.6)
接着剤に含まれる可塑剤は，難揮発性のものとする。

⑤. 木材保存剤 (12.2.8)(12.2.9)
木材保存剤（木材の防腐・防蟻処理）は，非有機リン系のものとする。
防腐・防蟻処理の方法（土台：防腐注入材、柱その他：耐久性区分Ｄ１材）
工場における加圧式とし十分に乾燥を行う。ただし，現場における加工が生じた場合には，加工した箇所に対し，現場にて木材保存剤を塗布する。

13 屋根及びといい工事

①　金属板葺 (13.2.2)(表13.2.1)

材種	規格	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
・カラー亜鉛鉄板（※片面塗装　・両面塗装）	JIS G 3312	※0.4　・	※瓦棒葺（心木なし）	
⊙ガルバリウム鋼板（※フッ素塗装　）	JIS G 3321	※0.4　・	⊙立平葺	AL55%
※カラーガルバリウム鋼板（※カラー　）	JIS G 3322	※0.4　・	・	AL55%
・		・	・	

※監督員の承諾する業者とする。

2．折板葺 (13.3.2)(表13.2.1)
JIS A 6514のJIS表示認証製品

材種	規格	厚さ	山高及びピッチの区分	断熱材	耐火性能
・カラー亜鉛鉄板（屋根用規格品）	JIS G 3312	※0.8	・ 0920 ・ 1525 ・ 1730 ・	・有（　mm） ・無	・有（30分耐火） ・無
・カラーガルバリウム鋼板（屋根用規格品）	JIS G 3322				
・ポリ塩化ビニル被覆（SGのA種規格品）	JIS K 6744				
・					

・形　式（・　重ね形　・　はぜ締め形）
・軒先面戸（　）

3．粘土瓦葺
JIS A 5208の表示認証製品 (13.4.2)

種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	耐凍害性資料
				・提出する ・提出しない

④　といの材質　仕上表による (13.5.2)(13.5.3)(表13.5.1)(表13.5.3)(表13.5.4)

材種	防露
・配管用鋼管（ＳＧＰ）	※　(表13.5.4)により行う　・　行わない
・硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	

鋼管製といの防露巻き工法
※　(表13.5.4)による
・　樋受石（材質・規格　）
※　第一桝まで接続

⑤. ルーフドレン (13.5.3)
※　鋳鉄製
※　縦型　・　横型

14 金属工事

1．あと施工アンカー (14.1.3)
引抜き耐力の確認試験　・　行う　※　行わない

2．ステンレス表面処理 (14.2.1)
※　ＨＬ　・　NO.2B

3．アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)

種類	施工箇所	色合
・　－　種		
・　－　種		

4．鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)

種類	施工箇所
・　種	
・　種	

溶融亜鉛めっきの付着量試験　※　行わない　・　行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験　※　行わない　・　行う

5．軽量鉄骨天井下地 (14.4.2)(表14.4.1)
野縁などの種類
屋内　※　１９型　・　２５型（室名：　）
屋外　・　１９型　※　２５型

耐震性を考慮した補強 (14.4.3)(14.4.4)
※　行わない　・　行う（補強方法と補強箇所は図示による）

耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等）
※　行わない　・　行う（補強方法と補強箇所は図示による）

床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。

6．軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表14.5.1)
スタッド、ランナーなどの種類は、(表14.5.1)による。

7．金属成形板張り (14.6.2)(14.6.3)
種別（　）
表面処理（　）
※　割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。
伸縮調整継手　・　設ける　・　設けない

8．アルミニウム製笠木 (14.7.2)(表14.7.1)
表面処理　※　Ｂ-1種　・　Ｂ-2種
隅角部及び突当り部の役物の使用
※　使用する（笠木本体製作所の仕様による。）

9．手すり及びタラップ (14.8.2)(14.8.3)

材料の種別	表面処理の種別
手すり　・ステンレスSUS304	HL仕上程度
手すり　・鋼製	亜鉛めっきの場合表14.2.2のＣ種
タラップ　ステンレスSUS304	外部HL仕上程度，内部No.2B仕上程度

10．体育館の鋼製床下地材
※　JIS A 6519のJIS表示認証製品

15 左官工事

1．セルフレベリング材
種別　・　石こう系　・　セメント系 (15.4.2)(表15.4.1)
塗厚　※　10mm　・

②. 仕上げ塗材仕上げ (15.5.2)(表15.5.1～2)

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工法	上塗り材
⊙薄付け仕上げ塗材	⊙外装薄塗材　Ｅ ⊙内装薄塗材　Ｅ ・	・砂壁状 ・砂壁状じゅらく・ゆず肌	※吹付け ・ローラー	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材　Ｃ ・内装厚塗材　Ｃ ・外装厚塗材　Ｅ ・	・	※吹付け ・こて	
※複層仕上塗材	・複層塗材　ＣＥ ※複層塗材　Ｅ ・複層塗材　ＲＳ ・複層塗材　ＲＥ ・複層塗材　Ｓｉ ・防水形複層塗材　Ｅ ・防水形複層塗材　ＲＳ ・	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凸凹模様	※吹付け ・ローラー	溶剤 ※水系・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり ・メタリック 樹脂 ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・砂壁状 ・平たん状	・吹付け ・こて塗り	

複layer仕上塗材の耐候性　・　１種　・　２種　※　３種

3．ロックウール吹付け（耐火被覆は，７章による） (15.7.3)
吹付け厚さ（mm）　※　１０　・

16 建具工事

1．一般事項 (16.1.3)
防火戸の指定
・ 適用する（適用範囲は図示及び建具表による）
※ 建築基準法第２条第九号のニロの規定に定められたもの
※ 認定を受けたもの（監督員の承認を受ける。）
※ 適用しない

防火戸との連動 (16.1.3)
・ 適用する(適用箇所は建具表及び図示による)
・ 自動閉鎖機構　・ ヒューズ装置　・ 熱感知器　・ 煙感知器
※ 適用しない

見本の作成等 (16.1.4)
製作　※ 行わない　・ 行う（建具表による）
仮組　※ 行わない　・ 行う（建具表による）

防犯建物部品　※ 使用しない　・ 使用する（建具表による） (16.1.6)

②. アルミニウム製建具
外部に面する建具性能等級 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)(表14.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
⊙　Ａ　種	Ｓ－２	Ａ－３	Ｗ－３	７０（引違い，片引き，上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時で性能が確保できない場合は，１００）
・　Ｂ　種	Ｓ－５			
・　Ｃ　種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００

※　適用箇所は図示による

表面処理	外部に面する建具	※　Ｂ－１種　・　Ｂ－２種
	内部建具	※　Ｃ－１種　・　Ｃ－２種

Ｂ－２種，Ｃ－２種の場合　・ブロンズカラー（※標準色　・濃色）
・ステンカラー

防音ドアセット，防音サッシ　・　適用する（適用範囲は図示による）
※　適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・　Ｔ－１　・　Ｔ－２　・　Ｔ－３

断熱ドアセット，断熱サッシ　・　適用する（適用範囲は図示による）
※　適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・　Ｈ－２　・　Ｈ－３

耐震ドアセット，耐震サッシ　・　適用する（適用範囲は図示による）
※　適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級　・　Ｄ－１　・　Ｄ－２

③. 網戸 (16.2.3)
使用方法による区分　※外面納まりの可動式　⊙内部納まりの開き式

⊙防虫網（線径0.25mm　網目16-18メッシュ）
⊙ガラス繊維入り合成樹脂　・ステンレス(SUS 316)　※合成樹脂
・防鳥網
※ステンレス（SUS304）線径1.5mm　ピッチ15mm

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

特記仕様書－２

１０３

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR
SCALE　A1：－　A2：－
DATE
DRAWN BY

16 建具工事

4. 鋼製建具

簡易気密型ドアセット (16.3.2)(16.3.4)(表16.3.1)(表16.3.2)
※ 使用する（適用箇所は図示とする）
気密性 ※ Ａ－３ ・
水密性 ※ Ｗ－１ ・
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性 ※ Ｓ－４ ・ Ｓ－５

建具寸法が(16.3.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ (mm)
窓	枠類	枠，方立，無目	(表16.3.2)に同じ
出入口	枠類	一般部分	2.3
	戸	中骨	2.3
上記以外			(表16.3.2)に同じ

標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない (16.3.6)

5. 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット (16.4.2～4)(表16.4.1)
※ 使用する(適用箇所は図示による)
気密性 ※ Ａ－３ ・
・ 使用しない

戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板

標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない (16.4.6)

標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製

6. ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット (16.5.2～5)
※ 使用する（適用箇所は図示とする）
気密性 ※ Ａ－３ ・
水密性 ※ Ｗ－１ ・
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性 ※ Ｓ－４ ・ Ｓ－５

表面処理 ・ ＨＬ ・
鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ

⑦. 木製建具

(16.6.2～4)
建具材の加工、組立時の含水率 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種
かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桟，鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度
ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型

⑧. 建具用金物

(16.7.2)(表16.7.1)

金物の種類	型式	製造所
モノロック		
本締り付きモノロック		
シリンダー箱錠		
シリンダー本締り錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	内蔵型	
ピボットヒンジ		JIS表示認証製品
レバーハンドル	アルミ合金 レバー長さ L=130程度	錠前類と同一製造所とする。

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。

マスターキーの作成 ⊙ 要 ・ 不要 (16.7.4)
・ 不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

9. 自動ドア開閉装置

性能 ・ スライディングドア (16.8.2)(表16.8.1～2)
・ スイングドア

センサーの種類 ・ 光線式（反射）スイッチ (16.8.3)(表16.8.3)
・ マットスイッチ式
・ タッチスイッチ
※ 補助センサー併用
・

凍結防止装置 ・ 要 ※ 不要
全半開装置 ※ 設ける（半開幅＝ ）
・ 設けない

10. 重量シャッター

(16.10.2)(表16.10.1)

種類	シャッターケース	耐風圧性能	開閉方式	保護装置
・ 一般シャッター	※ 設ける ・ 設けない	・ 50 ・ 80 ・ 120 ・	※ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない
・ 防火シャッター ・ 外部用 ・ 内部用	※ 設ける ・	(JIS A 4705による強さの区分)	※ 上部電動式(手動併用)	障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける。
・ 防煙シャッター				

11. 軽量シャッター

(16.11.2～4)(表16.11.1)

開閉形式	シャッターケース	耐風圧性能	スラットの形状	保護装置
※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用)	※ 設ける ・ 設けない	・ 50 ・ 65 ・ 80 ・ (JIS A 4705による強さの区分)	※ インターロッキング型 ※ オーバーラッピング型	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない

12. オーバーヘッドドア

(16.12.2)(16.12.3)

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形	・ ５０ ・ ７５ ・１００ ・１２５ (JIS A4715による強さの区分)	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置 ※ 設ける ・ 設けない

13. ガラス

(16.13.2)(16.13.3)(表16.13.1)
※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。
※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。

合わせガラスの特性
・ Ｉ類 ・ Ⅱ－１類 ・ Ⅱ－２類 ・ Ⅲ類

強化ガラスの特性
・ Ｉ類 ・ Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
性能 ・ １類 ・ ２類
色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブラウン

複層ガラス
性能 ・ １種 ・ ２種
・ ３種 (・ Ｕ３－１ ・Ｕ３－２)
・ ４種
封止の加速耐久性による区分
・ Ｉ類 ・ Ⅱ類 ・ Ⅲ類

熱線反射ガラス
日射遮へい性 ・ １種 ・ ２種 ・ ３種
耐久性 ・ Ａ類 ・ Ｂ類
色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ
・ シルバー
反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側
映像調整 ・ 行う ・ 行わない

※ 飛散防止フィルム施工箇所は建具表による。

ガラスの留め材
※ シーリング ・ ガスケット（可動アルミ建具に限る）
防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。
ガラスの溝幅については、(表16.13.1)による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。

複層ガラスの保証期間は引き渡し日から１０年間とし、メーカー保証書を提出する。

14. ガラスブロック（中空）

(16.13.5)

表面形状(JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ）		厚さによる区分
正方形	・ １２５×１２５	・ １６０×１６０	・ ８０
	・ ２００×２００	・ ３２０×３２０	・ ９５
長方形	・ ２５０×１２５	・ ３２０×１６０	・ １２５

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・ 一般ガラス ・ 乳白ガラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス	・ 無 ・ 有	・ 白 ・ グレー	・ アルミニウム製(表面処理) ・ ステンレス製(表面仕上)	・ 規定しない ・ 有(　分間)

17 カーテンウォール工事

1. カーテンウォールの性能

(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

カーテンウォール種別	メタルカーテンウォール	ＰＣカーテンウォール
材種		
耐風圧性		
耐震性		
水密性		
気密性		
耐火性		
耐温度差性		
遮音性		
断熱性		
材質等性能の確認方法		
シーリング材		
構造ガスケット		
ガラス		
断熱材料		
枠見込み		
表面仕上げ		

18 塗装工事

①. 一般事項

屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。 (18.1.3)

②. 素地ごしらえ

各部の素地ごしらえ (18.2.2～7)

木部	※Ａ種（不透明塗料塗）	※Ｂ種（透明塗料塗）
鉄鋼面	・Ａ種 ・Ｂ種	※Ｃ種
亜鉛めっき鋼面	・Ａ種	※Ｂ種 ・Ｃ種
モルタル・プラスター面	・Ａ種	※Ｂ種
コンクリート・ALC面	※Ａ種	・Ｂ種
ボード面	※Ａ種（継目処理工法）	※Ｂ種（その他）

③. 錆止め塗料塗り

塗料の種別 (18.3.2)

鉄鋼面	※Ａ種	※Ｂ種（標準仕様書8節の場合）
亜鉛めっき鋼面	※Ａ種 ・Ｂ種	※Ｃ種(標準仕様書8節の場合)

錆止め塗料塗り (18.3.3)

鉄鋼面	※Ａ種（見え掛り）	※Ｂ種（見え隠れ）
亜鉛めっき鋼面	※Ａ種（鋼製建具等） ・Ｂ種	※Ｃ種(その他)

④. 合成調合樹脂ペイント塗り（ＳＯＰ）

塗料の種別 ※１種 ・２種 (18.4.2)
合成樹脂調合ペイント塗り (18.4.3～5)

鉄鋼面	・Ａ種	※Ｂ種
木部	※Ａ種（屋外）	※Ｂ種（屋内）

⑤. クリアラッカー塗り（ＣＬ）

木部のクリアラッカー塗り ・Ａ種 ※Ｂ種 (18.5.2)

6. アクリル樹脂非分散系塗料塗り(屋内)（ＮＡＤ）

アクリル樹脂非分散系塗料塗り (18.6.2)
コンクリート・モルタル面 ・Ａ種 ※Ｂ種

7. 耐候性塗料塗り(屋外)（ＤＰ）

上塗りの等級 (18.7.2～3)(表18.7.1～2)

鉄鋼面	※１級	・２級	・３級
亜鉛めっき鋼面	※１級	・２級	・３級

コンクリート面及び押出成形セメント板面の種別 (18.7.4)(表18.7.3)
・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種

⑧. つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）

つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (18.8.2～4)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
⊙Ａ種 ※Ｂ種
木部（屋内）（多孔質広葉樹を除く）
鉄鋼面（屋内） ・Ａ種 ※Ｂ種

⑨. 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）

合成樹脂エマルションペイント塗り (18.9.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・Ａ種 ※Ｂ種

10. 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(屋内)（ＥＰ－Ｔ）

合成樹脂エマルション模様塗料塗り (18.10.2)
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面
・Ａ種 ※Ｂ種

11. ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）

木部のウレタン樹脂ワニス塗り (18.11.2)
・Ａ種 ※Ｂ種

⑫. 木材保護塗料塗り（ＷＰ）

木材保護塗料塗り ・Ａ種 ※Ｂ種 (18.13.2)

13. マスチック塗材塗り

マスチック塗材塗り (18.14.2)
コンクリート・押出成形セメント板・モルタル・ＡＬＣパネル
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種

⑭. 防塵塗料

エポキシ系防塵塗料 厚0.3mm

19 内装工事

①. ビニル床シート

JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3)

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※ＦＳ ・ＴＳ	※無地 ・マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け
・ 発泡層のあるもの	・ＨＳ ・ＫＳ	・	・	・	・

⊙ 超防汚性長尺塩ビシート 2.0mm

②. 化粧ビニル床シート

JIS A5705のJIS表示認証製品で，表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
ＦＳ	※ 木目調	※ 2.0	・帯電防止	※熱溶接
	・ 石目調	・ 2.5	・帯動荷重	・突付け

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

3. ビニル床タイル

JIS A5705のJIS表示認証製品 (19.2.2)(19.2.3)

種類	記号	寸法	暑さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	※ＫＴ	※300×300	※ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・ＦＴ	・300×300 ・450×450	・ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重

4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能

帯電防止
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）1.2～3.1程度
又は耐電圧（JIS L 1023)3kv以下
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2～5.1程度
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×1010オーム未満
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×107オーム未満

耐動荷重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。

5. 視覚障害者用床タイル

(19.2.2)

材質		寸法(mm)
・ 塩化ビニル系	・ せっ器質タイル系	３００×３００

⑥. ビニル幅木

材種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接 (19.2.2)
高さ(mm) ・ ６０ ※ ７５ ・ １００
厚さ(mm) ・ １．５ ※ ２．０

7. カーペット敷き

・ タフテッドカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質	帯電性
			※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法		・(19.3.3)による

品質は参考商品名である

・ タイルカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	種類	パイル形状	寸法	総厚さ	帯電性
	※第１種 ・第２種	※ループパイル ・カットパイル	※500×500 ・	※ 6.5 ・	製造所の仕様による

8. フローリング張り

・単層フローリング (19.5.2～3)(19.5.5～7)(表19.5.3～4)

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
・ フローリングボード	※ナラ ・	※１５ 幅 ７５ ・ 長さ500以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・ フローリングブロック	※ナラ ・	※１５ 303×303 ・	・モルタル埋込み工法 ・接着工法	
・ モザイクパーケット	※ナラ ・	・６ ・８ ・９ ・	・接着工法	
・	・	・		

・複層フローリング

種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
※ 複合１種フローリング ・ 複合２種フローリング ・ 複合３種フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	・行う ※行わない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・ 大型積層フローリング	・ナラ ・サクラ ・	・	・行う ・行わない	・特殊張り工法(体育館床)	

⑨. 畳敷き

畳の種別 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 (19.6.2)(表19.6.1)
※ Ｃ種 ・ Ｄ種（ ）

⑩. 石こうボードその他ボード及び合板張り

(19.7.2～3)(表19.7.1)(表19.7.5)

種類又は記号	種別など	厚さ(mm)		規格番号
けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板)0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁	・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430(タイプ2)
		天井	⊙ 6(不燃) ⊙ 12(不燃)	
グラスウール吸音ボード(吸音材料) ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品		25(不燃)	JIS A 6301(32K)
ロックウール化粧吸音板(吸音材料) ＤＲ	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	
せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｒ		壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901
		天井	⊙ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	
シージングせっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｓ		壁	◯12.5(準不燃)	JIS A 6901
		天井	⊙ 9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)	
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 色 ※白 ・黄		9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｄ	木目模様	壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
	木目模様(裏桟付き) 特殊模様	天井	⊙ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	

せっこうボードの目地処理 ⊙ 継目処理工法 ・ 突き付けＶ目地工法
・ 突き付け工法 ・ 目透し工法

11. 遮音シール材

・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド (19.7.2)

12. 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	品質	防火種別
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他

品質は参考商品名である。

⑬. 断熱材

断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19.9.2)(19.9.3)

種類	箇所	厚さ(mm)	備考
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・Ａ種ビーズ法 ※Ａ種押出法 ２種ｂ	・ 25 ・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
※ 押出法ポリスチレンフォーム保温材（Ａ種）	・２種ｂ ⊙3種ｂ(スキン層あり)	下記以外 接地部分及び屋根防水部分ピット内部	※ 25 ⊙ 30	
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※Ａ種 ・	・	・	
・ フェノールフォーム保温材	※Ａ種 ・	・	・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
⊙ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※Ａ種１ ・	・土間上	※ 20 ⊙ 30	JIS A 9526による難燃性 ・２級 ※３級
・	・	・	・	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種類		箇所	厚さ(mm)	備考
・ ＪＩＳＡ発泡プラスチック保温材	・Ａ種ビーズ法		※ 25	JIS表示認証製品
	※Ａ種押出法 ２種ｂ	下記以外		
	※Ａ種押出法 ３種ｂ(スキン層あり)	接地部分及び屋根防水部分ピット内部		
⊙ 高性能グラスウール保温材	※24Ｋ品 ⊙16Ｋ品		※ 100 ・	JIS表示認証製品

※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り (重ね100)

凡例

D 平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

104 特記仕様書－３

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号 １５６９８７ 一級建築士 松本純一郎

NUMBAR
SCALE A1：－ A2：－
DATE
DRAWN BY

20 ユニット及びその他の工事

①. フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工場所	工法	仕上り高(㎜)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（独立支柱工法）				

ボーダー部　※　一般部分の仕様に準ずる　・　図示による
床表面仕上げ材の品質は標準仕様書6章による。
配線取出し用切り欠きパネルは１枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み）パネル　※　なし
・　有り（※固定式　・可変式）
施工箇所は図示

2．可動間仕切（パーテーション）

(20.2.3)

構造形式による種類	スタッド式密閉形
構成材の種類	アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材	焼付塗装鋼板（標準色）ｔ＝０.５以上
遮音性	３６dB以上
防火性能	不燃

3．移動間仕切（スライディングドア）

(20.2.4)

パネルの操作方法による種類	規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ	製造所仕様の化粧鋼板（標準色）ｔ＝０.５以上
パネル圧接装置の操作方法	ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性	３６dB以上
防火性能	不燃
取り付け用あと施工アンカー	材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

④. トイレブース

(20.2.5)

表面材	メラミン化粧板（標準色）
幅　木	ステンレス製 H＝６０
フレーム	アルミ製
扉	厚４０中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

5．階段滑り止め（ノンスリップ）

(20.2.6)

材　種	ステンレス（SUS304） ビニールタイヤ入り（幅約35㎜）
取り付け方法	※　接着工法　・　埋込み工法

6．床目地棒

(20.2.7)

ステンレスＦＢ（SUS304）　t５～６×Ｈ１２
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7．黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

形式　・　平面　・　曲面

⑧. 鏡

(20.2.9)

耐湿鏡　ｔ＝５　ステンレスフレーム付き

⑨. 表　示

(20.2.10)

・衝突防止表示 ステンレス製　ＨＬ仕上げ　Φ３０程度　市販品
⊙誘導標識　市販品
⊙室名札

10. 煙突ライニング材

(20.2.11)

煙突用成形ライニング材　安全使用温度　４００℃

11. ブラインド

(20.2.12)

形　式	※　横型ブラインド	・　縦型ブラインド
スラット	※　アルミニウム合金	※　クロススラット
開閉方式	※　ギヤー式・コード式	※　２本操作コード方式
スラットの成形（㎜）	※　２５　・	・　８０　・　１００

12. ロールスクリーン

(20.2.13)

操作方式　・　スプリング式　※　チェーン式　・電動式
スクリーンの生地　無地で製造所仕様の標準タイプ

13. カーテン

(20.2.14)(表20.2.1)

名称・品質など	ひ　だ　の　種　類	形　式	引分け装置
	※箱ひだ、つまひだ ・	・片引き ・引分け	※手引　・ひも引 ・電動
	※箱ひだ、つまひだ ・	・片引き ・引分け	※手引　・ひも引 ・電動

⑭. カーテンレール

(20.2.14)

材　質　※　ステンレス製　⊙　アルミニウム製（ﾀﾞﾌﾞﾙ重量用＋軽量用）
形　状　※　Ｄ型又は角型　・　Ｃ型

⑮. カーテンボックス

表面処理 ※　Ｂ－１種　・　Ｂ－２種　⊙　木製

⑯. 点　検　口

施工箇所	材　種	寸　法	形　式
天　井	※　アルミニウム製 ・	※　４５０×４５０ ・　６００×６００	※　目地タイプ ・　額縁タイプ
床	※　アルミニウム製 ・	・　４５０×４５０ ※　６００×６００	※　一般形貼物用 ・　一般形充填用

17. くつふきマット

材　種	受　わ　く
※　塩化ビニール製又は塩化ゴム製 ・　硬質アルミニウム合金製 ・　ステンレス製（SUS 304）	※　ステンレス製（SUS 304） ・　硬質アルミニウム合金製

⑱. ステンレス流し台

※　ＢＬ商品（システム　※　Ａ－１型　）トラップ付
・

⑲. コンロ台

※　ＢＬ商品（システム　※　Ａ－１型　）バックガード（※有　・無）
・　　・

⑳. つり戸棚

※　ＢＬ商品（システム　※　Ａ－１型　）
・　　・

21. 水切棚

※　１段　・　２段　・

22. 旗竿受金物

※　ステンレス製（SUS 304）既製品　彫り込みタイプ既製品

23. 旗　竿

形　式　※　テーパー式　・　同一断面式　Ｈ＝
材　種　※　アルミニウム合金　・　ｍ
操作方式　※　ハンドル式　・　ロープ式

24. 屋内掲示板

※　既製品　アルミニウム製枠　表面発泡シート張り

25. 視覚障害者用誘導ブロック

屋　外　※　コンクリート製　⊙　磁器質タイル
（※　１００角　・　１５０角）

26. 出隅面取材

材　種　※　アルミニウム合金製　⊙　木製
高　さ　※　天井まで　・　１.８m程度

27. かぎ箱

市販品　フック数（本）　・　３０　・　４０
・　６０　・　１００　・

28. 身障者用可動手すり

可動手摺、Ｌ型手摺、小便器用補助手摺、木製手摺

29. 消火器ボックス

鋼製　既製品

30. ピクチャーレール

アルミ製　既製品：ﾜｲﾔｰ，ﾌｯｸ等の吊り金物(4ｾｯﾄ／m）共

31. 館銘板等

図示

21 排水工事

①. グレーチング

※　鋼製　・　ステンレス製　(21.2.2)

2．鋳鉄製マンホールふた

簡易密閉式とし，表面には用途別の標準文字付きとする。　(21.2.2)

③. Ｕ型側溝

※　コンクリート製　U-300A（U-250A）　コンクリート蓋共

22 舗装工事

①. 再　生　材

※　使用する　・　使用しない　(22.1.3)

②. 盛土材料

路床の盛土材料　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(22.2.3)

③. 遮断層及び凍上抑制層用材料

遮　断　層　※　川砂・海砂又は良質な山砂　(22.2.2)(22.2.3)
凍上抑制層　※　再生クラッシャラン　・　切込砂利又は切込砕石

④. 路床安定処理

路床安定処理添加材料　(22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)
※　普通ポルトランドセメント　・　高炉セメントＢ種
・　フライアッシュセメントＢ種
・　生石灰（・特号　・１号）　・　消石灰(・特号　・１号)

⑤. 路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験

※　行わない　・　行う（※　乱した土　・　乱さない土）　(22.2.5)

⑥. 路床締固め度の試験

㊟　行わない　・　行う　(22.2.5)

⑦. 砂の粒度試験

㊟　行わない　・　行う　(22.2.5)

⑧. 路盤材料

※　再生クラッシャラン　ＲＣ－４０　(22.3.3)(表22.3.3)
（透水性舗装の場合を除く）
・　クラッシャラン　Ｃ－４０
・　クラッシャランスラグ　ＣＳ－４０

⑨. 路盤の締固め度の試験

※　行わない　・　行う　(22.3.5)

10. アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類　(22.4.4)(表22.4.6)

表　層	※　再生密粒度アスファルト混合物（１３） ・　密粒度アスファルト混合物（１３） ・　細粒度アスファルト混合物（１３） ・
基　層	※　再生粗粒度アスファルト混合物（２０） ・　粗粒度アスファルト混合物（２０） ・

アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う　(22.4.6)

11. コンクリート舗装

早強セメント　・　使用する　※　使用しない　(22.5.3)
溶接金網　※　あり　・　なし
コンクリート版の厚さの試験　・　行う　※　行わない　(22.5.6)

12. カラー舗装

(22.6.2)

種　類		部　位	厚　さ
加熱系	※　アスファルト混合物	・　車道部　・　歩道部	・　３０
	・　石油樹脂系混合物	・　車道部　・　歩道部	・　５０
常温系	・　樹脂系混合物	・　車道部　・　歩道部	・
	・　ニート工法	・　車道部　・　歩道部	・
	・　塗布工法	・　車道部　・　歩道部	・

着色骨材・自然石（　）　(22.6.3)

13. ブロック系舗装

・　コンクリート平板舗装　※　砂目地　(22.9.2)(表22.9.1)
・　モルタル目地
・　インターロッキングブロック舗装
・　舗石舗装　基　層　※　コンクリート舗装　・　アスファルト舗装

⑭. 縁石及び側溝

地業の材料　・再生クラッシャラン　・　(22.10.2)

⑮. 砂利敷き

・　Ａ種　※　Ｂ種　・　(22.11.2)

⑯. 区　画　線

※　ＪＩＳＫ５６６５　３種１号
・

23 植栽工事

①. 植栽地の試験

透水性及び土壌硬度の確認　※　行う　・　行わない　(23.1.3)
塩分量及び土壌の酸度の試験　・　行う　※　行わない

②. 植栽基盤

・　適用する　※　適用しない　(23.2.2)(表23.2.2)

種　別	樹　種　等	植栽基盤の適用
・　Ａ種	樹木	・　適用する　※　適用しない
・　Ｂ種	芝，地被類木	※　適用する　・　適用しない
・　Ｃ種		
・　Ｄ種		

③. 植込み用土

※　現場発生の良質土　⊙　客土　(23.2.3)

④. 土壌改良材

※　適用する　・　適用しない　(23.2.3)
土壌改良材は，植栽を行う植込等の面積１㎡当たり，バーク堆肥の場合は５０リットル，発酵下水汚泥コンポストの場合は１０リットルとする。

⑤. 芝

種　別　※　こうらい芝の類　⊙　野芝の類　(23.4.2)

6．屋上緑化

(23.5.2)(23.5.3)

工　法	土壌層厚さ	保水・排水層
・　屋上緑化システム	・　６ｃｍ ・　１２ｃｍ ・　３０ｃｍ	・　適用する 材質（・　軽量骨材 ・　板状成形品） ・　適用しない
・　屋上緑化軽量システム	※　システム製作所の使用による	

24 総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）測定仕様書

1．一般事項

試料採取および測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」（以下「厚労省の測定方法」という。）の新築住宅の例に準拠して行う。

2．測定対象化学物質

測定対象化学物質は，下記４ 1)，2)の区分に従い，表の①から⑭の１４物質及びＴＶＯＣ又は表の①から⑨の９物質及びＴＶＯＣとする。

3．測定方法

1） クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をＴＶＯＣ濃度とする。
2） トルエン換算で 2.0μg/m３ 未満のピークは測定の対象としない。
3） 上位１０ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表　測定対象化学物質及び室内濃度指針値

化学物質名	室内濃度指針値			
①ホルムアルデヒド	100	μg/m３	0.08	ppm
②トルエン	260	μg/m３	0.07	ppm
③キシレン	870	μg/m３	0.20	ppm
④エチルベンゼン	3,800	μg/m３	0.88	ppm
⑤スチレン	220	μg/m３	0.05	ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240	μg/m３	0.04	ppm
⑦テトラデカン	330	μg/m３	0.04	ppm
⑧アセトアルデヒド	48	μg/m３	0.03	ppm
⑨ノナナール	(暫定)41	μg/m３	0.007	ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	220	μg/m３	0.02	ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120	μg/m３	0.0076	ppm
⑫クロルピリホス	1	μg/m３	0.00007	ppm
⑬ダイアジノン	0.29	μg/m３	0.00002	ppm
⑭フェノブカルブ	33	μg/m３	0.0038	ppm
⑮総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）	400	μg/m３	（暫定目標値）	

4．測定する室

1） １４物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室等
・　室名：

2） ９物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室
・　室名：

・　屋外（周囲の建物から離れた場所１か所）

5．測定結果等報告書の提出

次の事項を記載した報告書を２部提出する。
1） 測定結果（アセトアルデヒドについては，試料採取時の気温が20℃に満たない場合には，「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃，湿度50%に，ホルムアルデヒドについては25℃，湿度50%に補正した濃度を報告すること。）
2） 試料採取時の状況（気温・湿度(屋外，室内)，天候、風の状況、日射進入状況，採取年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成から試料採取までの日数）
3） 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器
4） ＴＶＯＣ濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

6．その他

表の化学物質①から⑥のうち，いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は，工事目的物の引渡ししない。

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事
特記仕様書－４
１０５
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR
SCALE　A1：－　A2：－
DATE
DRAWN BY

各工事の区分表

工　事　項　目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構		備　考
構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ	○	○	○	○	○			各工事に必要なｽﾘｰﾌﾞは各々の工事とする（予備は建築工事）
同上貫通の開口補強	○							
同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修	○	○	○	○	○			
天井付各種設備器具の穴開け，取付枠及び補強・補修	※	○	○	○				※下地補強のみ建築
台所用ｼﾝｼﾞﾌｰﾄﾞﾌｧﾝ及び浴室天井扇及び取付調整			○					ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ除く
同上ダクト接続				○				
同上電源用配管，配線及び接続		○						
キッチンキャビネット及び据付工事	○							
同上への配管接続			○					
吊戸棚，水切棚及び取付（バックガード共）	○							
同上への照明用電源配線及び接続		○						
洗面台及び据付			○					
洗面台カウンター表面板仕上げ（製作物のみ）	○							
同上配管接続			○					
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続		○						
設備機器用スリーブ，給気用スリーブ及び取付			○	○				
ダクト用ベントキャップ及び取付				○				
床，壁，天井点検口（下地補強共）	○							設備盤用扉は各設備工事
換気扇及び取付枠への取付，配線		※		○				※配線は電気
換気扇取付枠及び躯体への取付				○				
非常用照明及び誘導灯		○						
消火器			○					
同上表示及び収納箱	○							
各種配管，ダクトの雨掛り躯体貫通部のｼｰﾘﾝｸﾞ打ち		○	○	○				
資材搬入口の仮設並びに復旧工事	○							
機器類取付後の出入口廻り（壁・床・枠等）仕上工事	○							
竪樋・ドレン・受け樋	○							
竪樋から第一桝までの接続	○							
同上第一桝以降の排水設備（桝・側溝等）			○			○		
マンホール，ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ	※1	○	○					※1タラップは建築工事（躯体に設置する場合）
ＴＶアンテナ，アンカーボルト取付工事		○						
便所の目皿・手摺り	○							便器一体の手摺り除く
便所のペーパーホルダー			○					
屋外駐車場，歩道工事						○		
雨水排水側溝設置工事						○		
同上排水管接続			○					

工　事　項　目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構		備　考

計画地：宮城県宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字立花１８－１の一部

付近見取図　　S=1/5000

■　敷地概要	
１．計　　画　　地	【地名地番】 宮城県宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字立花１８－１の一部
２．敷　地　面　積	８６２．５６　㎡
３．都　市　計　画	都市計画区域内、市街化調整区域
４．用　途　地　域	指定なし
５．防　火　指　定	防火指定なし、法２２条地域
６．高　度　地　区	なし
７．法定建ぺい率	７０％
８．法定容積率	２００％
９．地　区　計　画	なし
10．前　面　道　路	法第４２条第１項第２号道路指定予定
11．そ　　の　　他	特別名勝松島　第２種保護地区（２Ａ地区）

■　建築概要	
１．主　要　用　途	０８９９０　その他　集会所
２．規　　模	木造　平家建
	延床面積：288.46㎡
	建築面積：299.91㎡

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

１０７　付近見取図・敷地概要

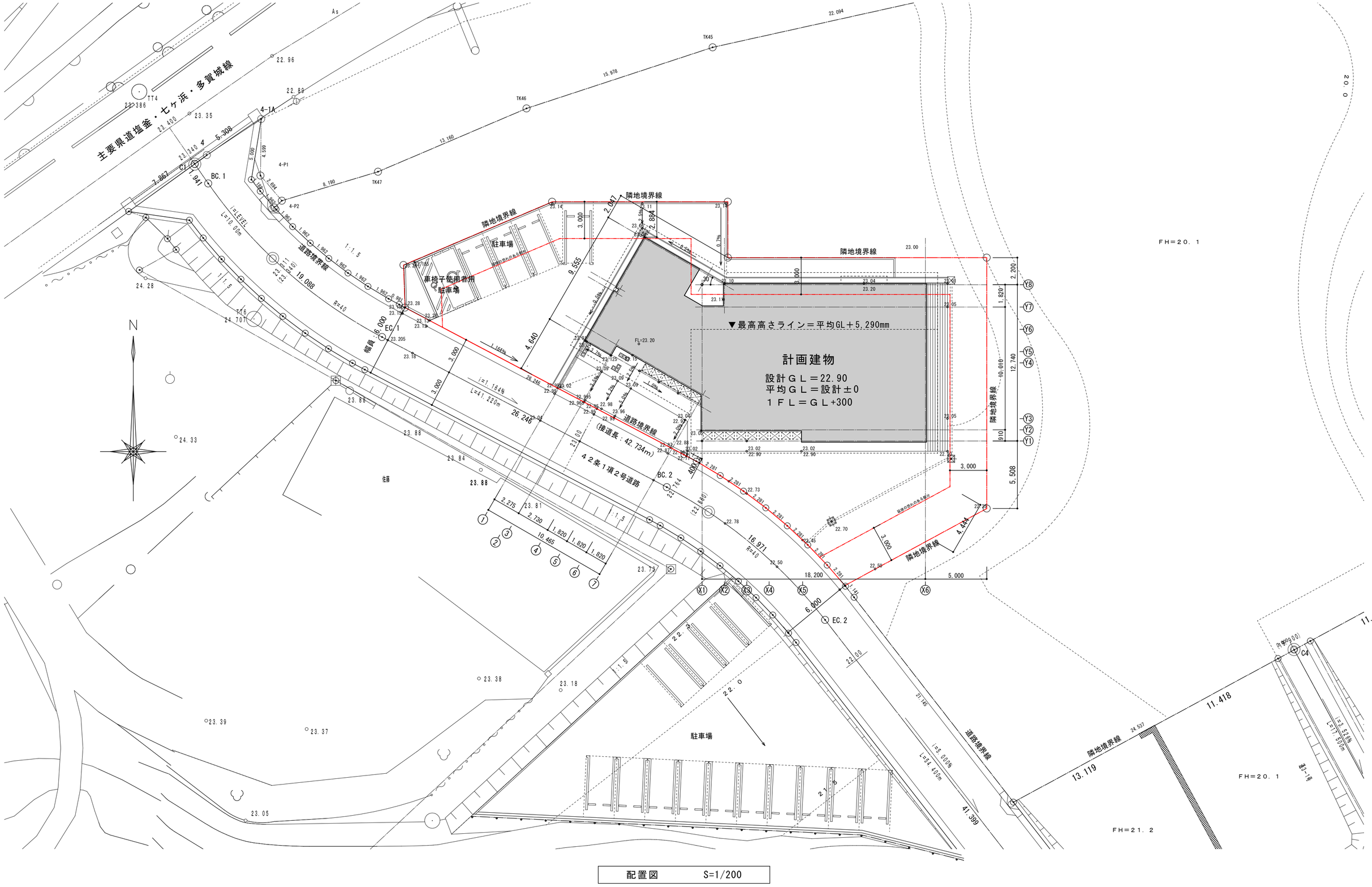
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR

SCALE　A2：1/5000　A3：－

DATE

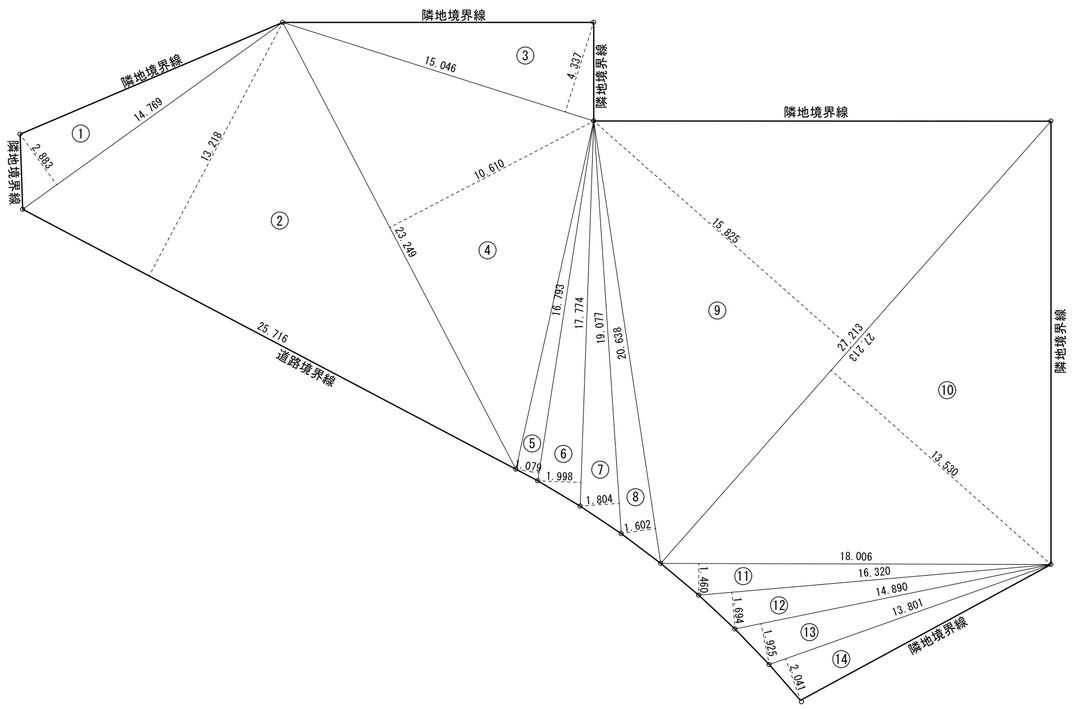
DRAWN BY



配置図　　S=1/200

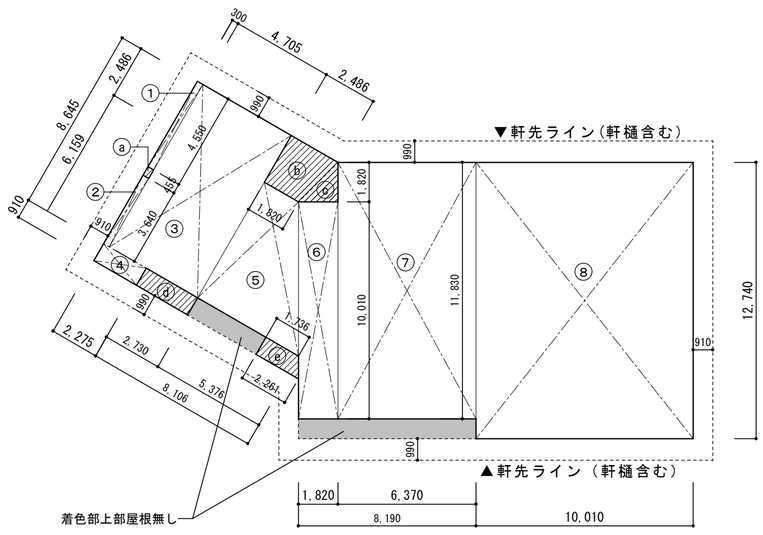
凡例	D	平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事	NUMBAR
	108	配置図	SCALE A2：1/200 A3：—
		株式会社 松本純一郎設計事務所 登録番号　156987　一級建築士　松本純一郎	DATE DRAWN BY

□　敷地求積図・算定表



番号	計算式		面積(㎡)
①	14.769 × 2.883		42.5790
②	25.716 × 13.218		339.9140
③	15.046 × 4.337		65.2545
④	23.249 × 10.610		246.6718
⑤	16.793 × 1.079		18.1196
⑥	17.774 × 1.998		35.5124
⑦	19.077 × 1.804		34.4149
⑧	20.638 × 1.602		33.0621
⑨	27.213 × 15.825		430.6457
⑩	27.213 × 13.530		368.1918
⑪	18.006 × 1.460		26.2887
⑫	16.320 × 1.694		27.6460
⑬	14.890 × 1.925		28.6632
⑭	13.801 × 2.041		28.1678
合計		倍面積	1,725.1315
		1/2面積	862.5657
敷地面積			862.56 ㎡

□　建物求積図・算定表



番号	計算式		面積(㎡)
①	0.300 × 4.550		1.3650
②	0.300 × 3.640		1.0920
③	4.705 × 8.645		40.6747
④	2.275 × 0.910		2.0702
⑤	(1.820+5.376) × 6.159 × 1/2		22.1600
⑥	1.820 × 10.010		18.2182
⑦	6.370 × 11.830		75.3571
⑧	10.010 × 12.740		127.5274
ⓐ	0.300 × 0.455		0.1365
ⓑ	(2.486+1.820) × 2.486 × 1/2		5.3523
ⓒ	1.820 × 1.820 × 1/2		1.6562
ⓓ	2.730 × 0.910		2.4843
ⓔ	(1.736+2.261) × 0.910 × 1/2		1.8186

□　面積表

敷地面積		862.56 ㎡
延床面積	① ～ ⑧ ＝ 288.4646	288.46 ㎡
建築面積	① ～ ⑧ + ⓐ ～ ⓔ ＝ 299.9125	299.91 ㎡
容積率	288.46/862.56＝0.334423	33.44 %
建蔽率	299.91/862.56＝0.347697	34.77 %

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

１０９　求積図・面積表－１

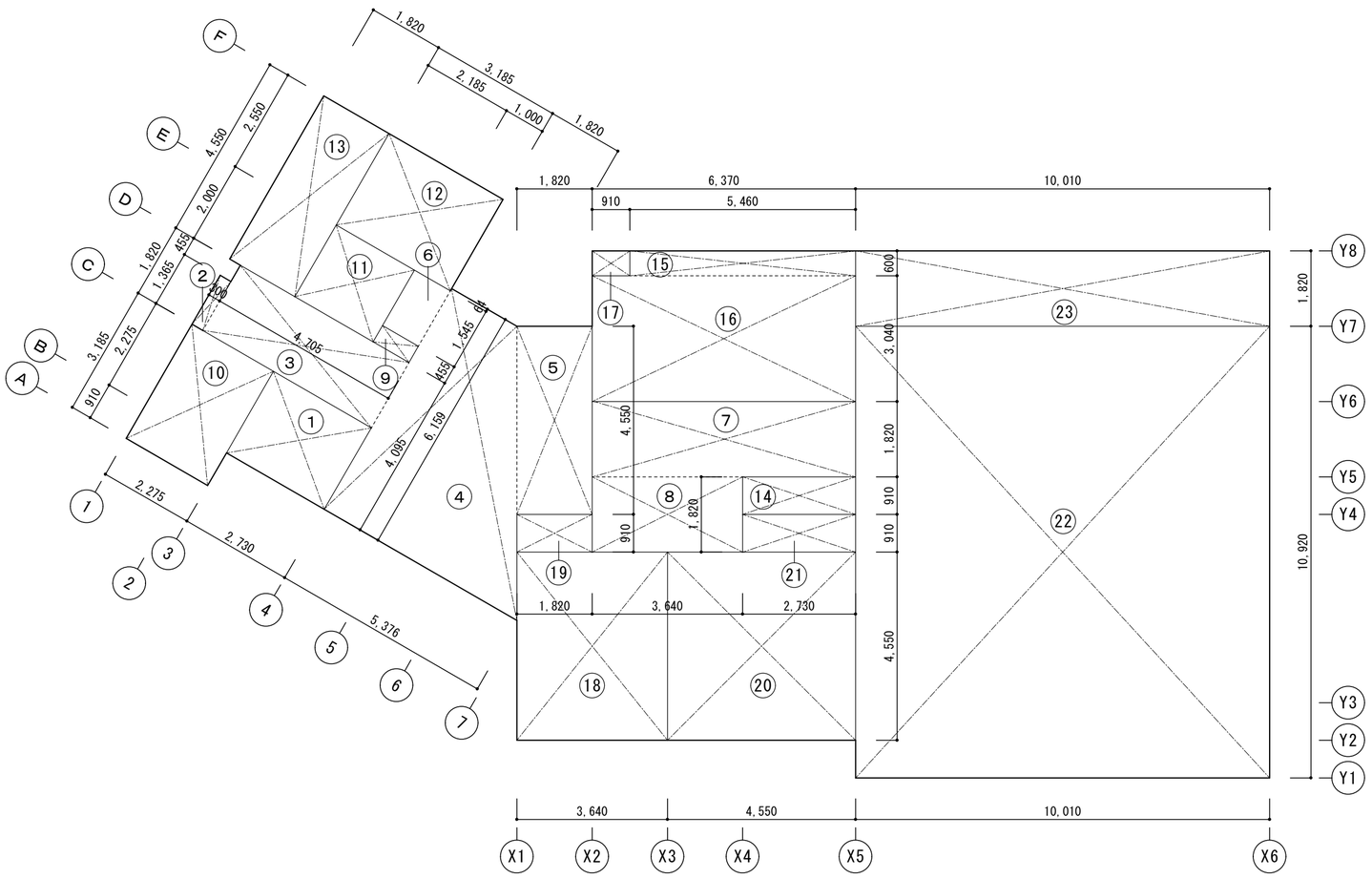
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR

SCALE　A2：S=1/200

DATE

DRAWN BY



各室求積図　　S=1/100

■　各室面積表

室名	番号	計算式	計	室面積(㎡)
風除室	①	2.730 × 2.275 = 6.2108	6.2108	6.21
廊下	②	0.300 × 1.365 = 0.4095		
	③	4.705 × 1.820 = 8.5631	8.9726	8.97
ホール	④	(5.376+1.820) × 6.159 ×1/2 = 22.1600		
	⑤	1.820 × 4.550 = 8.2810		
	⑥	1.000 × 1.545 = 1.5450	31.9860	31.99
休憩コーナー	⑦	6.370 × 1.820 = 11.5934		
	⑧	3.640 × 1.820 = 6.6248	18.2182	18.22
収納(1)	⑨	1.000 × 0.455 = 0.4550	0.4550	0.45
倉庫１	⑩	2.275 × 3.185 = 7.2459	7.2459	7.25
多目的便所	⑪	2.185 × 2.000 = 4.3700	4.3700	4.37
女子便所	⑫	3.185 × 2.550 = 8.1218	8.1218	8.12
男子便所	⑬	1.820 × 4.550 = 8.2810	8.2810	8.28
収納(2)	⑭	2.730 × 0.910 = 2.4843	2.4843	2.48
調理室	⑮	5.460 × 0.600 = 3.2760		
	⑯	6.370 × 3.040 = 19.3648	22.6408	22.64
ＰＳ	⑰	0.910 × 0.600 = 0.5460	0.5460	0.55
和室(仮眠室)	⑱	3.640 × 4.550 = 16.5620	16.5620	16.56
押入(1)	⑲	1.820 × 0.910 = 1.6562	1.6562	1.66
和室(救護室)	⑳	4.550 × 4.550 = 20.7025	20.7025	20.70
押入(2)	㉑	2.730 × 0.910 = 2.4843	2.4843	2.48
集会室	㉒	10.010 × 10.920 = 109.3092	109.3092	109.31
倉庫２	㉓	10.010 × 1.820 = 18.2182	18.2182	18.22
床面積		計	288.4648	288.46

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

求積図・面積表－２

１１０

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎

NUMBAR

SCALE　A2：S=1/100　A3：－

DATE

DRAWN BY

外　部　仕　上　表

屋　　根	構造用合板 t24 ＋ アスファルトルーフィング 940 ＋フッ素樹脂塗装 溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ一亜鉛合金ﾒｯｷ鋼板 t0.4 立平葺 軒先納め、妻側包み、棟包み、谷納め、水上取合水切、妻側登り取合水切、雪止め金物（L-50×50、溶融亜鉛メッキ）共	断　熱　材	※省エネ基準等級３を確保 【屋根・天井】高性能グラスウール（16ｋ相当） t100 【壁】高性能グラスウール（16ｋ相当） t100 【土間下】Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種ｂ ｔ＝30 【土間上及びサッシ廻り】現場発泡ウレタン吹付 t30
軒樋・竪樋	溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ一亜鉛合金ﾒｯｷ鋼板（高耐候性特殊塗装）t0.41 既製品 軒樋：114×68、竪樋：φ75ドレン共	建　　具	金属製建具（アルミ製サッシ、ドア）、木製建具（内部）
軒　　天	【延焼の恐れのない部分】木下地 ＋ ケイ酸カルシウム板 ｔ6突付 ＋ＡＥＰ 【延焼の恐れのある部分】木下地 ＋ パルプ繊維混入セメント板 ｔ12突付 ＋ＡＥＰ 防火通気見切縁 軒裏３０分準耐火構造：ＱＦ030ＲＳ-0156）	硝　　子	外部面：ペアガラス 内部：フロートガラス,型ガラス
		目地・シーリング	建具廻り、金物取り合い廻り等その他；変成シリコーン系ＭＳ-2 15×10
外　　壁	木下地 ＋ 透湿防水シート ＋ 通気胴縁 18×45 @455（接合部・出隅部18×90）＋窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ t14(W910) 大壁工法 （継目弾性目地処理及び補強） （防火構造：PC030BE-9201）＋可とう形外装薄塗材Ｅ吹付（アイカ工業ジョリパットＪＱ650小粒ﾌﾞﾛｯｸS同等品）	外　　構	エントランスポーチ：土間コンクリート＋モルタル＋150角磁器質タイル貼 一部注意喚起・誘導用300角磁器質タイル貼 テラス(1)：土間コンクリート金ゴテ押え テラス(2)：土間コンクリート金ゴテ押え＋再生木ｔ20 下地同材 駐車場：アスファルト舗装A-5-15 密粒度アスコンｔ50 ＋ 路盤：再生クラッシャーランRC-0～40 ｔ150、白線引き、車止め（反射板付） 側溝：Ｕ-３００Ａ（コンクリート蓋一部溶融亜鉛メッキグレーチング共）、集水桝、暗渠配管 コンクリート縁石、植栽 足洗い場：グレーチング：450×600 普通目 溶融亜鉛メッキ 枠共
基礎・根廻り	【見え掛かり部】コンクリート打放し（打放型枠Ａ種） ＋ 透湿・撥水性クリアー塗布		
水 切・見 切	塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ一亜鉛合金ﾒｯｷ鋼板 t0.35 既製品		

内　部　仕　上　表

階数	室名	床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 H	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 天井廻縁	天井 天井高	備考	室名
1階	風除室	ｺﾝｸﾘｰﾄ 乾式二重床 床高H=150	モルタル＋150角磁器質タイル貼 ラワン合板 ｔ9捨張 ＋ 抗菌長尺塩ビシート ｔ2.0貼	塩ビソフト巾木	60	木下地	石膏ボード ｔ12.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ	木下地	石膏ボード ｔ9.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ	－	2,500	上り框、下足箱、木製手摺(Ｌ＝800)	風除室
	廊下・ホール 休憩コーナー	乾式二重床 床高H=150	ラワン合板 ｔ9捨張 ＋ 抗菌長尺塩ビシート ｔ2.0貼	塩ビソフト巾木	60	木下地	石膏ボード ｔ12.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ	木下地	石膏ボード ｔ9.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ	－	2,700 一部4,075 ～4,325	飾り棚、掲示クロス ｺｰﾅｰﾋﾞｰﾄ	廊下・ホール 休憩コーナー
	倉庫１	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ゴテ	防塵塗料塗	ﾓﾙﾀﾙ下地＋防塵塗料塗	45	木下地	石膏ボード ｔ12.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ 【腰部H=900】石膏ボード ｔ12.5 ＋ シナ合板 ｔ5.5 ＣＬ	木下地	石膏ボード ｔ9.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ	－	2,500	木製棚	倉庫１
	男子便所	乾式二重床 床高H=150	ラワン合板 ｔ9捨張 ＋ 抗菌長尺塩ビシート ｔ2.0貼 一部ﾗﾜﾝ合板 ｔ9捨張 ＋ 超防汚性長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ ｔ2.0貼	塩ビソフト巾木	60	木下地	耐水石膏ボード ｔ12.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ｔ12.5 目地処理 ＋ ﾒﾗﾐﾝ樹脂不燃化粧板 ｔ3	木下地	耐水石膏ボード ｔ9.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ	－	2,500	手洗カウンター、トイレブース、隔板、鏡 ﾗｲﾆﾝｸﾞ及びﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板、小便器用補助手摺	男子便所
	女子便所	乾式二重床 床高H=150	ラワン合板 ｔ9捨張 ＋ 抗菌長尺塩ビシート ｔ2.0貼	塩ビソフト巾木	60	木下地	耐水石膏ボード ｔ12.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ｔ12.5 目地処理 ＋ ﾒﾗﾐﾝ樹脂不燃化粧板 ｔ3	木下地	耐水石膏ボード ｔ9.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ	－	2,500	手洗カウンター、トイレブース、鏡 ﾗｲﾆﾝｸﾞ及びﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	女子便所
	多目的便所	乾式二重床 床高H=150	ラワン合板 ｔ9捨張 ＋ 超防汚性長尺塩ビシート ｔ2.0貼	塩ビソフト巾木	60	木下地	耐水石膏ボード ｔ12.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ｔ12.5 目地処理 ＋ ﾒﾗﾐﾝ樹脂不燃化粧板 ｔ3	木下地	耐水石膏ボード ｔ9.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ	－	2,500	Ｌ型手摺、可動手摺、ベビーシート ﾗｲﾆﾝｸﾞ及びﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	多目的便所
	調理室	乾式二重床 床高H=150 ｺﾝｸﾘｰﾄ	ラワン合板 ｔ9捨張 ＋ 抗菌長尺塩ビシート ｔ2.0貼 コンクリート金ｺﾞﾃ仕上	塩ビソフト巾木	60	木下地	耐水石膏ボード ｔ12.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ｔ12.5 目地処理 ＋ ﾒﾗﾐﾝ樹脂不燃化粧板 ｔ3	木下地	耐水石膏ボード ｔ9.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ	－	2,500	ガス台：W750×2、流し台：W=1800、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ 調理台：W600×2、W450×1、W300×1、吊戸棚	調理室
	和室（仮眠室）	乾式二重床 床高H=150	畳敷	畳寄せ	－	木下地	石膏ボード ｔ12.5 目地処理 ＋ 調湿型内装薄塗材Ｗ塗	木下地	化粧石膏ボード ｔ9.5 （柾目）	木製	2,700	カーテンボックス及びカーテンレール	和室（仮眠室）
	和室（救護室）	乾式二重床 床高H=150	畳敷	畳寄せ	－	木下地	石膏ボード ｔ12.5 目地処理 ＋ 調湿型内装薄塗材Ｗ塗	木下地	化粧石膏ボード ｔ9.5 （柾目）	木製	2,700	カーテンボックス及びカーテンレール	和室（救護室）
	押　入	乾式二重床 床高H=150	ラワン合板 ｔ9	雑巾摺	－	木下地	ラワン合板 ｔ9	木下地	ラワン合板 ｔ5.5	木製	2,700	中棚、枕棚	押　入
	集会室	乾式二重床 床高H=150	ラワン合板 ｔ9捨張 ＋ 抗菌長尺塩ビシート ｔ2.0貼	塩ビソフト巾木	60	木下地	石膏ボード ｔ12.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ 石膏ボード ｔ12.5 ＋ シナ合板 ｔ5.5目透し張＋自然塗料CL	木下地	石膏ボード ｔ9.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ	－	2,985 ～ 4,325	カーテンボックス及びカーテンレール	集会室
	倉庫２	乾式二重床 床高H=150	ラワン合板 ｔ9捨張 ＋ 抗菌長尺塩ビシート ｔ2.0貼	塩ビソフト巾木	60	木下地	石膏ボード ｔ12.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ 石膏ボード ｔ12.5 ＋ シナ合板 ｔ5.5目透し張＋自然塗料CL	木下地	石膏ボード ｔ9.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ	－	2,700	カーテンレール	倉庫２
	収　納	乾式二重床 床高H=150	ラワン合板 ｔ9捨張 ＋ 抗菌長尺塩ビシート ｔ2.0貼	塩ビソフト巾木	60	木下地	石膏ボード ｔ12.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ	木下地	石膏ボード ｔ9.5 目地処理 ＋ ＡＥＰ	－	2,700	可動棚	収　納

内装不燃・準不燃・難燃　認定番号表

⑦ ９．５	石膏ボード	準不燃	ＱＭ－９８２８	⑦９ 耐湿ロックウール化粧吸音板	準不燃	ＱＭ－９１８７
⑦１２．５	石膏ボード	不　燃	ＮＭ－８６１９	木毛セメント板	準不燃	Ｒ－０１５４
⑦ ９．５	化粧石膏ボード	準不燃	ＱＭ－９８２４	繊維混入セメントけい酸カルシウム板	準不燃	ＮＭ－９２８１
⑦ ９．５	不燃化粧石膏ボード	不　燃	ＮＭ－０８７９	ビニールクロス（不燃石膏ボード下地）	不　燃	ＮＭ－９８８９
⑦ ９．５	耐水石膏ボード	準不燃	ＱＭ－９８２６	ビニールクロス（準不燃下地）	準不燃	ＱＭ－９５０２
⑦１２．５	耐水石膏ボード	不　燃	ＮＭ－９６３９	グラスウール ガラスクロス押え	不　燃	ＮＭ－８６０６
⑦ ９．５	硬質石膏ボード	不　燃	ＮＭ－９６４５	ＡＥＰ（合成樹脂エマルジョンペイント）	不　燃	ＮＭ－８５８５

タイルカーペット、カーテンは、防火認定品仕様とする。

ｼｯｸﾊｳｽ建築材料（ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量）

【設計条件】

1）換気回数０．３回／ｈとする。（住宅等の居室以外の居室）
2）接着剤はＦ☆☆☆☆とする。
3）使用建築材料は全てＦ☆☆☆☆及び規制対象外材料とする。
4）天井裏（小屋裏）の使用建築材料はＦ☆☆☆☆とする。

ＣＬ	(JIS K 5531)Ｆ☆☆☆☆	集成材	（Ｆ☆☆☆☆）	酢酸ビニル樹脂系溶剤形接着剤(Ｆ☆☆☆☆)	
ＡＥＰ	(JIS K 5663)Ｆ☆☆☆☆	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ(Ｆ☆☆☆☆)		ビニル共重合樹脂系溶剤形接着剤(Ｆ☆☆☆☆)	
防腐	(JIS K 1570)Ｆ☆☆☆☆	ＭＤＦ	（Ｆ☆☆☆☆）		
タタミ	(JIS A 5902)Ｆ☆☆☆☆	建具用でんぷん系接着剤(Ｆ☆☆☆☆)			
ＧＷ断熱材	(JIS A 9521)Ｆ☆☆☆☆	油性調合ペイント(Ｆ☆☆☆☆)			
合　板	（Ｆ☆☆☆☆）	家庭用木部金属部塗料(Ｆ☆☆☆☆)			

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

外部・内部仕上表

１１１

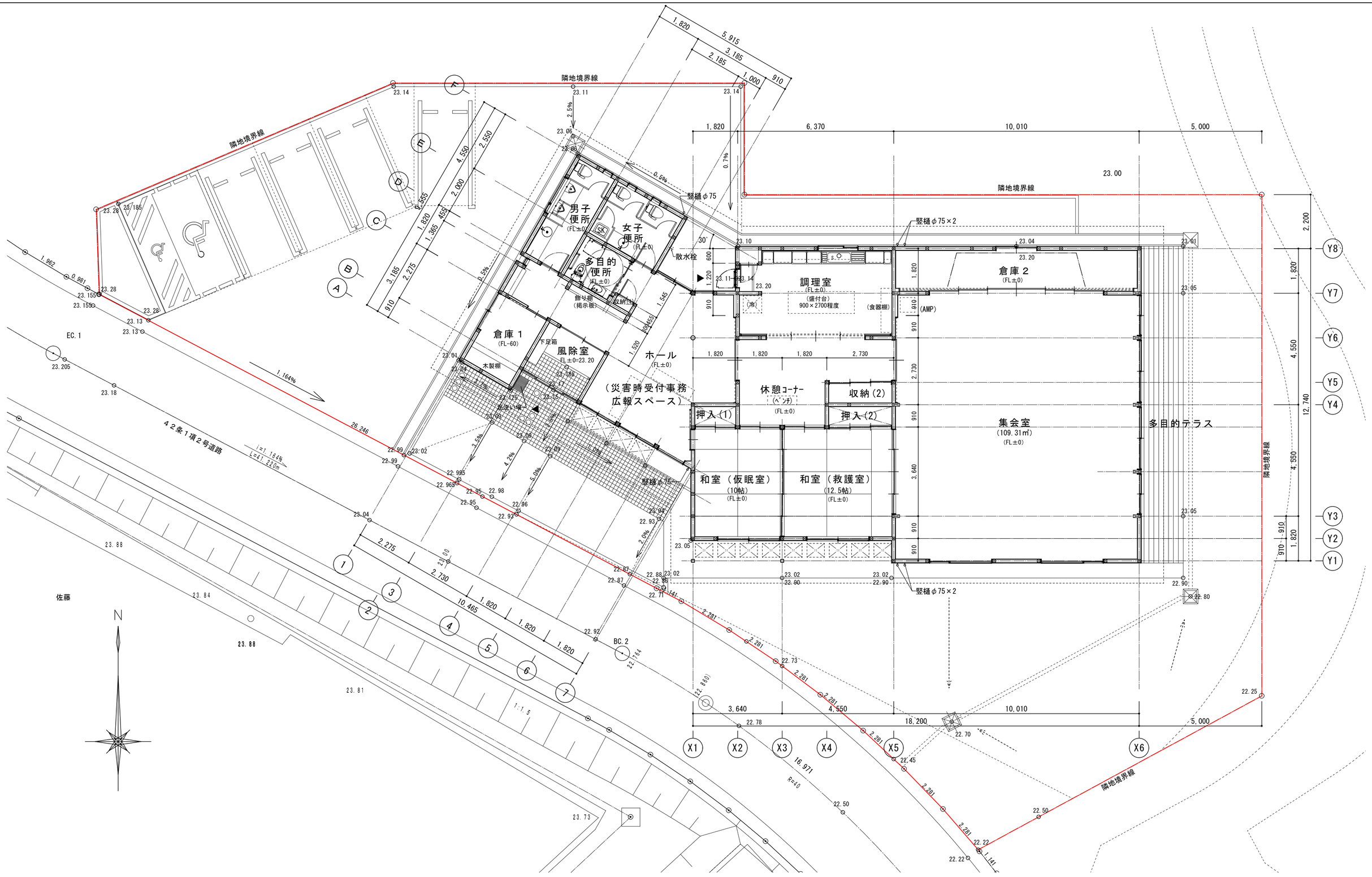
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号 １５６９８７ 一級建築士 松本純一郎

NUMBAR

SCALE A1：－ A2：－

DATE

DRAWN BY



平面図　　S=1/100

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

平面図

１１２

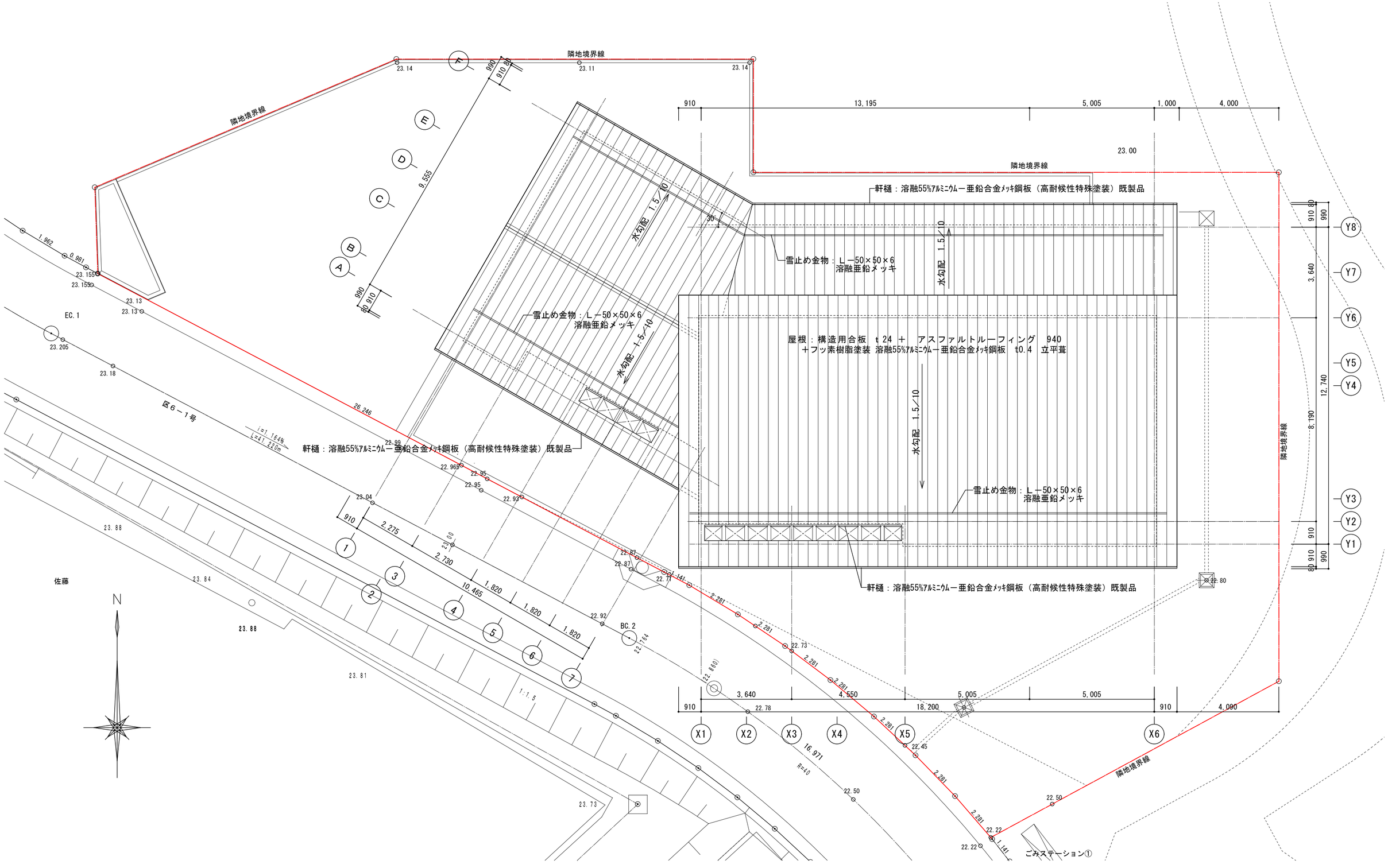
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎

NUMBAR

SCALE
A2：S=1/100
A3：—

DATE

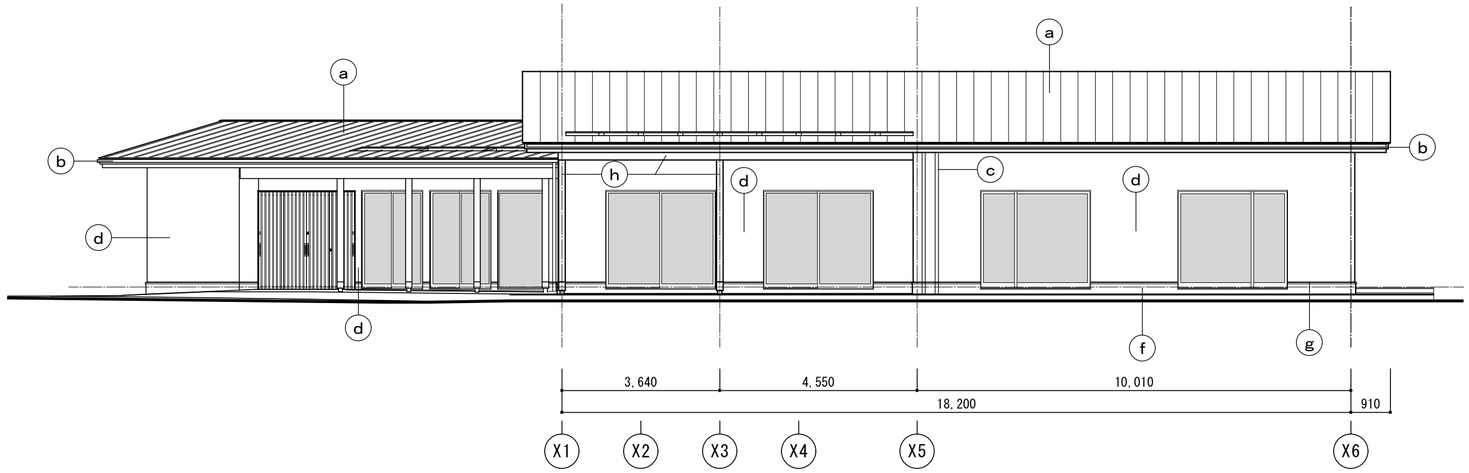
DRAWN BY



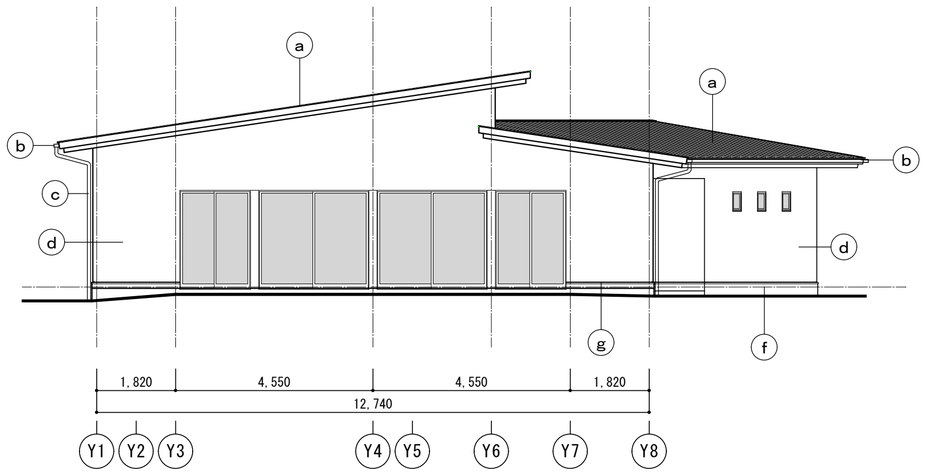
屋根伏図　　S=1/100

凡例

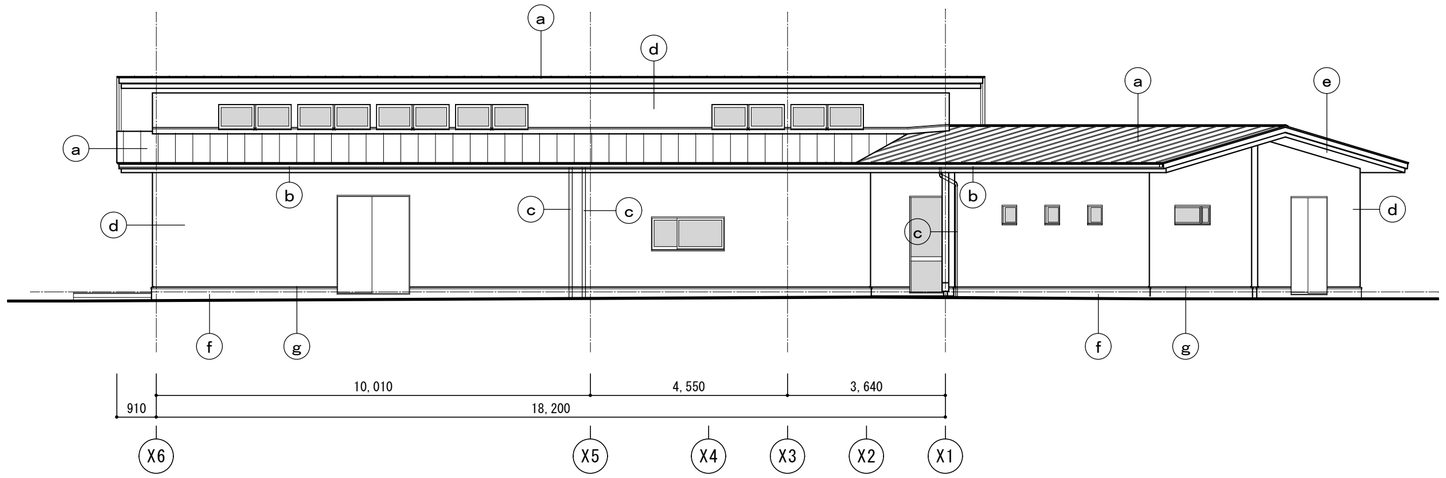
D	平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事	NUMBAR
	屋根伏図	SCALE A2：S=1/100 A3：—
１１３	株式会社 松本純一郎設計事務所 登録番号 １５６９８７　一級建築士　松本純一郎	DATE DRAWN BY



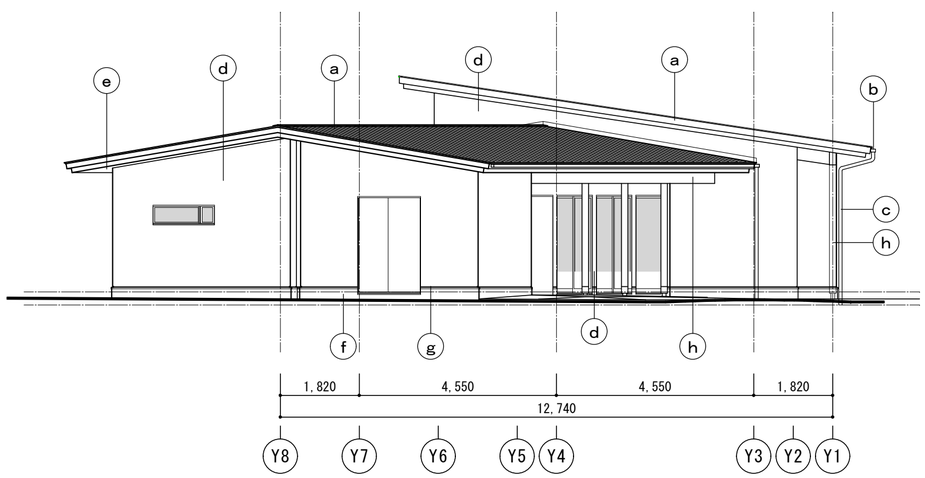
南側立面図　　S＝1/100



東側立面図　　S＝1/100



北側立面図　　S＝1/100



西側立面図　　S＝1/100

凡　例

a	屋根：構造用合板　t 24 ＋　アスファルトルーフィング　940 ＋フッ素樹脂塗装 溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金ﾒｯｷ鋼板　t0.4　立平葺	g	水切・見切：塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金ﾒｯｷ鋼板　t0.35　既製品
b	軒樋：溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金ﾒｯｷ鋼板（高耐候性特殊塗装）t0.41　既製品 114×68	h	柱・梁・桁木部見え掛かり部：木材保護塗料２回塗
c	竪樋：溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金ﾒｯｷ鋼板（高耐候性特殊塗装）t0.41　既製品 φ75　（落し口共）		
d	外壁：木下地＋透湿防水シート＋通気胴縁18×45 @455（接合部・出隅部18×90） ＋窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ　t14(W910) 大壁工法（継目弾性目地処理及び補強） （防火構造：PC030BE-9201）＋可とう形外装薄塗材Ｅ吹付		
e	軒天【延焼の恐れのない部分】木下地 ＋ ケイ酸カルシウム板　ｔ６ ＋ＶＰ 軒天【延焼の恐れのある部分】木下地＋パルプ繊維混入セメント板ｔ12 ＋ＶＰ		
f	基礎・根廻り：【見え掛かり部】コンクリート打放し（打放型枠Ａ種） ＋ 透湿・撥水性クリアー塗布		

特記事項

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

１１４　立面図

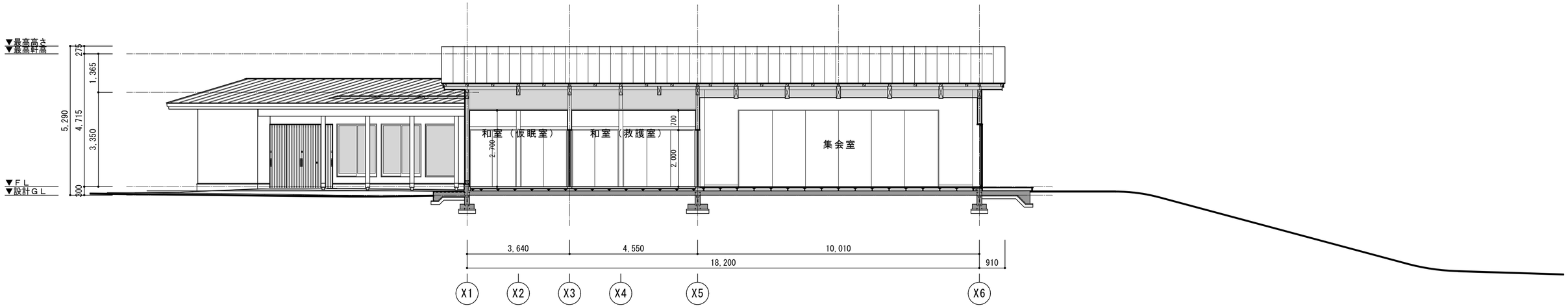
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎

NUMBAR

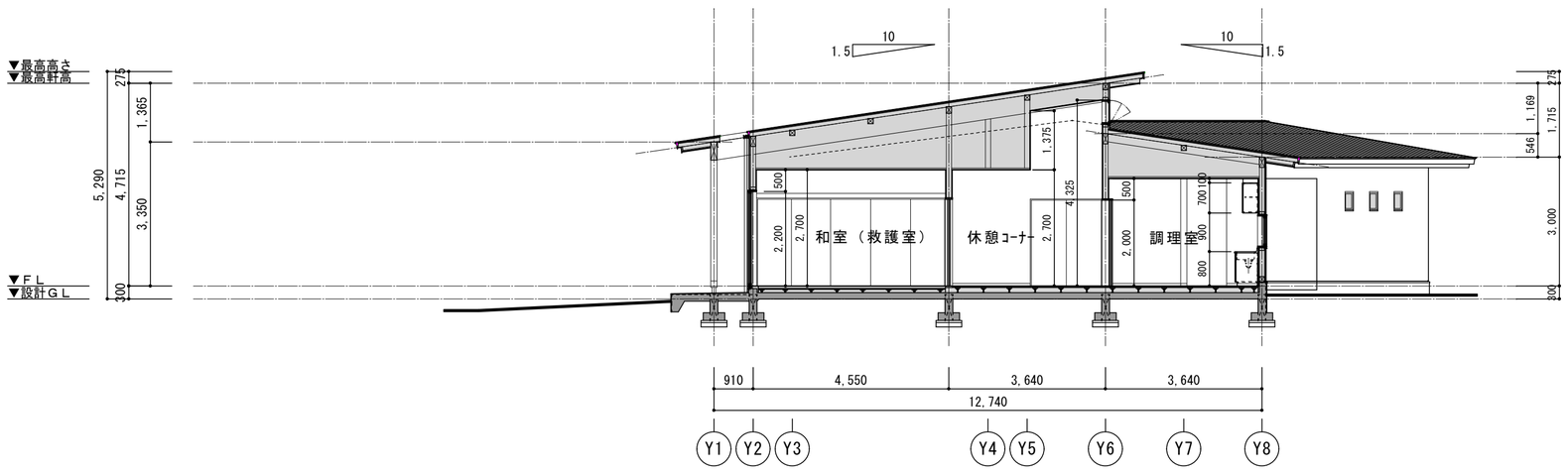
SCALE　A2：S=1/100

DATE

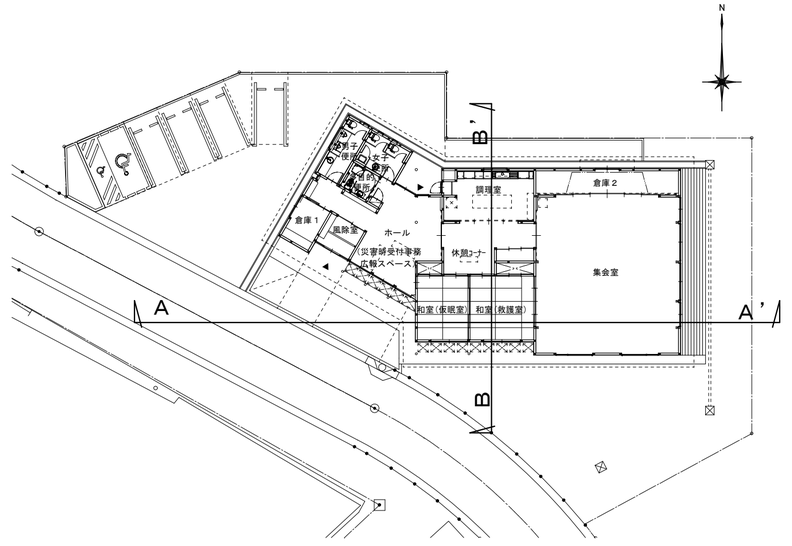
DRAWN BY



A－A’ 断面図　S＝1/100



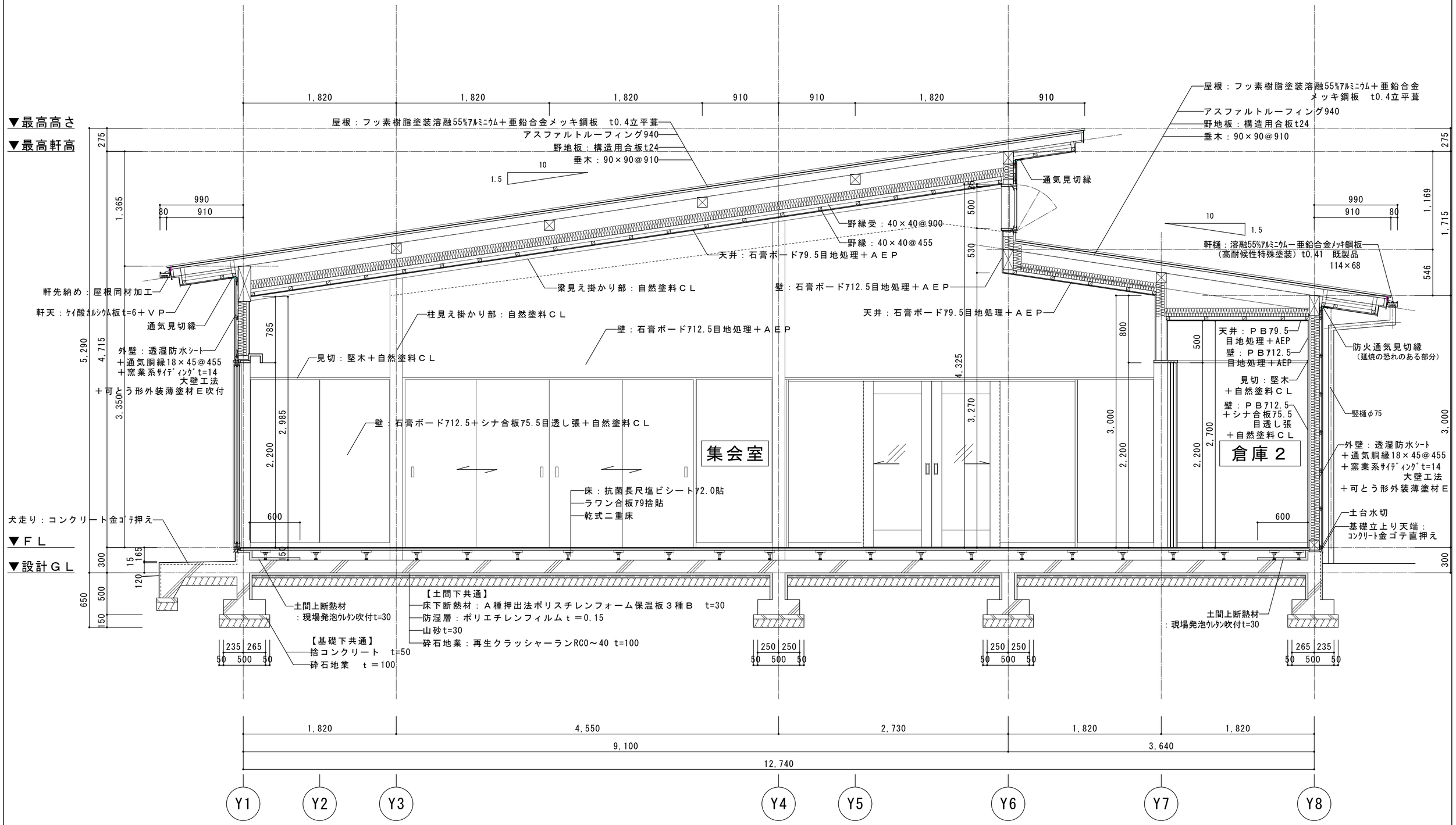
B－B’ 断面図　S＝1/100



Section-KeyPlan　S=1/300

凡例

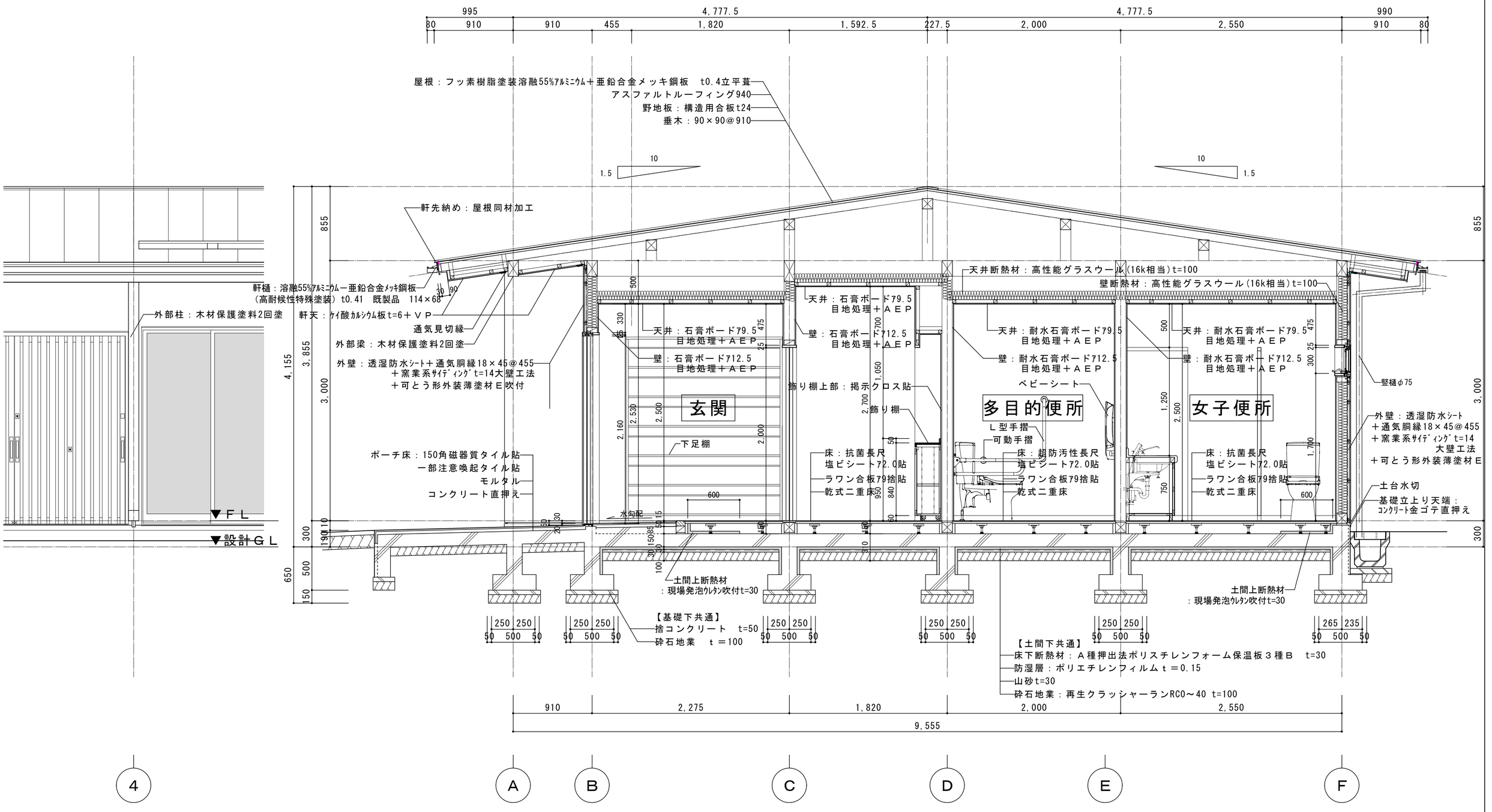
D	平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事	NUMBAR
	断面図	SCALE A2：S=1/100
１１５	株式会社 松本純一郎設計事務所 登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎	DATE DRAWN BY



矩計図－１　　S=1/30

凡例

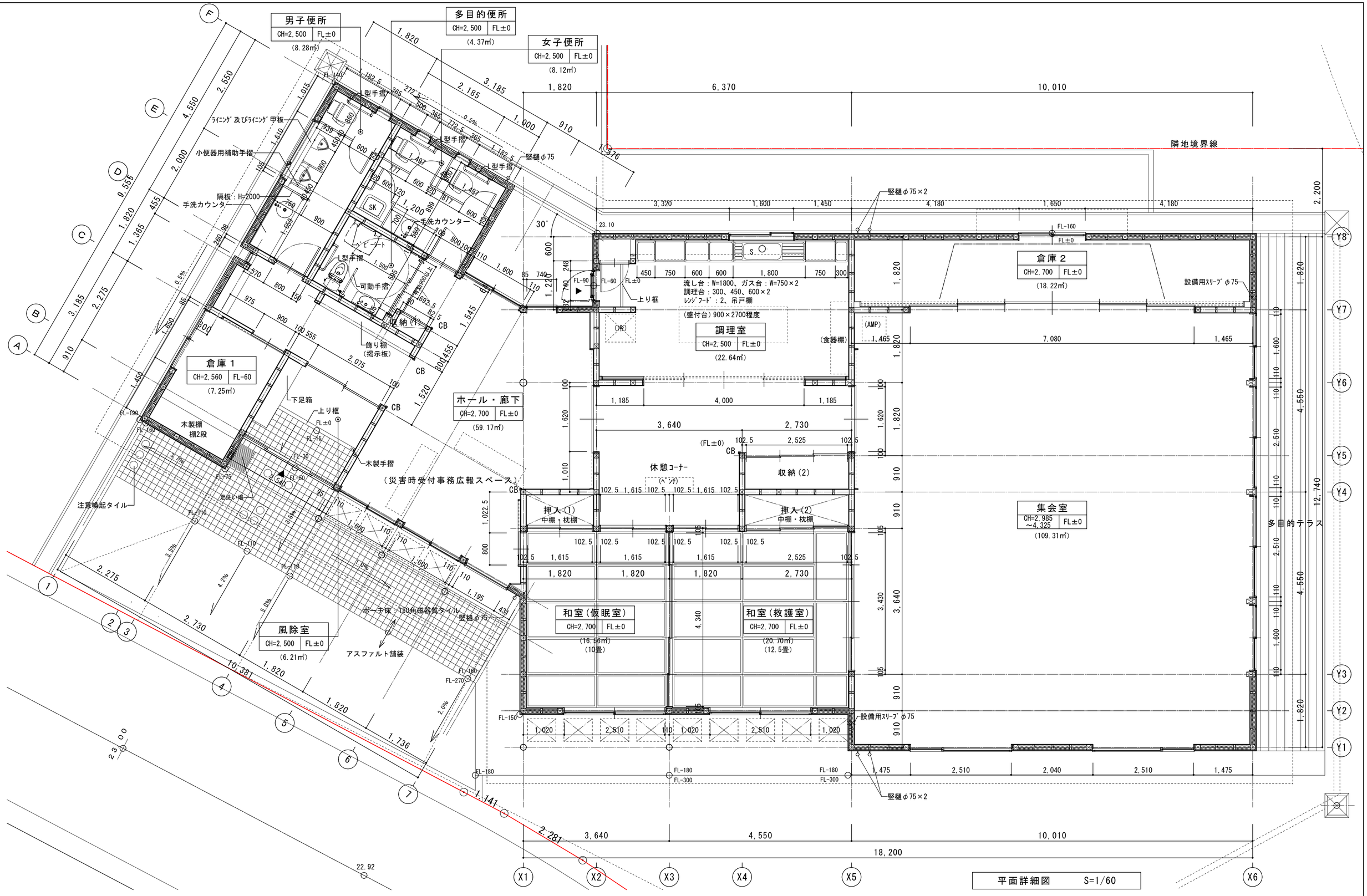
D	平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事	NUMBAR
	矩計図－１	SCALE A2： 1/30
１１６	株式会社 松本純一郎設計事務所 登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎	DATE DRAWN BY



矩計図－２　　S=1/30

凡例

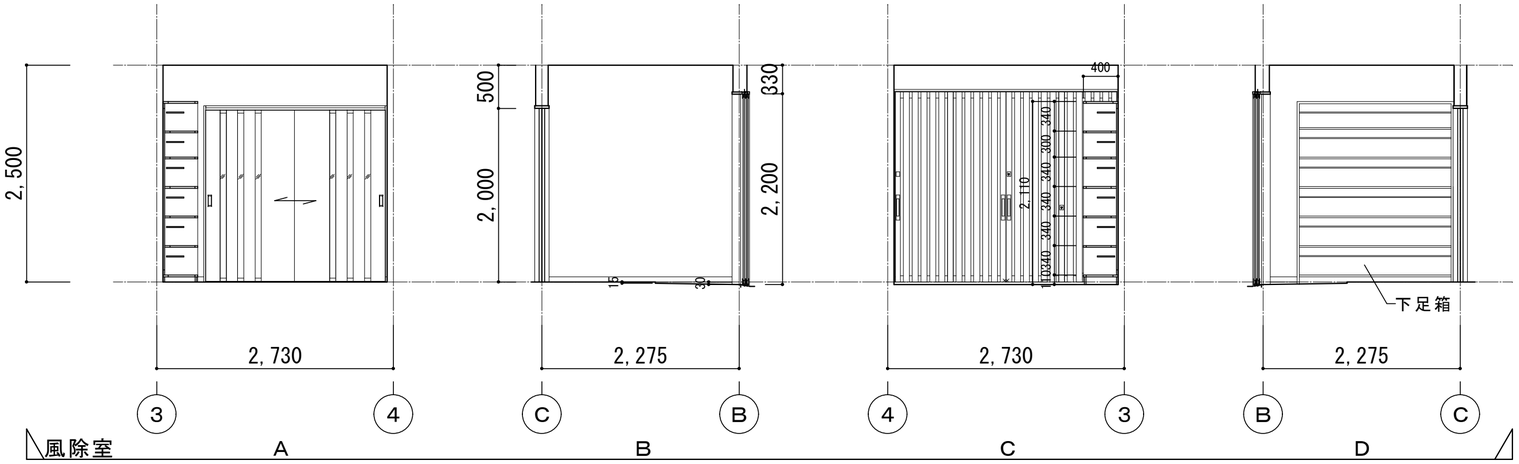
D	平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事	NUMBAR	
矩計図－２		SCALE	A2：1/30
１１７	株式会社 松本純一郎設計事務所 登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎	DATE	
		DRAWN BY	

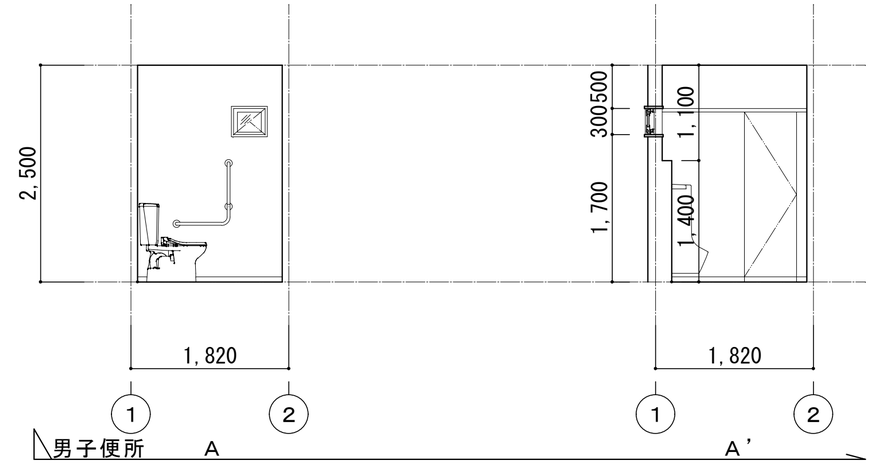


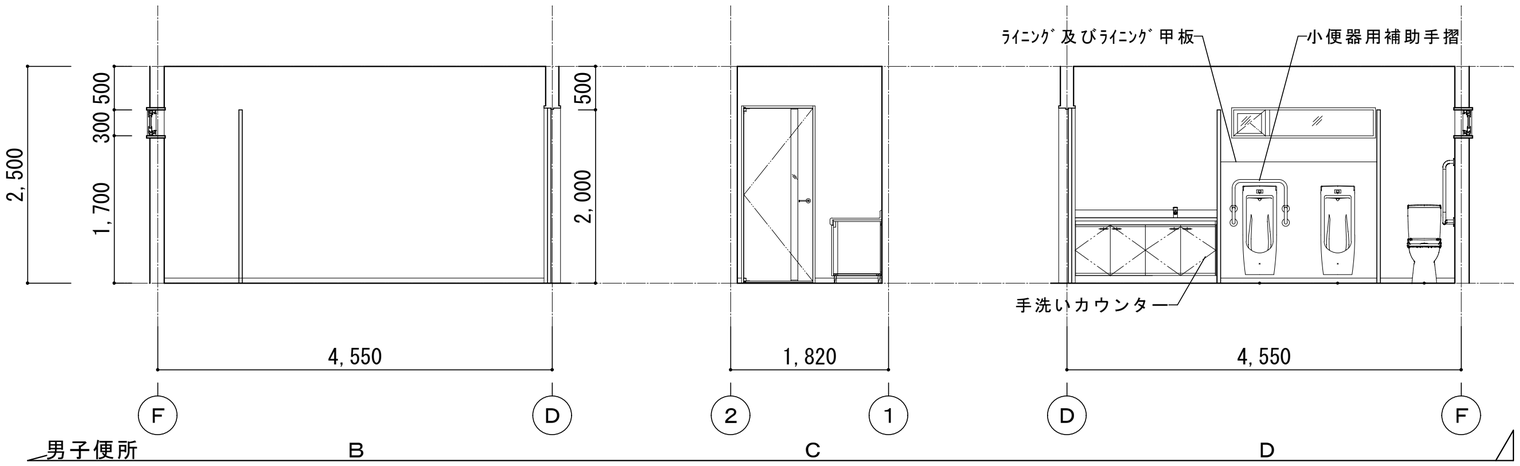
平面詳細図　S=1/60

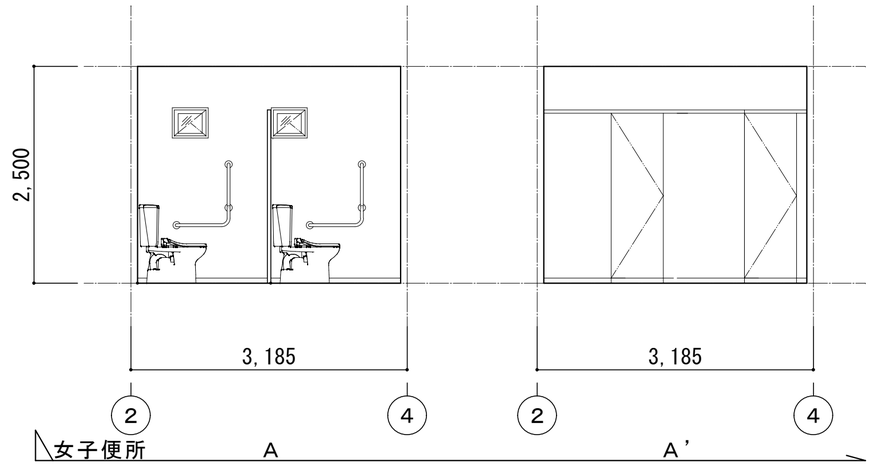
凡例

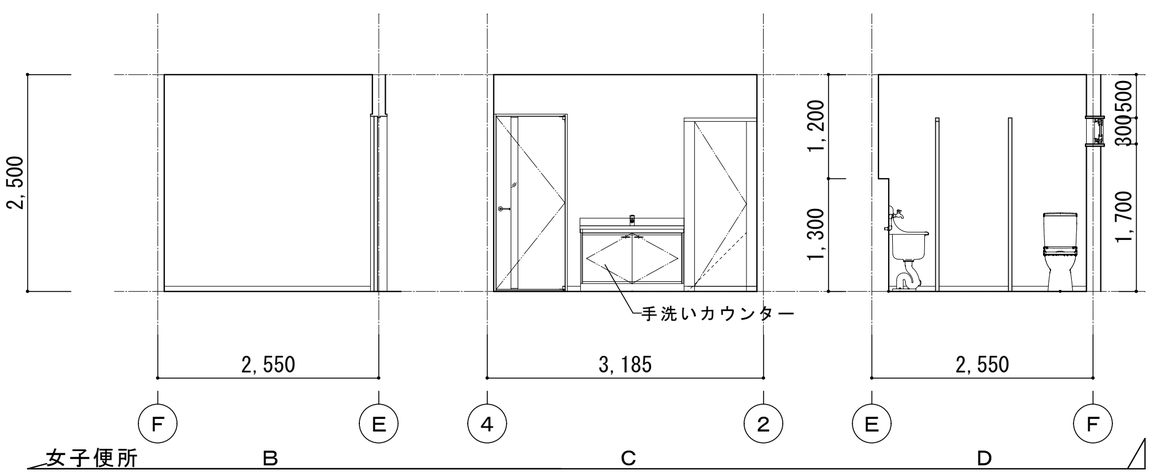
D	平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事	NUMBAR	
	平面詳細図	SCALE	A2：S=1/60 A3：—
１１８	株式会社 松本純一郎設計事務所 登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎	DATE	
		DRAWN BY	

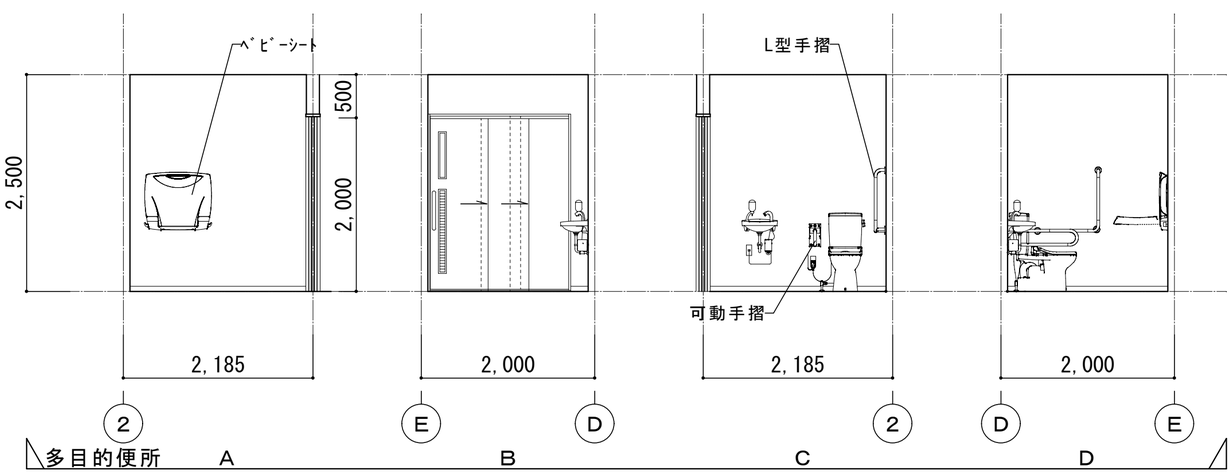












凡例

D 平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

展開図－１

１１９

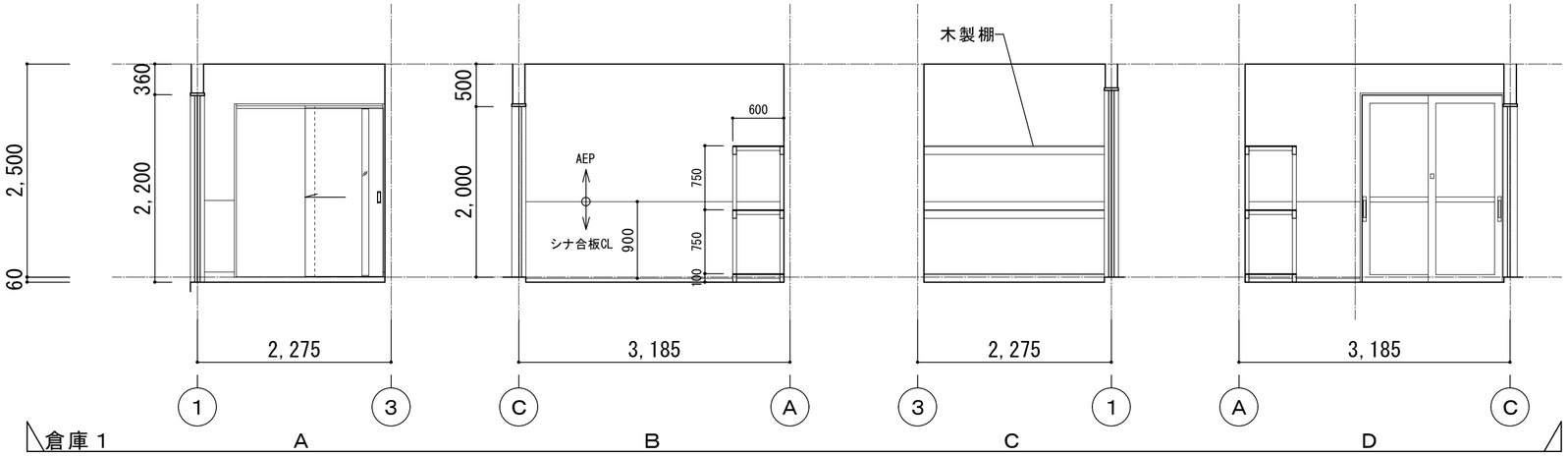
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号 １５６９８７ 一級建築士 松本純一郎

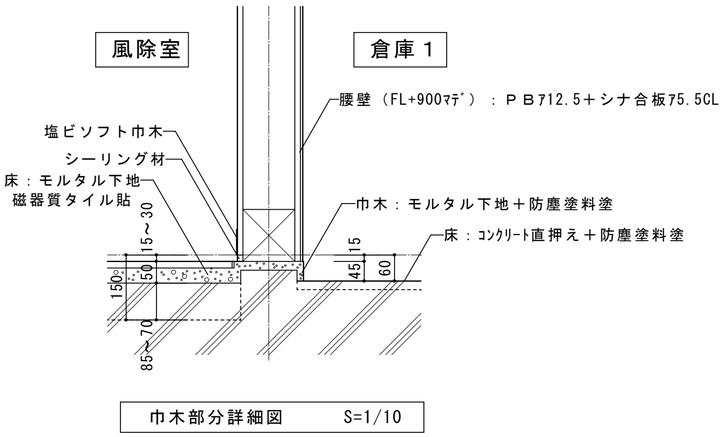
NUMBAR

SCALE A2：S=1/50 A3：－

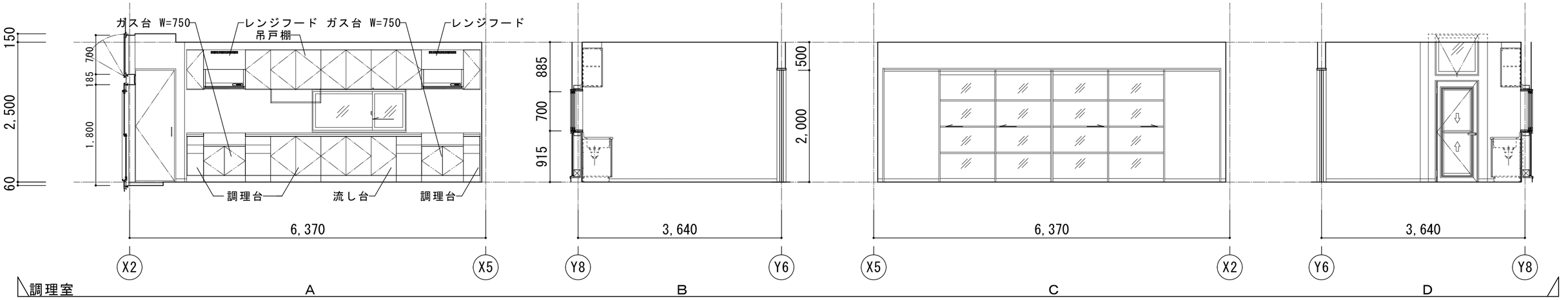
DATE

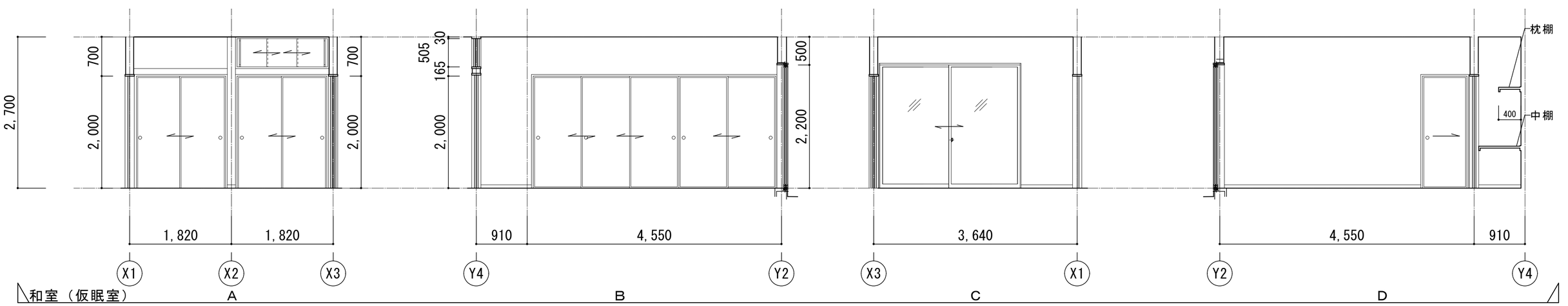
DRAWN BY





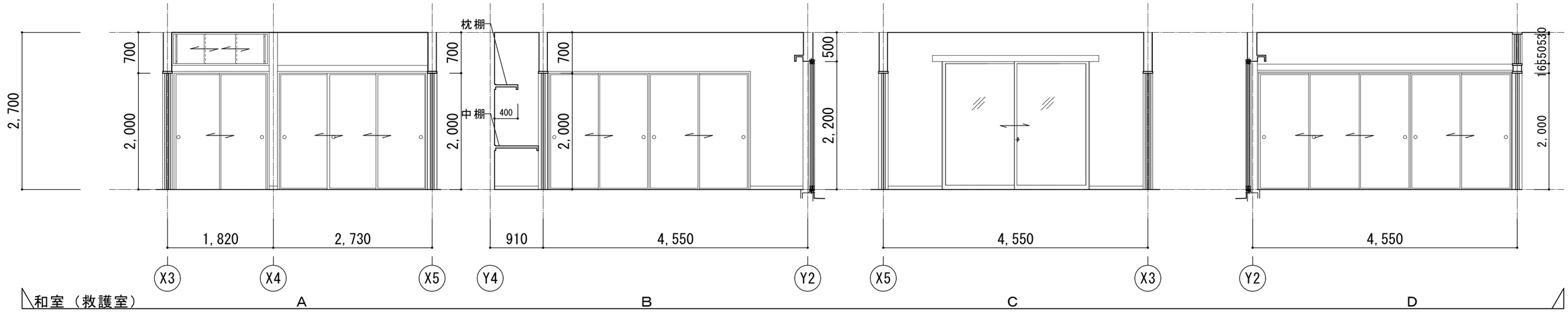
巾木部分詳細図　　S=1/10

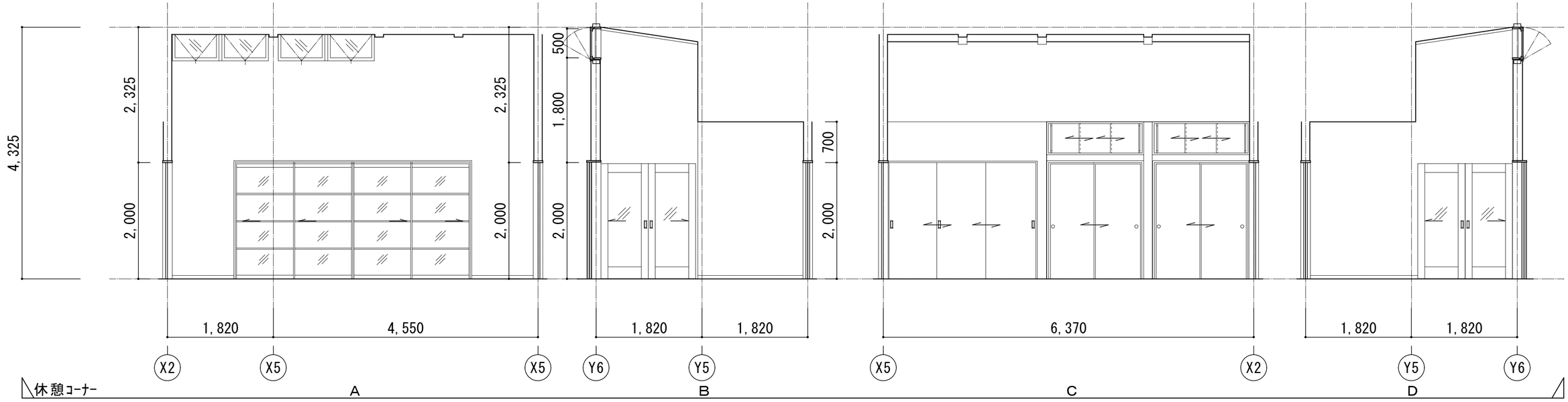




凡例

D	平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事	NUMBAR
	展開図－２	SCALE A2：S=1/50 A3：—
１２０	株式会社 松本純一郎設計事務所 登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎	DATE
		DRAWN BY





凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

展開図－３

１２１

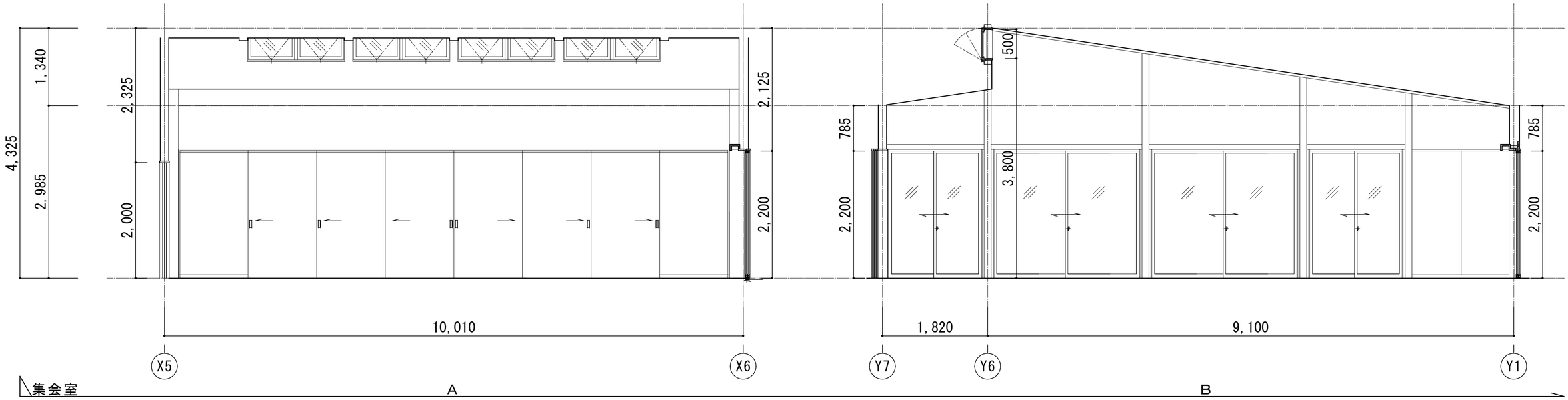
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

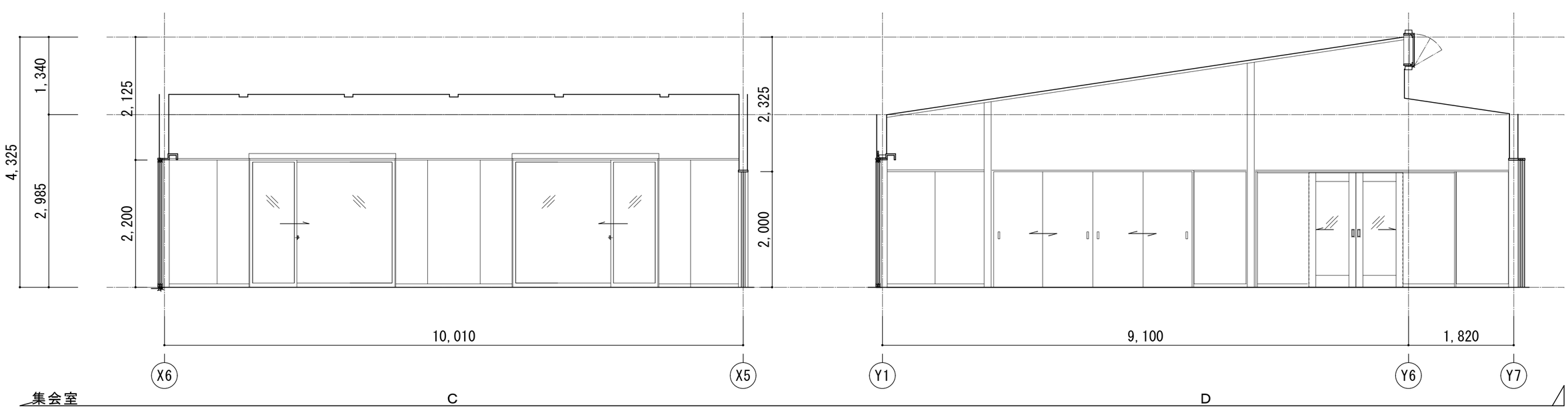
NUMBAR

SCALE　A2：S=1/50　A3：－

DATE

DRAWN BY





凡例

D

平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

展開図－４

１２２

株式会社 松本純一郎設計事務所

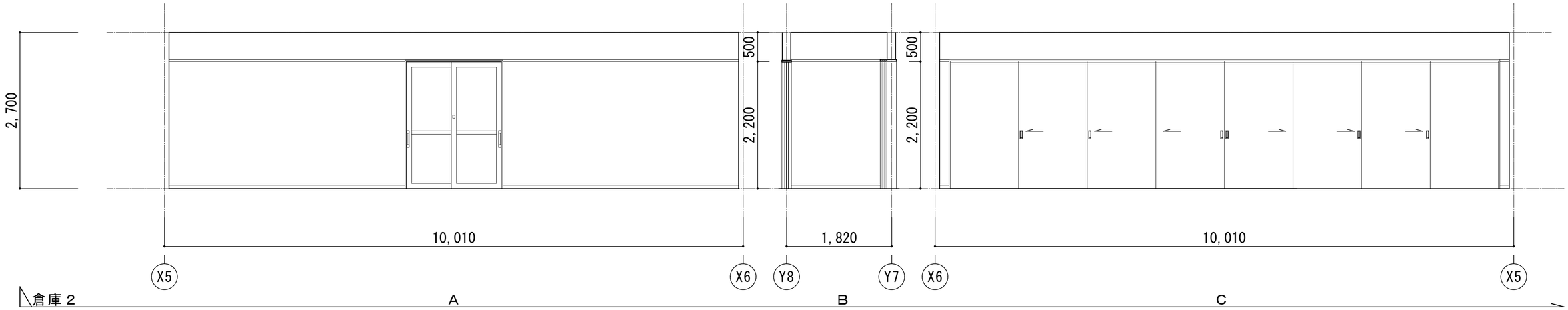
登録番号 １５６９８７ 一級建築士 松本純一郎

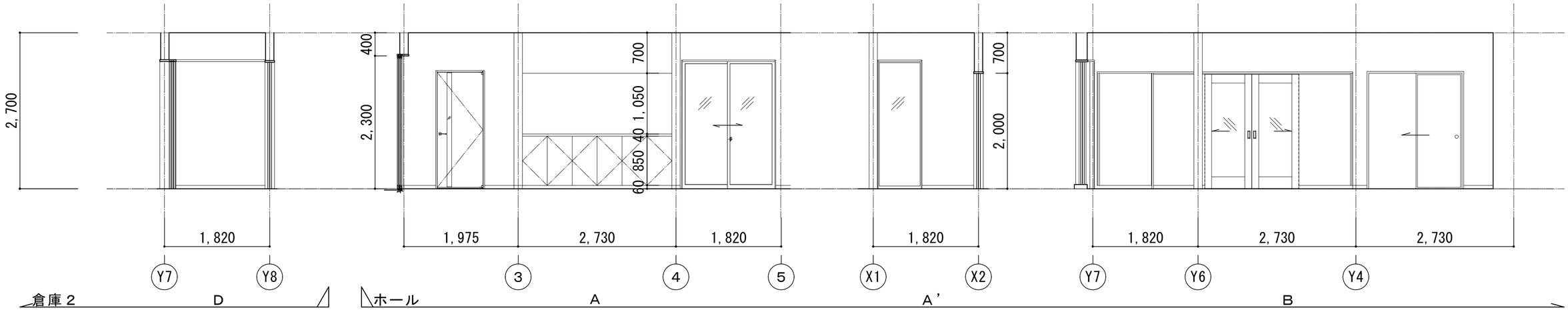
NUMBAR

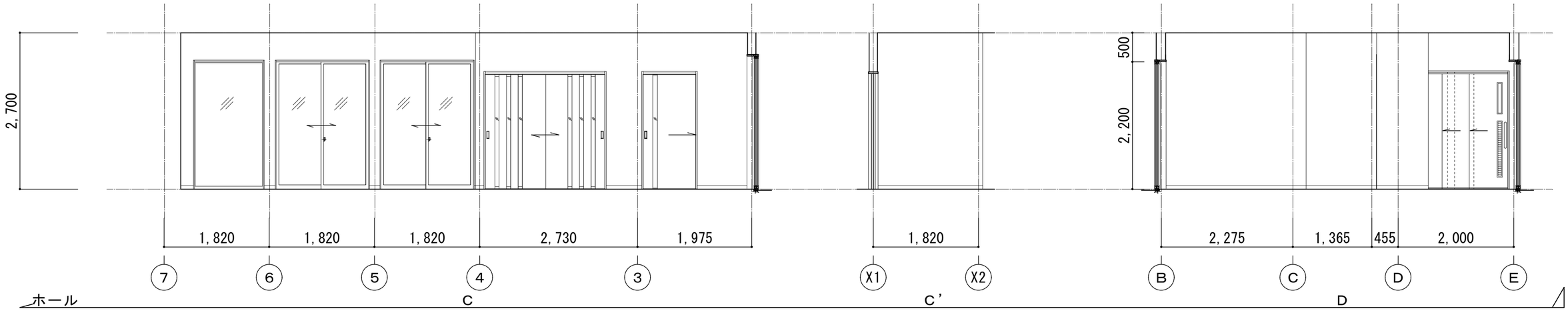
SCALE A2：S=1/50 A3：－

DATE

DRAWN BY

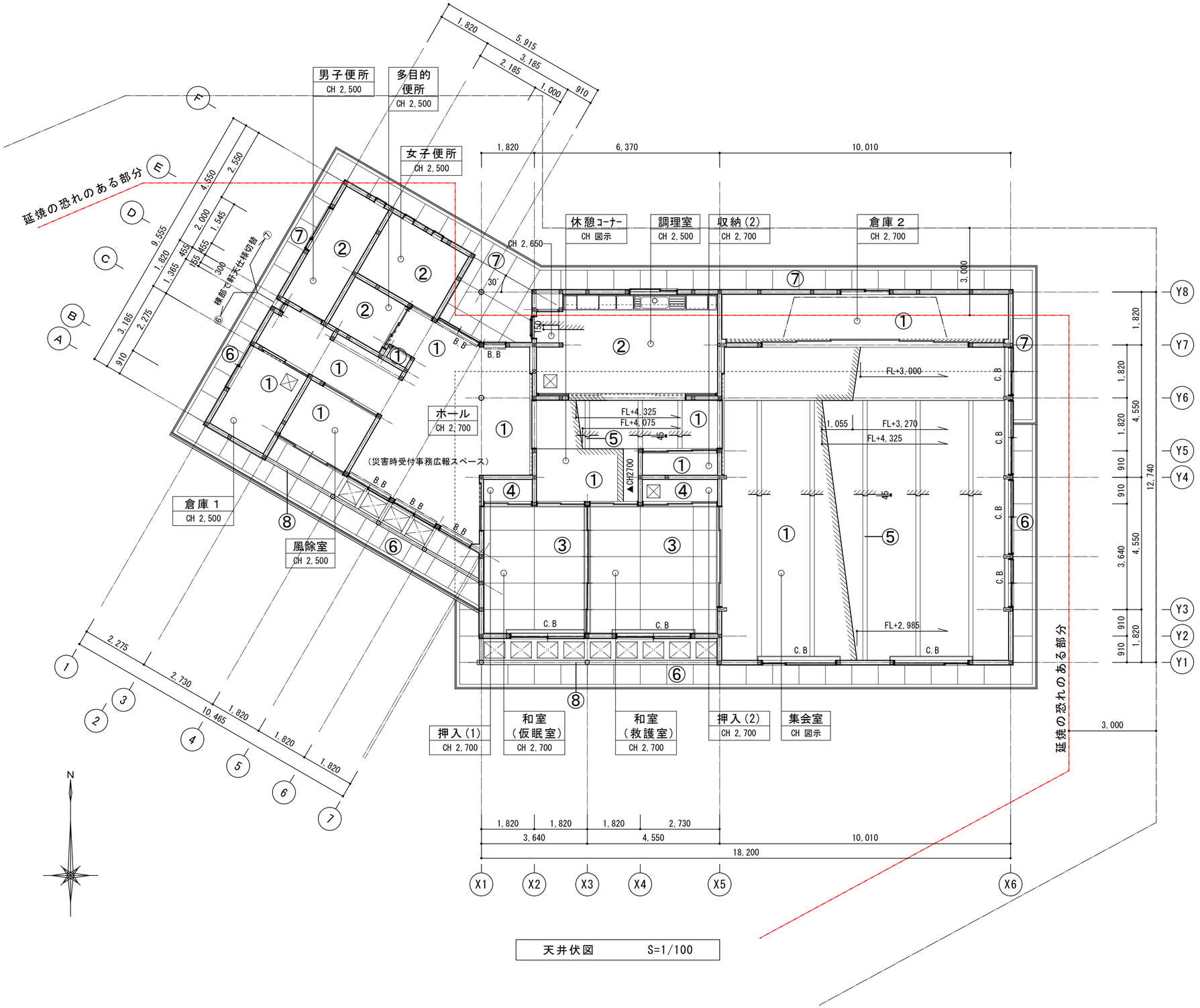






凡例

D	平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事	NUMBAR
	展開図－５	SCALE A2：S=1/50 A3：—
１２３	株式会社 松本純一郎設計事務所 登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎	DATE DRAWN BY



天井伏図　　S=1/100

凡　例	
①	石膏ボード 79.5　目地処理 ＋ ＡＥＰ
②	耐水石膏ボード 79.5　目地処理 ＋ ＡＥＰ
③	化粧石膏ボード 79.5 （柾目）
④	ラワン合板 74
⑤	室内木表し部（梁他）：ＣＬ塗装
⑥	軒天【延焼の恐れのない部分】ケイ酸カルシウム板　ｔ６ ＋AEP
⑦	軒天【延焼の恐れのある部分】ﾊﾟﾙﾌﾟ繊維混入ｾﾒﾝﾄ板　ｔ12 ＋AEP 防火通気見切縁　軒裏３０分準耐火構造：ＱＦ030ＲＳ-0156）
⑧	外部木表し部（梁、桁他）：木材保護塗料塗
C.B	カーテンボックス　　木製 カーテンレール（ﾀﾞﾌﾞﾙ）共
CR	天井直付カーテンレールを示す。
P	天井直付カーテンレールを示す。
⊕	天井割付基準点を示す。
B.B	横型ブラインドを示す。
☒	天井点検口（450角）を示す。（計3ヶ所）

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

天井伏図

１２４

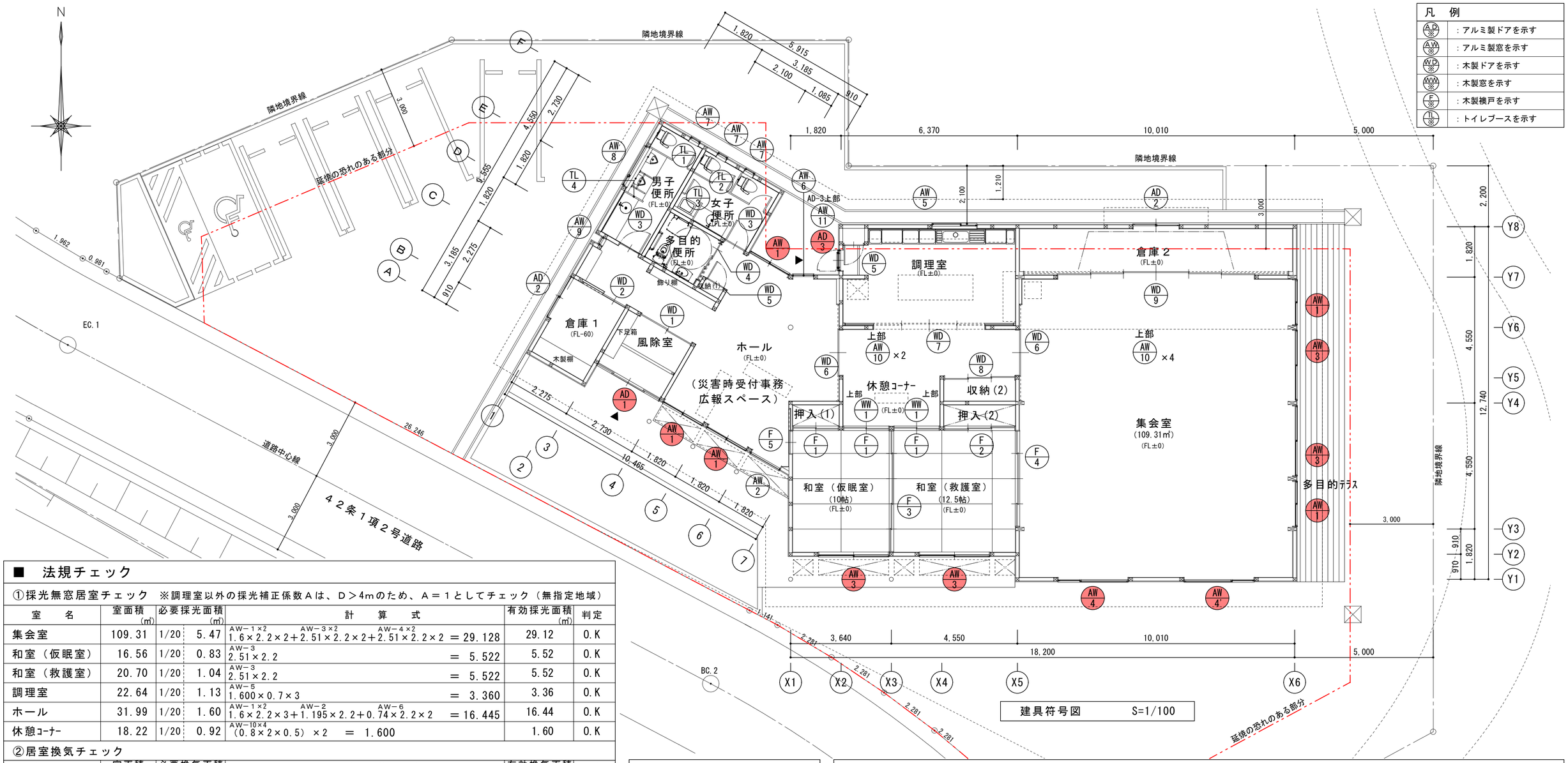
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎

NUMBAR

SCALE　A2：S=1/100　A3：—

DATE

DRAWN BY



■　法規チェック

①採光無窓居室チェック　※調理室以外の採光補正係数Ａは、Ｄ＞4mのため、Ａ＝１としてチェック（無指定地域）

室　名	室面積 (㎡)	必要採光面積	(㎡)	計　算　式	有効採光面積 (㎡)	判定
集会室	109.31	1/20	5.47	AW−1×2 1.6×2.2×2＋AW−3×2 2.51×2.2×2＋AW−4×2 2.51×2.2×2 ＝29.128	29.12	O.K
和室（仮眠室）	16.56	1/20	0.83	AW−3 2.51×2.2 ＝5.522	5.52	O.K
和室（救護室）	20.70	1/20	1.04	AW−3 2.51×2.2 ＝5.522	5.52	O.K
調理室	22.64	1/20	1.13	AW−5 1.600×0.7×3 ＝3.360	3.36	O.K
ホール	31.99	1/20	1.60	AW−1×2 1.6×2.2×3＋AW−2 1.195×2.2＋AW−6 0.74×2.2×2 ＝16.445	16.44	O.K
休憩ｺｰﾅｰ	18.22	1/20	0.92	AW−10×4 (0.8×2×0.5) ×2 ＝1.600	1.60	O.K

②居室換気チェック

室　名	室面積 (㎡)	必要換気面積	(㎡)	計　算　式	有効換気面積 (㎡)	判定
集会室	109.31	1/20	5.47	AW−1×2 0.75×2.2×2＋AW−3×2 1.2×2.2×2＋AW−4×2 0.72×2.2×2 ＝11.748	11.74	O.K
和室（仮眠室）	16.56	1/20	0.83	AW−3 1.2×2.2 ＝2.640	2.64	O.K
和室（救護室）	20.70	1/20	1.04	AW−3 1.2×2.2 ＝2.640	2.64	O.K
調理室	22.64	1/20	1.13	AW−5 0.55×0.7＋AW−11 0.74×0.7＋AD−3 0.74×1.8	2.23	O.K
ホール	31.99	1/20	1.60	AW−1×2 0.75×2.2×3 ＝4.950	4.95	O.K
休憩ｺｰﾅｰ	18.22	1/20	0.92	AW−10×4 (0.8×2×0.5) ×2 ＝1.600	1.60	O.K

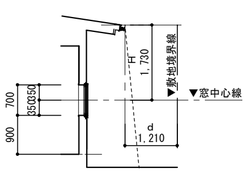
③排煙無窓居室チェック

室　名	室面積 (㎡)	必要排煙面積	(㎡)	計　算　式	有効排煙面積 (㎡)	判定
集会室	109.31	1/50	2.19	AW−10×4 (0.8×2×0.5) ×4 ＝3.200	3.20	O.K
和室（仮眠室）	16.56	1/50	0.33	AW−3 1.2×0.3 ＝0.360	0.36	O.K
和室（救護室）	20.70	1/50	0.42	WW−1 1.615/3×2×0.505 ＝0.543	0.54	O.K
休憩ｺｰﾅｰ合算 (+18.22)	38.92	1/50	0.78	AW−10×4 (0.8×2×0.5) ×2 ＝1.600 （２室１室計算）	1.60	O.K
調理室	22.64	1/50	0.45	AW−11 0.74×0.7 ＝0.518	0.51	O.K
ホール	31.99	1/50	0.64	AW−1×2 0.75×0.3×3 ＝0.675	0.67	O.K

□　調理室の採光補正係数

本計画地は用途地域無指定のため、
採光補正係数Ａは
Ａ＝ｄ／ｈ×10−1
＝1.21/1.73×10−1
＝5.994

よって、Ａ＝3



■　消防法普通階・無窓階算定

階　数	床面積（Ａ）	基準開口面積 面積（Ａ／30）	有効開口部 面積合計	算定結果
１階	288.46 ㎡	9.62 ㎡	25.38 ㎡	普通階

開口部 位　置	建　具 記　号	開口部 種　別	床からの 高さ(m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在数	開口部面積 小計（㎡）
南	ＡＤ−１	引分け戸	0	0.990 × 2.200 × 1	2.17
	ＡＷ−１	引違い窓	0	0.750 × 2.200 × 2	3.30
	ＡＷ−３	引違い窓	0	1.200 × 2.200 × 2	5.28
	ＡＷ−４	片引き窓	0	0.720 × 2.200 × 2	3.16
東	ＡＷ−１	引違い窓	0	0.750 × 2.200 × 2	3.30
	ＡＷ−３	引違い窓	0	1.200 × 2.200 × 2	5.28
北	ＡＷ−１	引違い窓	0	0.750 × 2.200 × 1	1.65
	ＡＤ−１	片開き戸	0	0.690 × 1.800 × 1	1.24
	計				25.38

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

建具符号図・法規チェック

１２５

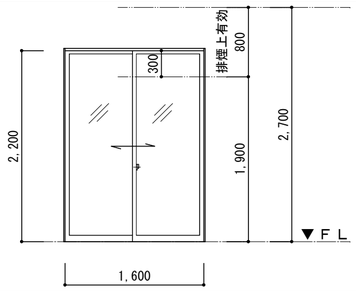
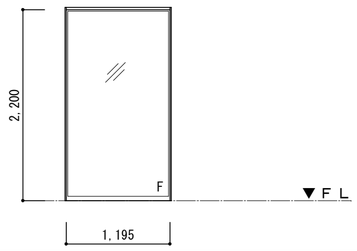
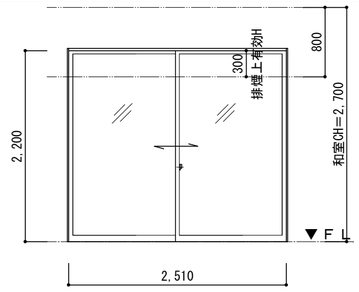
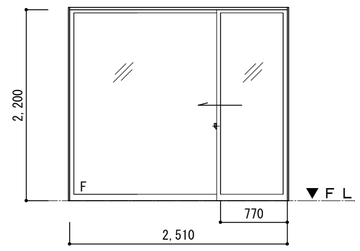
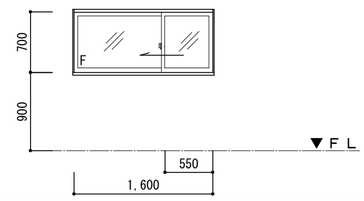
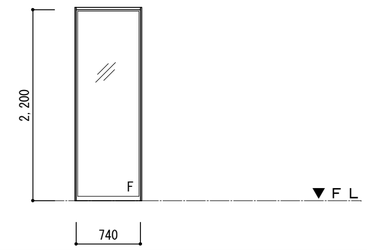
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

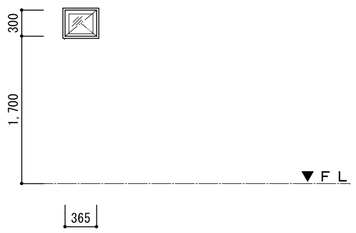
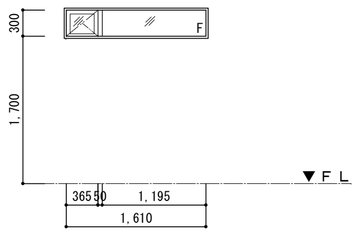
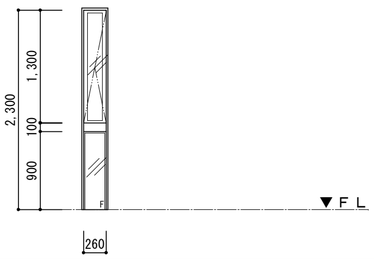
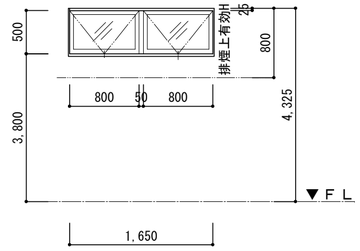
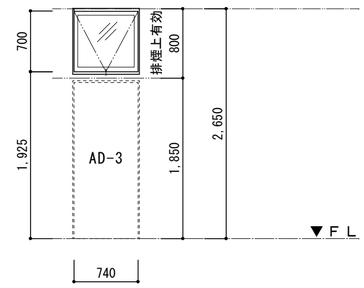
NUMBAR

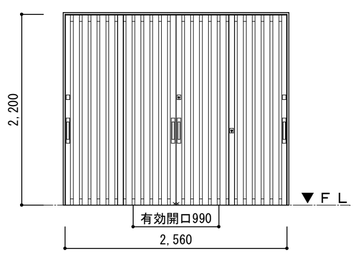
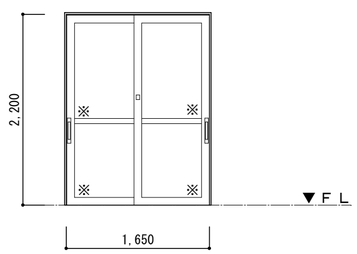
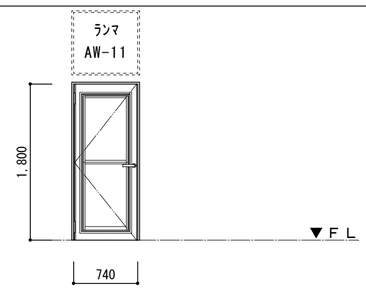
SCALE A2：S=1/100 A3：−

DATE

DRAWN BY

符号・数量	ＡＷ－１	５ヶ所	ＡＷ－２	１ヶ所	ＡＷ－３	４ヶ所	ＡＷ－４	２ヶ所	ＡＷ－５	１ヶ所	ＡＷ－６	１ヶ所
型式	アルミ製引違窓（半外付）		アルミ製ＦＩＸ窓（半外付）		アルミ製引違窓（半外付）		アルミ製片引き窓（半外付）		アルミ製引違窓（半外付）		アルミ製ＦＩＸ窓（半外付）	
取付場所	ホール、集会室		ホール		和室（仮眠室）（救護室）、集会室		集会室		調理室		ホール	
形状												
寸法（Ｗ×Ｈ）	1,600×2,200		1,195×2,200		2,510×2,200		2,510×2,200		1,600×700		740×2,200	
材質・仕上	アルミ押出型材（二次電解着色）		アルミ押出型材（二次電解着色）		アルミ押出型材（二次電解着色）		アルミ押出型材（二次電解着色）		アルミ押出型材（二次電解着色）		アルミ押出型材（二次電解着色）	
ガラス	LOW-eペアガラスFL3＋A12+FL3 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼		LOW-eペアガラスFL3＋A12+FL3 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼		LOW-eペアガラスFL3＋A12+FL3 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼		LOW-eペアガラスFL3＋A12+FL3 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼		LOW-eペアガラスFL3＋A12+FL3		LOW-eペアガラスFL3＋A12+FL3 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼	
金　物	クレセント付属金物一式		―		クレセント付属金物一式		クレセント付属金物一式		クレセント付属金物一式		―	
備　考	網戸、額縁		額縁		網戸、額縁		網戸、額縁		網戸、額縁		額縁	

符号・数量	ＡＷ－７	３ヶ所	ＡＷ－８	１ヶ所	ＡＷ－９	１ヶ所	ＡＷ－１０	６ヶ所	ＡＷ－１１	１ヶ所		
型式	アルミ製辷出し窓（半外付）		アルミ製辷出し窓＋ＦＩＸ連窓（半外付）		アルミ製FIX＋タテ辷り出し段窓（半外付）		アルミ製二連外倒し窓（半外付）		アルミ製外倒し窓（半外付）			
取付場所	男子便所、女子便所		男子便所		廊下		廊下		調理室			
形状												
寸法（Ｗ×Ｈ）	365×300		1,610×300		260×2,300		1,650×500		740×700			
材質・仕上	アルミ押出型材（二次電解着色）		アルミ押出型材（二次電解着色）		アルミ押出型材（二次電解着色）		アルミ押出型材（二次電解着色）		アルミ押出型材（二次電解着色）			
ガラス	LOW-eペアガラスFL3＋A12+F4		LOW-eペアガラスFL3＋A12+F4		LOW-eペアガラスFL3＋A12+FL3 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼		LOW-eペアガラスFL3＋A12+FL3		LOW-eペアガラスFL3＋A12+FL3			
金　物	カムラッチ付属金物一式		カムラッチ付属金物一式		カムラッチ付属金物一式		カムラッチ付属金物一式		カムラッチ付属金物一式			
備　考	内開き網戸、額縁		連窓方立、内開き網戸、額縁		段窓無目、内開き網戸、額縁		ﾊﾝﾄﾞﾙｵﾍﾟﾚｰﾀ、固定網戸、額縁		フック棒、固定網戸、額縁			

符号・数量	ＡＤ－１	１ヶ所	ＡＤ－２	２ヶ所	ＡＤ－３	１ヶ所						
型式	アルミ製４枚建引き分け戸（半外付）		アルミ製引違戸（半外付）		アルミ製通風片開き扉（半外付）							
取付場所	風除室		倉庫１、２		調理室							
形状												
寸法（Ｗ×Ｈ）	2,560×2,200		1,650×2,200		740×1,800							
材質・仕上	アルミ押出型材（二次電解着色）		アルミ押出型材（二次電解着色）		アルミ押出型材（二次電解着色）							
ガラス	LOW-eペアガラスFL3＋A12+F4		断熱サンドイッチパネル（※部分）		LOW-eペアガラスFL3＋A12+F4　飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼							
金　物	シリンダー錠サムターン、バーハンドル 下枠ステンレス		シリンダー錠サムターン、掘込引手 下枠ステンレス		シリンダー錠サムターン、レバーハンドル 丁番、下枠ステンレス							
備　考	三方枠		三方枠		三方枠							

凡例

1．ｱﾙﾐｻｯｼの性能は以下とする。
1）耐久性　Ｓ－３
2）気密性　Ａ－３
3）水密性　Ｗ－３
4）遮音性　Ｔ－２

2．ｶﾞﾗｽ止めは全てシーリング止めとする。
3．ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠は本締錠とする。
4．外部ｻｯｼは全て網戸付とし、ｶﾞﾗｽ繊維入合成樹脂製とする。
5．外部ｻｯｼのｶﾞﾗｽは、全てLow-E複層ｶﾞﾗｽ仕様とする。
6．外部に面するｻｯｼは、全て結露受けとする。
7．外部ｻｯｼｶﾗｰは、ｶﾗｰｻﾝﾌﾟﾙで確認の上、決定とする。

9．額縁及び木製建具枠は、化粧シート貼とする。
10．ピボットヒンジは、特記無き限り中心吊型とする。
11．ドアチェックは、特記無き限りストッパー付とする。
12．アングルは、特記無き限り、四方とする。
13．ヒンジ、付属金物類は、特記無き限りステンレス製とする。
14．排煙オペレーターの高さ：800mm以上、1500mm以下とする。

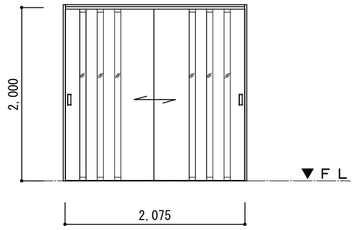
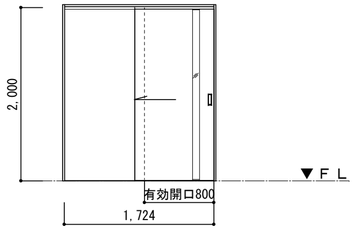
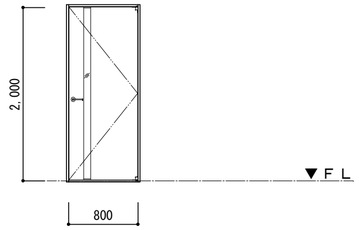
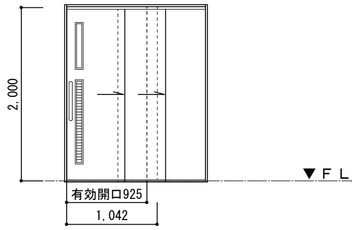
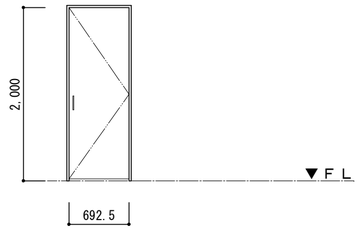
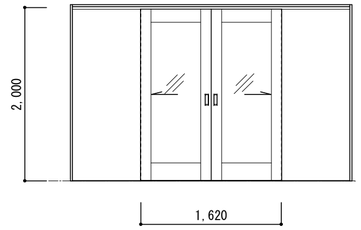
15．木製建具に使用する面材及び下地材は、Ｆ☆☆☆☆以上とする。

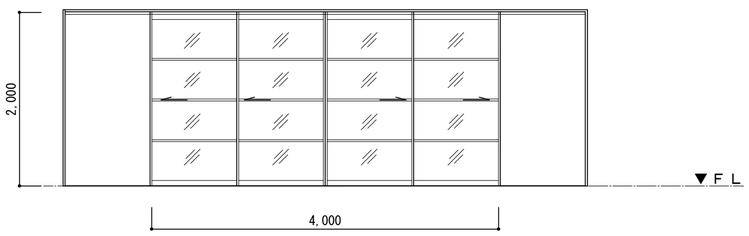
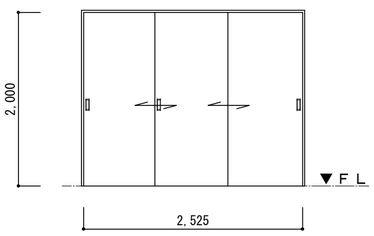
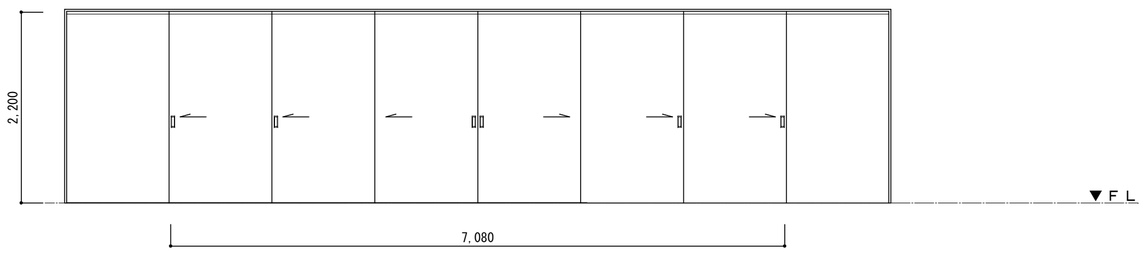
D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

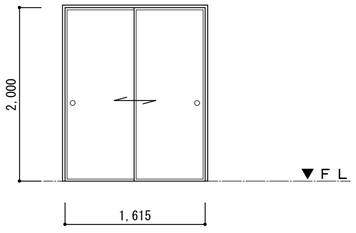
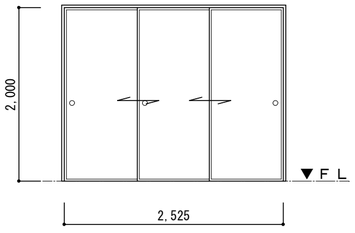
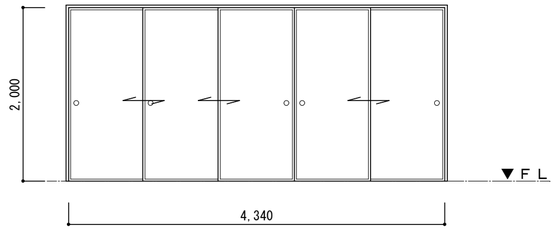
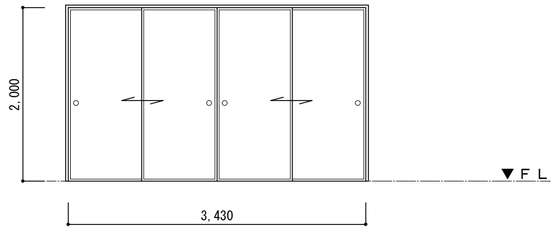
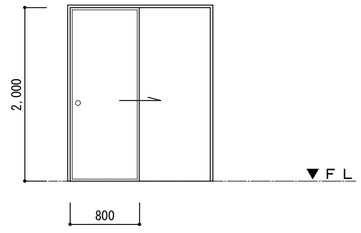
126　建具表－１

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR
SCALE　A2：S=1/50　A3：―
DATE
DRAWN BY

符号・数量	ＷＤ－１ １ヶ所	ＷＤ－２ １ヶ所	ＷＤ－３ ２ヶ所	ＷＤ－４ １ヶ所	ＷＤ－５ ２ヶ所	ＷＤ－６ ２ヶ所
型式	木製引違戸	木製片引き戸	木製片開き戸	木製二連片引き吊戸	木製片開き扉	木製引き分け戸
取付場所	風除室	倉庫１	男子便所、女子便所	多目的便所	収納（1）、ＰＳ	ホール
形状						
寸法（W×H）	2,075×2,000	1,724×2,000	800×2,000	1042×2,000	692.5×2,000	1,620×2,000
材質・仕上	樹脂化粧シート木目調（基材MDF他）	樹脂化粧シート木目調（基材MDF他）	樹脂化粧シート木目調（基材MDF他）	樹脂化粧シート木目調（基材MDF他）	樹脂化粧シート木目調（基材MDF他）	樹脂化粧シート木目調（基材MDF他）
ガラス	アクリル板	半透明アクリル板	半透明アクリル板	半透明アクリル板	－	半透明アクリル板
金　物	大型掘込引手、戸車、Ｖレール	大型掘込引手、戸車、Ｖレール	レバーハンドル、ピボットヒンジ	吊戸金物一式、ﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、表示錠	引手、スライド丁番	大型掘込引手、戸車、Ｖレール
備　考	三方枠	三方枠	三方枠、戸当たり	ガラリ付、三方枠	三方枠、戸当たり	三方枠

符号・数量	ＷＤ－７ 1ヶ所	ＷＤ－８ １ヶ所	ＷＤ－９ 1ヶ所
型式	木製引き分け戸（４枚建）	木製引違戸（３枚建）	木製引き分け戸（６枚建）
取付場所	ホール	収納（2）	倉庫２
形状			
寸法（W×H）	4,000×2,000	2,525×2,000	7,080×2,200
材質・仕上	アルミ、樹脂化粧シート木目調（基材MDF他）	樹脂化粧シート木目調（基材MDF他）	樹脂化粧シート木目調（基材MDF他）
ガラス	半透明アクリル板	－	-
金　物	大型掘込引手、戸車、Ｖレール	大型掘込引手、戸車、Ｖレール	大型掘込引手、戸車、Ｖレール
備　考	三方枠	三方枠	三方枠

符号・数量	Ｆ－１ ３ヶ所	Ｆ－２ １ヶ所	Ｆ－３ １ヶ所	Ｆ－４ １ヶ所	Ｆ－５ １ヶ所
型式	引違襖戸	引違襖戸（３枚建）	引違襖戸（５枚建）	引違襖戸（４枚建）	片引き襖戸
取付場所	和室（仮眠室）、（救護室）	和室（救護室）	和室（救護室）	和室（救護室）	和室（仮眠室）
形状					
寸法（W×H）	1,615×2,000	2,525×2,000	4,340×2,000	3,430×2,000	800×2,000
材質・仕上	新鳥の子紙	新鳥の子紙	新鳥の子紙	新鳥の子紙	新鳥の子紙
ガラス	－	－	－	－	－
金　物	引手（白木）	引手（白木）	引手（白木）	引手（白木）	引手（白木）
備　考	四方枠	四方枠	四方枠	四方枠	四方枠

凡例

1．ｱﾙﾐｻｯｼの性能は以下とする。
1)耐久性　Ｓ－３
2)気密性　Ａ－４
3)水密性　Ｗ－４（引違Ｗ－３）
4)遮音性　Ｔ－２

2. ｶﾞﾗｽ止めは全てシーリング止めとする。
3. ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠は本締錠とする。
4. 外部ｻｯｼは全て網戸付とし、ｶﾞﾗｽ繊維入合成樹脂製とする。
5. 外部ｻｯｼのｶﾞﾗｽは、全てLow-E複層ｶﾞﾗｽ仕様とする。
6. 外部に面するｻｯｼは、全て結露受けとする。
7. 外部ｻｯｼｶﾗｰは、ｶﾗｰｻﾝﾌﾟﾙで確認の上、決定とする。

9. 額縁及び木製建具枠は、化粧シート貼とする。
10. ピボットヒンジは、特記無き限り中心吊型とする。
11. ドアチェックは、特記無き限りストッパー付とする。
12. アングルは、特記無き限り、四方とする。
13. ヒンジ、付属金物類は、特記無き限りステンレス製とする。
14. 排煙オペレーターの高さ：800㎜以上、1500㎜以下とする。

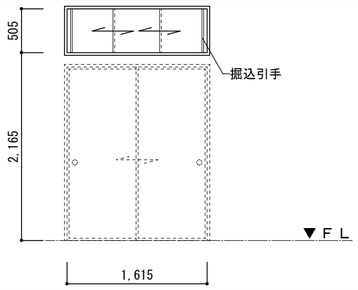
15. 木製建具に使用する面材及び下地材は、Ｆ☆☆☆☆以上とする。

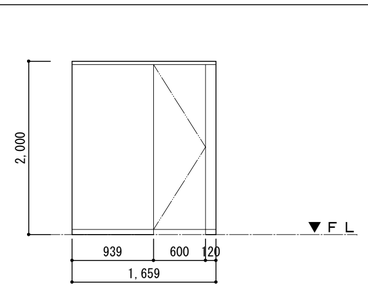
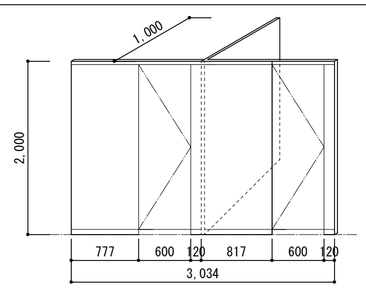
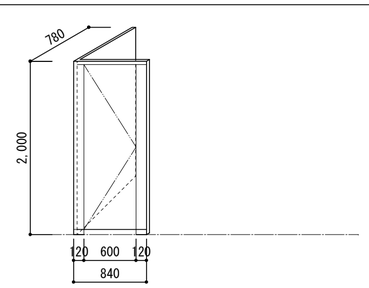
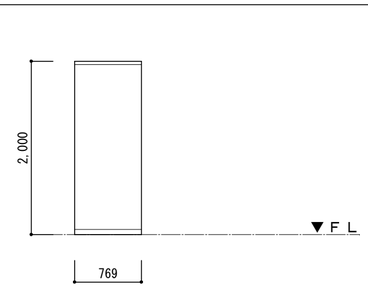
D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

１２７　建具表－２

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR
SCALE　A2：S=1/50　A3：－
DATE
DRAWN BY

符号・数量	ＷＷ－１　２ヶ所					
型式	ランマ３枚建て木製窓					
取付場所	和室（仮眠室）、（救護室）					
形状						
寸法（Ｗ×Ｈ）	1,615×505					
材質・仕上	シナ合板フラッシュ　ＣＬ					
ガラス	－					
金　物	掘込引手、敷居ｽﾘ					
備　考	四方枠					

符号・数量	ＴＬ－１　１ヶ所	ＴＬ－２　１ヶ所	ＴＬ－３　１ヶ所	ＴＬ－４　１ヶ所		
型式	トイレブース	トイレブース	ＳＫブース	隔てスクリーン		
取付場所	男子便所	女子便所	女子便所（ＳＫ）	男子便所		
形状						
寸法（Ｗ×Ｈ）	1,659×2,000　見込：40	（3,034+1,000）×2,000　見込：40	（840+780）×2,000　見込：40	769×2,000　見込：40		
材質・仕上	メラミン化粧合板フラッシュ（木目調）	メラミン化粧合板フラッシュ（木目調）	メラミン化粧合板フラッシュ（木目調）	メラミン化粧合板フラッシュ（木目調）		
ガラス	－	－	－	－		
金　物	表示錠付ｽﾗｲﾄﾞ取手、ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ（中心吊）（非常時外開き機能）	表示錠付ｽﾗｲﾄﾞ取手、ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ（中心吊）（非常時外開き機能）	ｽﾗｲﾄﾞ取手、ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ（中心吊）	－		
備　考	巾木：SUS、笠木：ｱﾙﾐ、戸当り（帽子掛）	巾木：SUS、笠木：ｱﾙﾐ、戸当り（帽子掛）	巾木：SUS、笠木：ｱﾙﾐ	巾木：SUS、笠木：ｱﾙﾐ		

符号・数量						
型式						
取付場所						
形状						
寸法（Ｗ×Ｈ）						
材質・仕上						
ガラス						
金　物						
備　考						

凡例

1．ｱﾙﾐｻｯｼの性能は以下とする。
1）耐久性　Ｓ－３
2）気密性　Ａ－４
3）水密性　Ｗ－４（引違Ｗ－３）
4）遮音性　Ｔ－２

2．ｶﾞﾗｽ止めは全てシーリング止めとする。
3．ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠は本締錠とする。
4．外部ｻｯｼは全て網戸付とし、ｶﾞﾗｽ繊維入合成樹脂製とする。
5．外部ｻｯｼのｶﾞﾗｽは、全てLow-E複層ｶﾞﾗｽ仕様とする。
6．外部に面するｻｯｼは、全て結露受けとする。
7．外部ｻｯｼｶﾗｰは、ｶﾗｰｻﾝﾌﾟﾙで確認の上、決定とする。

9．額縁及び木製建具枠は、化粧シート貼とする。
10．ピボットヒンジは、特記無き限り中心吊型とする。
11．ドアチェックは、特記無き限りストッパー付とする。
12．アングルは、特記無き限り、四方とする。
13．ヒンジ、付属金物類は、特記無き限りステンレス製とする。
14．排煙オペレーターの高さ：800㎜以上、1500㎜以下とする。

15．木製建具に使用する面材及び下地材は、Ｆ☆☆☆☆以上とする。

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

１２８　建具表－３

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

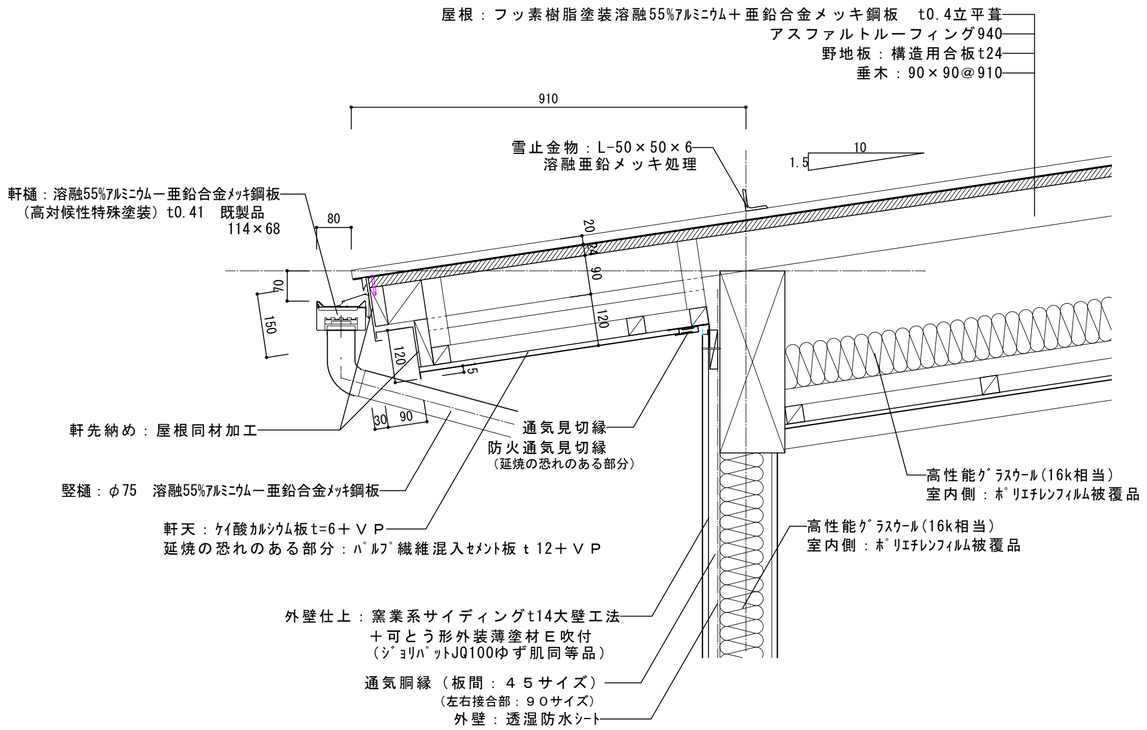
NUMBAR

SCALE　A2：S=1/50　A3：－

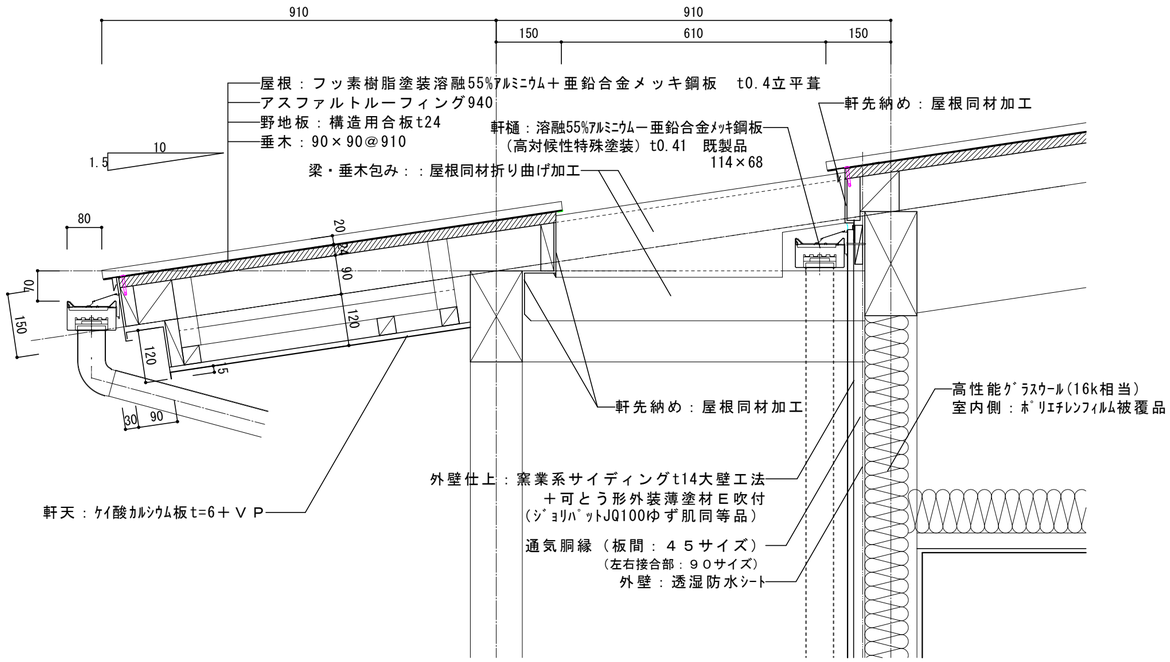
DATE

DRAWN BY

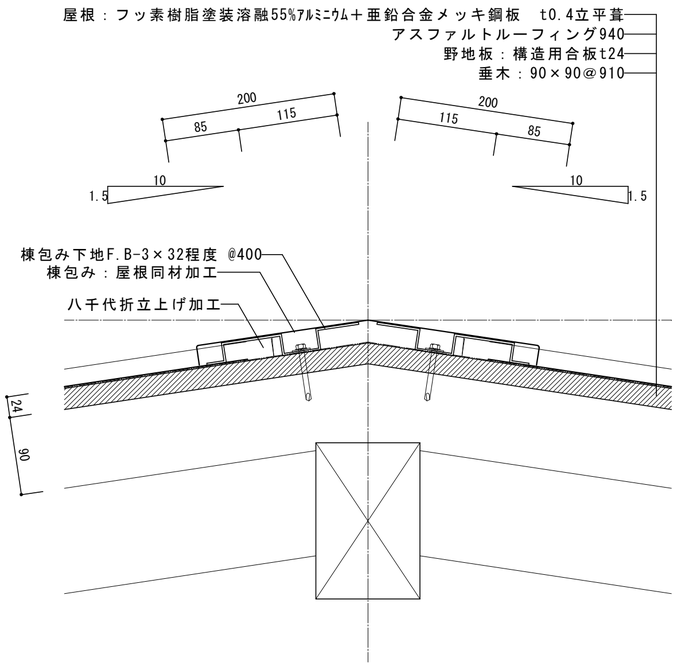
屋根軒先詳細　S=1/10



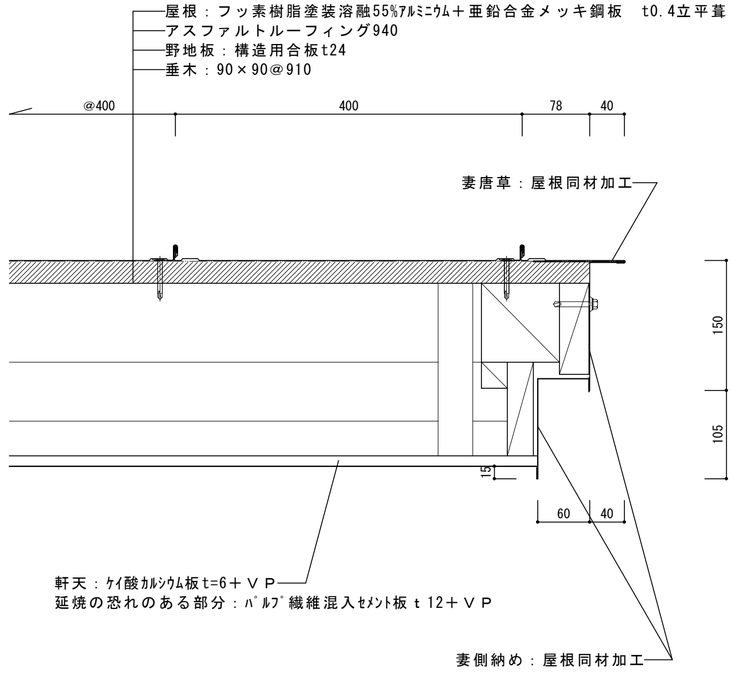
軒先詳細（吹抜部）　S=1/10



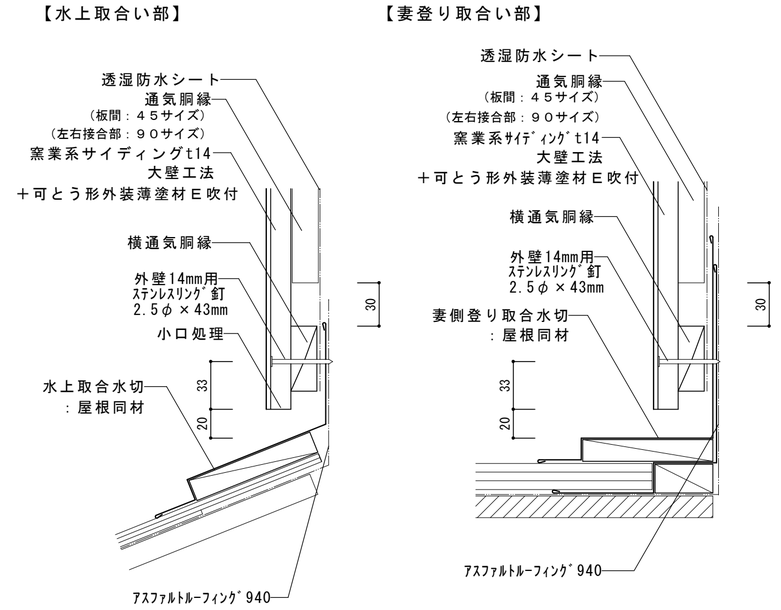
屋根棟部詳細　S=1/5



屋根ケラバ詳細　S=1/5



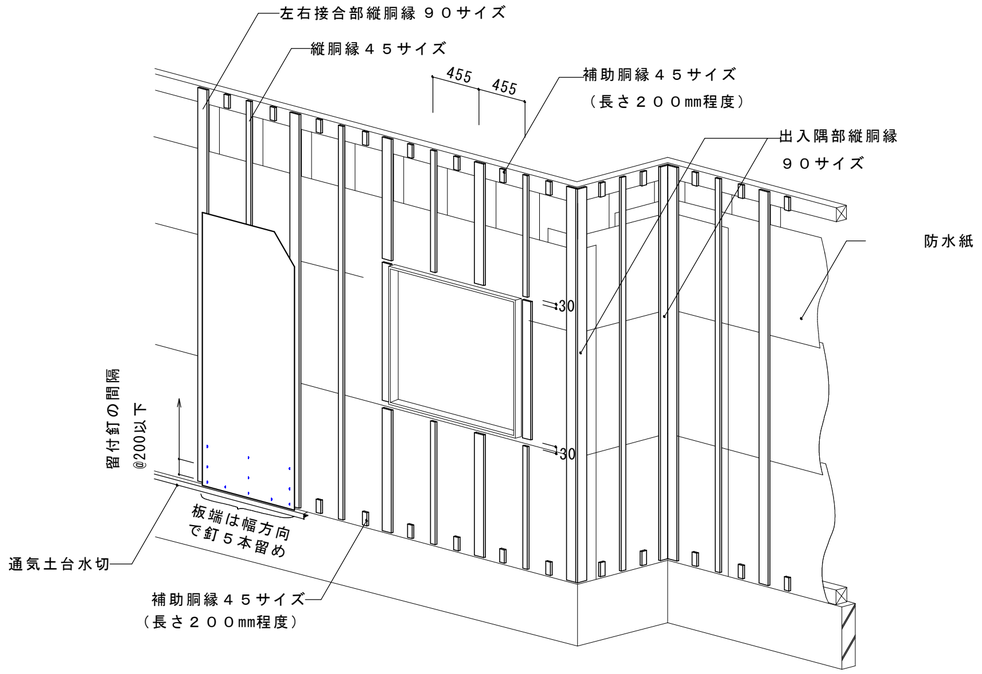
屋根－外壁取合い部詳細　S=1/3



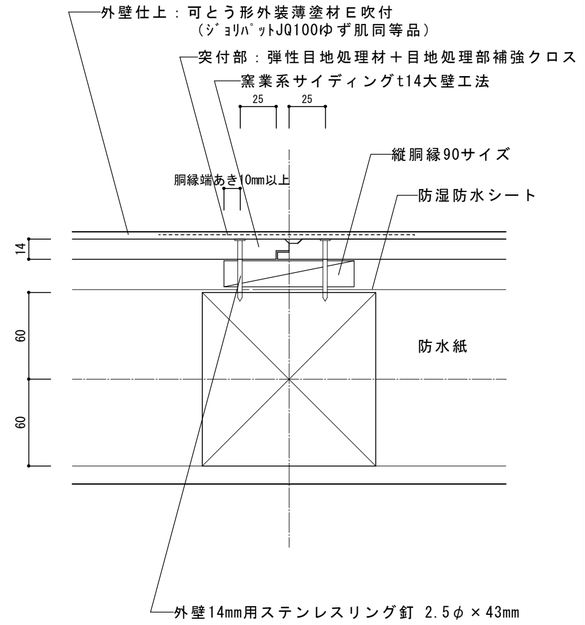
凡例

D	平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事		NUMBAR
	雑詳細図－１		SCALE A2：S=1/3、1/5、1/10
１２９	株式会社 松本純一郎設計事務所 登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎		DATE
			DRAWN BY

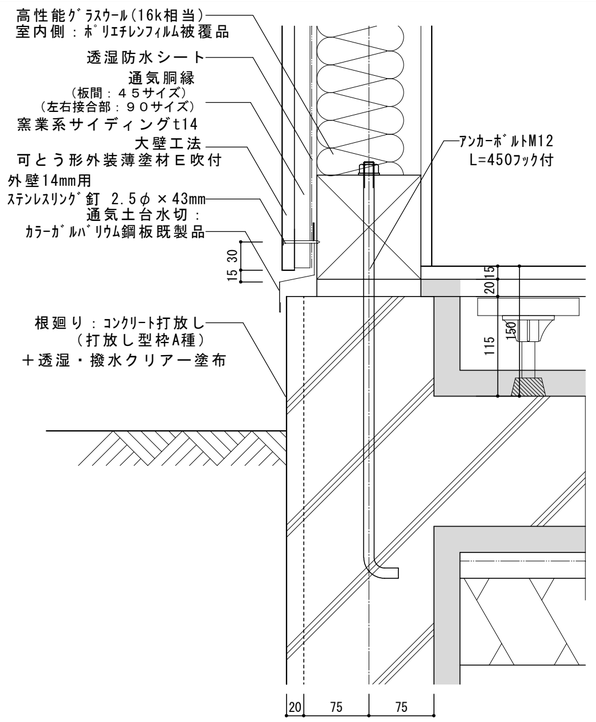
外壁基本構成図



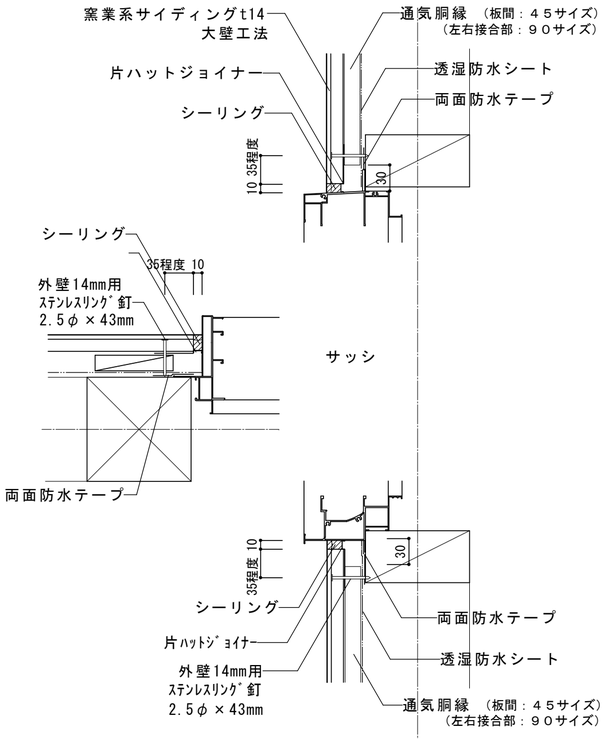
外壁大壁工法・突付部詳細 S=1/3



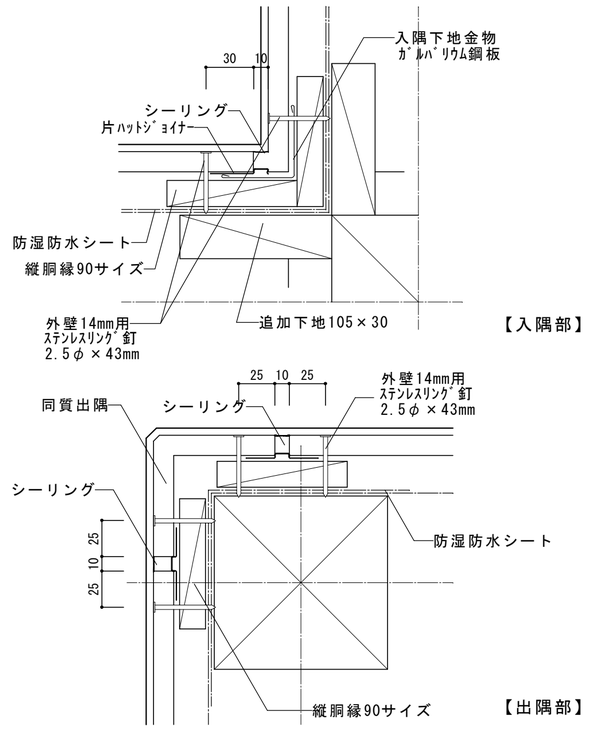
土台水切廻り詳細 S=1/5



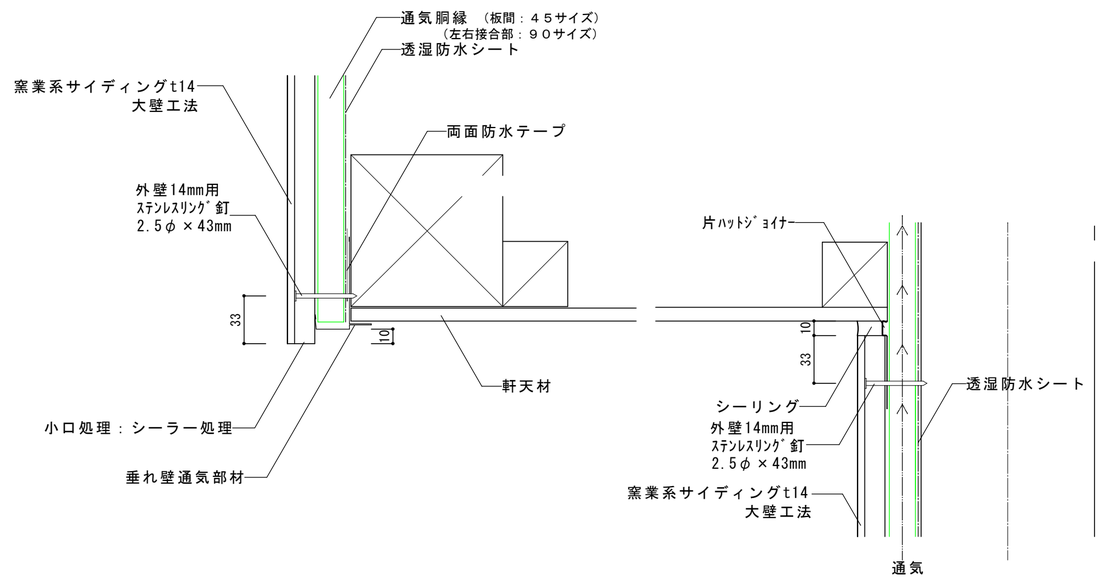
サッシ廻り外壁詳細 S=1/3



外壁出隅・入隅部詳細 S=1/3



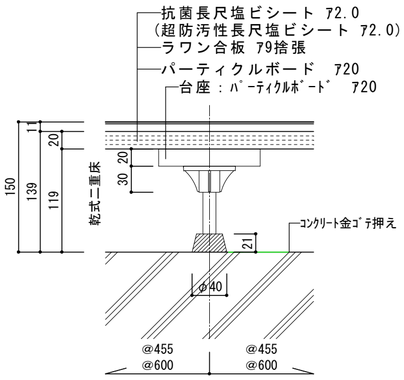
外壁ー軒天取り合い部詳細 S=1/3



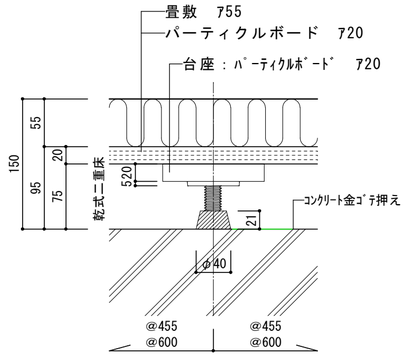
凡例

D	平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事	NUMBAR
	雑詳細図－２	SCALE A2：S=1/3、1/5
１３０	株式会社 松本純一郎設計事務所 登録番号 １５６９８７ 一級建築士 松本純一郎	DATE DRAWN BY

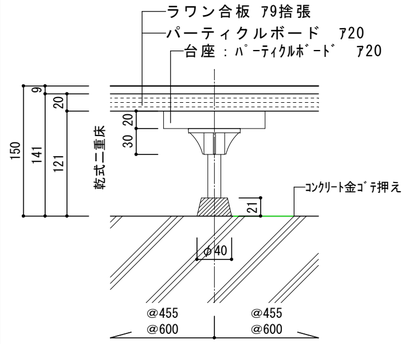
床詳細－１ S=1/5



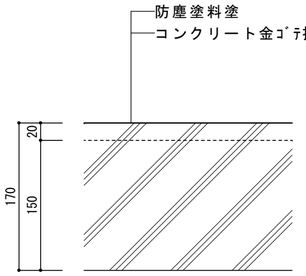
床詳細－２ S=1/5



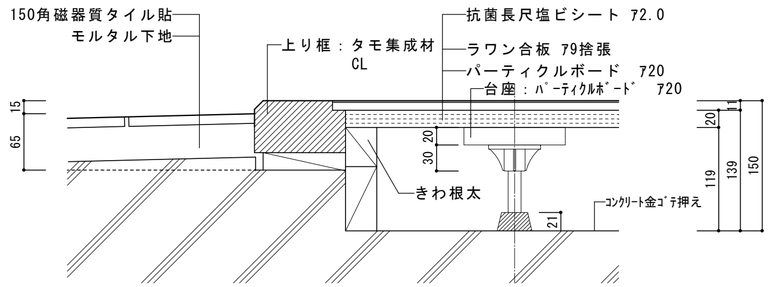
床詳細－３ S=1/5



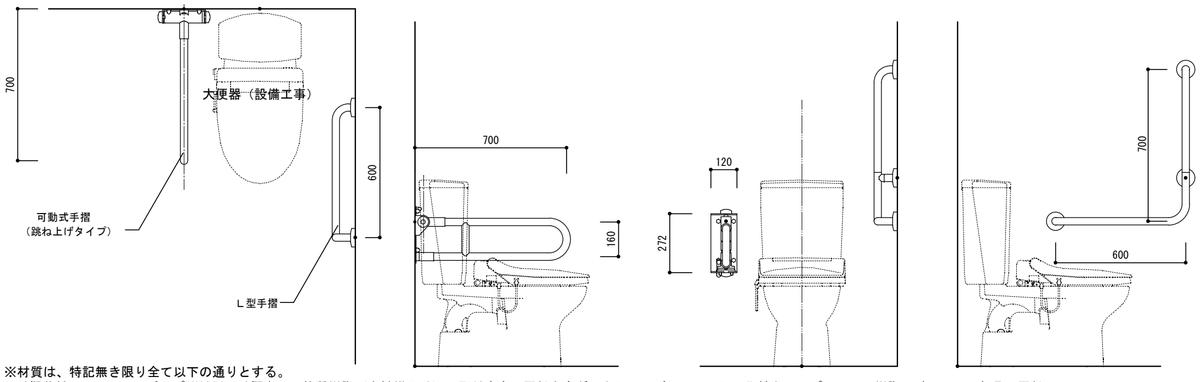
床詳細－４ S=1/5



床詳細－５ S=1/5

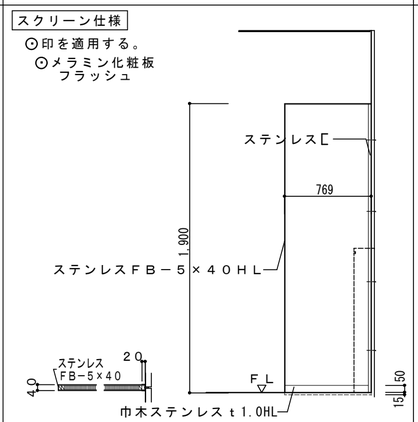


多目的便所手摺 S=1/20

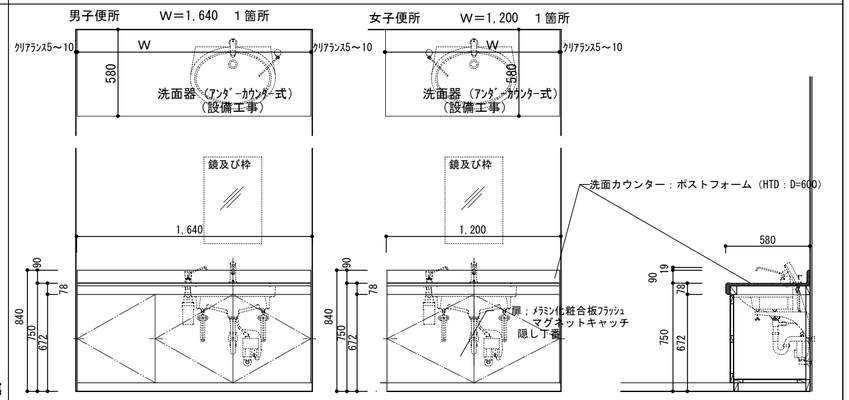


※材質は、特記無き限り全て以下の通りとする。
手摺芯材：ステンレスパイプSUS304、手摺表面：軟質樹脂（光触媒入り）、取付座金：亜鉛合金ダイカスト及びステンレス、化粧キャップ：ＡＢＳ樹脂、ジョイント部品：亜鉛

隔てスクリーン S=1/30

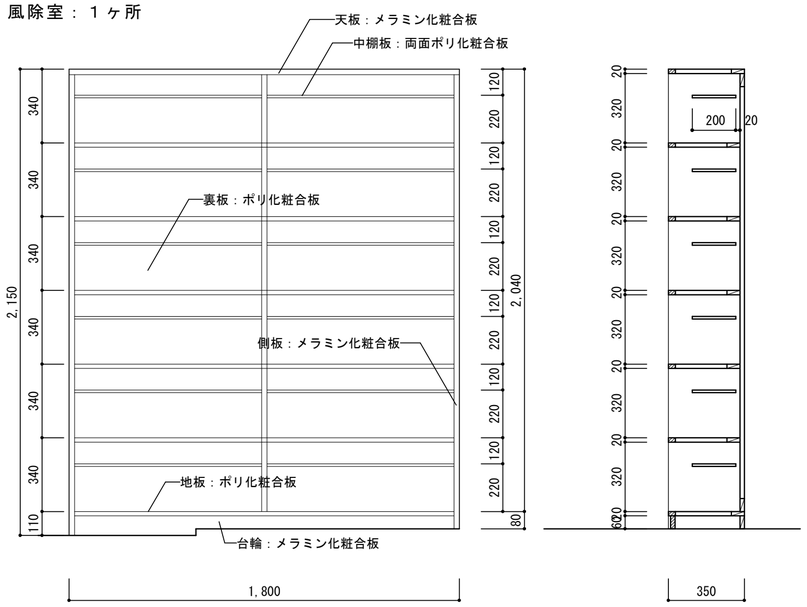


洗面カウンター（収納付） S=1/30

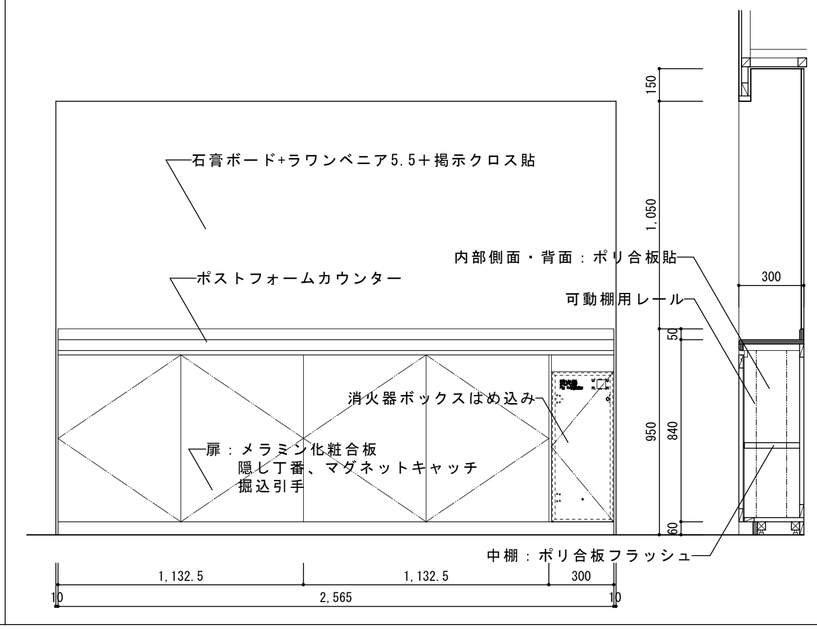


下足棚 S=1/20

風除室：１ヶ所



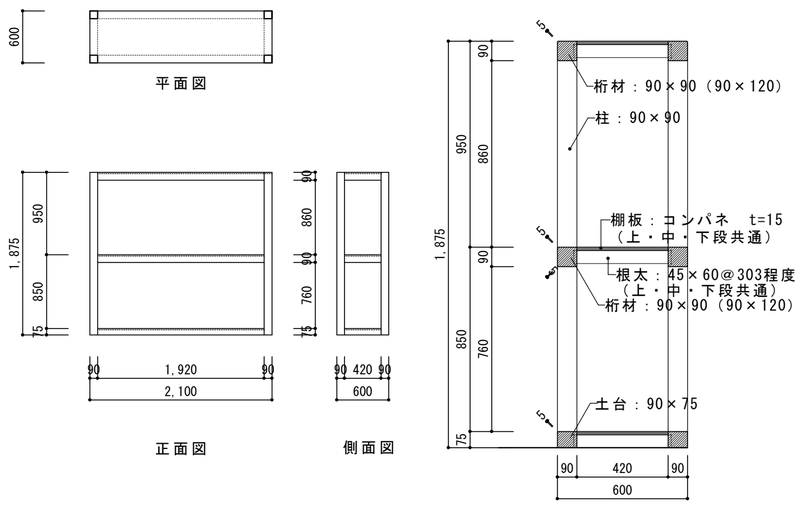
飾り棚 S=1/20



木製棚 S=1/20, 1/50

倉庫（1）：１ヶ所

共通事項
１．木部すべて防腐塗料塗布
２．使用材料は全て、杉・特一等材とする。
３．転倒防止金物等本備品工事に含む



凡例

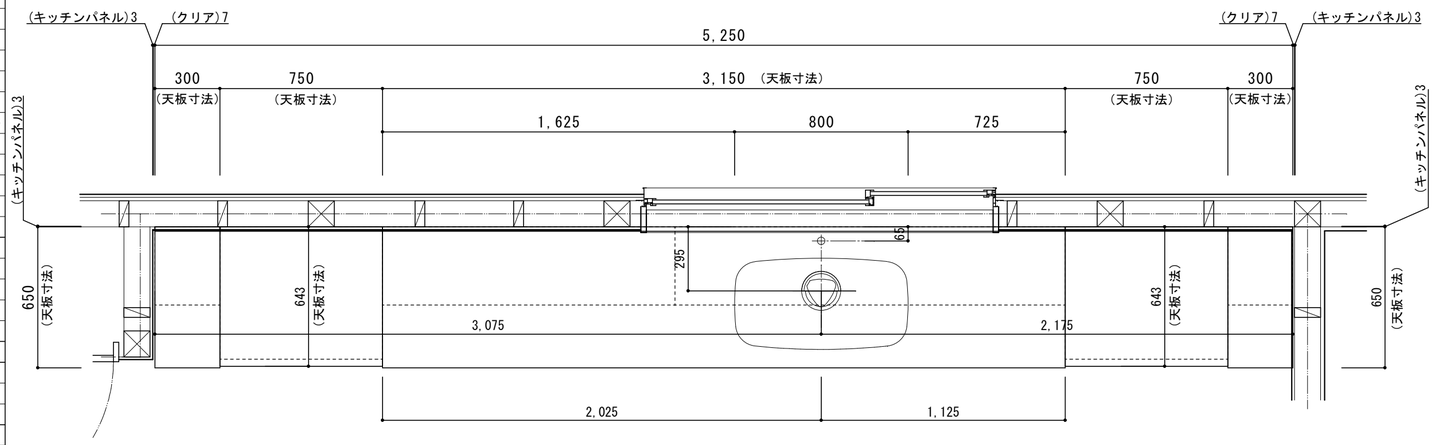
D	平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事	NUMBAR
	雑詳細図－３	SCALE A2：S=1/3、1/5
１３１	株式会社 松本純一郎設計事務所 登録番号 １５６９８７ 一級建築士 松本純一郎	DATE
		DRAWN BY

調理室流し台詳細

S=1/20

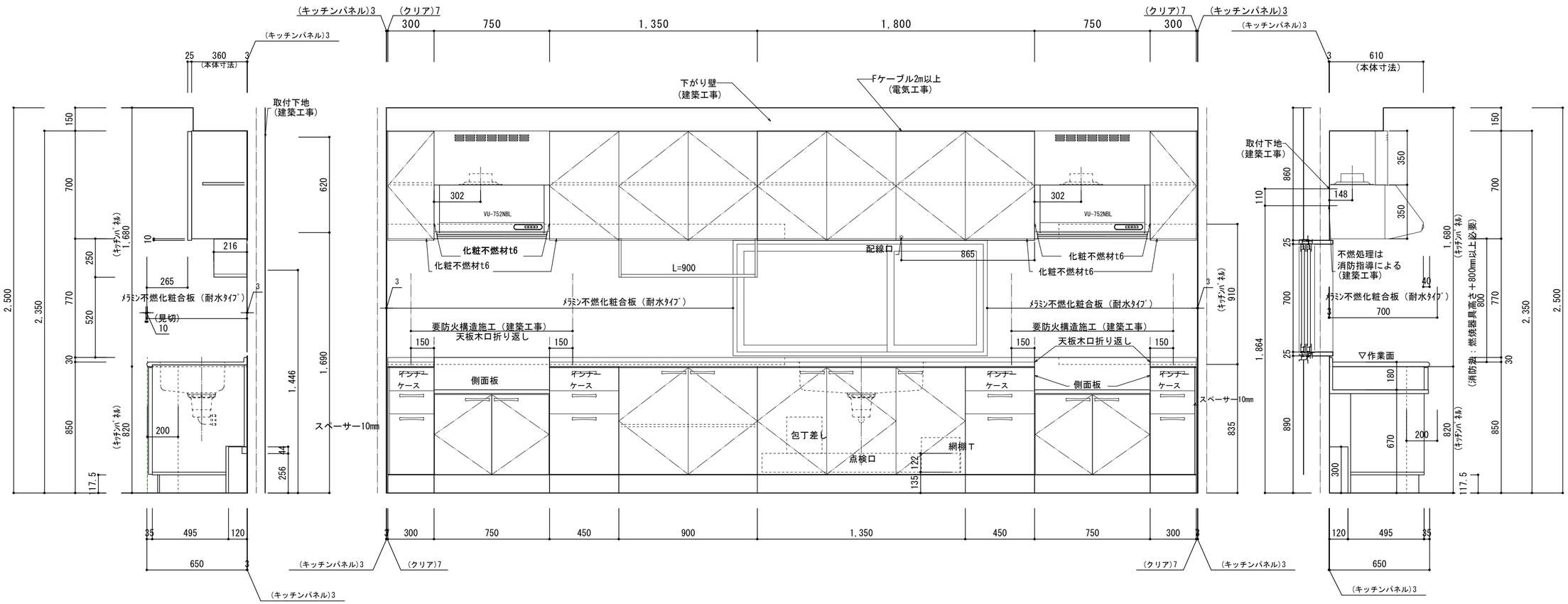
キッチン仕様書

品名	仕様	
天板	材質	ステンレス:SUS304(石目)
		ステンレス:SUS304(2B) ※ガス台天板のみ
	シンク	ノーマルシンク（光沢有り） ステンSUS304
	部品	(ﾉｰﾏﾙｼﾝｸ(SUS304)用)N-40JP 背抜き
		VP40用アダプター
下台	扉	凸版アイモールシート 左右3R 上下木口エッジ貼<M42> 松沢
		扉色：御打合せの上決定
		引手：PES引手(P=120) 横使い
	本体	ｼﾝｸｷｬﾋﾞ（Bｷｬﾋﾞ）開き扉 ﾋﾄ段点検口（ﾎﾙﾀﾞｰ仕様）
		開き調理ｷｬﾋﾞ（Tｷｬﾋﾞ） 開き扉
		引出調理ｷｬﾋﾞ（Jｷｬﾋﾞ） ﾛｰﾗｰｺｯｸｽﾚｰﾙ
		加熱器具ｷｬﾋﾞ（特Gｷｬﾋﾞ） 開き扉 バックガード一体型天板付
		側板材質：ラミネートボード（No.133色）/巾木材質：化粧シートラッピング材（No.53色）
	底板	ラミネートMDF
	部品	防虫ﾊﾟｯｷﾝ
		（ｼﾝｸｷｬﾋﾞ）網棚・DXN包丁差し
		（開き調理ｷｬﾋﾞ）棚板
		（引出調理ｷｬﾋﾞ）ｲﾝﾅｰｹｰｽ・側面板（SUS304）
吊戸棚	扉	下台と同仕様
	本体	WY(WZ)：底板へφ25穴 配線ガイド穴付
		フード横吊戸棚：側面・・・不燃処理 t6／底面・・・不燃処理 t6
	部品	棚板・防虫パッキン
	ラッチ	Hラッチ：シモダイラ
中間棚	水切棚	公団型水切棚（2B1ダン W900）
レンジフード		VU-752NBL （色：要御確認）
		排気型・風圧シャッター式
		接地型2極プラグ
燃焼器具		（別途工事）
照明器具		（材工電気）
水栓		（設備工事） （品番：＿＿＿＿ ／水栓穴径 φ ）



別途工事

建築工事	コーキング工事
	吊戸棚取付け用下地の造作工事
	レンジフード取付け用下地の造作工事
	天井面及び壁面下地不燃ボード（材・工共）
	下がり壁工事
	吊戸と下がり壁の隙間処理工事
	キッチン下台巾木と床の隙間処理工事
	水切棚取付下地工事
設備工事	止水栓（材・工共）
	給水・給湯配管、穴あけ及び水栓金具との接続工事
	排水配管、穴あけ及び排水トラップとの接続工事
	ガス配管及びガス器具との接続工事
	ダクト工事及びレンジフードとの接続工事
電気工事	一次電気及びコンセント（材・工共）
	棚下灯及び棚下灯取付・結線工事



凡例

D 平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

雑詳細図－４

１３２

株式会社 松本純一郎設計事務所

登録番号 １５６９８７ 一級建築士 松本純一郎

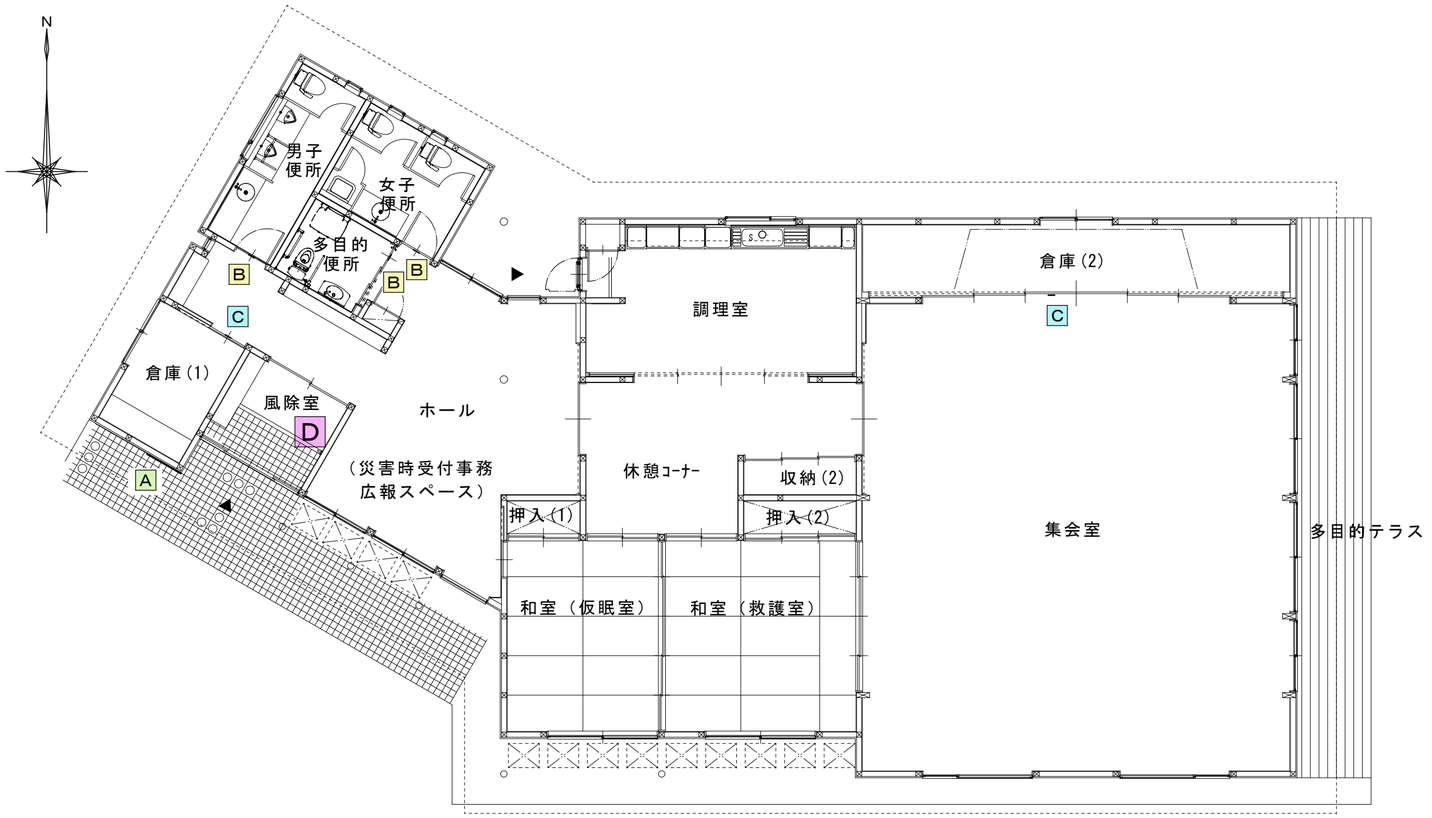
NUMBAR

SCALE A2：S=1/3、1/5

DATE

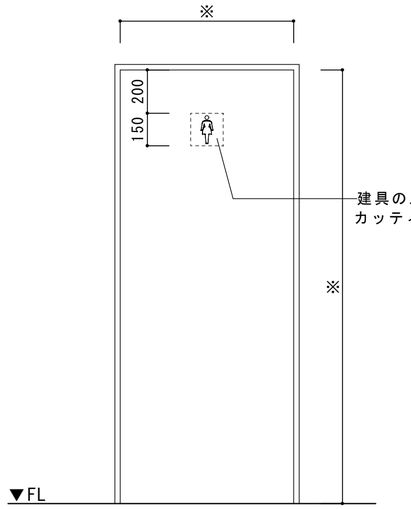
DRAWN BY

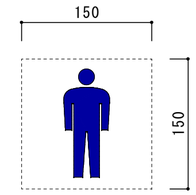
サインキープラン　S＝1/100



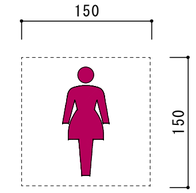
サインキープラン　S=1/100

B　ピクトサイン　３ヶ所　S＝1/5、1/20

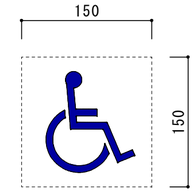




男性ＷＣ（青）
１ヶ所



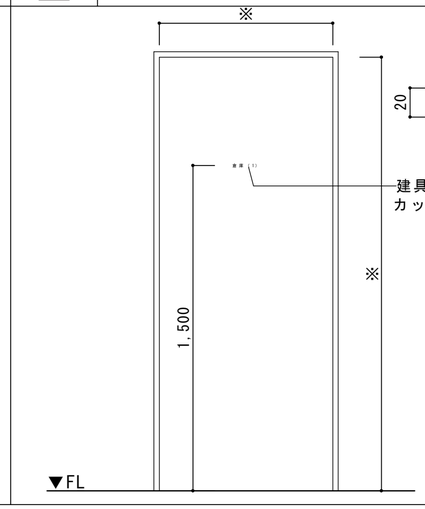
女性ＷＣ（赤）
１ヶ所



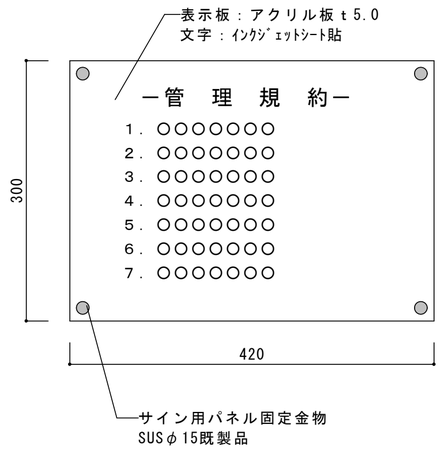
多目的ＷＣ（青）
１ヶ所

A　館名板　１ヶ所　S＝1/5

C　室名表示　２ヶ所　S＝1/3



D　管理規約表示板　１ヶ所　S＝1/5



凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

サイン図

１３３

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR

SCALE
A2：S=1/3、1/5、1/20
A3：－

DATE

DRAWN BY

■凡例・植栽リスト

記号	名称	分類	形状寸法 H	C	W	数量	単位	備考
ヤマ	ヤマザクラ	高木	4.0	0.25	1.8	1	本	2脚鳥居支柱
シラ	シラカシ	高木	4.0	0.21	1.2	2	本	2脚鳥居支柱
コブ	コブシ	高木	3.0	0.12	1.0	2	本	2脚鳥居支柱
モチ	モチノキ	高木	3.0	0.15	0.8	2	本	2脚鳥居支柱
ハナ	ハナミズキ(白)	高木	2.5	0.10	0.6	2	本	2脚鳥居支柱
	アオキ	低木	0.5	—	0.3	30	本	3本/㎡
	ドウダンツツジ	低木	0.6	—	0.3	112	本	4本/㎡
	レンギョウ	低木	0.5	—	—	48	株	3株/㎡ ２本立/株

外構リスト・凡例

記号	仕様	参考数量
	アスファルト舗装 (表層)密粒度アスコン t=50 (路盤)再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC-40) t=150	建物敷地内 241㎡
	エントランスポーチ コンクリート下地＋モルタル＋150角磁器質タイル貼 一部 300角注意喚起、誘導タイル	19.6㎡ 内誘導タイル 1.71㎡
	テラス(犬走り) コンクリート金ゴテ仕上	21.5㎡
	多目的テラス 土間コンクリート直押えの上、再生木デッキ敷 t=25、鋼製下地、幕板共	23.1㎡
	植栽用客土：t=300	50.8㎥
	野芝張 ベタ張(客土t=300含む)	160㎡
	側溝(ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋及びｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ共) U-300：落ち蓋式U型側溝 同上用RC蓋(2種) L=500 同上用RC蓋(特記外1種) L=500 ※1) 車道部T-25、建物際T-14とし、L=500仕様する。 ※2) 特記外グレーチング蓋のピッチは5mとする。	U-300A 40.3m 4.0m 28.3m GT-25 1m GT-14 7m
	雨水集水桝：600×600 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ(溶融亜鉛ﾒｯｷ) 4ヶ所 暗渠配管：φ250	4箇所 27.4m
BB-A	縁石 BB-A：歩車道境界ブロックA BB-地A：地先境界ブロックA	 12.9m 46.0m
	白線引き：W=150 駐車区画(L=4000)、車いす使用者用表示	4台 1ヶ所
	車止めﾌﾞﾛｯｸ(反射板付) ｺﾝｸﾘｰﾄ製既製品(地先境界ﾌﾞﾛｯｸCｱﾝｶｰ付)2ヶ所／台	5台
CP CP	車止めポール(取外し式) H=700 SUS製φ60.5 (フタ・南京錠付)基礎共	6ヶ所
	足洗い場(風除室前) ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞT-2 W600×D450 枠付 溶融亜鉛メッキ	1ヶ所

外構図－１ S=1/100

凡例

D 平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

１３４ 外構図－１

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号 １５６９８７ 一級建築士 松本純一郎

NUMBAR

SCALE A2：S=1/100 A3：—

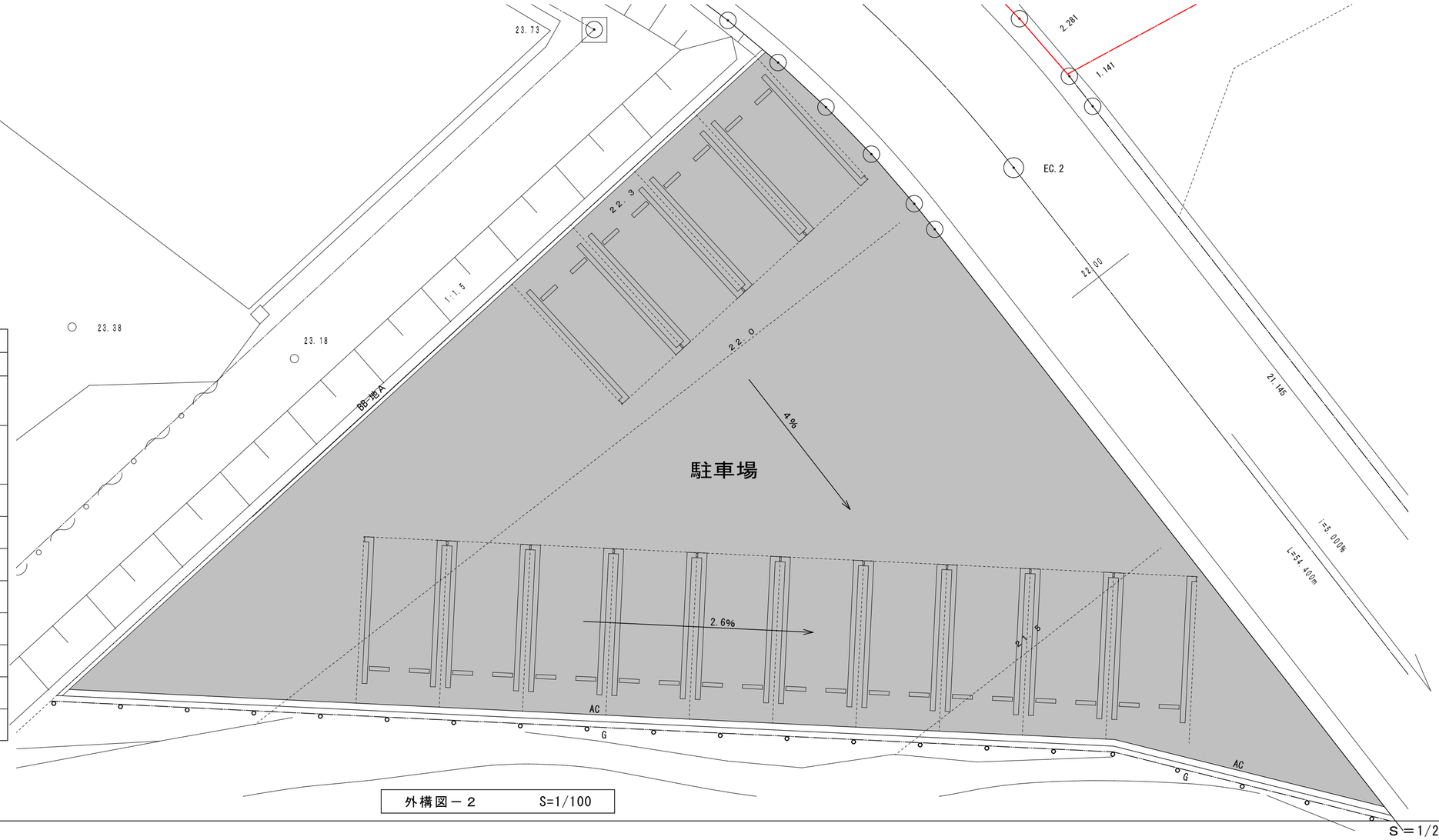
DATE

DRAWN BY

N

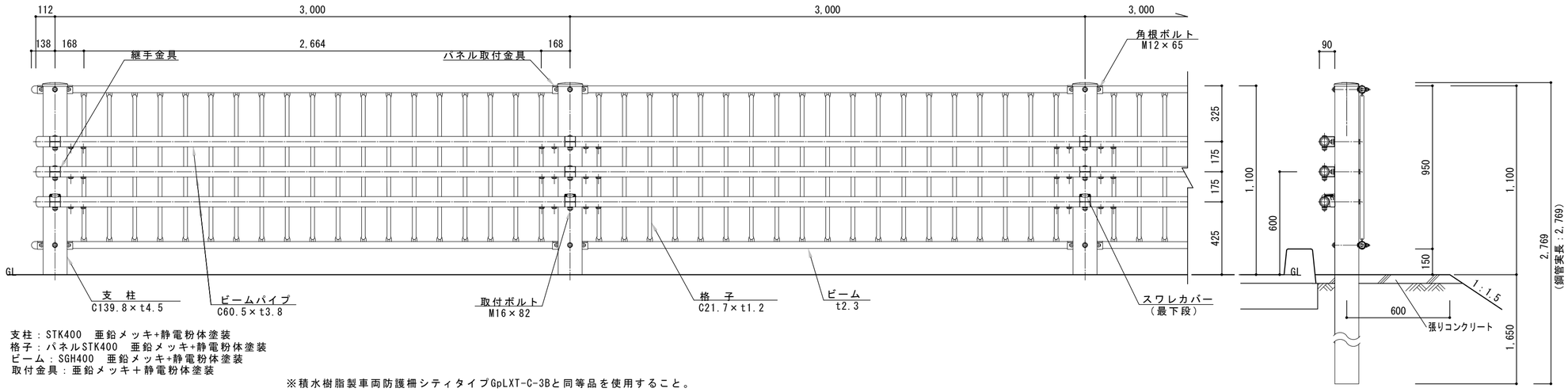
外構リスト・凡例

記　号	仕　　様	参考数量
	アスファルト舗装 （表層）密粒度アスコン　t=50 （路盤）再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ（RC-40）　t=150	405㎡
AC	縁石 BB-地Ａ：地先境界ブロックＡ AC：アスカーブ　H=150	28.6m 40.1m
	白線引き：W=150　１４台分 駐車区画（L=4500×2／台）	126.0m
	車止めﾌﾞﾛｯｸ（反射板付） ｺﾝｸﾘｰﾄ製既製品（地先境界ﾌﾞﾛｯｸCｱﾝｶｰ付）2ヶ所／台	14台
G	転落防止兼用ガードパイプ	40.4m



外構図－２　　S=1/100

転落防止兼用ガードパイプ詳細図　　S=1/20



支柱：STK400　亜鉛メッキ+静電粉体塗装
格子：パネルSTK400　亜鉛メッキ+静電粉体塗装
ビーム：SGH400　亜鉛メッキ+静電粉体塗装
取付金具：亜鉛メッキ＋静電粉体塗装

※積水樹脂製車両防護柵シティタイプGpLXT-C-3Bと同等品を使用すること。

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

１３５　外構図－２（西側駐車場敷地）

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎

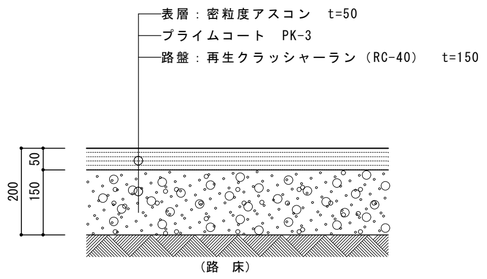
NUMBAR

SCALE　A2：S=1/100　A3：－

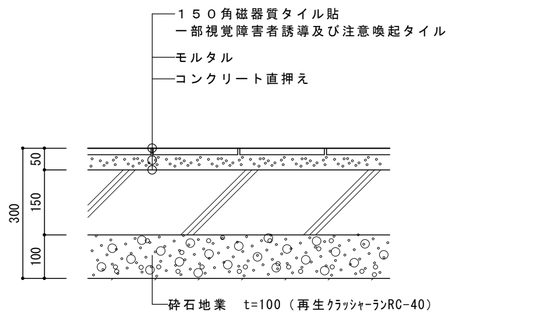
DATE

DRAWN BY

アスファルト舗装（Ａ－５－１５）　S=1/10

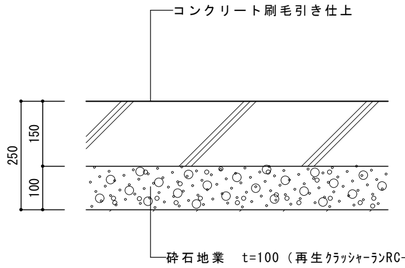


150角磁器質タイル貼（エントランスﾎﾟｰﾁ）　S=1/10



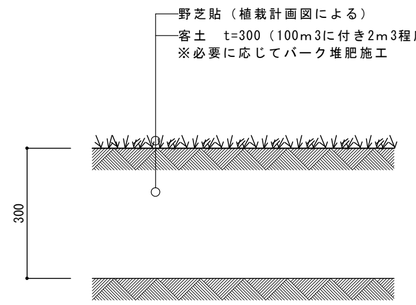
※土間コンクリート配筋は構造図による

犬走り土間コンクリート　S=1/10

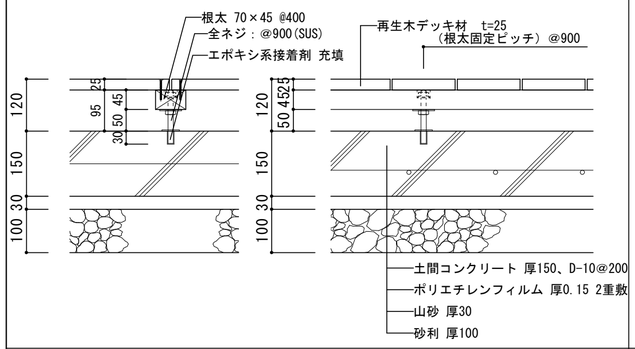


※土間コンクリート配筋は構造図による

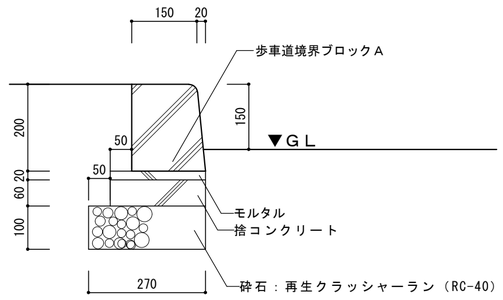
植栽用客土（野芝張）　S=1/10



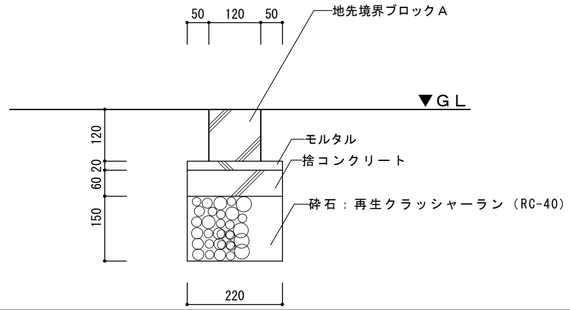
多目的テラス（再生木デッキ）　S=1/10



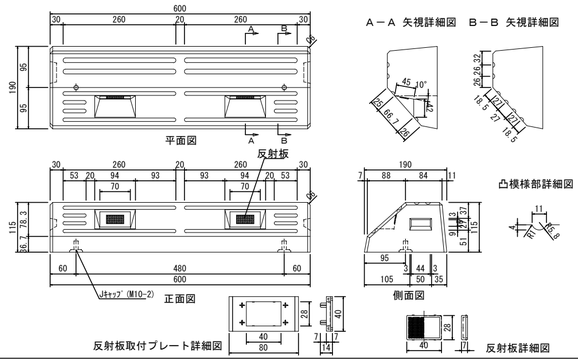
歩車道境界ブロックＡ　S=1/10



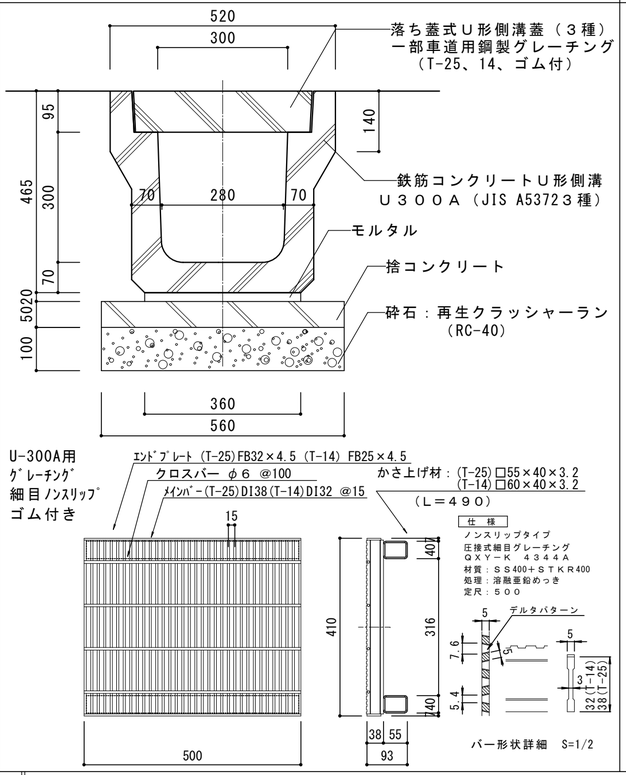
地先境界ブロックＡ　S=1/10



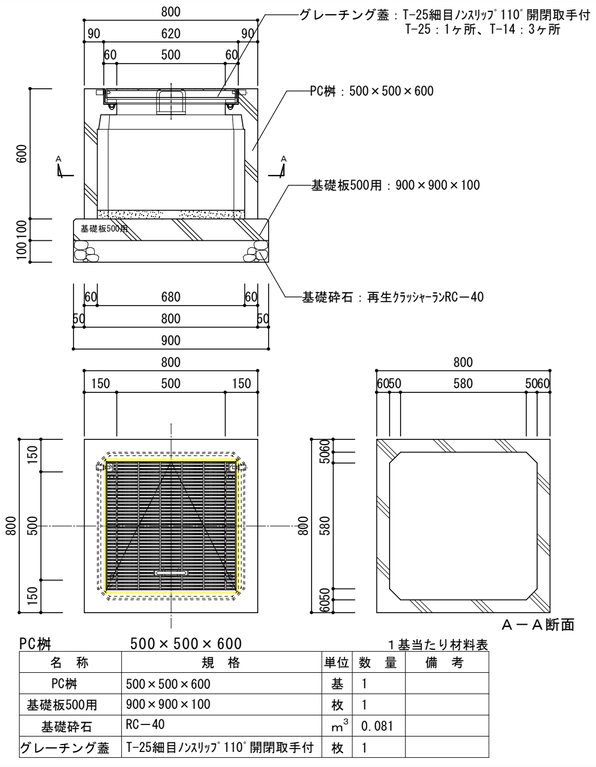
車止めブロック（反射板付）　S=1/10



側溝　U-300：落ち蓋式Ｕ型側溝　S=1/10



雨水集水桝（グレーチング）　S=1/10

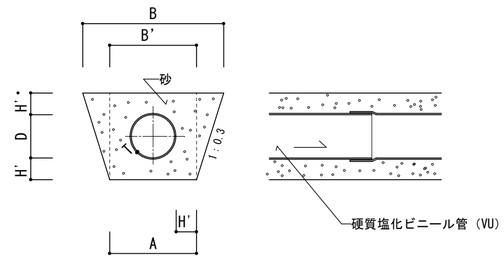


PC桝　500×500×600

１基当たり材料表

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
PC桝	500×500×600	基	1	
基礎板500用	900×900×100	枚	1	
基礎砕石	RC－40	m^3	0.081	
グレーチング蓋	T-25細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ110°開閉取手付	枚	1	

暗渠配管（硬質塩化ビニル管）



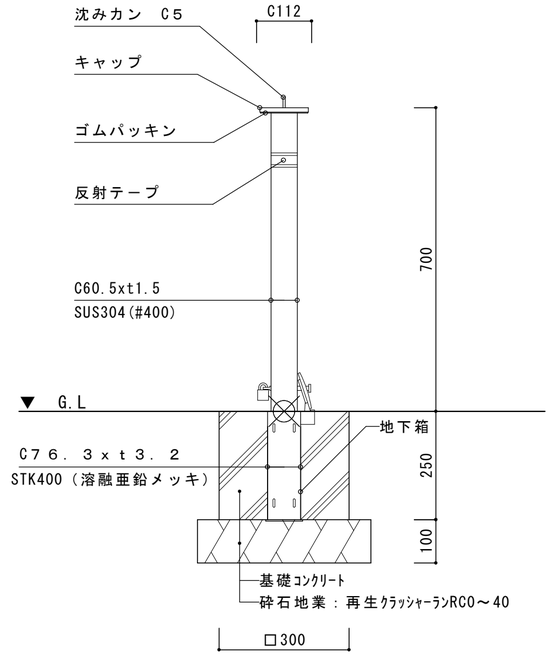
D	A	B	B'	D	T	H'
250	467	747	467	267	7.8	100

特記仕様　硬質塩化ビニル管(VU)JIS　K6741(硬質塩化ビニル管)とする。
管の接合は接着剤接合とする。
接着剤は硬質塩化ビニル管専用のものを使用すること。
呼び径300以下かつ掘削深さ1m以下の場合は直堀とする。
注)原則　掘削深さ1.5m未満
使用区分呼び径350以上又は掘削深さ1mを越える場合。
B'　：　呼び径300以下又は掘削深さ1m以下の場合。

設計条件　許容曲げ応力度 18N/mm2、許容たわみ率5%（下水道用硬質塩化ビニル管道路埋没指針）
活荷重T-20のとき土被は20cm以上。但し350φ以上は30cm以上必要

ステンレス製車止めポール　S=1/10

■取外式　：6ヶ所
フタ付・南京錠付　標準型



LIXIL　F60型同等品程度

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

外構詳細図

１３６

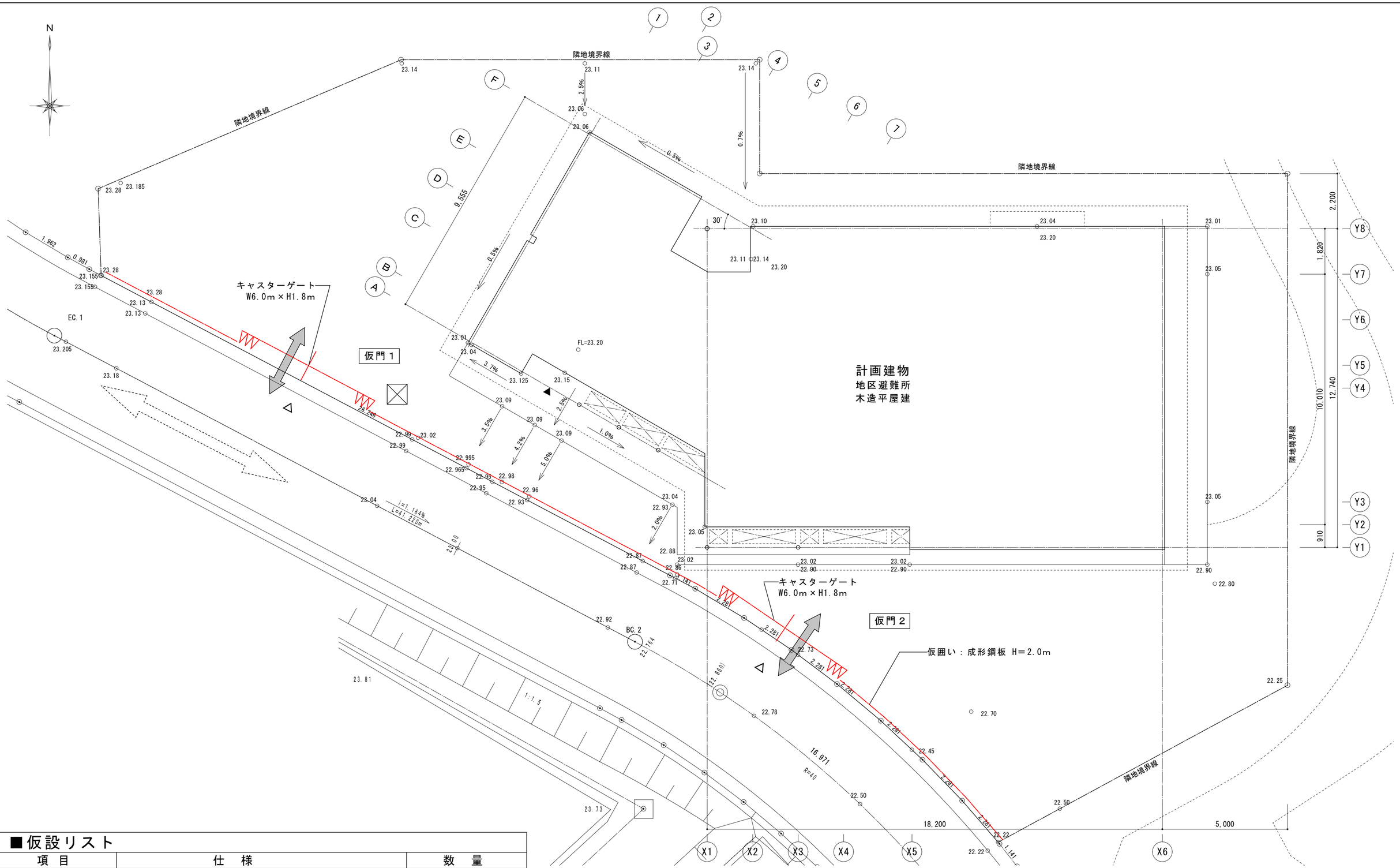
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎

NUMBAR

SCALE　A2：S=1/10　A3：－

DATE

DRAWN BY



■仮設リスト

項　目	仕　様	数　量
仮　門	ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ、W6.0m×H1.8m、片開き　存置６ヶ月	2　ヶ所
仮囲い	成形鋼板H=2.0m　存置６ヶ月	30.8　m
交通誘導員		

仮設計画図　S=1/100

凡例

D　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

１３７　仮設計画図

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR

SCALE　A2：S=1/100　A3：—

DATE

DRAWN BY

構造概要書

1. 構造設計概要

(1) 建　物　概　要

工事名称	平成26年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事				
建築場所	宮城県宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字立花１８－１の一部				
建築用途	０８９９０　その他　集会所				
建築面積	299.91 ㎡	延床面積	288.46 ㎡		
軒　高	5.10 m	増築予定	有 (無)		
塔屋　階	RC　WRC　SRC　S				
地上　1階	RC　WRC　SRC　S　(W)				
地上　2階	RC　WRC　SRC　S　W				
屋根材料	RC　(押えコン有)　ALC　(鉄板)				
	RC　(押えコン無)　ｽﾚｰﾄ　ｶﾞﾗｽｺﾝｸﾘｰﾄ				
外壁材料	RC　(押えコン有)　ALC　鉄板				
	PC　(押えコン無)　ｽﾚｰﾄ　ｶﾞﾗｽｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ				

(2) 架構形式及び計算ルート

X方向　1階筋違構造　2階筋違構造　，ルート [1] —

Y方向　1階筋違構造　2階筋違構造　，ルート [1] —

(3) 積載荷重　(N ／㎡)

室　名	荷重別	床・小梁用	フレーム用	地震用	備　考
屋　根		700	700	700	
１階居室		2900	6300	5300	

(4) 地震荷重

設計用一次固有周期	T= 0.185 sec		
地盤種別	第 2 種地盤,	Tc= 0.6 sec	
振動特性係数	Rt= 1.0	地域係数	Z= 1.0
標準せん断力係数	Co= 0.30	地下震度	K=

(5) 風荷重

速度圧　q		q=0.6EV0^2 =702N/m2	
地盤からの高さ	速度圧 q N/・	地盤からの高さ	速度圧 q N/・
m ~ m		m ~ m	
m ~ m		m ~ m	
m ~ m		m ~ m	
m ~ m		m ~ m	
風圧力の低減・割増	無　有（　）		

(6) 積雪荷重

最深積雪量	40 cm	長期	N／m2
単位重量	20 N／cm m2	短期	800 N／m2
多雪地域の雪おろし	(無)　有		
垂直最深積雪量が	cmを超した場合は雪おろしを行う事		

(7) 土圧、水位及び凍上線

土圧係数	AK =0.5　AK =
設計地下水位	GL- m
凍　上　線	GL- 0.50 m

2. 地　質　柱　状　図

調査はスウェーデン式サウンディング試験です。(下記N値は換算したものです) 別紙資料参照。

試験孔　GL-　m　施工年月　施工業者

調査場所	測点A	標準貫入試験			調査場所	測点B	標準貫入試験		
深さ	土質名	N値	10 20 30 40 50 60	略図	深さ	土質名	N値	10 20 30 40 50 60	略図
(m)	設計 GL- m				(m)	設計 GL- m			
-5					-5				
-10					-10				
-15					-15				
-20					-20				

調査場所	測点C	標準貫入試験			調査場所	測点D	標準貫入試験		
深さ	土質名	N値	10 20 30 40 50 60	略図	深さ	土質名	N値	10 20 30 40 50 60	略図
(m)	設計 GL- m				(m)	設計 GL- m			
-5					-5				
-10					-10				
-15					-15				
-20					-20				

1.　共　通　事　項

(1) 図面および本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて下記の日本建築学会・日本建築センター発行の図書による。

・建築工事標準仕様書・同解説　JASS-1　一般共通事項
・　〃　JASS-4　地盤および基礎スラブ工事
・　〃　JASS-5　鉄筋コンクリート工事
・　〃　JASS-6　鉄骨工事
・鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
・壁式鉄筋コンクリート造設計施工指針
・木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)
・改良地盤の設計及び品質管理指針
　ーセメント系固化剤を用いた深層・浅層混合処理工法ー
・

(2) 特記仕様は□印のついたものを適用する。

(3) 設計図書優先順位は次の通りとする。

1．質疑回答書
2．設計図
3．日本建築学会各工事標準仕様書及び施工指針

2.　地　業　工　事

(1) 砂利、割ぐり、捨てコンクリート地業　(単位・)

使用箇所	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ	敷　砂　利	割　ぐ　り
基礎下	50	100	
地中梁下	50	100	
耐圧板下		100	

(2) 基礎形式

直接基礎・許容地耐力

基礎の種類

独立基礎　(布基礎)　べた基礎

・支持層　砂質盛土層に支持する。
・基礎深さ　GL-　0.45　m
・許容地耐力　30 kN/m2

3.　コンクリート工事

(1) コンクリートの種別

普通コンクリート

使用箇所	コンクリートの種類	設計基準強度 Fc kN/mm2	所要ｽﾗﾝﾌﾟ cm	水ｾﾒﾝﾄ比の最大値 %	単位ｾﾒﾝﾄ量の最小値 k g/m3
基礎・地中梁	普通	21	15	55	270
土間コンクリート	普通	21	15	55	270
捨てコンクリート	普通	18	15	55	270

コンクリートの材料
セメント　普通ポルトランドセメント
粗骨材　砂利・砕石混合　(砂利)　砕石
混和材料　AE 減水剤　(標準形)　遅延形　促進形
流動化剤

軽量コンクリート

使用箇所	コンクリートの種類	設計基準強度 Fc kN/mm2	所要ｽﾗﾝﾌﾟ cm	所要気乾単位体積重量 ton/m3	水ｾﾒﾝﾄ比の最大値 %	単位ｾﾒﾝﾄ量の最小値 k g/m3
			18		50	300 320
			18		50	300 320
			18		50	300 320

コンクリートの材料
セメント　普通ポルトランドセメント
混和材料　AE 減水剤　(標準形)　遅延形　促進形
流動化剤

(2) コンクリート中の含まれる塩化物の含有量の基準

鉄筋コンクリート造などの構造耐力上主要な部分に用いられるコンクリートについては、原則として塩化物量は0.3 kg／㎥以下（塩素イオン換算）とする。やむを得ず塩化物量が 0.3~0.6 kg／㎥となる場合、以下の（イ）～（ニ）の条件を満たすものとする。

（イ）水セメント比を 55 %以下とする。
（ロ） AE 減水剤（ JIS A 6204　適合品）を使用し、スランプ8 cm 以下（流動化コンクリートではベース15 cm 以下、流動化後21 cm 以下）とする。
（ハ）防せい剤（財団法人 日本建築センター評定製品）を使用する。
（ニ）床の下端の鉄筋のかぶり厚さを 3 cm以上とする。

(3) その他

寒中コンクリート　暑中コンクリート　マスコンクリート

4.　鉄　筋　工　事

(1) 鉄筋の種別及び継手工法

鉄筋はJIS G 3112　規格品とする事。

使用箇所	材質	鉄筋径（呼び名）	継手工法
基礎・地中梁・耐圧板	SD295A	D10～D13	重ね継手

(2) 溶接金網

使用箇所	鉄筋径（呼び名）	網目形状 タテピッチ×ヨコピッチ	備考

(3) ガス圧接及び圧接工

ガス圧接は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による事。
ガス圧接工は、JIS Z 3881 による２種有資格者以上による事。

(4) 鉄筋継手の試験

ガス圧接継手試験
外観検査　（検査率100 %）
破壊検査　（ 引張試験　曲げ試験）
非破壊検査　（検査率 30 %）

アーク溶接継手試験（検査率　%）
特殊継手試験　（検査率　%）

5.　接合金物工事

●１材料
a．接合金物の品質はＪＩＳ　G3101（一般構造用圧延鋼材）等を準用し、材質はＳＳ４００以上のものを使用する。
b．使用する鋼材の品質については規格証明書等を提出する。
c．枠組壁構法用金物接合及び補助金物は(財)日本住宅・木材技術ｾﾝﾀｰの定める規格により、金物にCﾏｰｸ表示のあるもの またはこれと同等以上のものとする。なお、金物を接合する釘はZN40、ZN65、または ＺＮ９０を使用する。

材　質	鋼材名	施工箇所	備　考
●ＳＳ４００	●鋼板　○山型鋼 ○Ｈ型鋼○Ｔ型鋼 ●平鋼		

ボルト・ナット及びアンカーボルト
a．形状、寸法（ボルト及びナットの形状は下記による。）
・ＪＩＳ　Ｂ１１８０（六角ボルト）
・ＪＩＳ　Ｂ１１８１（六角ナット）
・ＪＩＳ　Ｂ０２０５（メートル並ねじ）
b．品質…ボルト及びナットの品質はＪＩＳ　Ｇ３１０１（一般構造用圧延鋼材）によるＳＳ４００の規格品またはこれと同等品とする。
c．ボルトは、特記がない場合六角ボルトとし、仕上程度は中、ねじの等級は２級以上とする。
d．ﾅｯﾄは、特記がない場合六角ﾅｯﾄとし、形状の区別は１種または２種とする。これらの六角ナットの仕上げ程度は中、ねじの等級は２級以上とする。
e．形状・寸法…アンカーボルトの形状及び寸法は特記による。
特記がない場合は、ＪＩＳ　Ｂ１１７８（基礎ボルト）によるＬ型またはＪ型としねじの等級は２級以上とする。
f．品質…アンカーボルトの品質は特記による。
特記がない場合JＩＳ　Ｇ３１０１（一般構造用圧延鋼材）によるＳＳ４００ の規格品またはこれと同等品とする。

名　称	材　質	備　考
●　中ボルト	ＳＳ４００	亜鉛メッキ品
○　ラグボルト	ＳＳ４００	亜鉛メッキ品
●アンカーボルト	ＳＳ４００	亜鉛メッキ品

※ラグボルト　首下長さ　Ｍ１６　Ｌ＝１３０　Ｍ２０　Ｌ＝１６０　以上

座金の寸法及び厚さ（mm）
１）ドリフトピン
形状及び品質に関しては、 JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）　JIS G3112（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用）を準備し、品質はSS400以上のものを使用する。
２）丸座金

ボルト径	１２	１６	２０	２４
座金の厚さ	４．５	４．５	４．５	４．５
丸座金の直径	３０	４０	５０	６０

・引張りボルトに使用される座金の寸法及び厚さは、別途計算とする。
・計算によって安全を確認できた場合はこの限りではない。

	ボルト径	座金厚さ	角座金の一辺	丸座金の直径
引張ボルト	● M12	6	○ 60	● 70
	○ M16	9	○ 80	○ 90
	○ M20	12	○ 105	○ 120
	○ M24	12	○ 125	○ 140
せん断ボルト	● M12	3.2	○ 50	● 40
	○ M16	4.5	○ 50	○ 60
	○ M20	6	○ 60	○ 70
	○ M24	6	○ 70	○ 80

○６錆止塗装

外部	内部
● 亜鉛メッキドブツケ	● 亜鉛メッキドブツケ
○ ＪＩＳ　Ｋ５６２２	○ ＪＩＳ　Ｋ５６２１
○	○ ＪＩＳ　Ｊ５６２３

5.　製材工事

●１材料
a．製材の品質は、「針葉樹の構造用製材の日本農林規格」（農林水産省告示143号）とする。
b．等級は特記無き限り見え掛：上小節材・見隠れ：一等材とする

土台	ヒバor檜（防腐・防蟻処理）
大引・根太	ヒバor檜（防腐・防蟻処理）
通し柱	杉
管柱	杉
梁・胴差し	べいまつ
筋交い	杉
母屋・棟木・小屋束	べいまつ
たる木	べいまつ
火打ち梁	使用なし

引き寄せ金物　Zマーク金物、Cマーク金物
ホールダウン金物 M16(A-40)　L＝ 480 mm
一般部　M12(A-40)　L＝ 450 mm

6.　施　　工（製　材）

●施工に際しては、施工計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。

構造設計一級建築士 第9号 遠藤喜行

凡例

S　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

２０１　構造概要書

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号 １５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR
SCALE A1： — A2： —
DATE
DRAWN BY

一般事項

（１）　コンクリート

■コンクリートはＪＩＳ認定工場の製品とする

■セメントはＪＩＳＲ５２１０の普通ポルトランドセメントとする

■調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること

■ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打設する

打設継続中における打ち継ぎ時間の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分
25℃以上の場合は120分以内とする

（２）　鉄筋

■鉄筋はＪＩＳＧ３１１２の規格品を標準とする

（３）　型枠

■合板を使用する場合は12mm厚を標準とする

■型枠存置期間は、平均気温が15℃以上の場合は３日、5℃～15℃の場合は５日、
5℃未満の場合は９日とする

（４）　その他

■基礎に設備孔を設ける場合は、基礎梁せいの中央付近150φ以下とし、スターラップ間隔内に設ける
150φを超える設備孔を設ける場合は設計者の承認を得て、適切な開口補強を施すこと

■コンクリート打設前に型枠内の十分な清掃を行うこと

鉄筋加工

（１）　鉄筋のかぶり厚さ

基礎梁上部・側面	：	40mm
基礎梁下部・耐圧スラブ・布基礎ベース部	：	60mm
土に接しない耐圧スラブ上部	：	40mm

（２）　鉄筋のあき（異形鉄筋）

■呼び名の数値の1.5倍、粗骨材最大寸法の1.25倍、のうちの大きい方の数値

（３）　重ね継手の長さ（Ｌ１）

Ｌ１　：45d(Fc=180)、40d(Fc=210)を標準とする

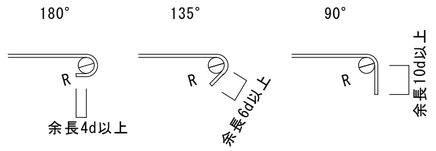
（４）　定着長さ

Ｌ２　：40d(Fc=180)、35d(Fc=210)を標準とする

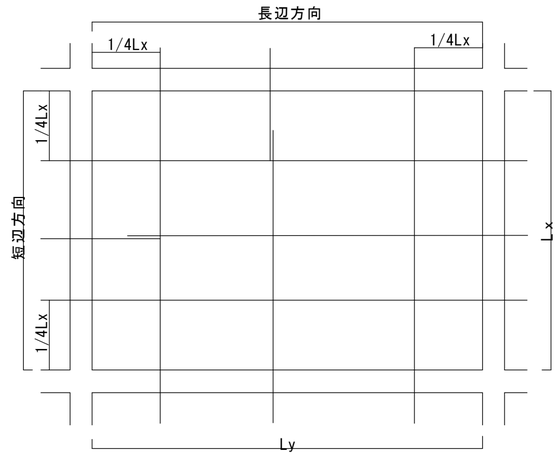
Ｌ３　t0ｄかつ15cm以上

（５）　末端部折り曲げ形状

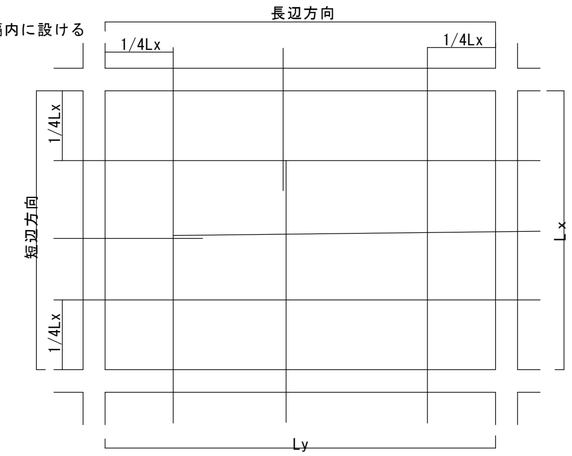
折り曲げ内のり直径Ｒは3d以上（D16以下）とする



鉄筋継手位置

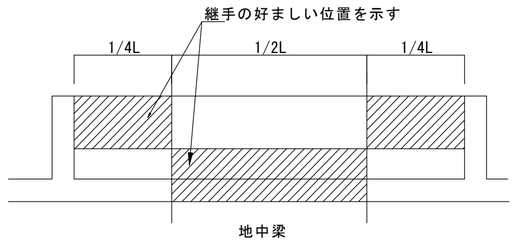


上端筋（1/4Lxより以内を継手位置とする）

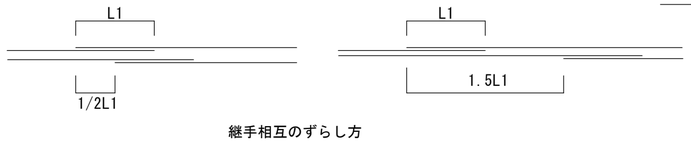


下端筋（1/4Lxより外側を継手位置とする）

耐圧スラブ

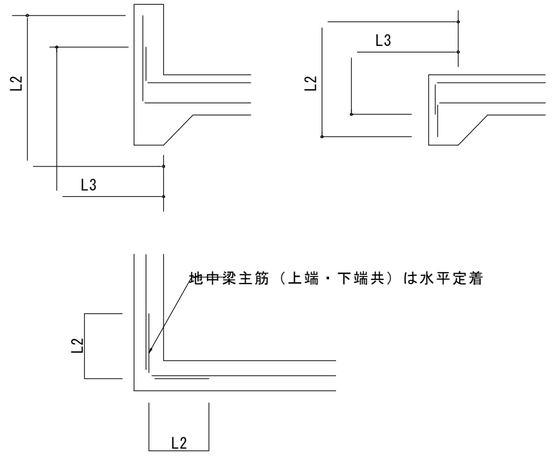


地中梁

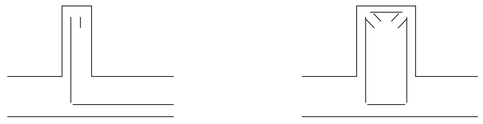


継手相互のずらし方

基礎端部の定着

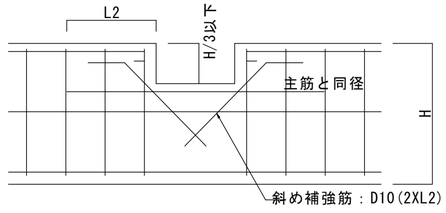


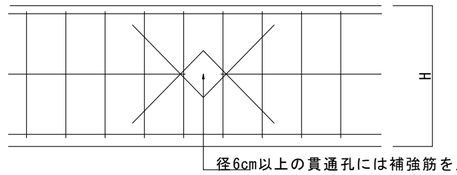
スターラップ　フック形状



180° フック　　135° フック交互

開口補強





径6cm以上の貫通孔には補強筋を入れる
貫通孔の直径は1/3H以下
隣接する貫通孔の間隔は3倍以下

耐力壁・梁部材断面・金物凡例

（１）耐力壁特記事項

構造用合板 釘間隔はN50@150以下
　屋外面については特類とする

筋交い端部仕口 筋交い倍率に応じた金物とする
　30×90筋交い：BP（同等認定品）
　45×90筋交い：BP-2（同等認定品）

筋交いの種類
　A-15×90　　B-30×90　　C-45×90
　D-90×90　　E-SRφ9

耐力壁の倍率
　5.0倍 ：筋交　45×90（たすき掛け）、片面　構造用合板9・
　4.5倍 ：筋交　45×90片面　構造用合板9・
　4.0倍 ：筋交　30×90（たすき掛け）、片面　石膏ボード12.5・
　3.0倍 ：筋交　30×90（たすき掛け）

（２）柱・梁・胴差材

柱のサイズ
　特記無き限り　外周部内部共：120×120

横架材のサイズ
　Ｂ１ ：　120×120
　Ｂ２ ：　120×150
　Ｂ３ ：　120×180
　Ｂ４ ：　120×210
　Ｂ５ ：　120×240
　Ｂ６ ：　120×270
　Ｂ７ ：　120×300
　Ｂ８ ：　120×330
　Ｂ９ ：　120×360

（２）柱・梁・胴差材

K	かすがい		（い）
H 4.5	CP.T　または　CP.L		（ろ）
2CPL	2XCP.L		（ろ）
S	SM-40		（ろ）
H 5.0	VP		（は）
B2	羽子板ボルト　または　短ざく金物		（に）
B	羽子板ボルト＋ZS50釘		（ほ）
H-10	SHD-B10	ホールダン金物（10KN用）	（へ）
H-15	SHD-B15	ホールダン金物（15KN用）	（と）
H-20	SHD-B20	ホールダン金物（20KN用）	（ち）
H-25	SHD-B25	ホールダン金物（25KN用）	（り）
H-30	SHD-B30	ホールダン金物（30KN用）	（ぬ）
H-35	SHD-20B＋B15	ホールダン金物（35KN用）	（ぬ）
H-40	SHD-20B＋B20	ホールダン金物（40KN用）	（ぬ）
H-45	SHD-25B＋B20	ホールダン金物（45KN用）	（ぬ）
H-50	2×SHD-B25	ホールダン金物（50KN用）	（ぬ）
H-60	2×SHD-B30	ホールダン金物（60KN用）	（ぬ）

構造設計一級建築士 第9号 遠藤喜行

凡例

S　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

特記仕様書－１

２０２

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号 １５６９８７　一級建築士　松本純一郎

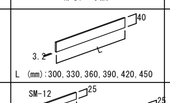
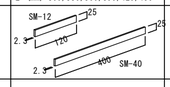
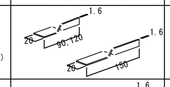
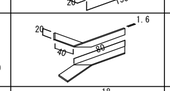
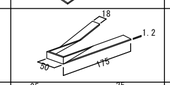
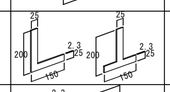
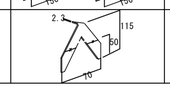
NUMBAR

SCALE　A1：－　A2：－

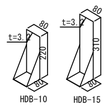
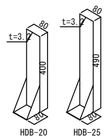
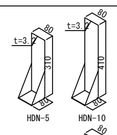
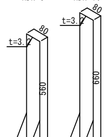
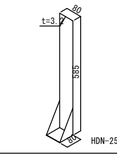
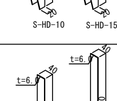
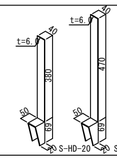
DATE

DRAWN BY

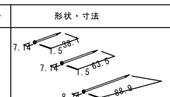
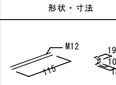
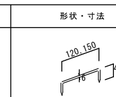
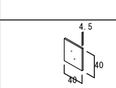
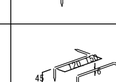
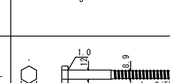
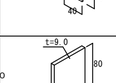
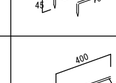
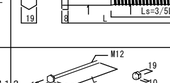
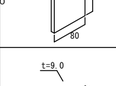
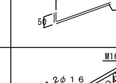
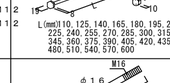
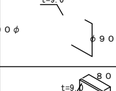
接　合　金　物

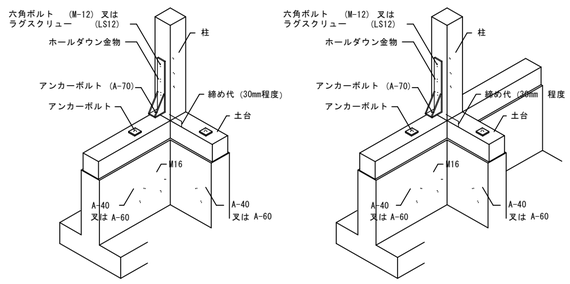
種類・記号	形状・寸法	使用接合具	用　途	備　考
短ざく金物 S		六角ボルト　M12 六角ナット　M12 角　座　金　W4.5X40 スクリュー釘　ZS50	1，2階管柱の連結，胴差相互の連結等	
ひら金物 SM-12 SM-40		太　め　釘 ZN65	SM-12 かすがいと同等の用途	
			SM-40 管柱の連結等	
かね折り金物 SA		六角ボルト　M12 六角ナット　M12 角　座　金　W4.5x40 スクリュー釘　ZS50	通し柱と胴差の取合い	
ひねり金物 ST （右ひねりのみ）		太　め　釘 ZN40	たるきと軒げた，または，もやの接合	
折曲げ金物 SF （右ひねり及び 左ひねり）		太　め　釘 ZN40	ひねり金物と同様の用途	
くら金物 SS		太　め　釘 ZN40	ひねり金物と同様の用途	
かど金物 CP-L CP-T		太　め　釘 ZN65	引張りをうける柱と土台・横架材の接合	
山形ﾌﾟﾚｰﾄ VP		太　め　釘 ZN90	かど金物と同様の用途	

接合金物

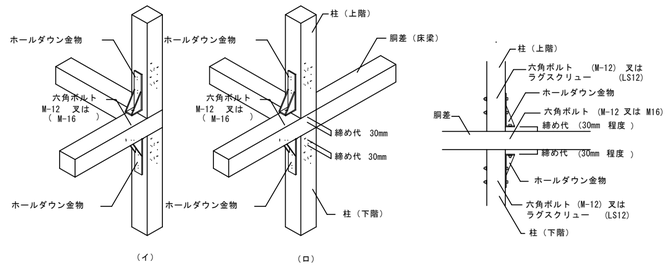
種類	記　号	形状寸法（単位：mm）	使用接合具	用　途	許容耐力（ kkf
ホールダウン金物（引き寄せ金物）	SHDB-10		六角ボルト （2－M12） 又は、 ラグスクリュー （2－LS12）	柱と基礎（土台）又は、管柱相互の緊結	1000 （短期）
	SHDB-15				1500 （短期）
	SHDB-20		六角ボルト （4－M12） 又は、 ラグスクリュー （4－LS12）		2000 （短期）
	SHDB-25		六角ボルト （5－M12） 又は、 ラグスクリュー （5－LS12）		2500 （短期）
	HDN-5		太めくぎ ＺＮ９０		500 （短期）
	HDN-10				1000 （短期）
	HDN-15				1500 （短期）
	HDN-20				2000 （短期）
	HDN-25				2500 （短期）
	S-HD-10		六角ボルト （2－M12） 又は、 ラグスクリュー （2－LS12）	柱と基礎（土台）又は、管柱相互の緊結	1000 （短期）
	S-HD-15		六角ボルト （3－M12） 又は、 ラグスクリュー （3－LS12）		1500 （短期）
	S-HD-20		六角ボルト （4－M12） 又は、 ラグスクリュー （4－LS12）		2000 （短期）
	S-HD-25		六角ボルト （5－M12） 又は、 ラグスクリュー （5－LS12）		2500 （短期）

接　合　具

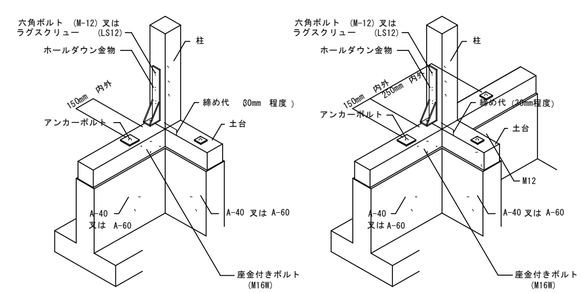
種類・記号	形状・寸法	種類・記号	形状・寸法	種類・記号	形状・寸法
太　め　釘 ZN40 ZN65 ZN90		全ねじボルト M12x115 六角袋ナット M12		かす がい C120 C150	
スクリュー釘 ZS50		座金 W4.5x40		手違いかすがい CC120 CC150 （右ひねり及び 左ひねり）	
ラグスクリュー LS12		座金 W９．０×８０		アンカーボルト A	
六角ボルト・六角ナット ボルト　Ｍ１２ ナット　Ｍ１２		丸座金 RW９．０×９０φ		A-60 A-70	
六角ボルト・六角ナット ボルト　Ｍ１６ ナット　Ｍ１６		座金付きボルト Ｍ１６Ｗ			



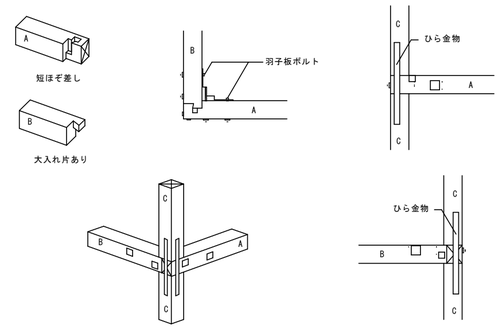
ホールダウン用金物を用いたアンカーボルトの緊結



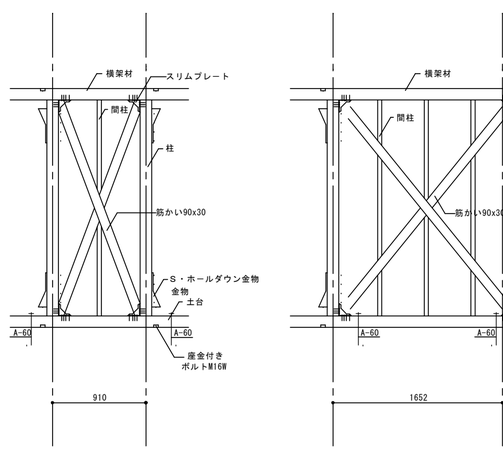
通し柱に代わる管柱の補強

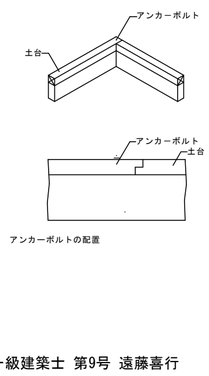


座金付きボルト（Ｍ１６Ｗ）を用いた緊結



すみ柱，出すみ（直交する胴差がほぼ同寸でかつ同一高さで取合う場合）





構造設計一級建築士　第9号　遠藤喜行

凡例

S　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

特記仕様書－２

２０３

株式会社 松本純一郎設計事務所

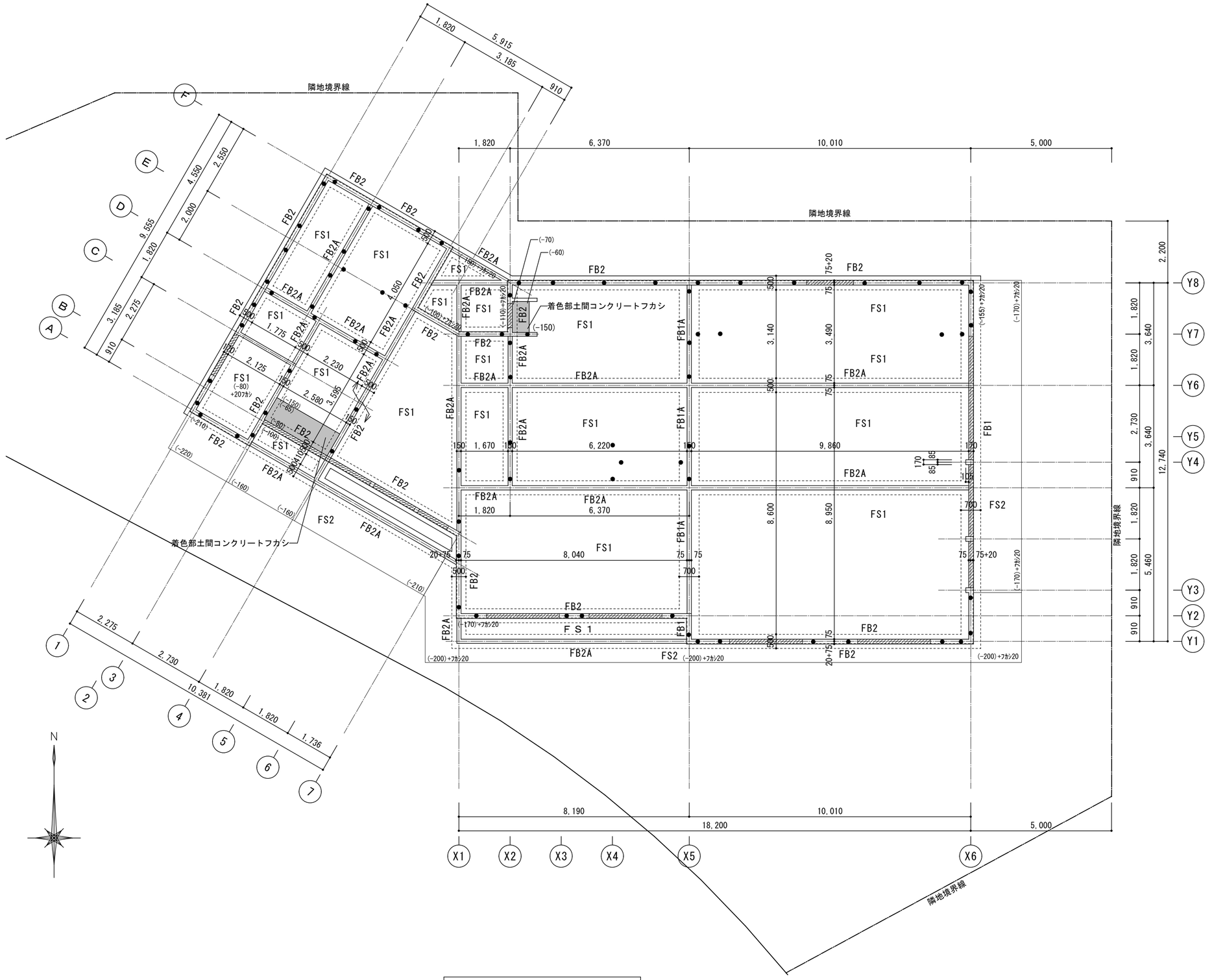
登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎

NUMBAR

SCALE　A1：－　A2：－

DATE

DRAWN BY



基礎伏図　　S=1/100

凡例		特記事項
●	：アンカーボルトはM12(L=450ﾌｯｸ付)溶融亜鉛メッキとし、土台端部および@1800で配置する。	1．特記無き、FS1は全てFL-150とする。
▨	：基礎立上り欠き込み部を示す。（掃出しサッシ等取合い）	

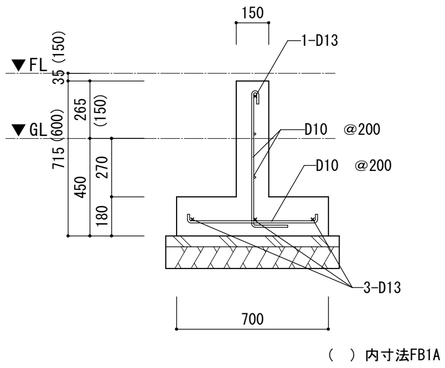
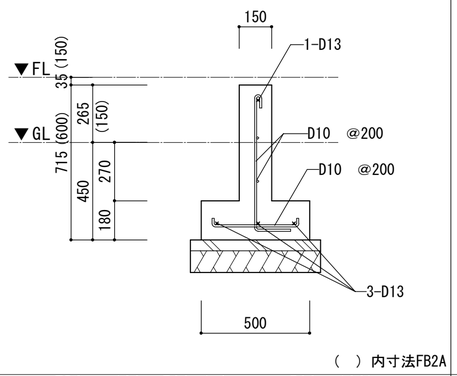
S　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

２０４　基礎伏図

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR
SCALE　A2：S=1/100　A3：—
DATE
DRAWN BY

基礎梁リスト　S=1/20

符号	FB1・FB1A	FB2・FB2A	
位置	全断面	全断面	
断面形状	 ( ) 内寸法FB1A	 ( ) 内寸法FB2A	
B×D	FB1 ：180×700（ベース：700×180） FB1A：180×600（ベース：700×180）	FB2 ：180×700（ベース：500×180） FB2A：180×600（ベース：500×180）	
上端筋	図示	図示	
下端筋	図示	図示	
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	―	―	

スラブ厚さ　配筋

符号	スラブ厚さ	配筋
FS1	150	D10　@200　ｼﾝｸﾞﾙ(ﾀﾃ･ﾖｺ共)
FS2	150	D10・13交互　@200　ｼﾝｸﾞﾙ(ﾀﾃ･ﾖｺ共)

特記事項

■使用構造材料

1.コンクリート

種類	適用箇所	設計基準強度 FC(KN/mm^2)	スランプ （ｃｍ）	水セメント比 の最大値（%）	単位セメント量の最小値 （ｋｇ/ｍ^3）
普通	基礎・地中梁・土間・壁	21	15	55	270
	捨コンクリート	18	15	55	270

□コンクリートの材料

セメント　　普通ポルトランドセメント

粗骨材　　砂利

混和材料　　AE減水剤　　標準形

□コンクリート中の含まれる塩化物の含有量の基準

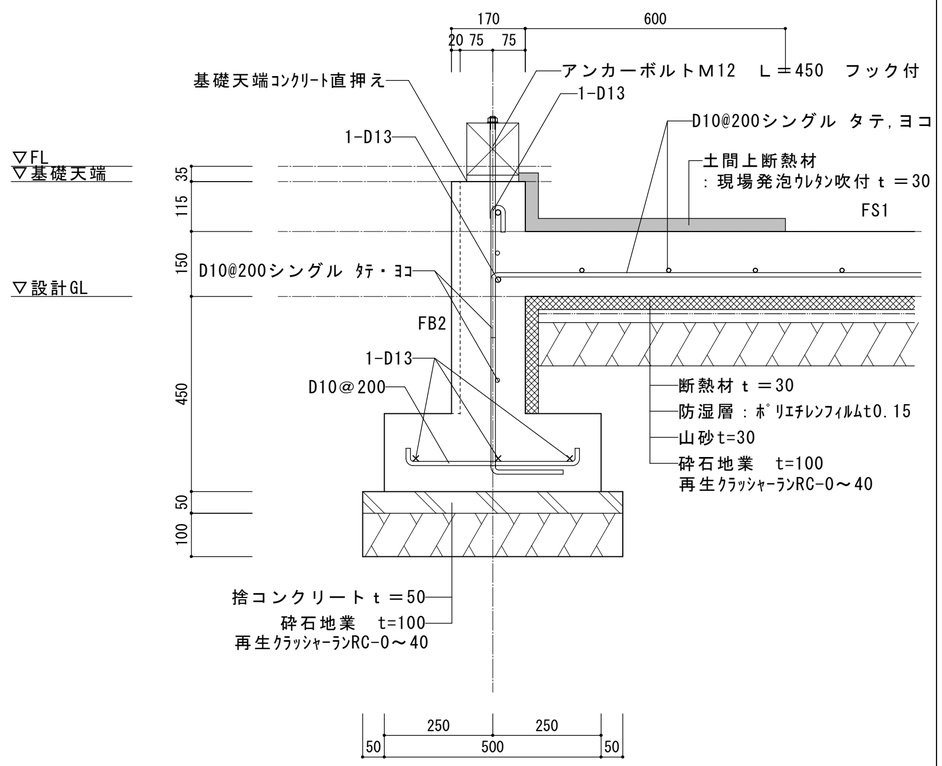
鉄筋コンクリート造などの構造耐力上主要な部分に用いられるコンクリートについては、原則として塩化物量は0.3kg／m^{3}以下（塩素イオン換算）とする。

2.異形鉄筋　　※鉄筋の種類　：　JIS G 3112　規格品とすること

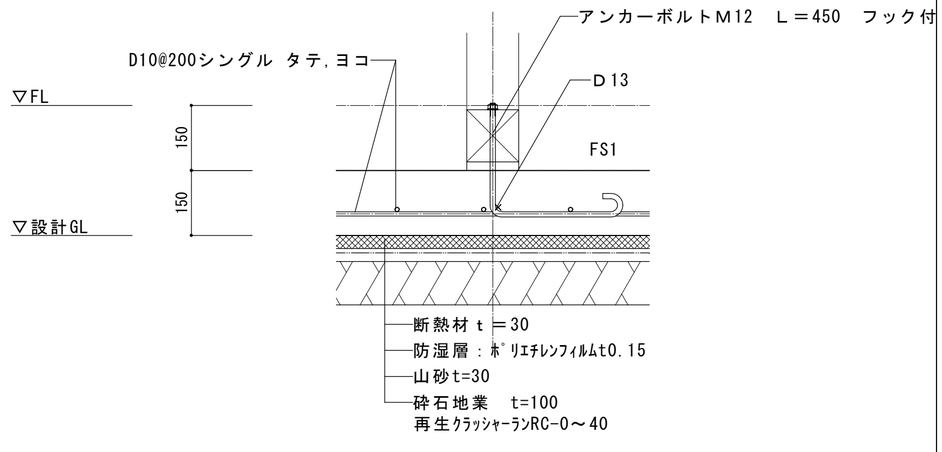
仕様箇所	材　　質	鉄筋径	継手工法	備考
基礎・地中梁・土間・壁	SD295A	D10～D13	重ね継手	270

詳細図　S=1/10

【一般外周部ＦＢ２】



【ＦＳ1土台固定部】



凡例

S　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

２０５　基礎リスト・詳細図

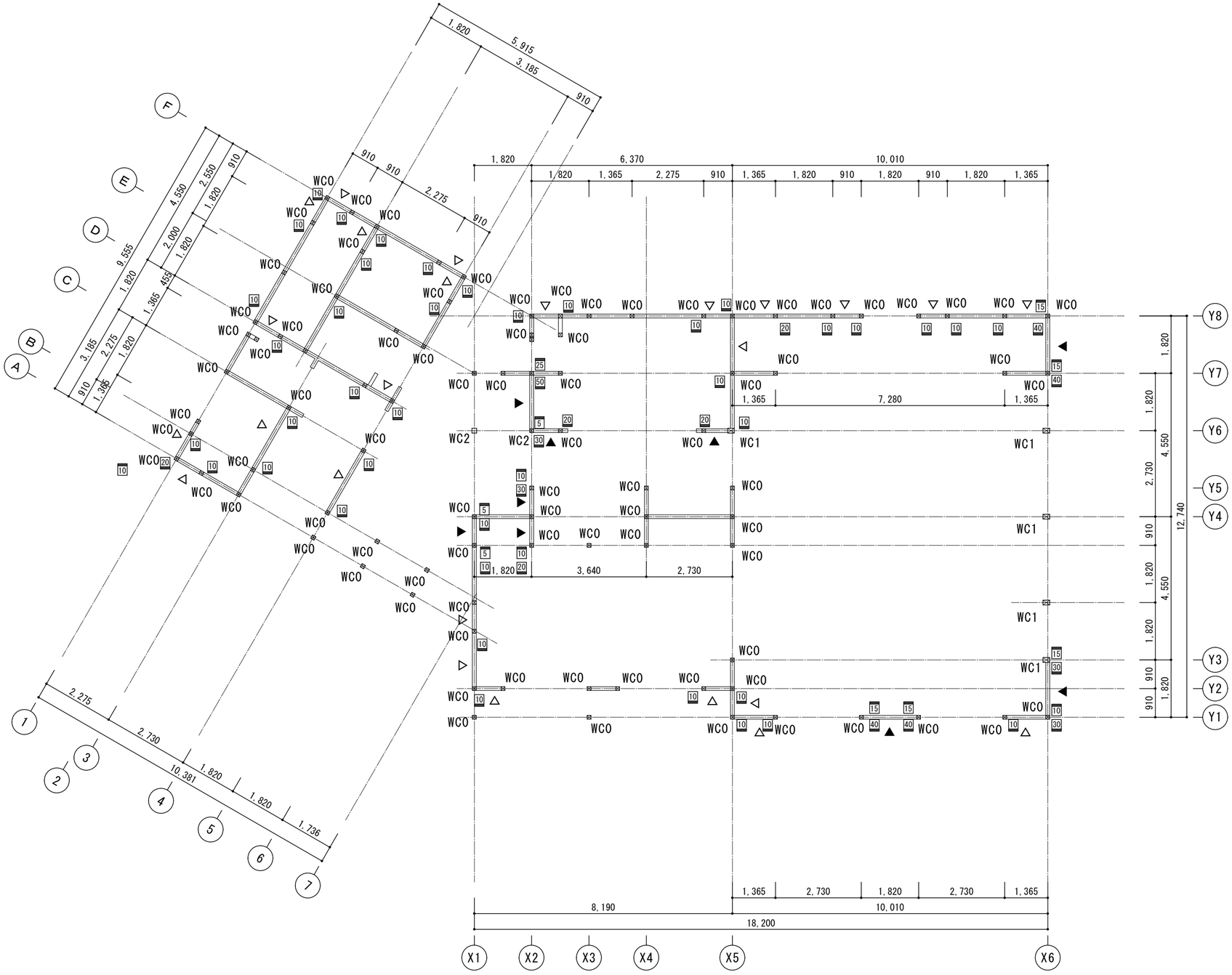
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR

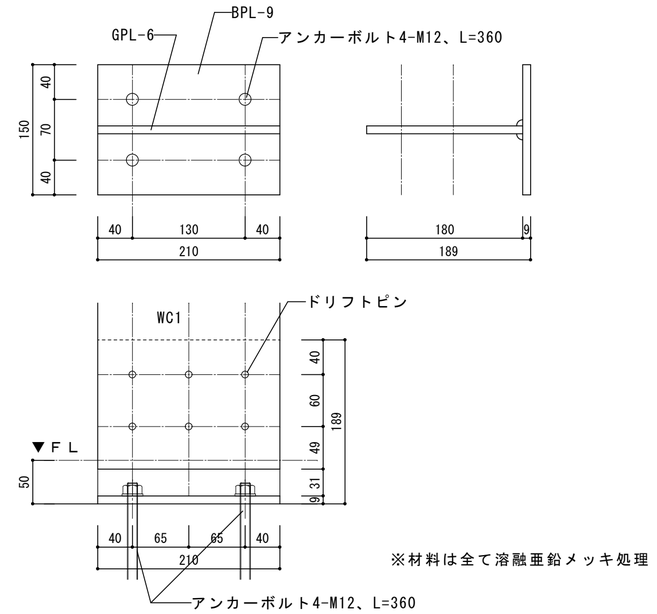
SCALE A2：S=1/10、1/20 A3：―

DATE

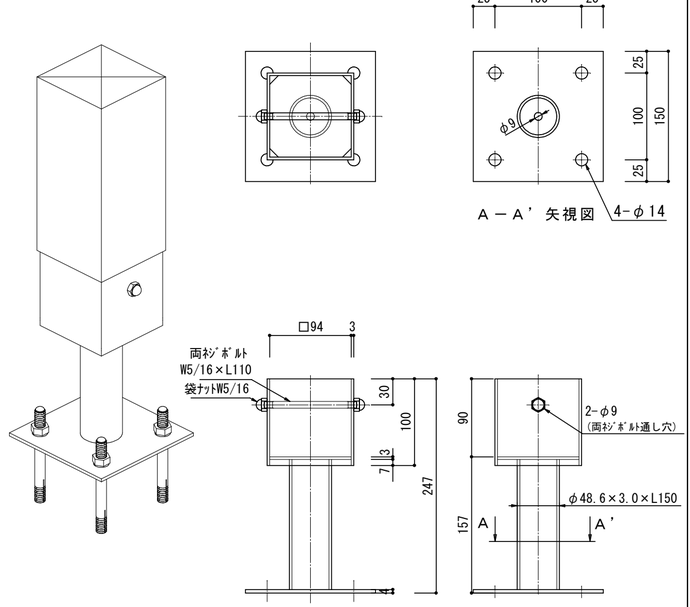
DRAWN BY



床伏図　　S=1/100



独立柱柱脚金物



凡例

1．▲　WV1　105×105(タスキ掛け)とする。	═══	土台を示す（特記無き限り、土台Ａ120×120とする。）
2．△　WV0　45×90(タスキ掛け)とする。	⊠　×	柱を示す
3．アンカーボルトはM12(L=450ﾌｯｸ付)とし、土台端部および@1800で配置する。	20	柱脚部ホールダウン金物を示す。数値は短期許容引張耐力を示す。
4．特記外柱脚金物は、羽子板ボルトφ12、短冊金物とする。	10	柱頭部ホールダウン金物を示す。数値は短期許容引張耐力を示す。

S　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

床伏図

２０６

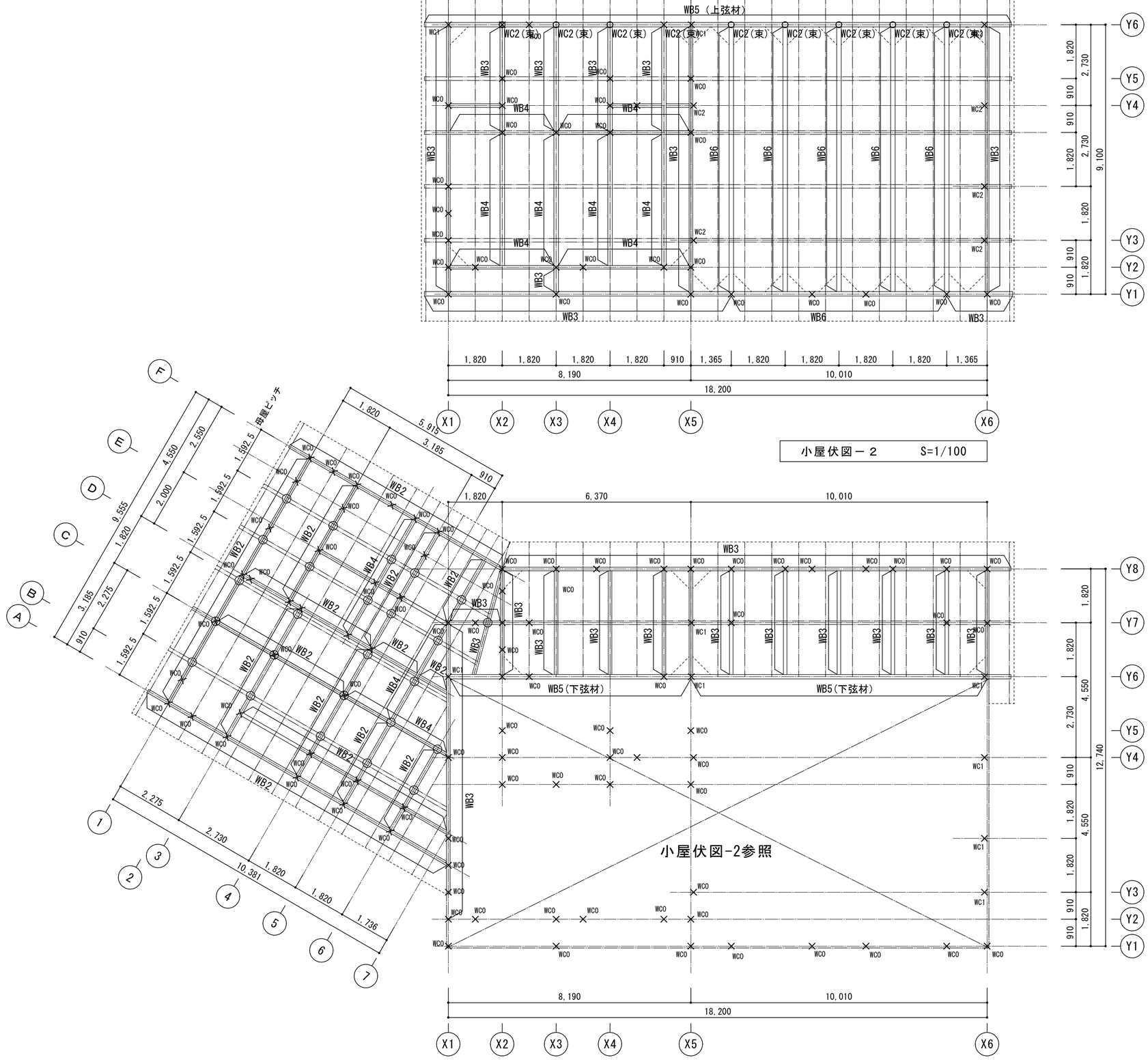
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR

SCALE　A2：S=1/100　A3：—

DATE

DRAWN BY



小屋伏図－２　　S=1/100

小屋伏図－１　　S=1/100

※特記外：WG1

木材部材リスト

使用部位	樹種	等級	符号	寸法(b×H)	接合金物・その他
柱・束	杉（KD）	特一等	WC0	120×120	
	(E70)		WC1	150×210	
			WC2	150×150	
間　柱	杉（KD）	特一等		45×120	@455
	(E70)				
土　台	米栂(KD)		土台Ａ	120×120	防腐注入材（PGｽｹｱ）
	(防腐剤注入)				
	(E90)				
梁	米松(KD)	特一等	WB1	120×120	特記外
小梁・母屋	(E100)		WB2	120×180	
			WB3	120×210	
			WB4	120×240	
	米松集成材	E120-F330	WB5	150×240	
			WB6	150×420	
筋かい	杉（KD）	特一等	WV0	45× 90	タスキ掛け
	(E70)		WV1	105×105	タスキ掛け
垂木	米松(KD)	特一等		90× 90	@910
	(E100)				
ﾏｸﾞｻ・窓台	杉（KD）	特一等		45×120	
	(E70)				
火打梁	鋼製火打				N-600、t=1.6、亜鉛メッキ
野地板	針葉樹特類 F☆☆☆☆	構造用合板		7.24	
野縁・野縁受	赤松(KD)	特一等		36× 40	
胴縁	赤松(KD)	特一等		18× 45	
胴縁	赤松(KD)	特一等		18× 90	
胴縁	赤松(KD)	特一等		24× 36	
広小舞・淀	杉（KD）			15× 90	
破風・鼻隠し	杉（KD）			24×180	
雲筋違	杉（KD）			15× 90	

特記事項

1. 集成材の接着剤はﾚｿﾞﾙｼﾉｰﾙ系とし、集成材表面仕上げはB種とする。
2. 柱脚金物は全て10KN短期許容引張力以上とする。
3. 柱頭金物は全て5KN短期許容引張力以上とする。

凡例

1. ▲ WV1　45×90(タスキ掛け)とする。	═══	土台を示す（特記無き限り、土台Ａ120×120とする。）
2. △ WV0　45×90(片掛け)とする。	⊠ ×	柱を示す
3. アンカーボルトはM12(L=450ﾌｯｸ付)とし、土台端部および@1800で配置する。	○	小屋束を示す。（特記なき部材はWC0とする。）
4. ⑩ は、ホールダウン金物荷重を示す。数値は、短期許容引張耐力を示す。	／	火打梁を示す。（鋼製火打N-600とする。）
5. 特記外柱脚金物は、羽子板ボルトφ12、短冊金物とする。	═══	母屋を示す。（特記なき部材はWB1とする。）
	———	垂木を示す。

S　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

２０７　小屋伏図・木材リスト

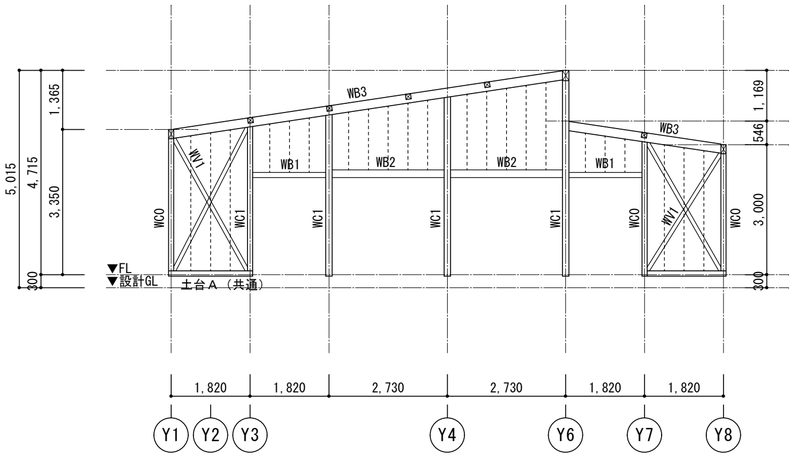
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎

NUMBAR

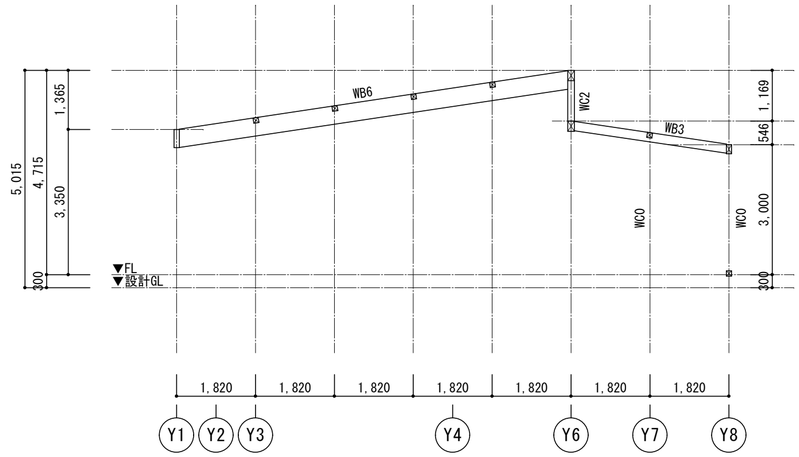
SCALE　A2：S=1/100　A3：－

DATE

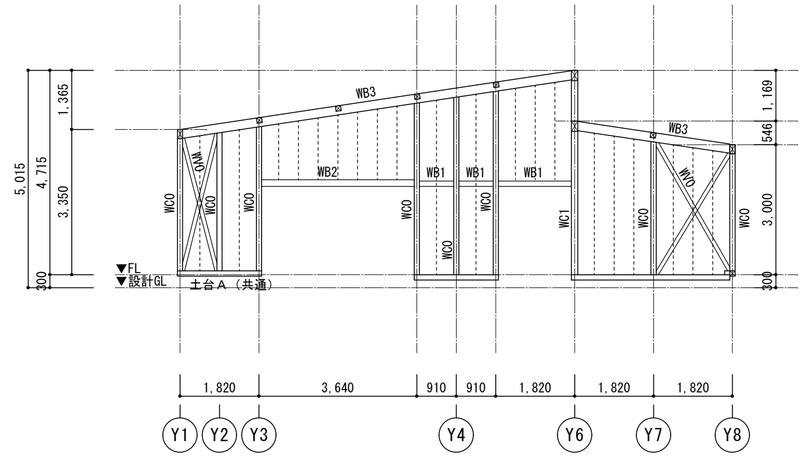
DRAWN BY



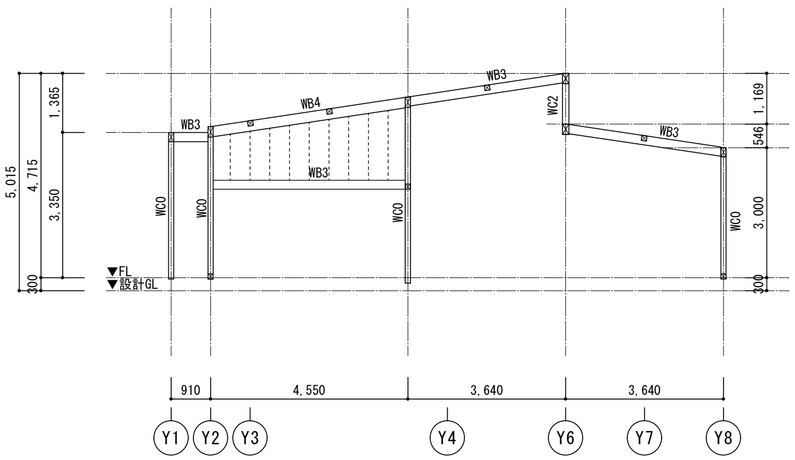
Ｘ６通軸組図　　S=1/100



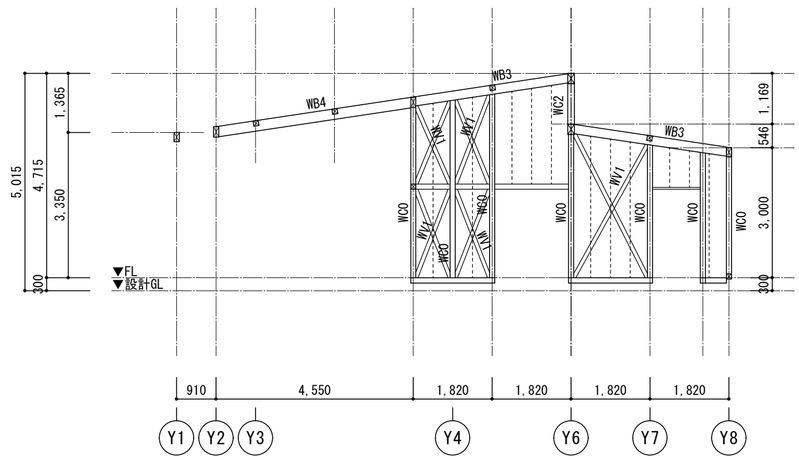
Ｘ6-3185通軸組図　　S=1/100



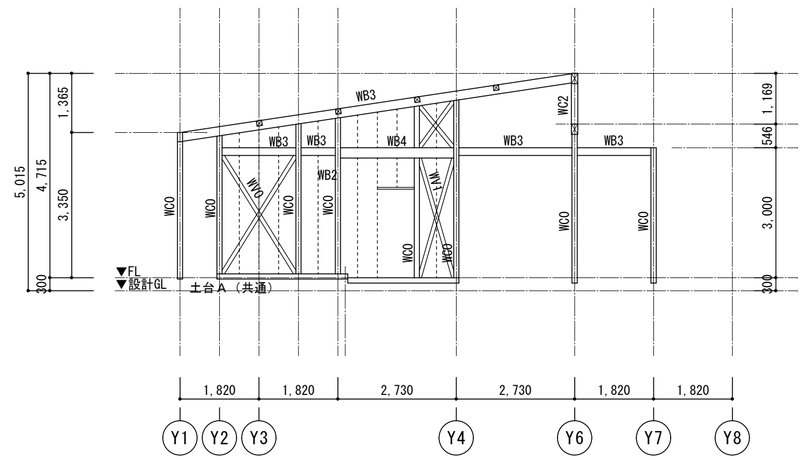
Ｘ５通軸組図　　S=1/100



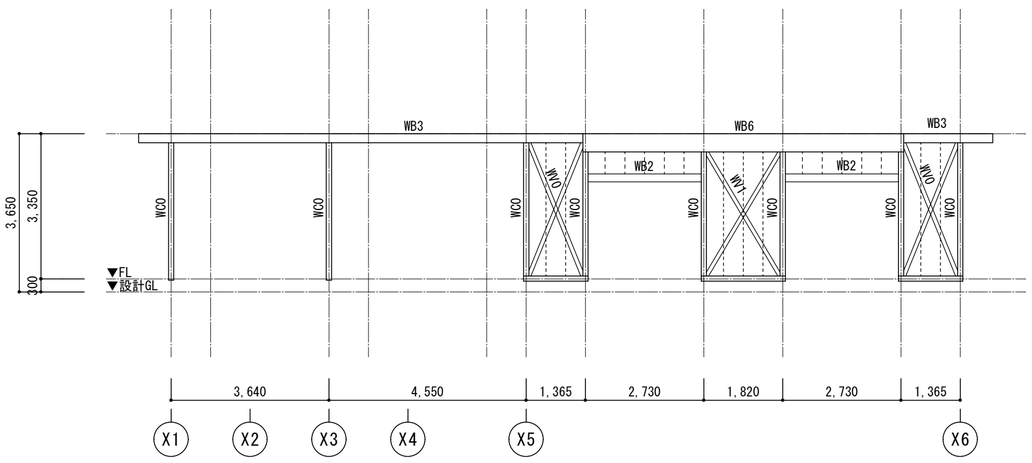
Ｘ３通軸組図　　S=1/100



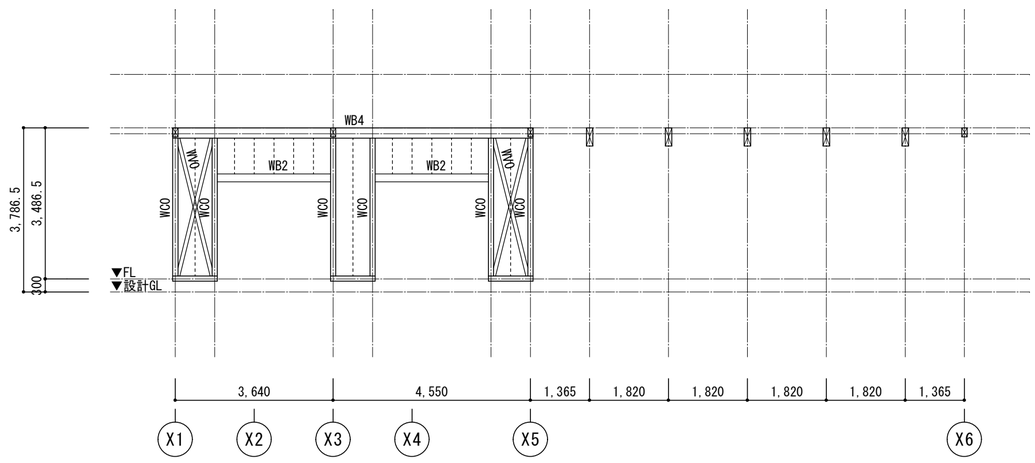
Ｘ２通軸組図　　S=1/100



Ｘ１通軸組図　　S=1/100



Ｙ１通軸組図　　S=1/100

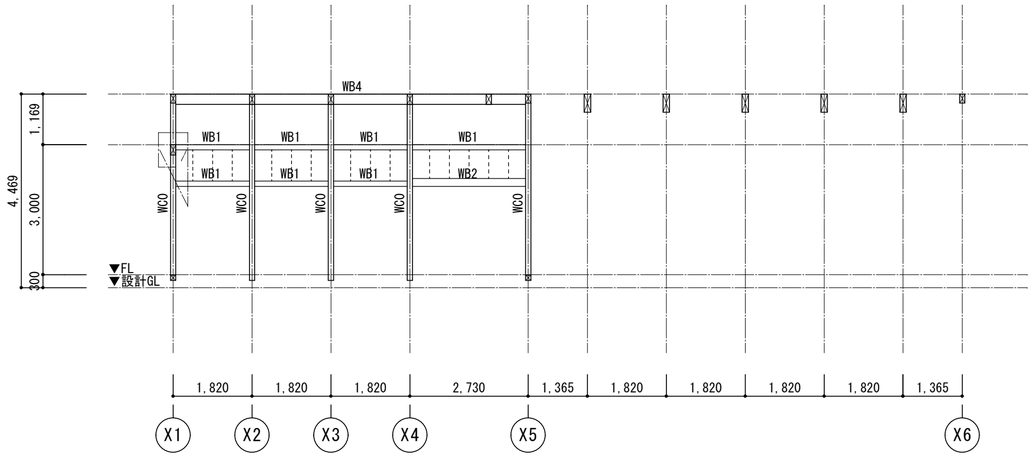


Ｙ２通軸組図　　S=1/100

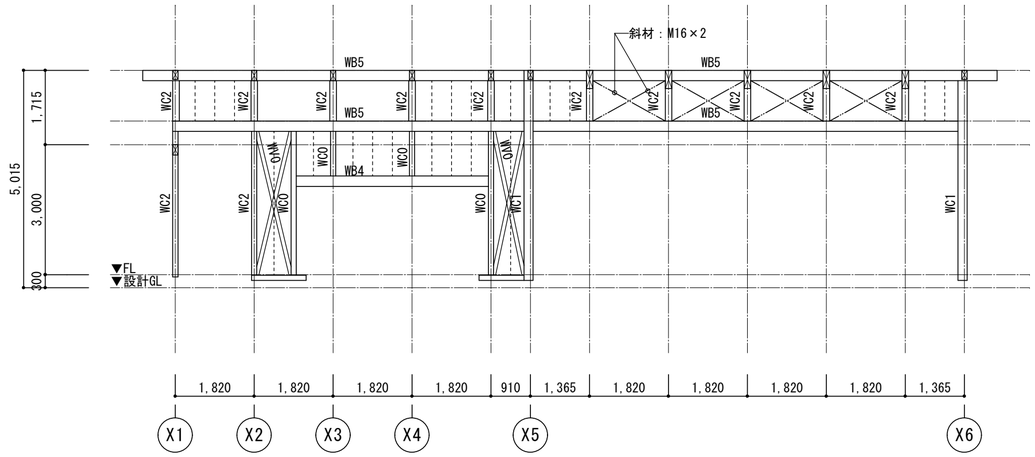
凡例

┆	間柱（45×120@455）を示す。	

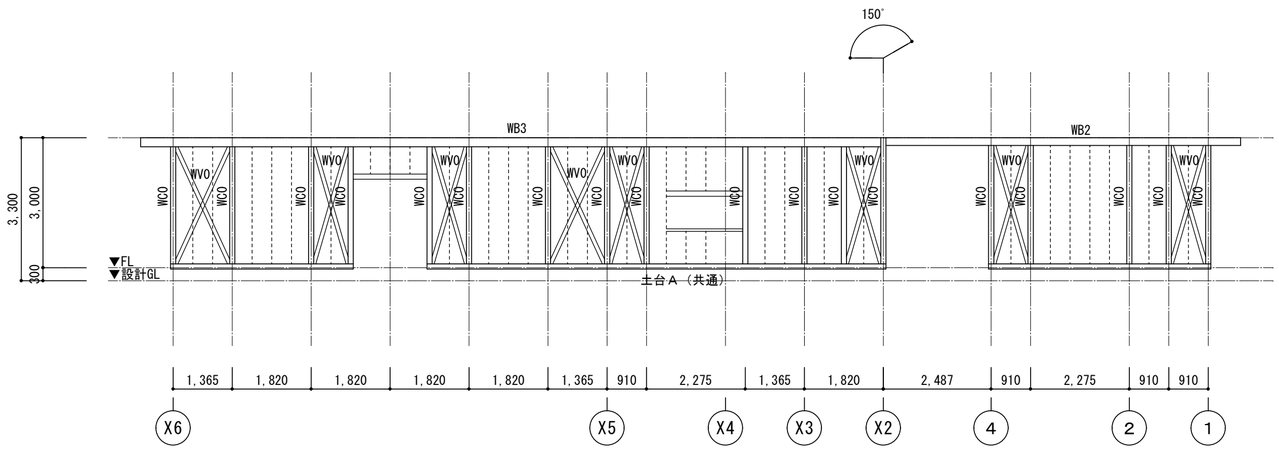
S	平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事	NUMBAR
	軸組図－１	SCALE A2：S=1/100 A3：―
２０８	株式会社 松本純一郎設計事務所 登録番号 １５６９８７ 一級建築士 松本純一郎	DATE
		DRAWN BY



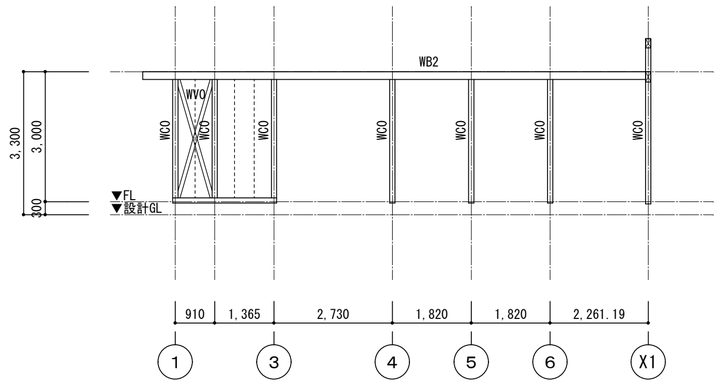
Ｙ４-910通軸組図　　S=1/100



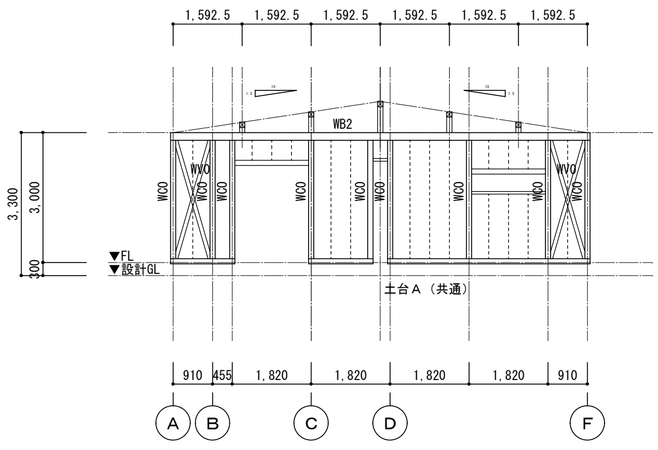
Ｙ６通軸組図　　S=1/100



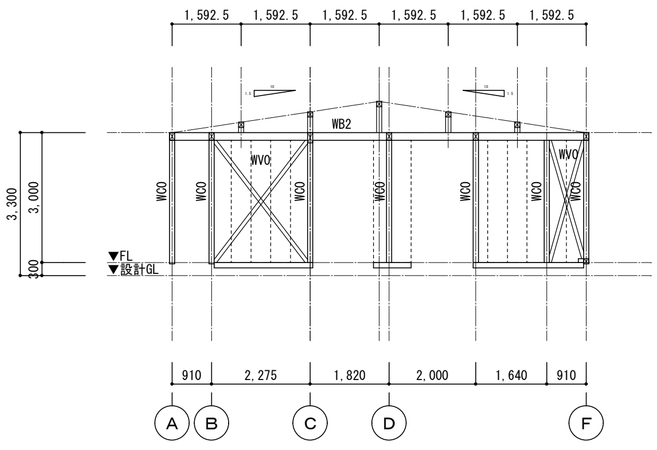
Ｙ８通軸組図　　S=1/100



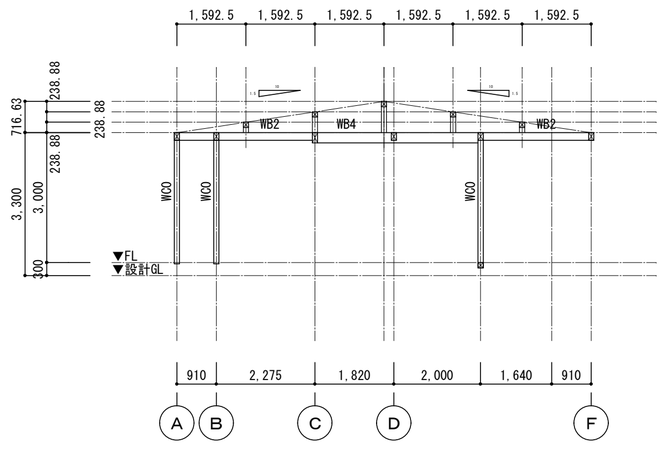
Ａ通軸組図　　S=1/100



１通軸組図　　S=1/100



４通軸組図　　S=1/100



５通軸組図　　S=1/100

凡例

：　間柱（45×120@455）を示す。

S　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

軸組図－２

２０９

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎

NUMBAR

SCALE　A2：S=1/100　A3：－

DATE

DRAWN BY

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

１．工事名称　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

２．工事場所　宮城県宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字立花１８－１の一部

３．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
代ヶ崎浜地区避難所	木造	平家	288.46	299.91	１項ろ（集会所）	

４．工事種目（○印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外 ＼ 工事種別					備考
			屋外		
○電灯設備	新設一式				
○動力設備	新設一式				
・電熱設備					
・空後援設備					
・受変電設備					
・電力貯蔵設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
・構内交換設備					
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
○誘導支援設備	新設一式				
○テレビ共同受信設備	新設一式				
・監視カメラ設備					
・駐車場管制設備					
・防犯・入退室管理設備					
○自動火災報知設備	新設一式				
・中央監視制御設備					
○構内配電線路	新設一式				外灯設備を含む
・構内通信線路					
・テレビ電波障害防除					
・その他工事	別紙仕様書による				

５．指定部分　※　なし　・　あり（工　期：平成　年　月　日）　（対象部分：　）

６．概成工期　※　なし　・　あり（工　期：平成　年　月　日）

Ⅱ．特記仕様書

１．一般事項

（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編，平成２５年版），公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編，平成２５年版），国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編，平成２５年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（平成２５年版）」による。

（２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお，機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図，建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

２．特記事項

（１）項目は番号に○印の付いたものを適用する。

（２）特記事項は，○印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。

○印と◎印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	※　建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ※　宮城県建設工事先請・下請関係適正化要綱（平成２５年９月１日施行） ※　営繕工事写真撮影要領・同解説　設備工事編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成２４年版） ・　宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版）
	② 機材等	※　本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド放様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全シート等にホルマリンで使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（一社）公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出する。
	⑤ 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書及び施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。
	⑦ 手続き	工事の着手，施工及び完成において，官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上，請負者が遅滞なく処理する。なお，当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	⑧ 施工条件	別添の施工条件明示書による。
	⑨ 工事の一時中止	工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は，工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出するこｔ。本計画には，中止時点における工事の出来高，搬入材料及び建設機械器等の調書，中止期間中の体制及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。
	⑩ 工事実績情報の登録（CORINS）	請負額が500万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を，監督職員に提出すること。（請負額が2,500万未満の場合は，受注時のみ）
	⑪ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑫ 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては，電気保安技術者を置くものとする。
	⑬ 工事用電力，水，他	本工事に必要な工事用電力，水などの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
	⑭ 工事用仮設物	構内につくることが　※　できる　・　できない
	⑮ 監督職員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事）
	⑯ 足場，さん橋類	・　別契約の関係請負者が設置したものは，無償で使用できる。　・　本工事で設置する。 なお，枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑰ 工事表示板	※　設置する　設置枚数　１枚 営繕工事における工事及びスト表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により設置する。 ・　設置しない
	⑱ 工事用通路	※　指定しない　・指定する（図示）
	19．発生材の処理等	発生材の処理 ・　引渡しを要するもの　（　　） ・　特別管理産業廃棄物　（　・　PCB使用機器　・　　） 受入施設名・所在地　： ・　現場において再利用を図るもの（　　） ・　再資源化を図るもの

種類	受入施設名	所在地（km）	備考

・　その他安定型廃棄物　（　　）
受入施設名・所在地　：
・　その他管理型廃棄物　（　　）
受入施設名・所在地　：
ＰＣＢを含有する機器等については飛散，流出がないように適切な場所に保管し，工事完了後監督職員に引き渡す。

	20．残土処理	※　構内指示の場所に散き均し　・　構内指示の場所に堆積　・　構外搬出
	21．耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は，「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。 本工事の施設分類は（　・　特定の施設　・　一般の施設　）で地域係数は１とし，設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお，（　）内の数値は防震支持の建築の場合に適用する。

設置場所 ＼ 設計用標準震度	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階，屋上及び塔屋	2.0（2.0）	1.5（2.0）	1.5（2.0）	1.0（1.5）
中層階	1.5（1.5）	1.0（1.5）	1.0（1.5）	0.6（1.0）
一階及び地下層	1.0（1.0）	0.6（1.0）	0.6（1.0）	0.4（0.6）

重要機器類

・　配電盤　・　発電装置　・　ＵＰＳ装置　・　直流電源装置

・　交換機　・　受信機（自立型）　・　中央監視装置　・　情報通信ラック

重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても，耐震を考慮し，据付等を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。

	22．風圧加重	※　風速６０m／ｓ　・　　m／ｓ ・　雷保護設備受雷部　・　照明ポール・基礎　●　テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト

一般共通事項	㉓ 他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合，「各工事の工事区分表」による。
	㉔ 保温，結露防止	外部に面する壁，天井でＰＦ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは，保温，結露防止処理を行う。
	㉕ 電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。（ＥＭ－ＭＥＥＳ）
	㉖ 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は，ＰＦ管（一重管）とし，温度による分類はタイプ－25とする。
	㉗ 二種金属製可とう管	露出箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし いんぺい箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし
	㉘ 電線本数，管路など	分電盤，制御盤，端子盤などの２次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは，監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。
	㉙ インサート	鋼鈑製とする。なお，床版で保温板打込み部分は，断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	㉚ 呼び線	長さ１m以上の通線しない電線管には，１．２mm以上のビニル被覆鉄線を通線する。
	㉛ フラッシュプレート	図面に特記なき場合，（　※　金属製（ステンレス・新金属も含む）　・　樹脂製　）とする。
	㉜ フロアプレート・ベース	※　水平高低調節付（空転防止リング付）　・　鋼合金製　・　アルミ合金製
	㉝ ハンドホール蓋	県章およびチェーン（ステンレス製）付のものとする。
	㉞ 支持金物，固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製とし，屋外機器のアンカーボルトのナットには，ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また，振動をともなう機器の支持金物のナットは，ダブルナットとする。
	㉟ あと施工アンカー	施工方法　・　接着系　（　※　有機系　・　接着剤　） 金属拡張系　（　※　本体打込式　・　　） 性能・施工確認　※　行わない　・　行う
	㊱ 接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合，下表による。なお，ＥＢの長さは１，５００mmとする。 ただし，Ｄ＝１０Ω1，０００mm，Ｗ＝３０Ω1，２００mmとする。 装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格，数量
・　雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＰ×２
・　雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×　連－　組
・　共同接地	EA・ED・ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連－２組
・　共同接地	EA・EC・ED	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連－２組
・　Ａ種	EA	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連－２組
・　Ｂ種	EB	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×２
・　Ｃ種	EC	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連－２組
◎　Ｄ種	ED	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×１
・			
・　構内交換機（陽極）用	Et	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連－　組
・　本配線盤の保安装置	EAt	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連－２組
◎　電話引込口の保安器	EDt	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×１
・　拡声増幅器	EDa	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×１
・　防犯設備用	ES	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連－　組
・			
・　測定用	Eo	――――	ＥＢ(Ｄ＝10又は＝30)×１
・　避雷器用（低圧用）	ELL	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連－２組
・　避雷器用（高圧用）	ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連－２組
・　避雷器用（モデム用）	EMD	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×１
・　構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

	㊲ 総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い，報告書を提出すること。 ・　受変電設備　・　発電設備　・　照明装置　・　構内交換設備　・
	㊳ 塗装工事	下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※　屋外　※　厨室　・

電灯設備	① 工事範囲	●　配管　●　配線　●　分電盤類　●　機器類
	② 電気方式	●　幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ・　分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ●　分岐　単相２線式　１００Ｖ 幹線　・　金属管配線　●　ケーブル配線
	③ 施工方法	分岐　電灯　●　合成樹脂管配線　・　金属管配線　●　ケーブル配線　・　その他（　　） コンセント　●　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　フロアダクト配線　・　その他（　　） 屋外露出　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 ボックス　●　合成樹脂製　・　金属製
	④ 照明器具	蛍光灯　・　Ｈｆ型蛍光灯　・　ＰＳ型蛍光灯　・　ダウンライト　・　その他 ＬＥＤ　●　一体型　・　直管型(JEL801)　・　直管型(JEL802)　●　ダウンライト　●　その他 ＨＩＤ　・　セラメタランプ　・　ナトリウムランプ　・　水銀灯　・　無電極灯　・　その他 電球　・　蛍光灯　・　白熱電球　・　ＬＥＤ　・　ハロゲンランプ　・　クリプトンミニ電球 図面に特記がない場合のＨｆ型蛍光灯の入力電圧・周波数は，入力電圧100/200Ｖ，周波数50Hzとする。
	⑤ 防災用照明器具	●　非常用照明器具　（　※　電池内蔵形　・　電源別置形　） ・　誘導灯　（　※　ＬＥＤ誘導灯　・　誘導標識　）
	⑥ 照度測定	照度測定は，原則，本工事範囲全て行うものとするが，これにより難い場合は監督職員との協議による。
	７．ハイテンション アウトレット	※　鋼合金製　・　アルミ製 ※　飛び出し形　・　外部固定形
	⑧ 人感センサプレート	照明の人感センサ制御を行う部屋には，注意プレートを設置する。
	⑨ 予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は，予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本，５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上，天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には，１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。
動力設備	① 工事範囲	●　配管　●　配線　●　制御盤類
	② 電気方式	●　幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ●　分岐　三相３線式　２００Ｖ
	③ 施工方法	幹線　・　金属管配線　●　ケーブル配線　・　その他 分岐　●　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　その他 屋外露出　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　ケーブル配線 ボックス　●　合成樹脂製　・　金属製
	④ 警報盤	※　壁掛形（電源装置　※　内蔵　・　別置　）　・
	⑤ 電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※　埋込連用形配線器具　・
	⑥ 機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	⑦ 電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	⑧ 進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	⑨ 電気自動車用充電装置	・　機器類　・ ・　普通充電装置　電圧　相　Ｖ　・　屋外型　・　屋内型 ・　急速充電装置　直流電圧　Ｖ
電熱設備	１．電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　相　線式　Ｖ
	２．施工場所及び面積	・　（　　㎡）　・　（　　㎡）

受変電設備	１．工事範囲	・　機器類　・
	２．電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ　・　低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	３．引込ケーブル	・　ＥＭ－ＣＥＴ３８°　・　ＥＭ－ＣＥＴ６０° ・　ＥＭ－ＣＥ３８°－３Ｃ　・　ＥＭ－ＣＥ６０°－３Ｃ　・
	４．配電盤	・　屋内形　・　屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ・　キュービクル式配電盤　・　高圧閉鎖配電盤　・　・
	５．主遮断装置	※　限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　・　高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　・　ｋＡ
	６．高圧機器類	・　油入式　・　モールド ・　手動　・　電動　・　電磁
	７．変圧器	・　単相変圧器　ｋＶＡ　・　三相変圧器　ｋＶＡ （油入式：JIS C4304-2013適合品 乾式：JIS C4306-2013適合品）
	８．進相用コンデンサ	※　低圧　・　高圧 ・　油入式　・　モールド
	９．リアクトル	・　６％　・　１３％ ・　油入式　・　モールド
	10．自動力率制御装置	※　メーターリレー形　・　静止形
	11．測定用補助接地極	・　設置

電力貯蔵設備	１．直流電源装置	※　非常用照明器具電源，受変電設備制御電源供用　・　受変電設備制御専用　・　非常用照明器具専用 蓄電池　・　鉛蓄電池（・　ＨＳ　・　ＣＳ　・　ＭＳＥ　・　長寿命形ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　） ・　リチウムイオン電池
	２．交流無停電電源装置	用途（　　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・　鉛蓄電池（・　ＨＳ　・　ＣＳ　・　ＭＳＥ　・　長寿命形ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　） ・　リチウムイオン蓄電池

発電設備	１．工事範囲	・　機器類　・
	２．形　式	・　簡易形　・　キュービクル式　・　オープン形　・ ・　屋内形　・　屋外形
	３．発電機	電気方式　相　線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ　運転時間　時間
	４．原動機	種類　・　ディーゼル　・　ガスタービン　・ 定格出力　ｋＷ以上　（　ＰＳ以上） 始動方式　※　電気式　・　空気式 冷却方式　・　ラジエータ式　・　水冷循環式
	５．燃　料	種類　・　軽油　・　灯油　・　Ａ重油 燃料小出槽　Ｌ 主燃油槽　・　なし　・　あり（　・　別途　・　本工事：　）
	６．太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ パワーコンディショナ　相　線式　定格電圧　Ｖ　定格出力　ｋＷ 自立運転　・　有　・　無 蓄電池　・　有（定格容量　ｋＷｈ）　・　無
	７．系統連系	・　有　・　無

構内交換設備	１．工事範囲	・　交換機　・　電話機　・　配線（　・全部　・　端子盤以降　）
	２．電話交換機	形式　・　ボタン電話装置　・　デジタルＰＢＸ　・ＩＰ－ＰＢＸ　・ＶｏＩＰサーバ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
	３．電話機への配線	電話機１台につき，下記のものを見込む。 ・　ＥＭ－ＴＩＥＦ０．６５－２Ｃ　（　・　２０ｍ　・　） ・　ＥＭ－ＥＢＴＯ．４－２Ｐ　（　・　２０ｍ　・　） ・　ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
	４．ローテンションアウトレット（亀甲形）	※　一般電話用　個　・　納入する　・　取り付ける） ※　鋼合金製　・　アルミ製
	５．保安器用接地	※　本工事　・　別途工事

通信・情報設備	① 工事範囲及び施工方法	工事範囲：配管・配線・機器類　施工方法：合成樹脂管配線・金属管配線・ケーブル配線

項目	配管	配線	機器類	合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線
・　構内情報通信網	・	・	・	・	・	・
・　情報表示	・	・	・	・	・	・
・　映像・音響	・	・	・	・	・	・
・　拡声	・	・	・	・	・	・
◎　誘導支援	・	・	・	・	・	・
◎　テレビ共同受信	・	・	・	・	・	・
・　テレビ電波障害防除設備	・	・	・	・	・	・
・　監視カメラ	・	・	・	・	・	・
・　駐車場管制設備	・	・	・	・	・	・
・　防犯・入退室管理	・	・	・	・	・	・

		ボックス　●　合成樹脂製　・　金属製
	２．構内情報通信網設備	種類　・　１０ＢＡＳＥ－Ｔ　・　１００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・　１０００ＢＡＳＥ－Ｔ ・　１０ＧＢＡＳＥ－ＳＲ　・
	３．情報表示設備	・　親時計　回線　（　※　壁掛形　・　自立形　） ・　（　・　電子式チャイム組込　・　プログラムタイマ組込　）
	４．映像・音響設備	・　増幅器　Ｗ ・　ＶＴＲ　（　・　ＤＶＤ　・　ＢＤ　・　Ｓ－ＶＨＳ　・　） ・　プロジェクタ（　※　前面投射式　・　背面投射式　） ・　音響設備（　・　ＣＤ　・　オーディオレコーダー　・　カセット　・　） ・　一般放送用　・　非常放送兼用
	５．拡声設備	・　増幅器　Ｗ（　※　卓上形　・　キャビネットラック形）
	６．誘導支援設備	・　インターホン　●　トイレ等呼出装置　・　音声誘導装置
	７．テレビ共同受信設備	●　テレビアンテナ（　●　ＡＵ－　ＣＳＢＳＡ－　・　ＣＳＡ－　） ・　地上波アンテナマスト（　※　壁面取付形　●　自立形　） ・　ＢＳアンテナマスト（　・　壁面取付形　・　自立形　） ・　電界強度測定及び受信調査（　※　全チャンネル　）
	８．テレビ電波障害防除設備	・　事前調査　・　機器類
	９．監視カメラ設備	・　白黒方式　※　カラー方式 ・　伝送方式　（　・　アナログ　・　ネットワーク　）
	10．駐車場管制設備	・　管制盤　・　発券機（　・　光線式　・　ループコイル式） ・　信号灯・警報灯　・　カードゲート　・　カードリーダー
	11．防犯・入退室管理設備	・　接地工事（　※　本工事　・　別途　）

火災報知設備	① 工事範囲	●　配管　●　配線　●　機器類
	２．火災報知装置	・　壁掛形　・　自立形 ・　受信機　型　級　回線（　・　アドレス） ・　複合盤　型　級　回線（火報　回線，自動閉鎖　回線，ガス漏れ　回線） ・　副受信機　型　級　回線 ・　機器収容箱　・　専用形（　・　埋込形　・　露出形　）　・　屋内消火栓箱に組込み ・　感知器種　型用　総数　個（　・　自動試験機能付　）
	③ 非常警報装置	●　非常ベル（自動式サイレンを含む）　・　非常放送装置
	４．自動閉鎖装置	・　連動制御器 ・　自動閉鎖装置（　・　防火戸用　・　防煙ダンパ用　・　防火シャッター用　） ・　感知器
	５．ガス漏れ火災警報装置	・　受信機　回線（　・　都市ガス用　・　液化石油ガス用） ・　単独（　・　壁掛形　・　自立形　）　・　火災受信機などとの複合盤 ・　検知器 ・　併設　・　連動 ・　定格電圧　（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　ＤＣ２４Ｖ　） ・　ガス検知出力信号（　・　有電圧出力方式　・　無電圧接点方式　）
	６．消火器類	・　消火器　種別　・　数量　本 ・　消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量　面

中央監視制御設備	１．工事範囲	・　配管　・　配線　・　機器類
	２．監視制御対象設備	・　動力設備　・　受変電設備　・　発電設備　・　火災報知設備
	３．表示操作盤	・　壁掛形　・　自立形 組込み機器 ・
	４．監視制御装置	構成機器　・　グラフィックパネル　・内照式液晶ディスプレイ　・　操作卓 ・　監視操作装置　・　信号処理装置　・　伝送装置　・　分散処理装置 ・　中央処理装置　・　補助記憶装置　・　記録装置　・　電源装置 ・　帳票用印字装置　（　・　インクジェット式　・　写真式　）

構内配電線路	① 工事範囲	◎　管路　◎　配線　・　機器類
	② 電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ ◎　低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ・　低圧　単相２線式　１００Ｖ
	③ 布設方法	※　地中埋設式（　●　ＦＥＰ　・　ＧＬＴ　・　厚鋼電線管　）　・　架空線式
	４．柱上機器	・　高圧負荷開閉器　※　一般用　・　耐塩塩じん用 ※　地絡継電器付き（※　方向性　・　無方向性） ・　避雷器　※　一般用　・　耐塩用 ・　高圧カットアウト，がいしなど　※　一般用　・　耐塩用
	５．高圧ケーブルの端末処理	屋外側　※　一般用　・　耐塩用 ※　処理者銘板取付（屋内外共，銘名，作業日，氏名を表示）
	６．その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	７．外灯設備	・　定格電圧　Ｖ　Ｗ
	８．沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は，沈下対策を施す。（　　）
	９．標識シート	・　高圧ケーブル　◎　低圧ケーブル
	10．予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。

構内通信線路	１．工事範囲	・　管路　・　配線
	２．用途	・　電話用　・　時計，拡声用　・　火災報知用
	３．施工方法	※　地中埋設式（　・　ＦＥＰ　・　ＧＬＴ　・　厚鋼電線管）　・　架空線式
	４．標識シート	・　弱電用

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし，これによりがたい場合は監督員と協議する。

	名称	測点	取付高（mm）
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	約　1,800
	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200
	分電盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
電灯	スイッチ（一　般）	床上～中心	1,300
	〃　（和　室）	〃	1,200
	コンセント（一　般）	〃	300
	〃　（和　室）	〃	150～200
	〃　（台　上）	台上～中心	100
	〃　（ファン用）	床上～下端	ファン下端
	〃　（厨　房）	床上～中心	800～1,000
	〃　（車　庫）	〃	1,300
	〃　（機械室）	〃	500～1,000
	〃　（土　間）	〃	800～1,300
	ブラケット（一　般）	床上～中心	2,100～2,300
	〃　（誘　場）	〃	2,000～2,500
	〃　（鏡　上）	鏡上端～中心	150
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500（上端2,000以下）
	開閉器箱	〃	1,500
	電磁開閉器用ボタン	〃	1,300
	非常ボタン（便所用）	床上～中心	900
身障者用	壁付インターホン（親機）	〃	1,300
	〃　（玄関子機）	〃	1,100
	扉下表示灯（復旧ボタン付）	〃	1,300
	身障表示ランプ	〃	1,500
	スイッチ	〃	1,100

	名称	測点	取付高（mm）
通信	引込線管の高	地上～引込点	
	集合保安器箱	天井下～上端	200
	端子盤（蔵下、室内）	床上～下端	300
	〃　（ＥＰＳなど）	床上～中心	1,500
話	壁付アウトレット（一　般）	床上～中心	300
	〃　（和　室）		150～200
時計	壁掛形親時計	床上～中心	1,500（上端2,000以下）
	〃	〃	2,300
拡声	壁掛形スピーカ	〃	2,300
	壁付アッテネータ	〃	1,300
	壁付インターホン（一　般）	床上～中心	1,300
	〃　（ＥＰＳなど）	〃	1,500
通信	壁付アウトレット（一　般）	床上～中心	300
	〃　（和　室）	〃	150～200
機器	機器収容箱	天井下～上端	200
	直列ユニット（一　般）	床上～中心	300
	〃　（和　室）	〃	200
警報	表示盤	床上～中心	2,300
	壁付発信機	〃	1,300
火災	機器収容箱	〃	800～1,500
	発信機	〃	800～1,500
表示等	表示灯	床上～中心	2,100
	ベル	〃	2,300
器具	壁付押しボタン（一　般）	床上～中心	1,300
	〃　（身体障害者女関）	〃	900
	受信機	床上～中心	800～1,500
	副受信機	〃	800～1,500
	機器収容箱	〃	800～1,500
	ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
	壁付押しボタン（一　般）	〃	2,300
	遠化石油ガス用検知器	床上～上端	250
	都市ガス用検知器（軽貨）	天井～上端	150
	〃　（重貨）	床上～上端	250

表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

	名称	完成書類	部数		名称	完成書類	部数
1	完成調書	営繕工事完成引渡要領（平成１３年４月１日版）	１部	9	取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	１部
2	完成図書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （機器完成図，取扱説明書と合本可。ただし，厚さが８０mmを越える場合は分冊とする。）	１部	10	管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部
3	完成原図	Ａ１版はニつ折りケース収納 Ａ２版はニつ折りケース収納	１組	11	工事写真 ①施工写真 ②完成写真	Ａ４版：チューブ式ファイル （着手前，施工状況，完成の各写真） Ａ４版：ペーパーファイル 完成届に添付	１部
4	完成図	青焼製本 Ａ１版又はＡ２版の二つ折り	１部				
5	完成図（縮小）	青焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	２部				
6	完成図（電子データ）	JWW又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式	CD２枚				
7	施工図	青焼製本 Ａ１版又はＡ２版の二つ折り （施工図の枚数が少ない場合は，４　完成図と合本可）	１部	12	工事に関する書類 ①

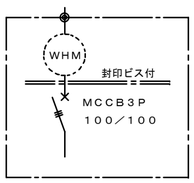
盤名称（盤形式）幹線番号 幹線サイズ	電気方式 主幹（結線）合計容量	回路番号	電圧 V	分岐 AF／AT	負荷名称	負荷容量（VA）	備考
分電盤 L－1 鋼板製		Ⓐ	100	MCCB2P 50／20	非常警報	200	
		①	100	MCCB1P 50／20	非常用照明	30	
		②	100	MCCB1P 50／20	電灯	680	
		③	100	MCCB1P 50／20	電灯	932	
		④	100	ELCB2P 50／20	電灯	1174	
		⑤	200	MCCB2P 50／20	予備	（1000）	
		⑥	200	MCCB2P 50／20	予備	（1000）	
		⑦	100	ELCB2P 50／20	調理室コンセント	1000	
		⑧	100	ELCB2P 50／20	冷蔵庫コンセント	500	
		⑨	100	ELCB2P 50／20	調理室コンセント	1000	
		⑩	100	ELCB2P 50／20	ガス給湯器	500	
AC 1φ3W 210／105V		⑪	100	MCCB1P 50／20	ブースターコンセント	200	
		⑫	100	MCCB1P 50／20	コンセント	600	
		⑬	100	MCCB1P 50／20	コンセント	500	
		⑭	100	MCCB1P 50／20	コンセント	300	
		⑮	100	ELCB2P 50／20	EPH	1000	
		⑯	100	ELCB2P 50／20	EPH	1500	
		⑰	100	ELCB2P 50／20	WCコンセント	500	
		⑱	100	ELCB2P 50／20	WCコンセント	600	
		⑲	100	ELCB2P 50／20	WCコンセント	600	
		⑳	100	ELCB2P 50／20	WCコンセント	600	
		㉑	100	ELCB2P 50／20	屋外コンセント	400	
		㉒	100	MCCB1P 50／20	CN	200	
		㉓	100	MCCB1P 50／20	コンセント	600	
		㉔	200	ELCB2P 50／20	PAC－1	930	
		㉕	200	ELCB2P 50／20	PAC－2	1130	
		㉖	200	ELCB2P 50／20	将来エアコン用	3000	
		㉗	200	ELCB2P 50／20	将来エアコン用	3000	
		㉘	200	ELCB2P 50／20	将来エアコン用	3000	
		㉙	100	MCCB1P 50／20	予備		
		㉚	100	MCCB1P 50／20	予備		
		㉛	100	MCCB1P 50／20	予備		
		㉜	100	MCCB1P 50／20	予備		
		㉝	100	MCCB1P 50／20	予備		
		㉞	100	MCCB1P 50／20	予備		

主幹一次側負荷TOTAL　0.2 KVA ＊1.0 = 0.2 KVA

主幹　ELCB3P　100/100

電灯	2.14KVA	＊1.0	2.14 KVA
ｺﾝｾﾝﾄ他	23.6KVA	＊0.7	16.5 KVA
主幹二次側負荷TOTAL			18.9 KVA
全負荷TOTAL			19.1 KVA

1Φ3W200／100V



L－0　防雨型

引込開閉器盤
SUS製　電柱に取付け

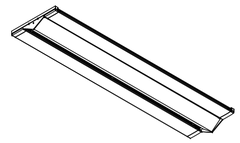
A　LED一体形ベースライト（薄形タイプ）

＊7台

東芝LEDT-33122N-LDJ相当品
●LED（昼白色）
●寸法：幅218*長さ608*高45
●本体：鋼板　白
●Vカバー：鋼板　白
●モジュールカバー：ポリカーボネート 拡散
●定格電圧：AC100V～242V
●消費電力：32W（100V）31W（200V）
●平均消費電力：28W
●器具光束：3,500 lm　固有エネルギー消費効率：112.9 lm/W
●寿命：40,000h
●相関色温度：5000K　平均演色評価数（Ra）：83
●調光範囲：約5~100%　初期照度補正機能付
●調光信号用端子台付
●質量：1.7kg
◆LED一体形ベースライト（薄形タイプ）

B　LED一体形ベースライト（薄形タイプ）

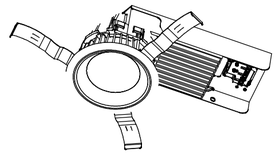
＊28台



東芝LEDT-50132N-LDJ相当品
●LED（昼白色）
●寸法：幅218*長さ888*高45
●本体：鋼板　白
●Vカバー：鋼板　白
●モジュールカバー：ポリカーボネート 拡散
●定格電圧：AC100V～242V
●消費電力：47W（100V）46W（200V）
●平均消費電力：41W
●器具光束：5,250 lm　固有エネルギー消費効率：114.1 lm/W
●寿命：40,000h
●相関色温度：5000K　平均演色評価数（Ra）：83
●調光範囲：約5~100%　初期照度補正機能付
●調光信号用端子台付
●質量：2.2kg
◆LED一体形ベースライト（薄形タイプ）

C　LEDダウンライト1500シリーズ

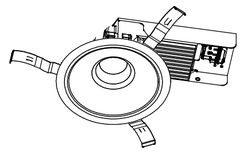
＊14台



東芝LEDD-15013N-LS9相当品
●埋込穴径：φ100
●器具寸法：径φ110×高99
●本体：アルミダイカスト
●枠：アルミダイカスト バージンホワイト
●下面カバー：アクリル
●定格電圧：AC100～242V
●質量：0.9kg
●消費電力：14.8W（100V時）14.6W（200V時）
●器具光束：1520 lm　寿命：40,000時間（光束維持率70%）
●固有エネルギー消費効率：104.1m／W
●相関色温度：5,000K　平均演色評価数（Ra）：70
●調光不可
◆LEDダウンライト1500シリーズ（中角タイプ）

D　LEDダウンライト1500（軒下用）

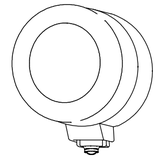
＊13台



東芝LEDD-15921MN-LS9相当品
●埋込穴径：φ150
●器具寸法：径φ169×高108
●本体：アルミダイカスト
●枠：アルミダイカスト バージンホワイト
●下面カバー：アクリル　拡散
●定格電圧：AC100～242V
●質量：1.0kg
●消費電力：14.8W（100V時）14.6W（200V時）
●器具光束：1650 lm　寿命：40,000時間（光束維持率70%）
●固有エネルギー消費効率：113.0m／W
●相関色温度：5,000K　平均演色評価数（Ra）：70
●調光不可
◆LEDダウンライト1500シリーズ（軒下用）

E　LEDポーチ灯

＊2台

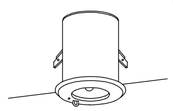


東芝LEDB85905Y(K)相当品
●LEDユニットフラット形用（ランプ別売）
●適合ランプ：LEDユニットフラット形（GX53口金）LDF6
●寸法：径φ180×高160
●本体：アルミダイカスト ブラック
●グローブ：ガラス 乳白、フロスト
●ON/OFFセンサー付
◆LEDユニットフラット形400シリーズ　丸形ポーチ灯

F

a1	ハロゲン 9W＊1	＊2台
a2	ハロゲン13W＊1	＊2台
a3	ハロゲン30W＊1	＊2台

非常照明バッテリー内臓　図中ｼﾝﾎﾞﾙ



参考型番
松下電工LB90630（ 9W）相当品
松下電工LB91630（13W）相当品
松下電工LB93640（30W）相当品

JE 9W×1

器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
単体配置	A1	3.4m	3.1m	2.7m	1.5m	－	－	－	－
直線配置	A2	7.3m	7.8m	8.1m	7.3m	－	－	－	－
四角配置	A4	5.7m	6.4m	6.8m	7.3m	－	－	－	－

JE13W×1

器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
単体配置	A1	4.0m	4.6m	4.6m	4.7m	0.2m	0.1m	－	－
直線配置	A2	8.6m	9.6m	10.2m	11.2m	7.3m	－	－	－
四角配置	A4	6.9m	7.6m	8.0m	8.9m	－	－	－	－

JE30W×1

器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m
単体配置	A1	5.0m	5.5m	5.8m	6.4m	7.5m	6.2m	5.4m	2.3m
直線配置	A2	10.6m	11.9m	12.7m	14.2m	17.3m	19.5m	19.5m	17.4m
四角配置	A4	8.1m	9.0m	9.6m	10.9m	13.7m	16.1m	19.5m	17.4m

凡例

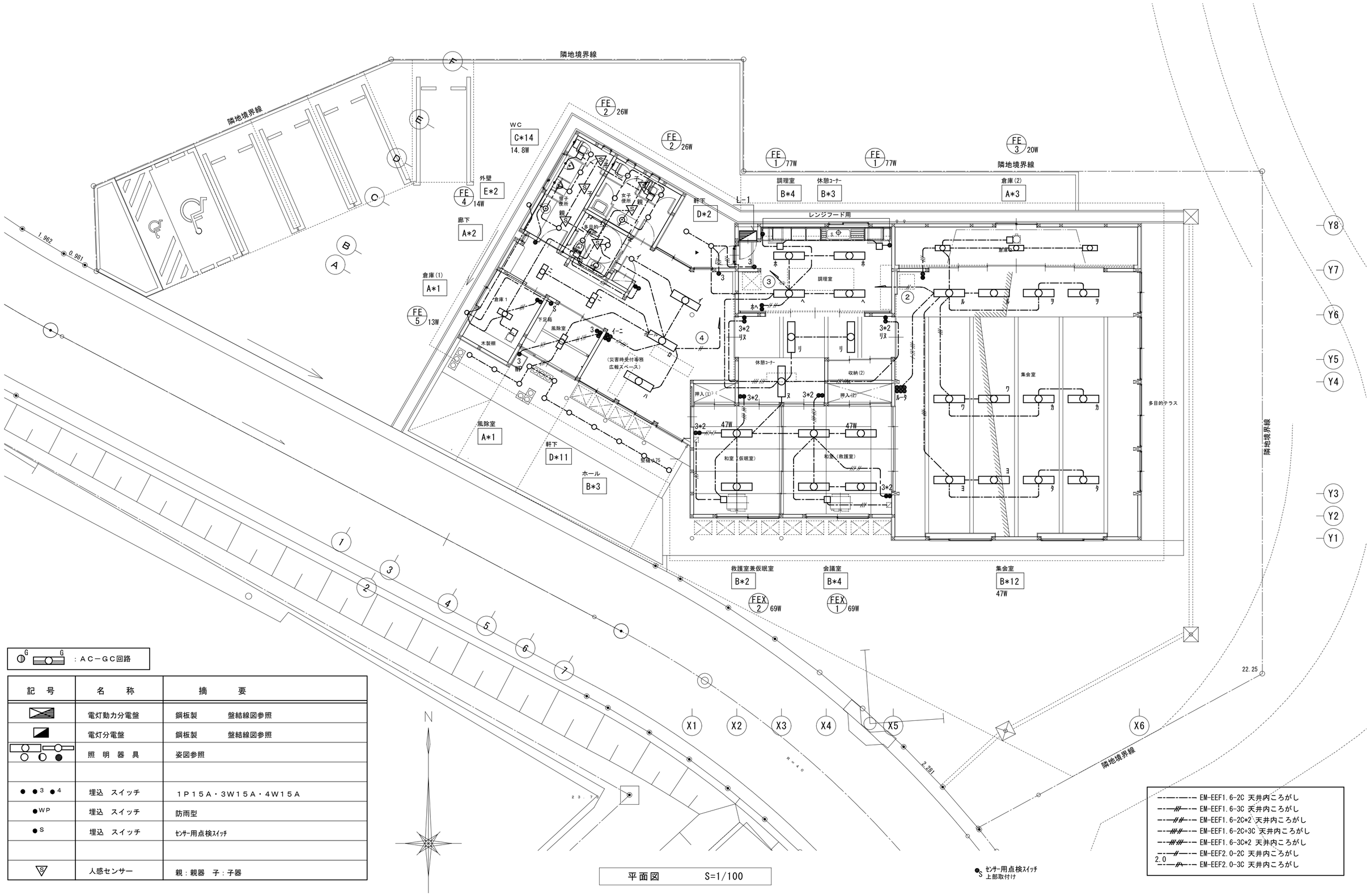
E　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

盤リスト，照明器具姿図

３０２

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　156987　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR
SCALE　A2：S=1/100
DATE
DRAWN BY



G G ：ＡＣ－ＧＣ回路

記　号	名　　称	摘　　要
	電灯動力分電盤	鋼板製　　盤結線図参照
	電灯分電盤	鋼板製　　盤結線図参照
	照　明　器　具	姿図参照
● ●3 ●4	埋込　スイッチ	１Ｐ１５Ａ・３Ｗ１５Ａ・４Ｗ１５Ａ
●WP	埋込　スイッチ	防雨型
●S	埋込　スイッチ	ｾﾝｻｰ用点検ｽｲｯﾁ
S	人感センサー	親：親器　子：子器

—·—·— EM-EEF1.6-2C 天井内ころがし
—·—//— EM-EEF1.6-3C 天井内ころがし
—·—//// EM-EEF1.6-2C*2 天井内ころがし
—·—//·// EM-EEF1.6-2C+3C 天井内ころがし
—·—//·//— EM-EEF1.6-3C*2 天井内ころがし
—//— EM-EEF2.0-2C 天井内ころがし
—//·— EM-EEF2.0-3C 天井内ころがし

凡例

E　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

電灯設備平面図

３０３

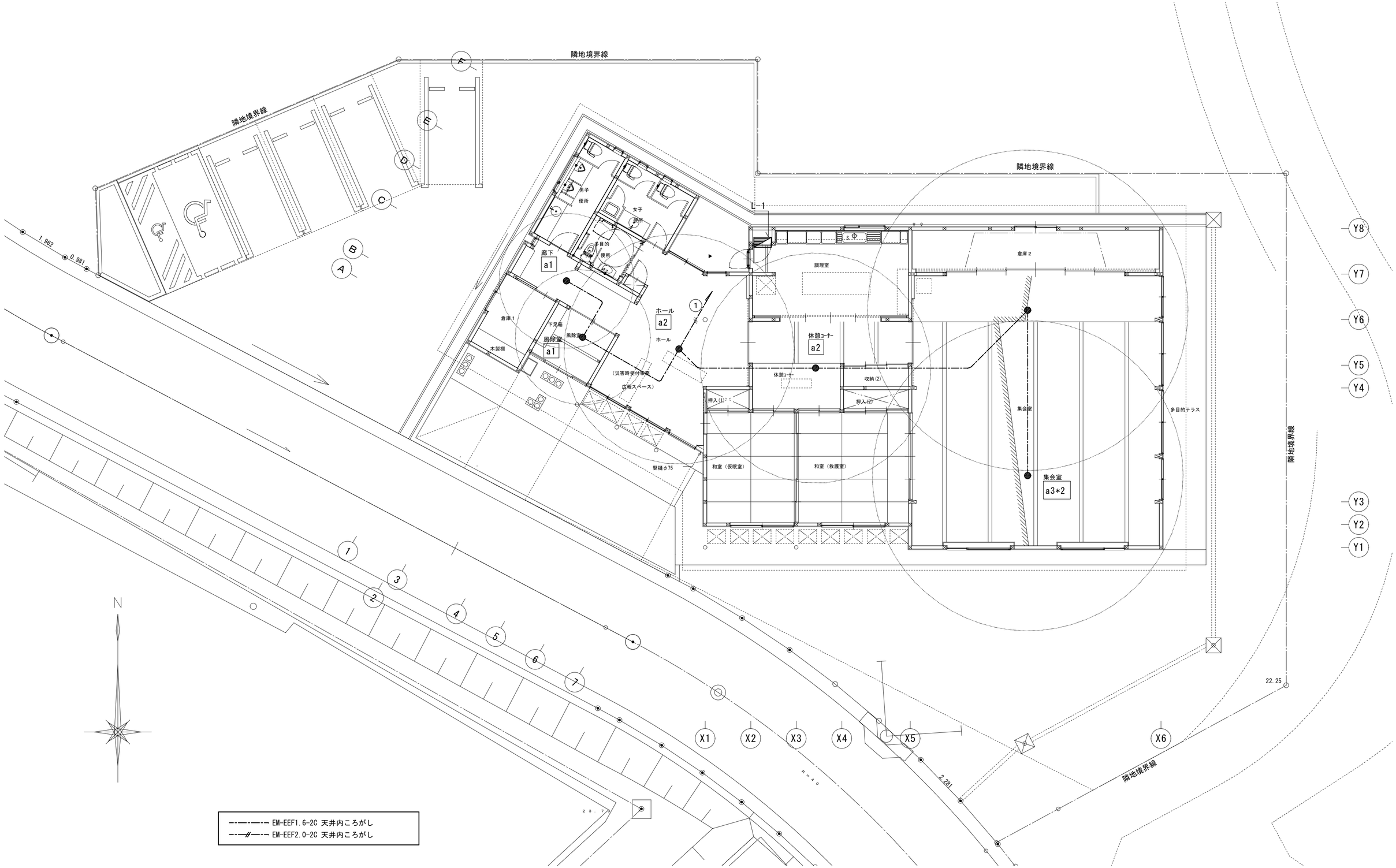
株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎

NUMBAR

SCALE A2：S=1/100

DATE

DRAWN BY



平面図　　S=1/100

凡例

E　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

NUMBAR

防災照明設備平面図

SCALE　A2：S=1/100

３０４

株式会社 松本純一郎設計事務所

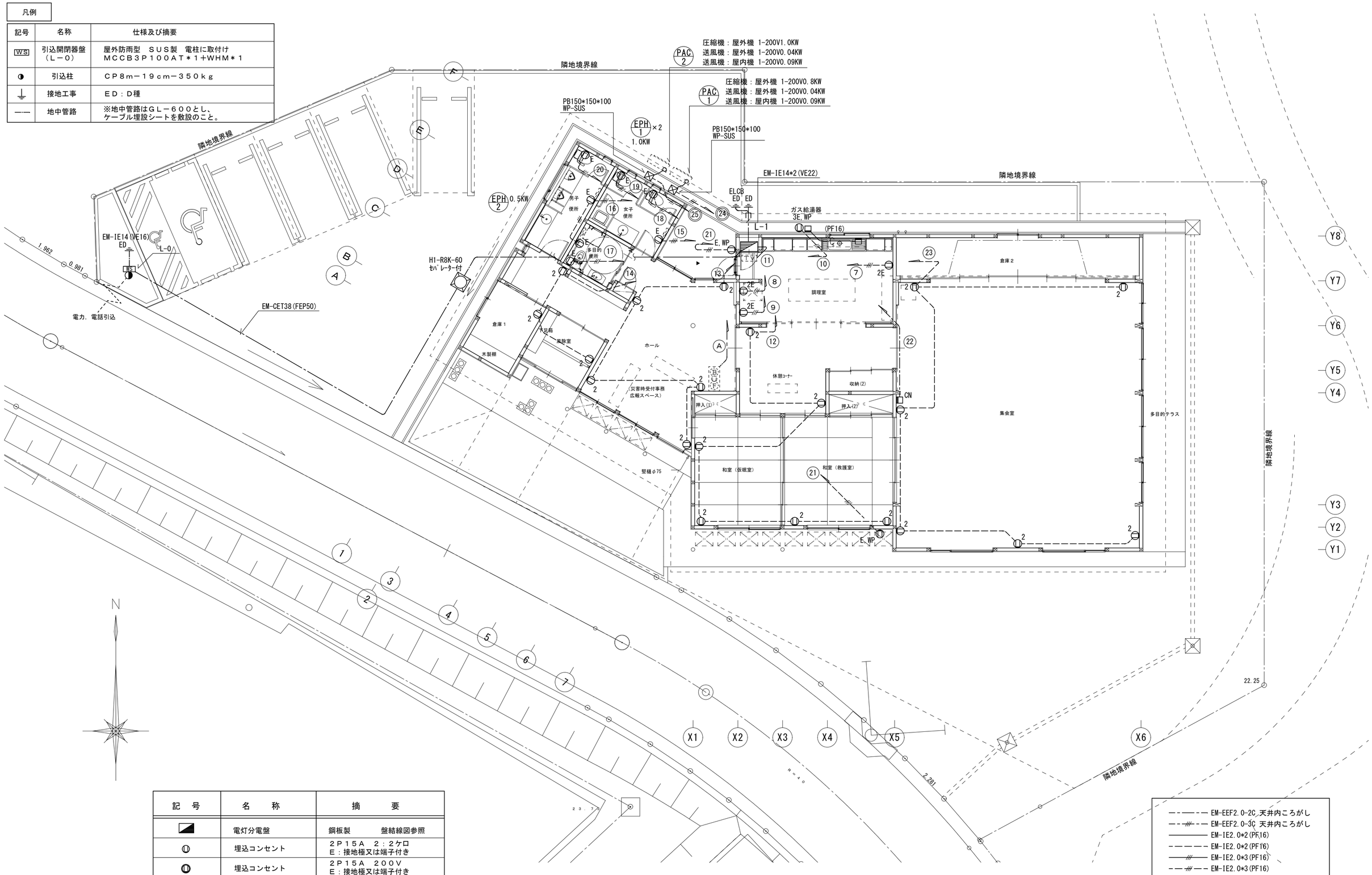
登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎

DATE

DRAWN BY

凡例

記号	名称	仕様及び摘要
WS	引込開閉器盤（Ｌ－０）	屋外防雨型　ＳＵＳ製　電柱に取付け ＭＣＣＢ３Ｐ１００ＡＴ＊１＋ＷＨＭ＊１
◑	引込柱	ＣＰ８ｍ－１９ｃｍ－３５０ｋｇ
⏚	接地工事	ＥＤ：Ｄ種
——	地中管路	※地中管路はＧＬ－６００とし、 ケーブル埋設シートを敷設のこと。



記　号	名　　称	摘　　要
◪	電灯分電盤	鋼板製　　盤結線図参照
ⓘ	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　２：２ケロ Ｅ：接地極又は端子付き
ⓘ	埋込コンセント	２Ｐ１５Ａ　２００Ｖ Ｅ：接地極又は端子付き
ⓘ WP	防雨コンセント	２Ｐ１５Ａ　２：２ケロ Ｅ：接地極又は端子付き

平面図　　S=1/100

EM-EEF2.0-2C 天井内ころがし
EM-EEF2.0-3C 天井内ころがし
EM-IE2.0*2(PF16)
EM-IE2.0*2(PF16)
EM-IE2.0*3(PF16)
EM-IE2.0*3(PF16)

凡例

E　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

コンセント設備平面図

３０５

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎

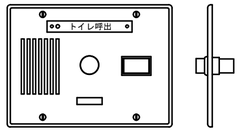
NUMBAR

SCALE　A2：S=1/100

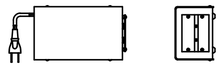
DATE

DRAWN BY

CN トイレ呼出表示器



P 電源アダプタ

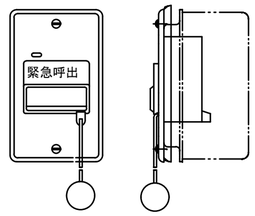


アイホン相当品
CN-3A44-A

※電源アダプタ付

電源	電圧	ＡＣ １００Ｖ ５０／６０Ｈｚ
表示	方式	断続ブザー音及び表示窓点灯
通達	距離	０．８mm線を使用して１００mまで
材	質	ステンレスｔ０．８ヘアライン仕上げ
適合	ボックス	３ヶ用スイッチボックス

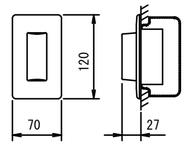
N トイレ呼出し押ボタン



アイホン相当品　NBR-7W

適合	ボックス　壁埋込形 １ヶ用スイッチボックス
プレート	ＳＴＳｔ＝０．６ ヘアライン仕上げ
外観色調	プレート：シルバー,
	呼出ボタン：アイボリー

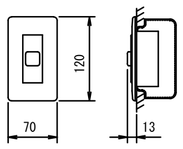
◎ 廊下灯



アイホン相当品　NBR-4A

形状	埋込形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材質	樹脂
表示灯	赤色

◎ 復旧ボタン



アイホン相当品　NBR-2A

形状	埋込形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材質	樹脂

凡例

E　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

306　表示設備機器姿図

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR

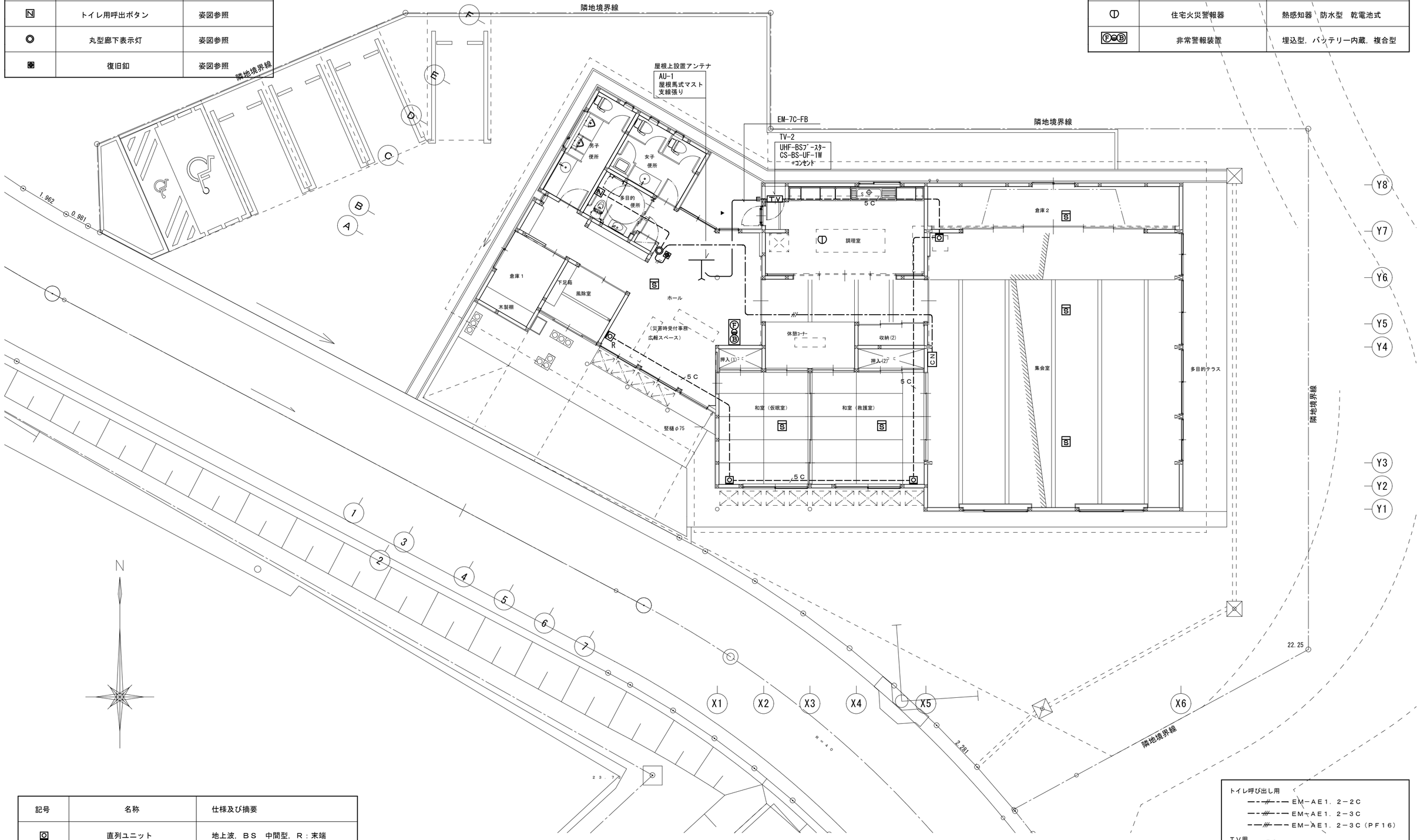
SCALE　A2：S=1/100

DATE

DRAWN BY

記号	名称	仕様及び摘要
CN	トイレ呼出表示器	姿図参照
N	トイレ用呼出ボタン	姿図参照
◎	丸型廊下表示灯	姿図参照
◈	復旧釦	姿図参照

記号	名称	仕様及び摘要
S	住宅火災警報器	煙感知器　乾電池式
Ⓘ	住宅火災警報器	熱感知器　防水型　乾電池式
FB	非常警報装置	埋込型，バッテリー内蔵，複合型



記号	名称	仕様及び摘要
◎	直列ユニット	地上波，ＢＳ　中間型，Ｒ：末端

トイレ呼び出し用
- EM−ＡＥ1．2−2Ｃ
- EM−ＡＥ1．2−3Ｃ
- EM−ＡＥ1．2−3Ｃ（ＰＦ16）

ＴＶ用
- 5C EM−Ｓ−5Ｃ−ＦＢ
- 5C EM−Ｓ−5Ｃ−ＦＢ（ＰＦ16）

平面図　S=1/100

凡例

E　平成２５年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

NUMBAR

弱電設備平面図

SCALE　A2：S=1/100

DATE

DRAWN BY

３０７

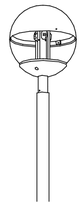
株式会社 松本純一郎設計事務所

登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

N

F	ＬＥＤモールライト

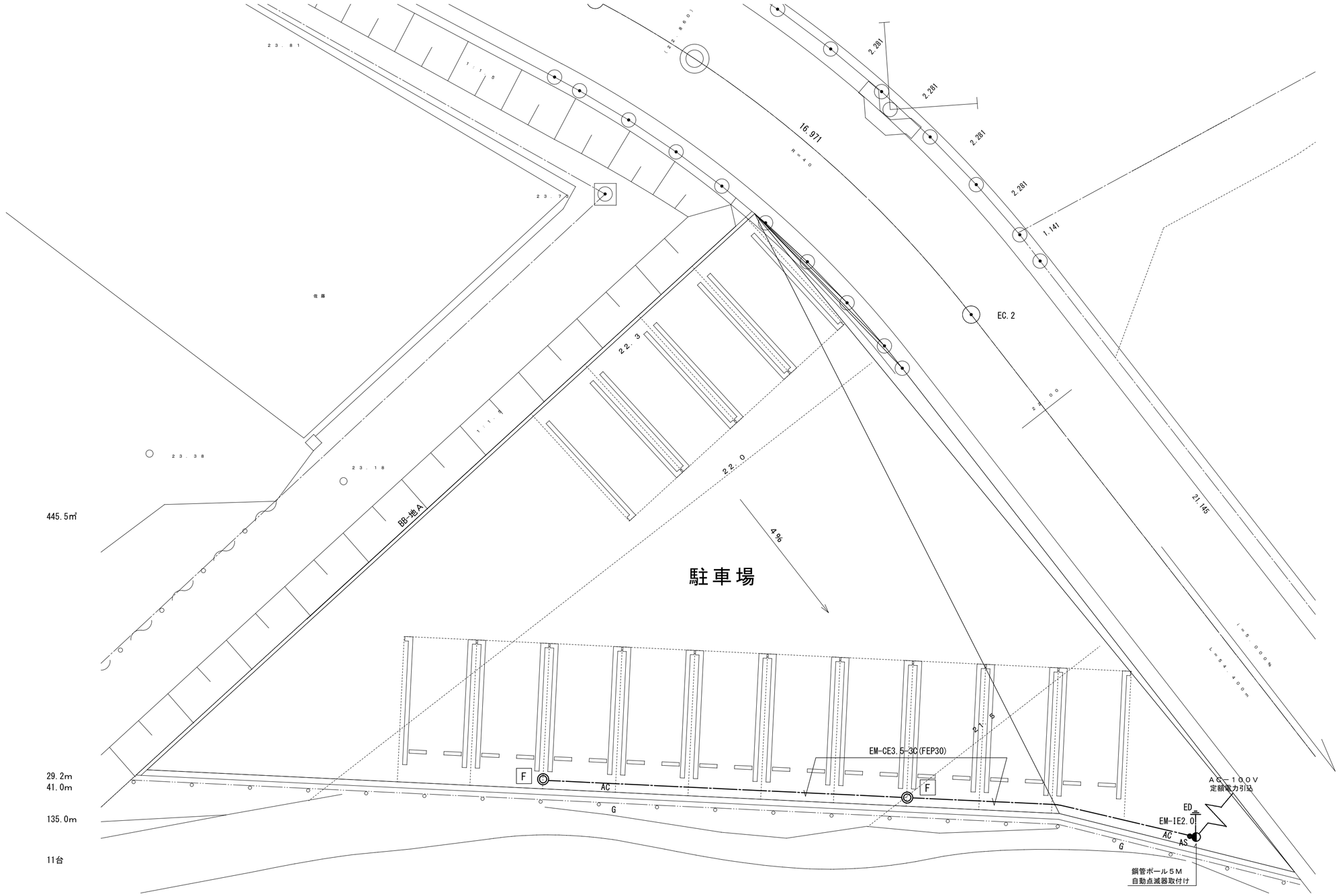
コンパクト蛍光灯ＦＨＴ５７形相当



２６．８Ｗ

ボルトフリー（１００～２４２Ｖ）
本体：アルミダイカスト（コーヒーブラウン）
グローブ：上部アルミ（シルバーメタリック）、
下部ポリカーボネート（透明）
アーム：鋼管（コーヒーブラウン）

パナソニック　モールライトＸＹ５７８８ＬＥ９　相当品



外構図－２　　S=1/100

凡例

E　平成２６年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

３０８　駐車場照明設備平面図

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR

SCALE　A2：S=1/100

DATE

DRAWN BY

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　平成26年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

2．工事場所　宮城県宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字立花１８－１の一部

3．建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備 考
代ヶ崎浜地区避難所	木造	平家	288.46	299.91	１項ろ（集会所）	

4．工事種目（○印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建設別及び屋外	地区避難所	工事種別						屋外
○空気調和設備	新設一式							
○換気設備	新設一式							
・排煙設備								
・自動制御設備								
○衛生器具設備	新設一式							
○給水設備	新設一式							一式
○排水設備	新設一式							一式
○給湯設備	新設一式							
○消火設備	新設一式							
・厨房機器設備								
○ガス設備	新設一式							
・さく井設備								
・浄化槽設備								
・昇降機設備								
・その他工事								

5．指定部分　※　なし　・　あり　（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　　）

6．設備概要　（○印のついたものは、主要方式を示す）

方　式	設　備　概　要
空気調和方式等	○ 空気調和 ・全空気方式 ・ファンコイルユニット・ダクト併用方式 ○ パッケージ方式
	・ 温風暖房機 ・ 温風暖房機 ・ ・全空気方式 ・ファンコンベクター・ダクト併用方式 ・ ・将来冷房考慮（・ダクト ・配管 ・機器） ・考慮外
	・ 直接暖房 ・蒸気暖房 ・温水暖房 ・
自動制御方式	電気式　・電子式　・デジタル式　・空気式　・中央監視制御
給水方式	○ 水道直結方式 ・高置タンク方式 ・タンクレスブースター方式 ・
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（○ 分流式 ・ 合流式） 建物外の汚水及び雑排水（・ 分流式 ○ 合流式） 放流先　汚　水　（○ 下水道直放流 ・ し尿浄化槽） 雑排水　（○ 下水道直放流 ・ し尿浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途桝）
給湯方式	○ 局所式　・中央式
消火設備方式	・ 屋内消火栓 （・湿式 ・乾式） ・連結送水管 ・泡消化 ・ スプリンクラー （・湿式 ・乾式） ・連結散水 ・粉末消化 ・ 二酸化炭素 ・屋外消火栓
ガス設備方式	・都市ガス　種別（　　）　kJ／m3（N）（供給圧力　Pa）　○ 液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項
（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編　平成２５年版）」（以下「標準仕様書」という。）、同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編　平成２５年版）」（以下「標準図という。）、及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（平成２５年版）」による。
（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図、建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項
（1）項目は番号に○印のついたものを適用する。
（2）特記事項は、○印のついたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項　目	特　記　事　項
一般共通事項	① 適用基準等	○ 営繕工事写真撮影要領・同解説　設備工事編（国土交通省大臣官房官営繕部監修　平成２４年度版） ○ 建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ○ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２５年９月１日施行） ○ 宮城県建設工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版）
	⑫ 機 材 等	※　本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	⑬ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督員の承諾を受ける。 また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。
	⑭ 保　険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで、火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督員に提出のこと。
	⑮ 雇　用	本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑯ 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書および施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。 また、県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては、環境配慮計画（実施）書を作成し、監督職員に提出する。
	7．工事実績情報の登録	請負額が５００万円以上の場合は、工事実績情報に登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
	⑰ 手続	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 なお、当該手続きに係わる費用は、請負者の負担とする。
	⑱ 事故報告	施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	10．電気保安技術者	※　適用する　・　適用しない
	⑪ 技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・１級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する） ○ 配管（配管工事）　・ 建築板金（ダクト製作及び取付け）　○ 熱絶縁施工（保温工事） ・ 冷凍空気調和機器施工（チリングユニット、パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	12．足場等	・ 別契約の関係請負者が空置したものは無償で使用できる。　・ 本工事で設置 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成２１年４月改訂）」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑲ 監督員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事仕様書）
	⑭ 工事用電力 水 その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。
	⑯ 工事用仮設物	構内に作ることが　※　できる　・　できない
	⑱ 残土処理	・ 構外搬出　※　構内指示の場所に散き均し　・　構内指示の場所にたい積
	17．発生材の処理	（１）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・なし　・あり（　　） （２）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当　・なし　・あり（　　） （３）引渡しを要するもの　※　なし　・あり（　　） （４）廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、、場外搬出の上、適切に処分すること。 （ア）特別管理産業廃棄物 ※ なし　・ あり　（　　） （イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・コンクリート　（　　） ・コンクリート及び鉄から成る建設資材（　　） ・木　　材　（　　） ・アスファルトコンクリート　（　　） （ウ）その他発生材の処分を行う施設 ・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　　） ・ 木くず等の管理型の産業廃棄物　（　　）

章	項　目	特　記　事　項
一般共通事項	⑱ 総合調整	建設リサイクル法 ・ 対象工事 落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。 ・ 対象外工事 ※　本工事において下記の項目の総合調整を行い、報告書を提出する。　・ 別途 総合調整の項目 ・ 風量調整　○ 水量調整　○ 室内外空気の温湿度測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定　・ 騒音の測定　○ 初期運転状態の記録 ・ 末端水位の残留塩素濃度の測定　・ L形浄化槽放流水質の測定 ・ 機器の絶縁抵抗の測定　○ 水圧調整 測定箇所は、監督員の指示による。
	⑲ 容量等の表示	（１）機器類の能力、容量等は指示された数値以上とする。 （２）電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
	⑳ 耐震措置	機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け、取付け又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修２００５年版）による。

設置場所	設計用標準震度			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0（2.0）	1.5（2.0）	1.5（2.0）	1.0（1.5）
中層階	1.5（1.5）	1.0（1.5）	1.0（1.5）	0.6（1.0）
一階及び地下層	1.0（1.0）	0.6（1.0）	0.6（1.0）	0.4（0.6）

注（１）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（２）（　）内の数値は防振ゴムの場合に適用する。
（１）本工事の施設は（・一般の施設　・特定の施設）とする。
（２）地域係数Ⅰは1.0とする。
（３）100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。
（４）重要機器類（高置タンク、受水タンクは機器表による。）
（５）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は、十分な強度を有する方法で固定し、水平船直方向の地震力に対して、つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。

㉑ 弁等のサイズ　特記されていない弁等のサイズは、機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

22．電線類　本工事では環境配慮の観点から、原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお、標準仕様書第６編　通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。
（ＥＭ－ＣＥＥＳ、ＥＭ－ＵＴＰ、ＥＭ－ＳＴＰ、ＥＭ－ＥＢＴ）

23．溶接部の非破壊検査　対象配管系統　・冷温水　・冷却水　・消火（水用）　・油　・ガス
検査の種類　・浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）　・放射線浸透検査（ＲＴ）

24．はつり　既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターを使用する。

㉕ 支持及び固定　（１）標準仕様書以外の天吊り機器の支持は、標準仕様書第３編２．１．１３（ｂ）に準ずる。
（２）横走り主ダクト・主管の振れ止めは場所打ち行うこと。

㉖ 支持金物・固定金具　（１）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
（２）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
（３）冷水及び冷温水管吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。

㉗ 埋戻し土・盛土　図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。
・ 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲には山砂の類）　・ 山砂の類

㉘ 地中埋設標及び埋設表示用テープ　地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお、地中埋設標の設置場所は図示によるほか、屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。
（１）給水管　○ 地中埋設標　○ 埋設用表示テープ
（２）ガス管　○ 地中埋設標　○ 埋設用表示テープ
（３）油　管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ
（４）消火管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ

㉙ 保　温　・ 主機械室は下記の室とし、他は各階機械室とする。
主機械室：
○ ダクトの保温の外装は下記による。内装は（・ ロックウール　○ グラスウール）

屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス　・
	各階機械室	・ アルミガラスクロス　・
	主機械室	・ アルミガラスクロス　・
	原室・廊下など	・ カラー亜鉛鉄板　・
屋内隠ぺい、ＰＳ内		○ アルミガラスクロス
屋外露出、多湿箇所（　　）		・ ステンレス鋼板

○ 配管の保温の外装は下記による。内装は（・ ロックウール　○ グラスウール　・ ポリスチレンフォーム）

屋内露出	倉庫・書庫	○ アルミガラスクロス　・
	各階機械室	○ アルミガラスクロス　・
	主機械室	○ アルミガラスクロス　・
	原室・廊下など	・ 合成樹脂製カバー　○ 綿布
屋内隠ぺい、ＰＳ内		○ アルミガラスクロス
屋外露出、多湿箇所（　　）		○ ステンレス鋼板　・着色アスファルトプライマー ・ アスファルトプライマー　・

㉚ 塗　装　（１）下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※　屋外露出　※　居室
（２）保温を行わない居室・便所・給湯室及び屋外の露出配管（鋼管）には塗装を行う。

㉛ 防食処理　土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製梯子類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として、防食処理不要の管材とする。）

㉜ 山留め　切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが１．５ｍを超える場合には、山留めを行うものとする。

33．舗装工事　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書２２章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。

㉞ 他工事との取り合い　図面に特記なき場合は、表「工事区分表」による。

㉟ 予備品等　ヒューズ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は予備品として、２０％納入する（種別ごと最低１個）。

36．施工条件　別添の施工条件明示書による。

章	項　目	特　記　事　項
空気調和・冷房・暖房設備	① 設計温湿度	

	外気				屋内（調整目標値）			
	一般系統				一般系統			
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	30.4℃	69.5%	℃	%	26.0℃	50.0%	℃	%
冬季	-4.4℃	67.7%	℃	%	22.0℃	成 行	℃	%

2．ばい煙濃度計　取付箇所は図示による。
3．煙　突　※　別途　・　本工事（鋼板厚　　mm、高さ　　m以上）
4．煙　道　※　煙道径300mm以下は鋼板厚3.2mm、300mmを超えるものは4.5mmとする。　・　図示による。
（煙道径が400mmを超えるものには、掃除口に蝶番を取り付ける。）

㊱ ダクトの区分　低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）
6．長方形ダクトの工法　・ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法　（　・ 共板　・ スライド）
7．風量測定口　取付け場所は図示による。取付面は監督職員の指示による。
8．チャンバ　（１）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（２）空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。
（３）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
9．防煙ダンパ　（１）復帰方式　※　遠隔式（電気式（定格入力DC24V、0.7A以下）
（２）復帰動作　※　順送り
㊲ 配管材料　（１）冷温水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・
（２）冷却水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・
（３）蒸気管（給気管）　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
（還水管）　※　圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40）
（４）油管、油用通気管（一般）　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
（土中）　※　ポリエチレン外面被覆鋼管
（５）膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への給水管　・
※　配管用炭素鋼鋼管
（６）空調用排水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　○ ビニル管（ＶＰ）
（７）冷媒管　※　断熱材被覆銅管（製造者標準品）　・　銅管

章	項　目	特　記　事　項
換気設備	1．準拠事項	［　空気調和　・冷房　・暖房設備　］の当該事項に準ずる。 ○ ５・６・７・９・１８・２１
	※ 別途　・本工事　・既設	
	2．開放形湯沸器排気ﾌｰﾄ	
	3．厨房用排気ダクト	※　亜鉛鉄板　・　ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）（板厚は高圧ダクトによる）
	4．厨房用排気ダクト工法	※　アングルフランジ工法　・　コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
	5．厨房用排気フード	（１）フード周囲の天蓋（フード面から天井面まで）　※　取り付ける　・　取り付けない （２）フードコック　※　取り付ける　・　取り付けない （３）材質（天蓋とも）　※　ステンレス鋼板（ＳＵＳ４３０又はＳＵＳ３０４）
	6．多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ	次の系統のダクトのシールは、標準図（施工４５、４６）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし、水抜き管を設ける。 （　　）
排煙設備	1．ダクト	・ 亜鉛鉄板製　・ 鋼板製（１．６mm以上）
	2．排煙口の形式	・ 可動羽根（スリット共）　・ 可動パネル
	3．排煙口開放装置	・ ワイヤー式　・ 電気式（遠隔操作機能　・ 要　・ 不要）
	4．排煙風量測定方式	建築設備定期検査業務指導書（（財）日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。
自動制御設備	1．中央監視制御	中央監視制御装置の構成機能は別紙による。
	2．計装工事の配線	（１）屋外・屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 （２）天井内隠ぺいの配線は、図示に特記がなければケーブル配線とする。
衛生器具設備	1．大便器洗浄弁	・ 洗浄タンク方式　・ 洗浄弁方式（不凍結節水弁付）
	㉒ 便器洗浄用タンク	※　手洗なし　・ 手洗付
	㉓ 小便器節水装置	※　節水装置（機能は別図による）　・ 押ボタン式（不凍結節水弁付）
	㉔ 器具付属水栓	固定こまべ（節水こまべ）とする。
	㉕ 自動水栓	※　電源供給方式（　※　ＡＣ１００Ｖ）　・ 乾電池　・自己給電
	6．温水洗浄便座加熱方式	・ 瞬間式　・ 貯湯式
	7．大便器射火ガバー	設ける（ビット内を除く）
給水設備	① 量水器	（１）親メーター　※ 措用　・ 買取り　（隔測メーター　・ 有　・ 無） （２）子メーター　※ 買取り　（隔測メーター　・ 有　・ 無）
	㉖ 量水器桝	（１）親メーター用　※ 水道事業者の指定品　・ 標準図（機材５７） （２）子メーター用　※ 標準図（機材５７）　・ 水道事業者の指定品
	⑲ 配管材料	（３）屋外用中用 ・ ステンレス鋼管（拡管）　・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６拡管） ・ 塩ビライニング鋼管　（・ＶＡ　・ＶＢ）　・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ○ ポリ粉体ライニング鋼管（・ＰＡ　○ＰＢ）　○ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・　　○ ビニル管（ＪＩＳ　Ｋ　６７４２）（ＶＰ） ・　〃　（ＨＩＶＰ） （２）土間配管用（厨房、浴室等のシンダー内含む）　・ ポリエチレン管 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）　・ 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管 ・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）　・ ○ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・
	4．不凍水栓柱	化粧ケーシング（　・　アルミ合金製　・ 合成樹脂製　）
	㉙ 弁　類	（１）水道直結部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ　・ 水道事業所の規定による　Ｋ （２）その他の部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
	㉚ 給水栓	（１）屋内（　※　一般水栓　・　耐寒水栓　）　（２）屋外（　※　耐寒水栓　・　一般水栓　） 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫とする。　耐寒水栓はＪＷＷＡの認証品とする。
	㉗ 埋設深さ	（１）一般敷地内（　0.45 ｍ以上）　（２）敷地内車両道路（　0.6 ｍ以上） （３）公道部分（　※　本事業者及び道路管理者規定による　）
	㉙ 保　温	（１）量水器桝内の保温を行う。 （２）屋外露出配管（弁フランジを含む）は、標準仕様書第２編（表２．３．５　ｅ２・（ハ））とし厚さは呼び径２５mm以下は５０mm、呼び径３２mm以上は４０mmとする。
	9．埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※　含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・　含まない
	⑭ 水道加入金等	水道加入金　● 要（・本工事　● 別途　）　・ 不要 ・ その他（　　）
	11．ステンレス管の接合方法	（１）呼び径６０ＳＵ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （２）呼び径７５ＳＵ以上　・ 溶接接合　・ ハウジング形管継手による接合　・ フランジ接合
	⑫ その他	給水管の最小口径は２０mmとする。ただし、器具接続部分を除く。
排水設備	㊲ 配管材料	（１）屋内汚水管　・ 排水用塩ビライニング鋼管　・ 排水用鉛管　○ ビニル管（ＶＰ） （２）屋内雑排水管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 排水用塩ビライニング鋼管　○ ビニル管（ＶＰ） （３）屋外土中汚水、雑排水管　・ ビニル管（ＶＰ）　○ ビニル管（ＶＵ）　・ ビニル管（再生ＶＵ）　・ （４）土間配管用　・ 排水用塩ビライニング鋼管　○ ビニル管（ＶＰ） （５）通気管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ ビニル管（ＶＰ）　・ （６）ポンプアップ排水管　・ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）　・ 台所流し等の床上露出部分の排水管は、ビニル管でもよい。

章	項　目	特　記　事　項
排水設備	㉜ 排水桝	○ 桝リストは図面番号（　　） （１）材料　○ ＲＣ　○ 硬質塩化ビニル　・ ポリプロピレン　・ ＳＣ （２）ふた　○ 鋳鉄製（・ ＭＨＡ　○ ＭＨＢ　○ Ｔ８Ａ　） ○ 樹脂製 ※ 県マーク、流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付 （３）規格　・ 下水道協会（ＪＳＷＡＳ）　・ 排水設備用樹脂製桝協会（ＨＭＳ） ○ 市町村別基準（ ○ 有　・ 無 ）
	3．グリース阻集器	・ＦＲＰ製（　　Ｌ）・ＳＵＳ製（　　Ｌ）　詳細は図示。
	4．満水試験継手	図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。
	⑮ 試　験	○ 衛生器具などの取付完了後、排水試験又は通水試験を行う。 ・ 衛生器具などの取付完了後、煙試験を行う。
	⑮ 放流負担金等	○ 不要　・ 要（・ 別途工事　・ 本工事 ）
	7．基礎材	※　再生クラッシャーラン
給湯設備	① 配管材料	○ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・ 耐熱性ライニング鋼管　・ 鋼管　・ 被覆鋼管 ・ 保温付被覆鋼管　＜膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞
	㉔ 弁　類	給水設備の当該事項による。
	3．湯沸器の排気筒	厚さ０．５mm以上のステンレス鋼板製とする。
	㉙ 保　温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。（ｈ・(ｲ)・Ｘ）
	5．ステンレス管の接合方法	（１）呼び径６０ＳＵ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （２）呼び径７５ＳＵ以上　・ 溶接接合　・ ハウジング形管継手による接合　・ フランジ接合
消火設備	1．配管材料	（１）一　般　（２）地中埋設部 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０）　・ 〃　（ＳＧＰ－ＰＳ） ・ 〃　（ＳＴＰＧ－３７０ＶＳ） ・ 〃　（ＳＴＰＧ－３７０ＰＳ） （３）二酸化炭素用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（細目無管）（Ｓｃｈ８０）
	2．屋内消火栓種別	・ 易操作性１号消火栓　・ ２号消火栓
	3．消火栓開閉弁	・ ＪＩＳ１０Ｋ　・ ＪＩＳ２０Ｋ
	4．保　温	（１）屋外露出管については給水管に準ずる。 （２）充水タンクの保温　・ 施工しない　・ 施工する （３）消火配管の保温　屋内消火栓　・ 施工しない　・ 施工する スプリンクラー　・ 施工しない　・ 施工する
	⑮ 消火器類	（１）消火器　種別　・ 数量　（ ABC消火器10型　３本（置台共）　） （２）消火器収納箱　仕様　・ 材質　・ 数量（　　）
厨房機器設備	1．厨房機器類	（１）図示による（材質などは共通仕様書による）。ただし、寸法は参考とする。 （２）厨房機器据付要領は、標準図施工７４による。
ガス設備	① 配管材料	（１）一般　（２）地中埋設部 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による　・ ガス事業者の規定による ・　・ ガス用ポリエチレン管 ・　・
	2．都市ガス	（１）ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーター は本工事 （２）引込み負担金　※ 不要　・ 要（・ 別途工事　・ 本工事 ）
	⑩ 液化石油ガス	（１）ガスボンベ　※ 借用　・ 買い取り　（・１０ｋｇ・２０ｋｇ ○ ５０ｋｇ　２ 本 ） （２）ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 （３）集合装置　○ 標準図（施工７２）による（　２ 本組） （４）転倒防止等　○ 標準図（施工７３）［・(ａ)　・(ｂ)］・ボルト、チェーン等はＳＵＳ製とする。 ・ 容器固定具をＧＬ＋３００に追加設置する。
	4．ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける　（　・ 分離形　・ 一体形　）　・ 別途電気工事 外部出力端子　（　・ あり　・ なし　）
	⑮ 埋設深さ	（１）一般敷地内（ 0.5 m以上）　（２）敷地内車両道路（　　m以上） （３）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
	⑫ その他	配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。　供給事業者名（　　）

表１「完成書類」　本工事終了後下記の書類を提出すること。

名　称	完　成　書　類	部数	名　称	完　成　書　類	部数
1 完成調書	営繕工事完成引渡要領 （平成１３年４月１日版） （作成は、主たる請負業者が、他の工事および監督員の協力を得て取りまとめる。）	1部	7 工事写真 ①工事施工写真	Ａ４版 チューブ式ファイル 工事施工写真は、原行写真（着手前写真と完了写真）並びに施工状況写真とで構成される。	1部
			②完成写真	Ａ４版 ペーパーファイル 完成届に添付	1部
2 完成図 ①黒表紙金文字製本	Ａ４版 （４　機器完成図、５　取扱説明書とまとめて１冊にしてもよいが、厚さ８０mmを越える場合は分冊とする。）	1部	③マイクロフィルム （完成図のみ）	３５mm　ＭＦフォルダー 設備課保管用	1部
②青焼き二つ折り製本	Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	1部	8 工事週報	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
③青焼き二つ折り製本（縮小）	Ａ４版（Ａ３版二つ折り） １部は設備課保管	2部	9 工事打ち合わせ議事録	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
④原図	三つ折りケース収納	1部			
⑤完成図書電子データ	ＪＷＷＪＡＳＵＳＤＸＦ形式のＣＡＤデータ もしくはＰＤＦ形式	ＣＤ 1枚	10 工事に関する承諾確認書	Ａ４版 チューブ式ファイル	1式
3 施工図 ①青焼き二つ折り製本	Ａ１版またはＡ２版の二つ折り （施工図の枚数が少ない場合は、完成図の二つ折り製本と合本可）	1部	①施工計画書 ②施工要領書 ③確認書・承諾書 ④協議書 ⑤安全に関する書類		
②原図	三つ折りケース収納	1部	⑥建設廃棄物ﾏﾆﾌｪｽﾄ		
4 機器完成図	Ａ４版 黒表紙金文字製本 （２ 完成図と合本可）	1部	11 各種保証書	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
5 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧	Ａ４版 黒表紙金文字製本 （２ 完成図と合本可）	1部	12 その他 ①機器試験成績書 ・機材質証明書 ・機材検査試験報告書 ・工場検査報告書 ・工場立会検査報告書		1部
6 管理の手引き ①工程概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部	②現場試験成績書 ・工事別試験報告書 ・総合運転および試験報告書		

注記：機器及びシステム参考図について
本図面中で、機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状、諸元及びシステム構成等を参考として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

凡例

M	平成26年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事		NUMBAR
401	機械設備　特記仕様書		SCALE A1：－ A2：－
	株式会社 松本純一郎設計事務所 登録番号　１５６９８７　一級建築士　松本純一郎		DATE
			DRAWN BY

機器表

記　号	名　　称	機 器 仕 様	電気容量			数量	設置場所	備　　考
			φ	V	KW			
PAC-1	空冷ヒートポンプエアコン	型　　式：天井カセット型１方向吹出				1	和室（救護室）	
		冷房能力：4.5KW						
		暖房能力：5.0KW						
		圧 縮 機：屋外機	1	200	1.0			
		送 風 機：屋外機	1	200	0.04			
		送 風 機：屋内機	1	200	0.09			
		付 属 品：リモコン,ドレンアップメカ,鋼製壁掛架台						
PAC-2	空冷ヒートポンプエアコン	型　　式：天井カセット型１方向吹出				1	和室（仮眠室）	
		冷房能力：3.6KW						
		暖房能力：4.0KW						
		圧 縮 機：屋外機	1	200	0.8			
		送 風 機：屋外機	1	200	0.04			
		送 風 機：屋内機	1	200	0.09			
		付 属 品：リモコン,ドレンアップメカ,鋼製壁掛架台						

機器表　※ 全熱交換器のコントロールスイッチは電気工事へ支給とする。

記　号	名　　称	機 器 仕 様	電気容量			数量	設置場所	備　　考
			φ	V	W			
FEX-1	全熱交換型換気扇	型　　式：天井カセット型				1	和室（救護室）	
		能　　力：100φ×140CMH×60Pa（通常）	1	100	69			
		：100φ× 20CMH×20Pa（24h）	1	100	25			
		付 属 品：コントロールスイッチ,深型セルフード(SUS製)						
FEX-2	全熱交換型換気扇	型　　式：天井カセット型				1	和室（仮眠室）	
		能　　力：100φ×120CMH×60Pa（通常）	1	100	69			
		：100φ× 20CMH×20Pa（24h）	1	100	25			
		付 属 品：コントロールスイッチ,深型セルフード(SUS製)						
FE-1	レンジフードファン	型　　式：ブース(深型)形－自然給気タイプ				2	調理室	
		能　　力：150φ×450OCMH×100Pa（通常）	1	100	77			
		：150φ× 20CMH× 20Pa（24h）	1	100	20			
		付 属 品：深型セルフード(SUS製)						
FE-2	天井埋込型換気扇	型　　式：低騒音型				2	男子便所	
		能　　力：150φ×220CMH×50Pa	1	100	26		女子便所	
		付 属 品：深型セルフード(SUS製)						
FE-3	天井埋込型換気扇	型　　式：低騒音型				1	収納	
		能　　力：100φ×140CMH×50Pa（通常）	1	100	20			
		付 属 品：深型セルフード(SUS製)						
FE-4	天井埋込型換気扇	型　　式：低騒音型				1	多目的便所	
		能　　力：100φ×100CMH×50Pa（通常）	1	100	14			
		付 属 品：深型セルフード(SUS製)						
FE-5	天井埋込型換気扇	型　　式：低騒音型				1	倉庫	
		能　　力：100φ× 60CMH×50Pa（通常）	1	100	13			
		付 属 品：深型セルフード(SUS製)						

凡例

M

平成26年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

空調設備　機器表

４０２

株式会社 松本純一郎設計事務所

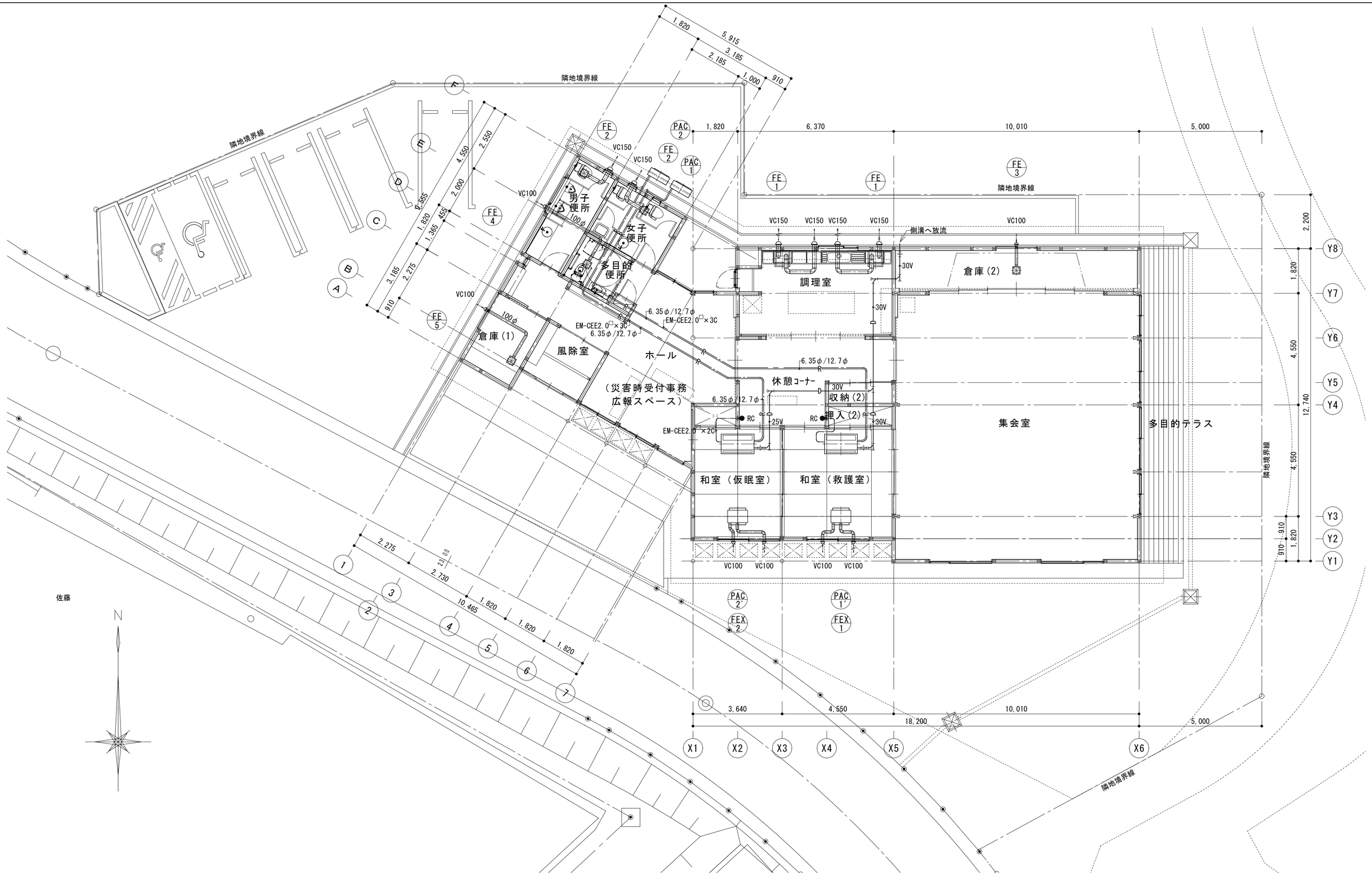
登録番号　１５６９８７　　一級建築士　　松本純一郎

NUMBAR

SCALE　A2：S=1/100　A3：－

DATE

DRAWN BY



凡例

M

平成26年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

空調設備　平面図

403

株式会社 松本純一郎設計事務所

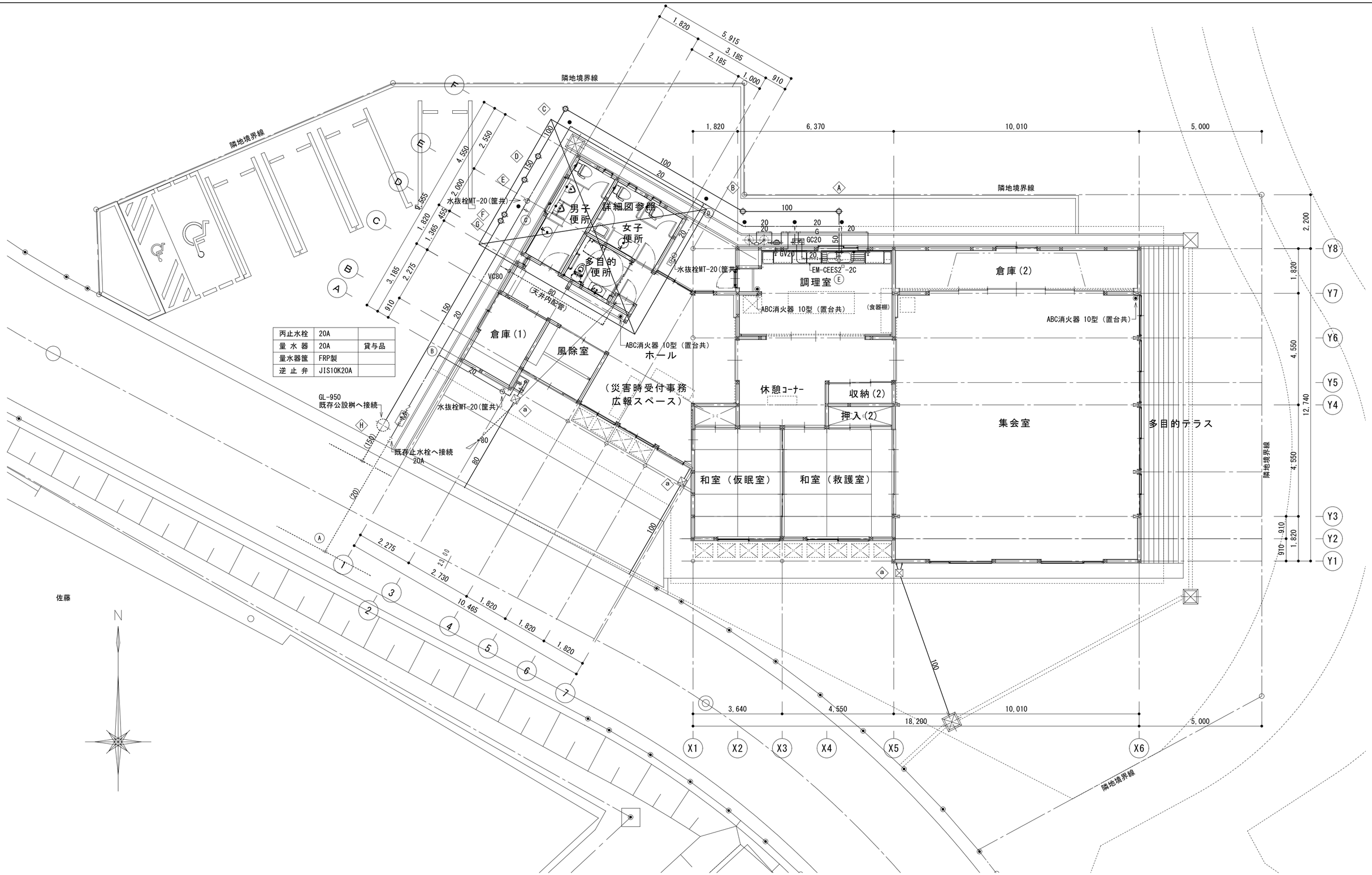
登録番号　156987　　一級建築士　　松本純一郎

NUMBAR

SCALE A2：S=1/100 A3：—

DATE

DRAWN BY



凡例

M

平成26年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

404

衛生設備　平面図

株式会社 松本純一郎設計事務所

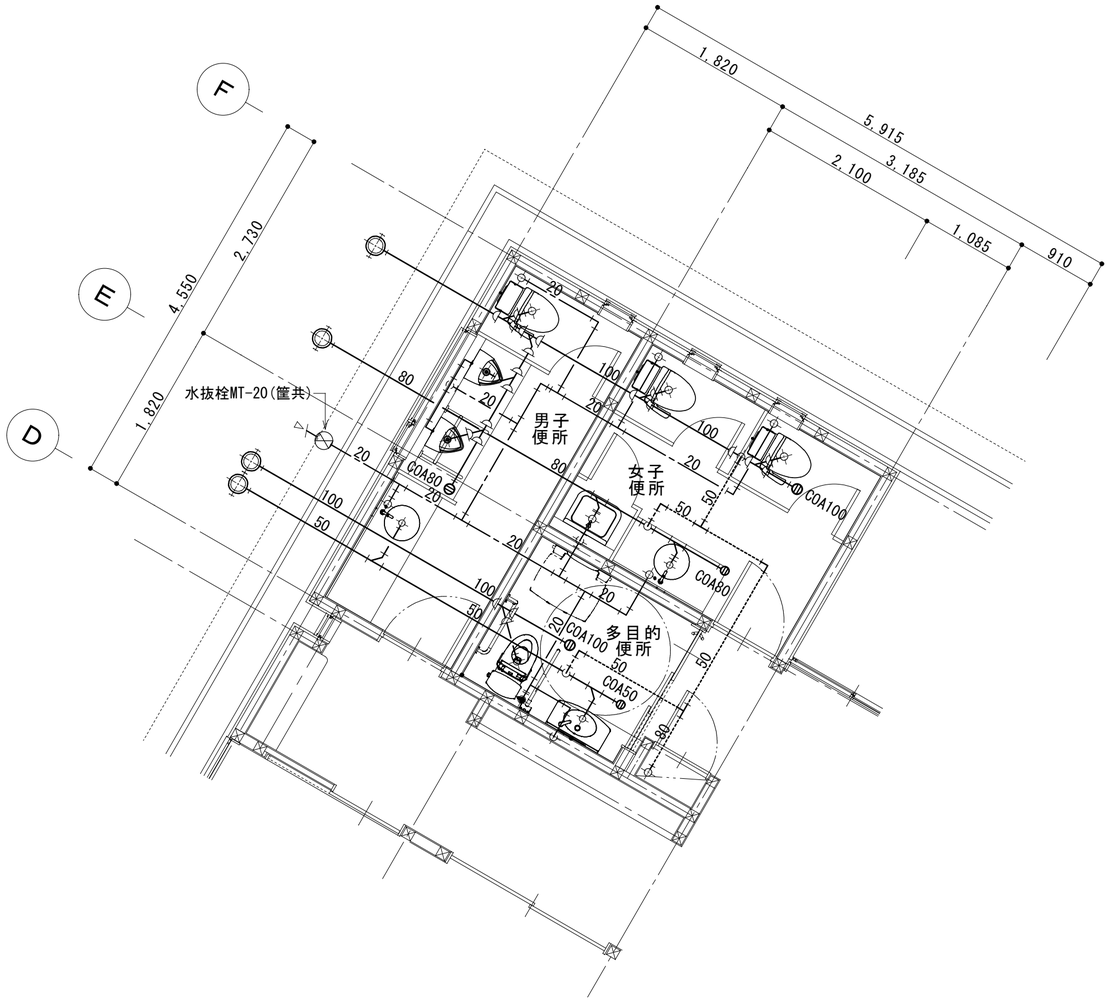
登録番号　156987　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR

SCALE A2：S=1/100 A3：—

DATE

DRAWN BY



平面詳細図　　S=1/50

凡　例

記　号	名　称	使　用　材　料	備　考
――― - ―――	給　水　管	隠蔽配管：ポリ紛体ライニング鋼管(PB)	
		埋設配管：ポリ紛体ライニング鋼管(PD)	
		屋外配管：ポリエチレン管	
―――	排　水　管	隠蔽配管：硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	
		埋設配管：硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	
		屋外配管：硬質ポリ塩化ビニル管(VU)	
―――|―――	給　湯　管	隠蔽配管：ステンレス管	
----------	通　気　管	隠蔽配管：硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	
		埋設配管：硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	
―――G―――	ＬＰガス管	隠蔽配管：配管用炭素鋼鋼管(白)	

衛生器具表

室　名	器　具　名	参考品番－付属品	数量	備　考
男子便所	洋風便器	CS220B(腰掛式ﾀﾝｸ密結形防露便器)、SH220BAS(防露式密結形ﾛｰﾀﾝｸ) TCF4711(ｳｫｼｭﾚｯﾄｱﾌﾞﾘｺｯﾄ),YH600F(棚付二連紙巻器)	1	
	小便器	UFS800C(壁掛小便器)	2	
	洗面器	L530(丸型洗面器),TLS11(立水栓),T7PW3(排水金具)	1	
	化粧鏡	YM4560A	1	
女子便所	洋風便器	CS220B(腰掛式ﾀﾝｸ密結形防露便器)、SH220BAS(防露式密結形ﾛｰﾀﾝｸ) TCF4711(ｳｫｼｭﾚｯﾄｱﾌﾞﾘｺｯﾄ),YH600F(棚付二連紙巻器)	2	
	掃除用流し	SK22A(ﾊﾞｯｸ付掃除用流し),TK22(ﾘﾑｶﾊﾞｰ),T23AE20(給水栓) TN114(給水ﾎｰｽ),T37SGEP(床排水金具(Sﾄﾗｯﾌﾟ))	1	
	洗面器	L530(丸型洗面器),TLS11(立水栓),T7PW3(排水金具)	1	
	化粧鏡	YM4560A	1	
多目的便所	洋風便器	CS20AB(腰掛式ﾀﾝｸ密結形防露便器),SH30BA(防露式密結形ﾛｰﾀﾝｸ) TCF4721V81(ｳｫｼｭﾚｯﾄｱﾌﾞﾘｺｯﾄ),YH702(棚付二連紙巻器)	1	
	洗面器	L270D(ｶｳﾝﾀｰ一体形洗面器),TL19A(自閉水栓),T6BMP(排水金具)	1	
	化粧鏡	YM4575A	1	
調　理　室	湯水混合栓	TKGG32EB	1	
	ヒューズコック	単口13A×10φ	2	
屋　　外	ガス給湯器	屋外壁掛型 給湯専用10号 (LPG)	1	
	LPG集合装置	50Kg×2本,圧力調整器,転倒防止鎖共	1	
	ガスメーター	供給業者貸与品	1	
	ホーム水栓	T200SNR13	1	
	散水栓	T-27-13　SUS製ボックス共	1	
	共栓	SNB 50	1	
	目皿	D 50	1	

桝　表

記号	名　　称	規格－仕様	蓋
A	小口径桝	90L　100×150×　300H	塩ビ製
B	〃	30L　100×150×　390H	塩ビ製
C	〃	90L　100×150×　570H	T-8A
D	〃	90Y　100×150×　620H	T-8A
E	〃	90Y　100×150×　690H	T-8A
F	〃	90Y　100×150×　730H	T-8A
G	〃	90Y　100×150×　750H	T-8A
H	既存公設桝	500φ　×　950H	MHA
a	雨　水　桝	300×300×　300H	MHB

凡例

M　平成26年度代ヶ崎浜地区避難所建築及び環境整備工事

衛生設備　器具表・詳細図

405

株式会社 松本純一郎設計事務所
登録番号　156987　一級建築士　松本純一郎

NUMBAR

SCALE　A2：S=1/50　A3：－

DATE

DRAWN BY